
令和7年度
久喜市高齢者実態調査
報告書

令和8年3月

目 次

調査の実施概要

1 調査の概要	3
(1) 調査目的	3
(2) 調査対象及び調査方法	3
(3) 配布数及び回収結果	3
2 本調査報告書の基本的な事項	4
(1) 報告書の留意点	4
(2) 居住地域区分について	4

高齢者実態調査 調査結果

1. 回答者について	7
(1) 回答者	7
(2) 性別	7
(3) 年齢	7
(4) 居住地域	8
(5) 要介護認定状況	8
2. 家族や生活状況について	9
(1) 家族構成	9
(2) 日常生活での介護・介助の必要性	10
(3) 家族構成	11
(4) 主な介護・介助者	13
(5) 主な介護者の年齢	14
(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況	15
3. からだを動かすことについて	16
(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか.....	16
(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか.....	17
(3) 15分位続けて歩けるか.....	18
(4) 過去1年間の転倒経験	19
(5) 転倒に対する不安	20
(6) 週に1回以上の外出	21
(7) 外出をする際の移動手段	22
(8) 昨年と比べた際の外出の頻度	24
(9) 外出を控えているか	25
(10) 外出を控えている理由	26

4. 食べることについて	28
(1) BMI	28
(2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか.....	29
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況	30
(4) 誰かと食事をとにもする機会	31
5. 毎日の生活について	32
(1) 物忘れが多いと感じるか	32
(2) 今日が何月何日かわからない時があるか.....	33
(3) バスや電車を使った外出	34
(4) 食品・日用品の買い物	35
(5) 食事の用意	36
(6) 請求書の支払い	37
(7) 預貯金の出し入れ	38
(8) 年金などの書類が書けるか	39
(9) 終活について	40
6. 地域での活動について	41
(1) グループ等への参加頻度	41
(2) 地域活動への参加者としての参加意向.....	42
(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向.....	43
7. たすけあいについて	44
(1) 困っていること、手助けが必要だと感じること.....	44
(2) 心配事や愚痴を聞いてくれる人	46
(3) 心配事や愚痴を聞いてあげる人	47
(4) 看病や世話をしてくれる人	48
(5) 看病や世話をしてあげる人	49
(6) 家族や友人、知人以外の相談相手	50
(7) 友人・知人と連絡を取る頻度	51
8. 健康について	52
(1) 現在の健康状態	52
(2) 現在の幸せの程度	53
(3) 現在治療中または後遺症のある病気.....	54
(4) 喫煙習慣の有無	56
(5) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか.....	57
(6) 物事に対し興味がわかないこと等があったか.....	58

9. 認知症について	59
(1) 自分または家族に認知症の症状があるか	59
(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか	60
(3) 認知症について相談する相手	61
(4) 認知症に対するイメージ	63
(5) 認知症について知っていること	64
(6) 近所に認知症の方がいた場合の接し方	66
(7) 認知症になった場合に生活したい場所	67
(8) 自分や家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思う	68
10. 成年後見制度について	69
(1) 成年後見制度について	69
(2) 任意後見制度の利用意向	70
(3) 成年後見制度について思うこと	71
(4) 成年後見センターについて	72
(5) 市民後見人の養成講座について	73
11. 在宅における医療と介護の連携について	74
(1) 訪問診療を利用できることを知っているか	74
(2) 訪問診療の利用意向	75
(3) 在宅における医療や介護について感じること	76
12. 自由意見	77

要介護認定者調査 調査結果

1. 宛名の本人について	81
(1) 回答者	81
(2) 世帯類型	81
(3) 家族等の介護の頻度	82
(4) 主な介護者	83
(5) 主な介護者の性別	84
(6) 主な介護者の年齢	85
(7) 介護者が行っている介護	86
(8) 介護のための離職の有無	88
(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス	89
(10) 施設等への入所・入居の検討状況	91
(11) 現在抱えている傷病	92
(12) 訪問診療の利用状況	94
(13) 訪問診療の利用意向	95
(14) 介護保険サービスの利用状況	97
(15) 介護保険サービスを利用していない理由	98
(16) 自由意見	99

2. 主な介護者の方について	101
(1) 主な介護者の現在の勤務形態	101
(2) 主な介護者の働き方についての調整等	102
(3) 介護者の就労継続の可否に係る意識	103
(4) 不安に感じる介護	104
(5) 自由意見	106

介護保険施設等入所者調査 調査結果

1 回答者について	111
(1) 回答者	111
(2) 現在の入所施設	111
2 宛名の本人について	112
(1) 性別	112
(2) 年齢	112
(3) 入所前の家族の状況	113
(4) 現在の施設の利用期間	114
(5) 申込みから入所するまでの待機期間	115
(6) 入所した理由	116
(7) 現在の要介護度	117
3 介護保険サービスについて	118
(1) 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況	118
(2) 自宅での生活が続けられなかった理由	119
(3) 自宅などで生活するための必要な条件	120
(4) 入所施設はどのように選んだか	121
(5) 施設を選んだ時に重視したこと	122
(6) 満足度	123
(7) 要介護状態を改善するための訓練を受けているか	128
(8) 入所後の要介護度の変化	129
(9) 入所にかかる1か月の費用	130
4 自由意見	131

介護サービス事業所調査 調査結果

1 事業所で実施しているサービスについて	135
(1) 提供している介護サービス	135
(2) 拡大したい介護サービス	136
(3) 新規事業に参入する際に課題となること	137
(4) 縮小したい介護サービス	138

2 サービス利用者について	139
(1) 家族から虐待が疑われる事例の経験	139
(2) 虐待の内容	139
(3) 高齢者への虐待の対応についての問題	140
(4) 認知症高齢者の介護に必要なこと	140
(5) 職員の技術・知識向上のための外部研修	141
(6) サービス利用者から不当な要求を受けたこと	141
3 事業所の運営状況について	142
(1) 事業展開上の課題	142
(2) 1年間の人材の確保の状況	142
(3) 1年間の離職率	143
(4) ケアマネジャーとの連携	143
(5) 医療機関との連携	143
(6) 他のサービス事業所との連携	144
(7) 現状の在宅における医療と介護の連携は十分か	144
(8) 在宅における医療と介護の連携についての課題	145
4 自由意見	146

ケアマネジャー調査 調査結果

1 回答者について	149
(1) 性別	149
(2) 年齢	149
(3) ケアマネジャーとしての従事期間	150
(4) 保有している資格	151
2 介護支援専門員の業務について	153
(1) 介護支援専門員の業務で難しいこと	153
(2) 予防支援者数・介護支援者数	154
(3) 充足状況	154
(4) 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス	156
(5) 必要な介護保険以外のサービス	157
(6) ケアプラン作成における問題	158
(7) 問題解決のための対処	159
(8) 在宅生活が困難な事例の有無	160
(9) 在宅生活が困難な理由	161
(10) 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無	162
(11) 虐待の種類	163
(12) 虐待事案への対応の問題点	164

3 業務連携の状況について	165
(1) 認知症について相談できる医療機関の有無	165
(2) 認知症に関する相談先	166
(3) 認知症高齢者の介護に必要な取り組み	167
(4) 成年後見人の選任に至ったケースの有無	168
(5) 成年後見人の選任のために連絡した機関	169
(6) 成年後見人の選任申立てをした人	170
(7) 申立てに至らなかったケースの有無	171
(8) 申立てに至らなかった理由	172
(9) 成年後見制度が利用しにくい点	173
(10) 主治医との連携状況	174
(11) 主治医との連携における課題	175
(12) 介護保険サービス事業所との連携	176
(13) 介護保険サービス事業所との連携における課題	177
(14) 在宅医療・介護の連携は十分か	178
(15) 在宅医療・介護の連携における課題	179
(16) 在宅生活を継続する上で重要なこと	180
4 自由意見	181

調査の実施概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和9年度から令和11年度までを計画期間とする「久喜市高齢者福祉計画・第10期介護保険事業計画」の策定にあたり、被保険者や介護サービス事業所等の実態を把握し、計画策定及び高齢者福祉施策の推進のための基礎資料とすることを目的として実施した。

(2) 調査対象及び調査方法

調査対象及び調査方法は以下のとおり。

●市民対象

調査種別	①高齢者実態調査 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査)	②要介護認定者調査 (在宅介護実態調査)	③介護保険施設等入所者調査
調査対象	令和7年11月1日現在、65歳以上で要介護1～5の認定を受けていない被保険者	令和7年1月から令和7年10月までに要介護認定の更新申請・区分変更申請をした被保険者	令和7年11月現在、介護保険施設等に入所している被保険者
配布数	3,000件	1,000件	1,000件
抽出法	日常生活圏域ごとに無作為抽出	無作為抽出	無作為抽出
調査方法	郵送による配布 ／郵送・Webによる回収	郵送による配布 ／郵送による回収	郵送による配布 ／郵送による回収
調査時期	令和7年12月	令和7年12月	令和7年12月
調査地域	久喜市全域	久喜市全域	久喜市全域

●事業所等対象

調査種別	④介護サービス事業所調査	⑤ケアマネジャー調査
調査対象	本市の被保険者が利用している介護サービス事業所	本市の介護保険事業に携わっているケアマネジャー
配布数	135件	122件
抽出法	全件抽出	全件抽出
調査方法	メールによる配布／Webによる回答	メールによる配布／Webによる回答
調査時期	令和7年12月	令和7年12月
調査地域	久喜市全域	久喜市全域

(3) 配布数及び回収結果

調査種別	配布数	有効回収数	有効回答率
①高齢者実態調査	3,000件	2,238件	74.6%
②要介護認定者調査	1,000件	655件	65.5%
③介護保険施設等入所者調査	1,000件	651件	65.1%
④介護サービス事業所調査	135件	75件	55.6%
⑤ケアマネジャー調査	122件	74件	60.7%

2 本調査報告書の基本的な事項

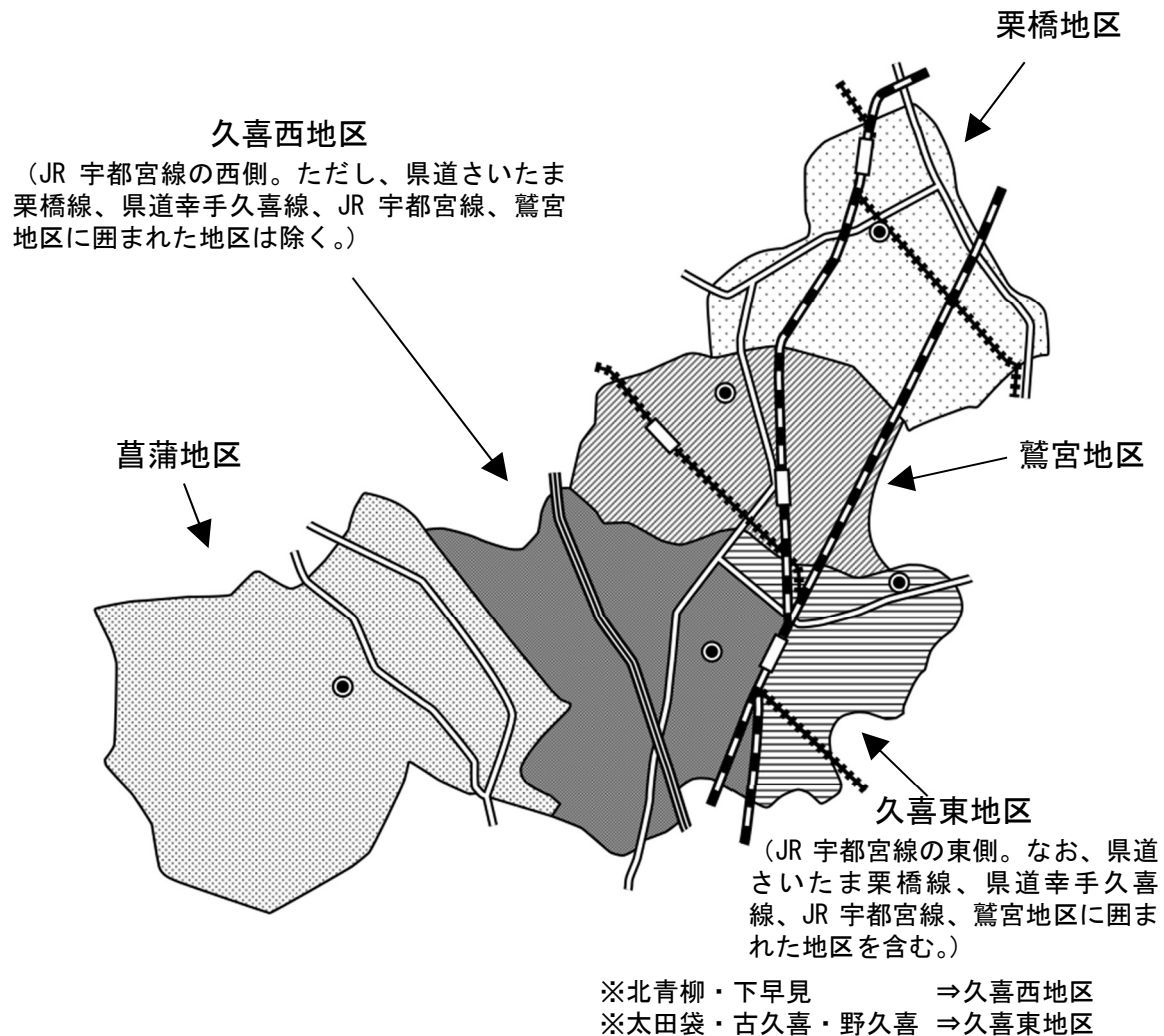
(1) 報告書の留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明 (無回答) はグラフ・表から除いている場合がある。
4. 表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10ポイント以上高い場合には△、10ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。

(2) 居住地域区分について

設問によっては、市内5つの日常生活圏域別に集計を行っている。日常生活圏域の設定は下図のとおり。



高齡者実態調査 調査結果

1. 回答者について

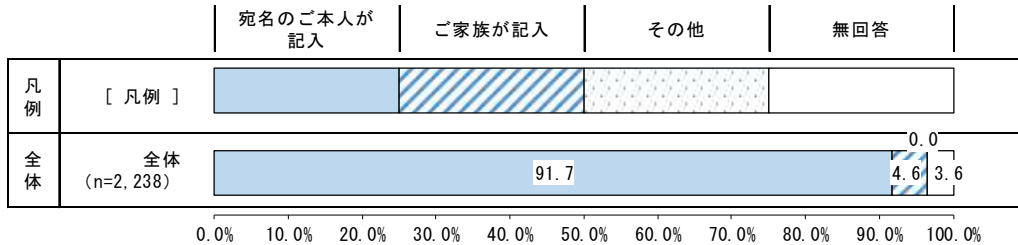
(1) 回答者

●問1 調査票を記入されたのはどなたですか。(1つに○)

【全体】

○ 回答者について、「宛名のご本人が記入」が91.7%、「ご家族が記入」が4.6%となっています。

【回答者】



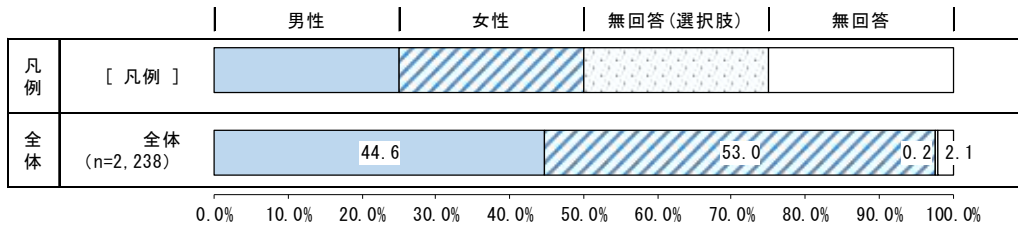
(2) 性別

●問2 あなたの性別をお答えください。(1つに○)

【全体】

○ 性別について、「男性」が44.6%、「女性」が53.0%となっています。

【性別】



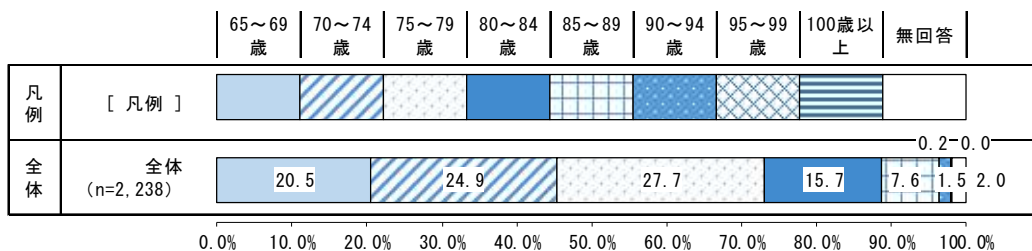
(3) 年齢

●問3 あなたの年齢（令和7年12月1日時点）をお答えください。(1つに○)

【全体】

○ 年齢について、「75～79歳」が27.7%で最も多く、次いで「70～74歳」が24.9%、「65～69歳」が20.5%となっています。

【年齢】



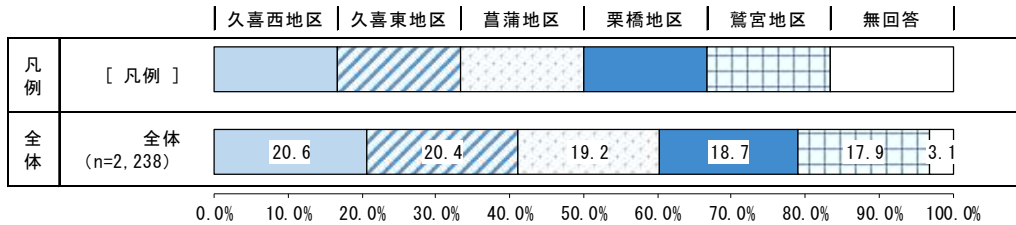
(4) 居住地域

●問4 あなたのお住まいの地区をお答えください。(1つに○)

【全体】

○ 居住地域について、「久喜西地区」が 20.6%で最も多く、次いで「久喜東地区」が 20.4%、「菖蒲地区」が 19.2%となっています。

【居住地域】



単位：%

	母数 (n)	回答者					
		久喜西地区	久喜東地区	菖蒲地区	栗橋地区	鷲宮地区	無回答
全体	2,238	20.6	20.4	19.2	18.7	17.9	3.1
性別	男性	21.6	21.6	20.4	18.5	17.1	0.7
	女性	20.6	20.2	18.8	19.6	19.2	1.6
	無回答	20.0	-	-	20.0	△ 40.0	20.0
年齢	65～69歳	21.2	21.4	15.5	22.5	18.3	1.1
	70～74歳	21.9	19.7	21.7	17.2	18.8	0.7
	75～79歳	18.6	21.2	21.0	17.4	20.4	1.5
	80～84歳	21.9	19.4	19.7	21.1	16.2	1.7
	85～89歳	22.5	24.9	14.8	21.3	14.2	2.4
	90～94歳	29.4	23.5	△ 32.4	▼ 2.9	11.8	-
	95～99歳	△ 40.0	-	20.0	20.0	20.0	-
100歳以上	-	-	-	-	-	-	
性・年齢	男性 前期高齢者	22.6	22.4	19.8	18.5	16.3	0.4
	後期高齢者	20.8	21.0	21.0	18.6	17.8	0.9
	女性 前期高齢者	20.6	19.0	18.3	20.5	20.5	1.1
	後期高齢者	20.5	21.3	19.2	18.9	18.1	2.1

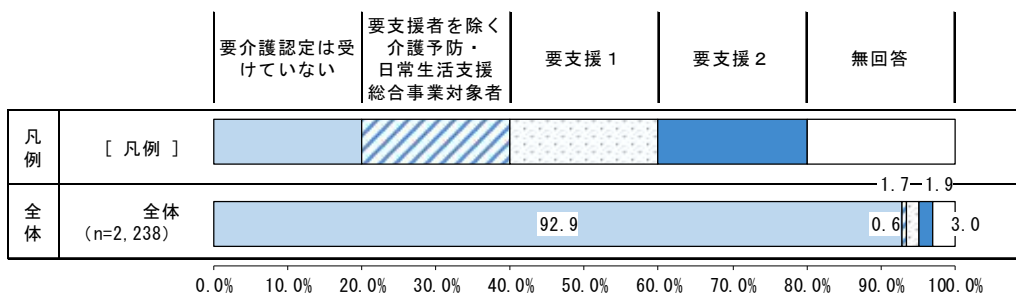
(5) 要介護認定状況

●問5 あなたの要介護度について、ご回答ください。(1つに○)

【全体】

○ 要介護認定状況について、「要介護認定は受けていない」が 92.9%で最も多く、次いで「要支援2」が 1.9%、「要支援1」が 1.7%となっています。

【要介護認定状況】



2. 家族や生活状況について

(1) 家族構成

●問6 家族構成をご回答ください。(1つに○)

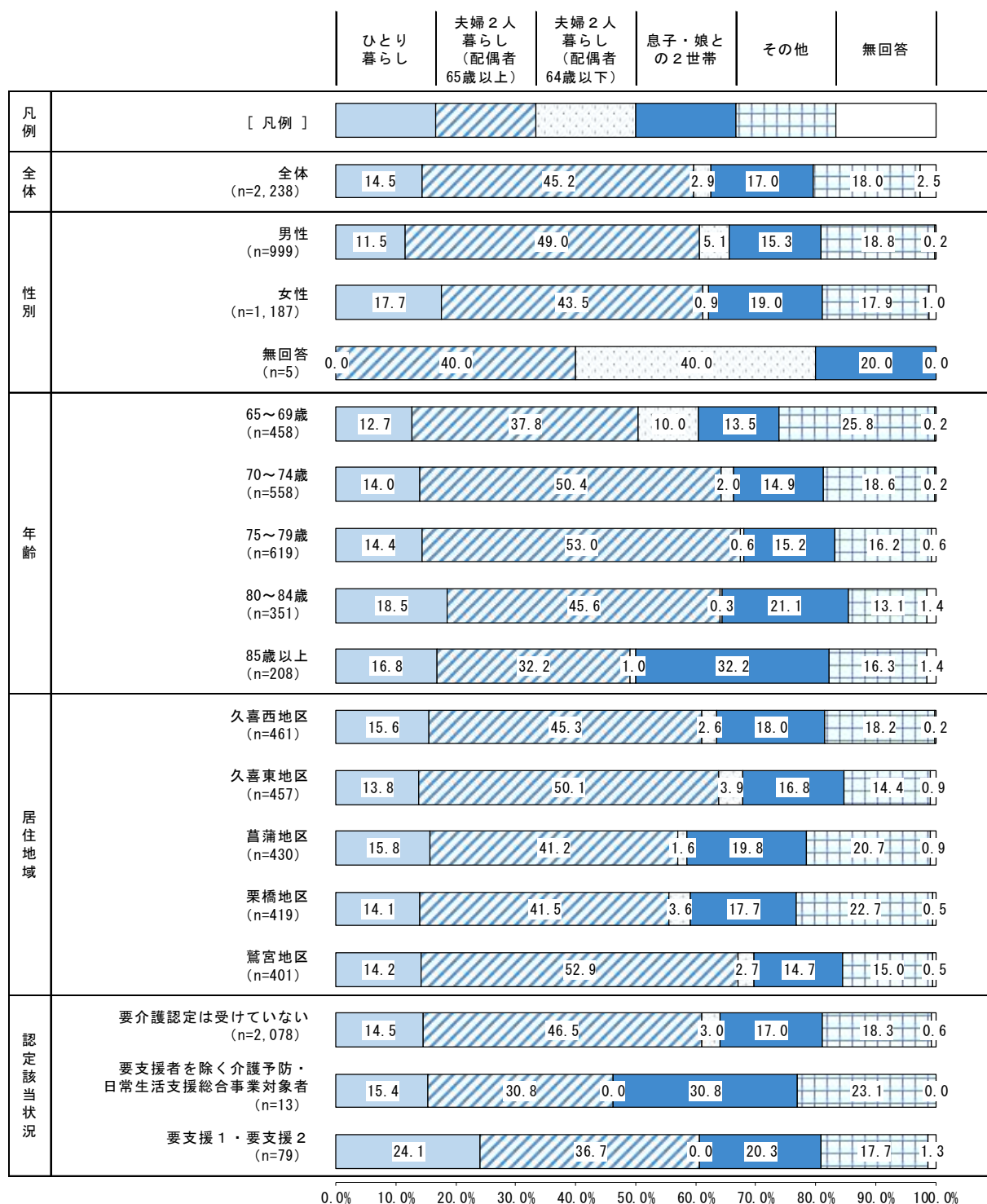
【全体】

- 家族構成について、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が45.2%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が17.0%、「ひとり暮らし」が14.5%となっています。

【認定状況】

- 要支援1・要支援2では、「ひとり暮らし」が24.1%となっています。

【家族構成】



(2) 日常生活での介護・介助の必要性

●問7 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。

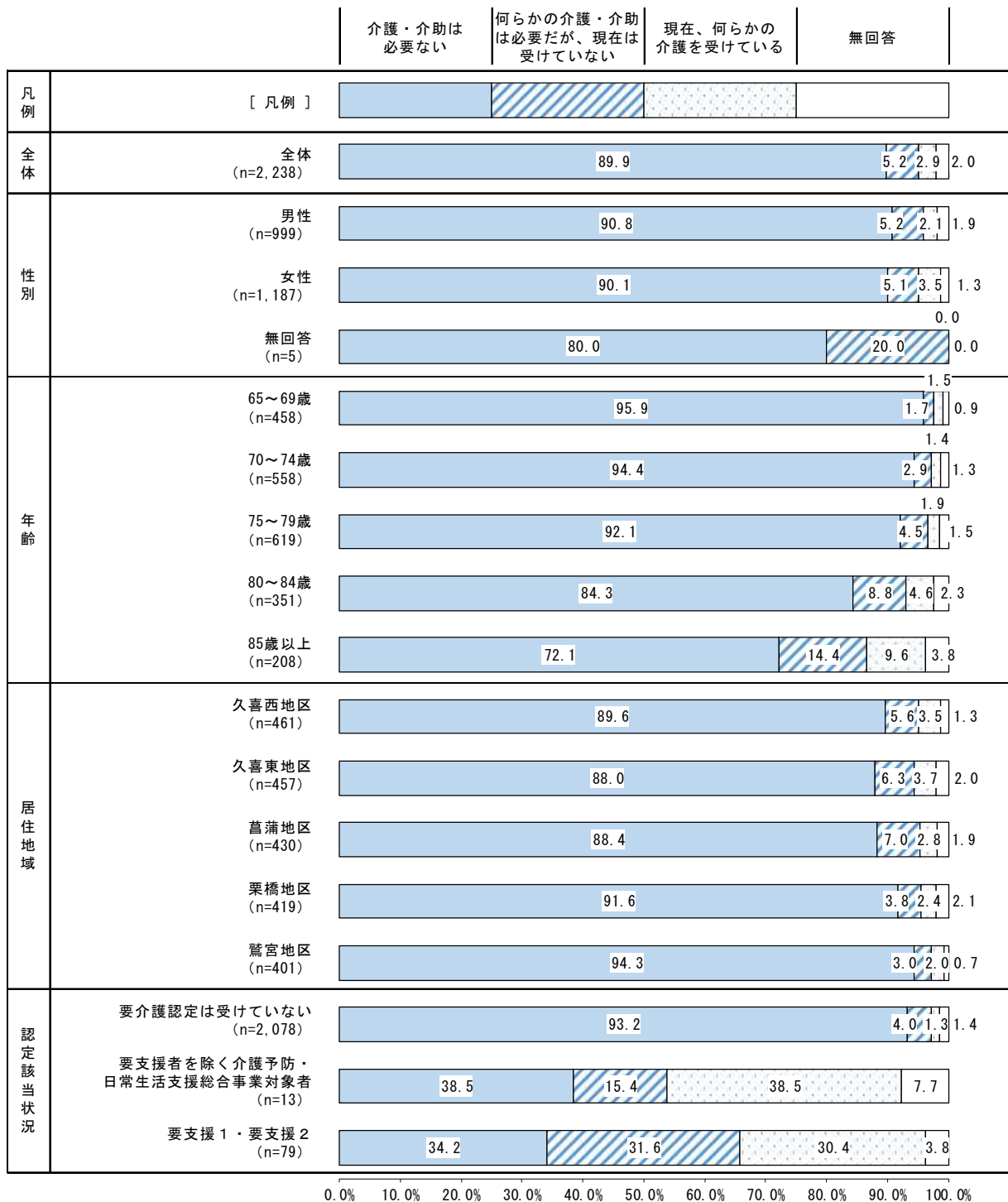
【全体】

- 日常生活での介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が89.9%で最も多く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.2%、「現在、何らかの介護を受けている」が2.9%となっています。

【年齢】

- 年齢が高いほど「介護・介助は必要ない」が少なくなる傾向がみられます。

【日常生活での介護・介助の必要性】

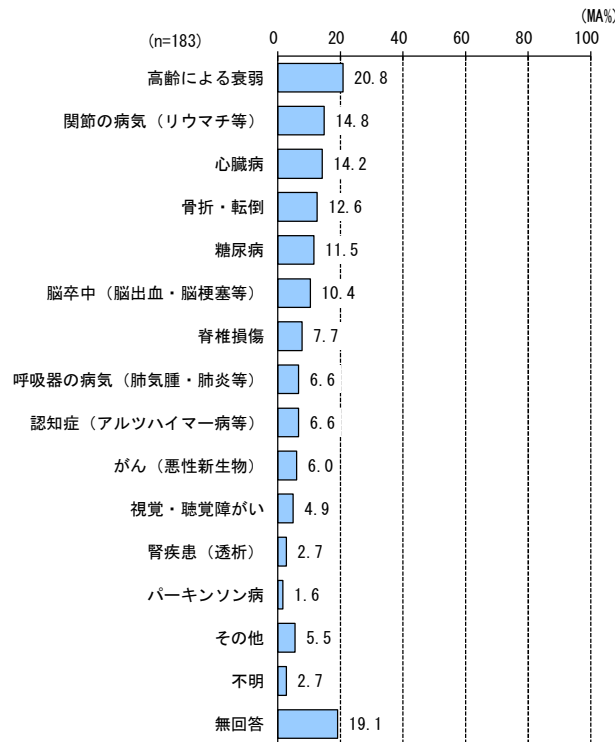


(3) 家族構成

●問7-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】**
 ○ 介護・介助が必要になった主な原因について、「高齢による衰弱」が 20.8%で最も多く、次いで「関節の病気（リウマチ等）」が 14.8%、「心臓病」が 14.2%となっています。
- 【性別】**
 ○ 女性では、「関節の病気（リウマチ等）」「高齢による衰弱」が 21.6%で最も多くなっています。
- 【年齢】**
 ○ 75～79 歳では、「糖尿病」が 20.0%で最も多くなっています。
- 【居住地域】**
 ○ 久喜東地区では、「関節の病気（リウマチ等）」が 19.6%で最も多くなっています。
 ○ 栗橋地区では、「糖尿病」が 19.2%で最も多くなっています。

【介護・介助が必要になった主な原因 (MA)】



単位：％

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		(脳卒中 ・脳梗塞等)	心臓病	がん (悪性新生物)	呼吸器の病 気 (肺炎等)	(関節の病 気 (リウマチ等))	認知症 (アルツハイ マー病等)	パーキンソン 病	糖尿病	
全体	183	10.4	14.2	6.0	6.6	14.8	6.6	1.6	11.5	
性別	男性	73	13.7	13.7	11.0	11.0	6.8	5.5	1.4	9.6
	女性	102	7.8	14.7	2.0	3.9	21.6	7.8	1.0	11.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-
年齢	65～69歳	15	20.0	6.7	-	-	20.0	13.3	-	-
	70～74歳	24	8.3	8.3	8.3	12.5	12.5	4.2	4.2	-
	75～79歳	40	17.5	17.5	2.5	7.5	15.0	2.5	2.5	20.0
	80～84歳	47	4.3	14.9	10.6	-	19.1	4.3	-	12.8
	85歳以上	50	8.0	16.0	4.0	12.0	12.0	12.0	-	10.0
居住地	久喜西地区	42	7.1	9.5	7.1	4.8	11.9	7.1	2.4	9.5
	久喜東地区	46	13.0	17.4	8.7	8.7	19.6	4.3	2.2	6.5
	菖蒲地区	42	16.7	16.7	-	9.5	16.7	7.1	-	9.5
	栗橋地区	26	3.8	11.5	3.8	7.7	11.5	11.5	-	19.2
	鷺宮地区	20	5.0	15.0	10.0	-	15.0	5.0	-	15.0
認定状況	要介護認定は受けていない	112	10.7	13.4	6.3	8.9	15.2	8.9	-	12.5
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	7	-	14.3	14.3	-	14.3	-	-	-
	要支援1・要支援2	49	8.2	10.2	4.1	2.0	16.3	2.0	4.1	8.2

単位：％

	母数 (n)	介護・介助が必要になった主な原因(MA)								
		腎疾患 (透析)	視覚・聴覚障 がい	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰 弱	その他	不明	無回答	
全体	183	2.7	4.9	12.6	7.7	20.8	5.5	2.7	19.1	
性別	男性	73	-	5.5	5.5	6.8	21.9	8.2	4.1	19.2
	女性	102	3.9	4.9	17.6	8.8	21.6	3.9	1.0	19.6
	無回答	1	-	-	-	-	-	100.0	-	-
年齢	65～69歳	15	-	6.7	13.3	-	-	13.3	6.7	6.7
	70～74歳	24	4.2	-	-	16.7	-	-	8.3	33.3
	75～79歳	40	-	2.5	10.0	10.0	▼ 5.0	7.5	2.5	20.0
	80～84歳	47	4.3	6.4	19.1	8.5	29.8	8.5	-	17.0
	85歳以上	50	2.0	8.0	14.0	4.0	△ 44.0	2.0	2.0	18.0
居住地	久喜西地区	42	2.4	9.5	△ 23.8	7.1	26.2	4.8	-	21.4
	久喜東地区	46	2.2	2.2	4.3	2.2	17.4	6.5	2.2	21.7
	菖蒲地区	42	4.8	7.1	11.9	9.5	23.8	7.1	-	21.4
	栗橋地区	26	-	-	7.7	15.4	15.4	3.8	3.8	19.2
	鷺宮地区	20	-	5.0	15.0	10.0	25.0	5.0	15.0	5.0
認定状況	要介護認定は受けていない	112	1.8	5.4	10.7	7.1	17.0	4.5	3.6	18.8
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	7	-	-	14.3	-	△ 42.9	-	-	14.3
	要支援1・要支援2	49	4.1	6.1	16.3	12.2	28.6	8.2	2.0	20.4

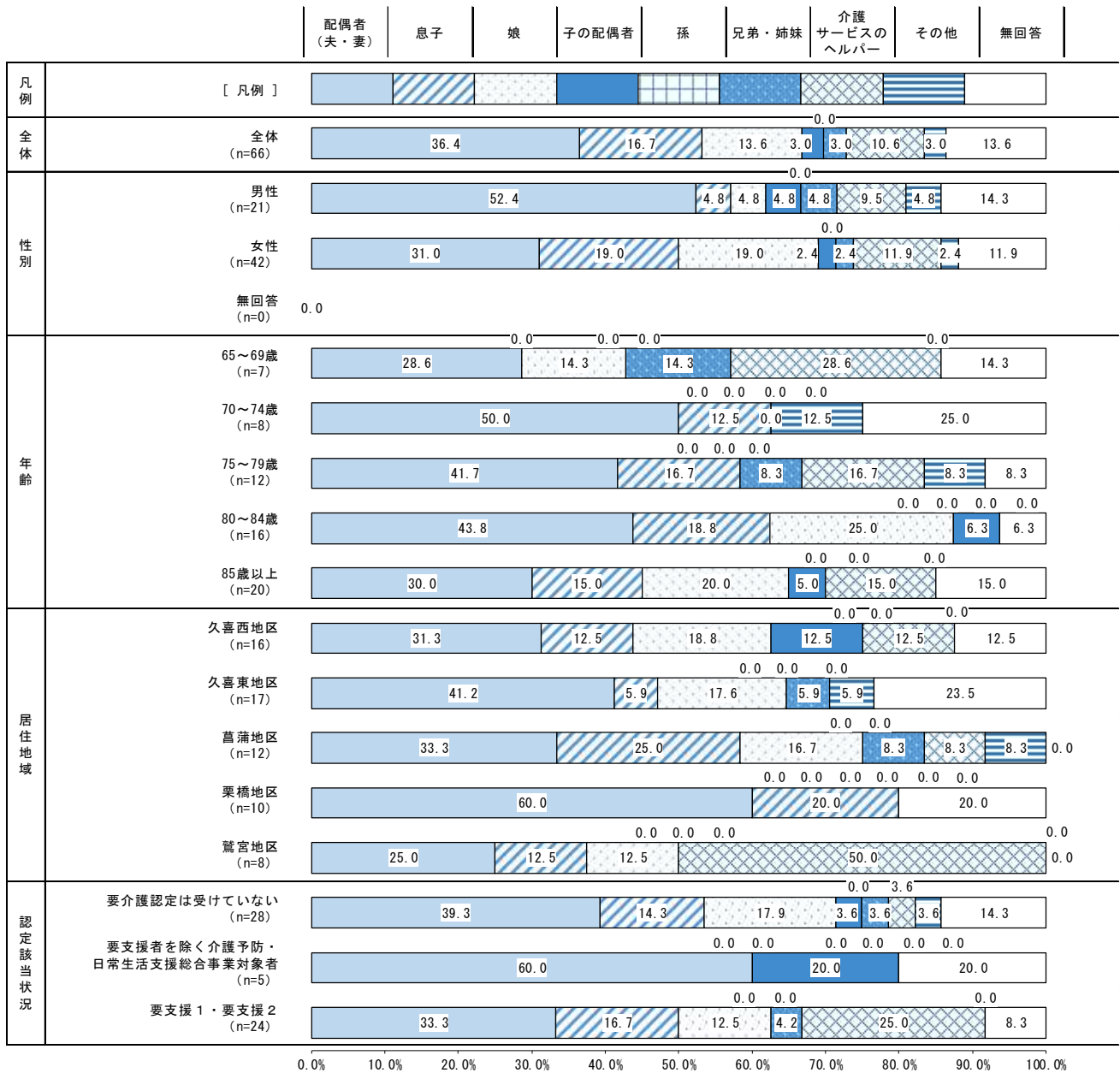
(4) 主な介護・介助者

●問7-2 主にどなたの介護・介助を受けていますか。(1つに○)

【全体】

○ 主な介護・介助者について、「配偶者（夫・妻）」が 36.4%で最も多く、次いで「息子」が 16.7%、「娘」が 13.6%となっています。

【主な介護・介助者】



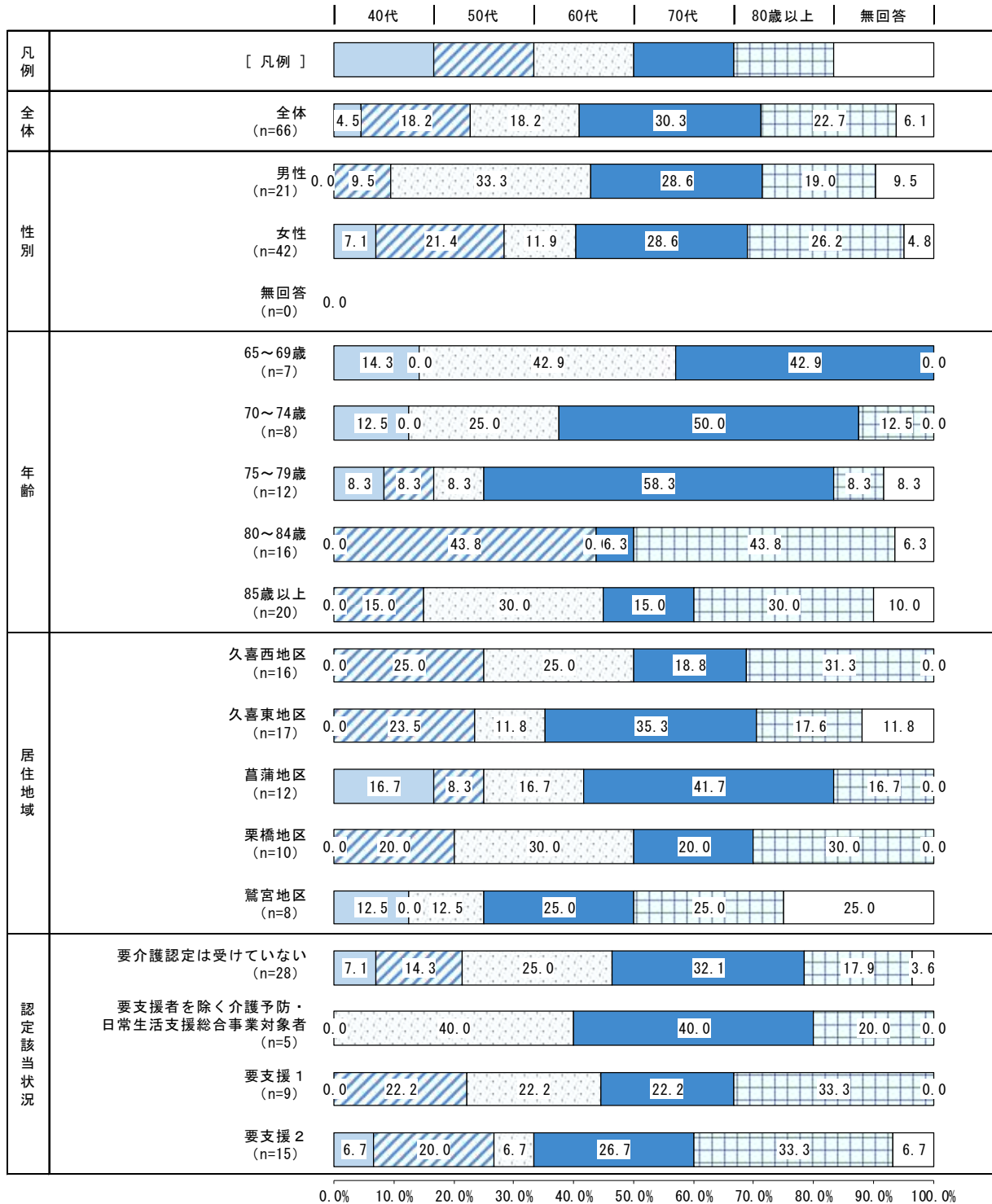
(5) 主な介護者の年齢

●問7-3 主な介護者・介助者の方の年齢について、ご回答ください。(1つに○)

【全体】

○ 主な介護者の年齢について、「70代」が30.3%で最も多く、次いで「80歳以上」が22.7%、「50代」「60代」が18.2%となっています。

【主な介護者の年齢】



※17歳以下、18～19歳、20代、30代、分からないは回答なし

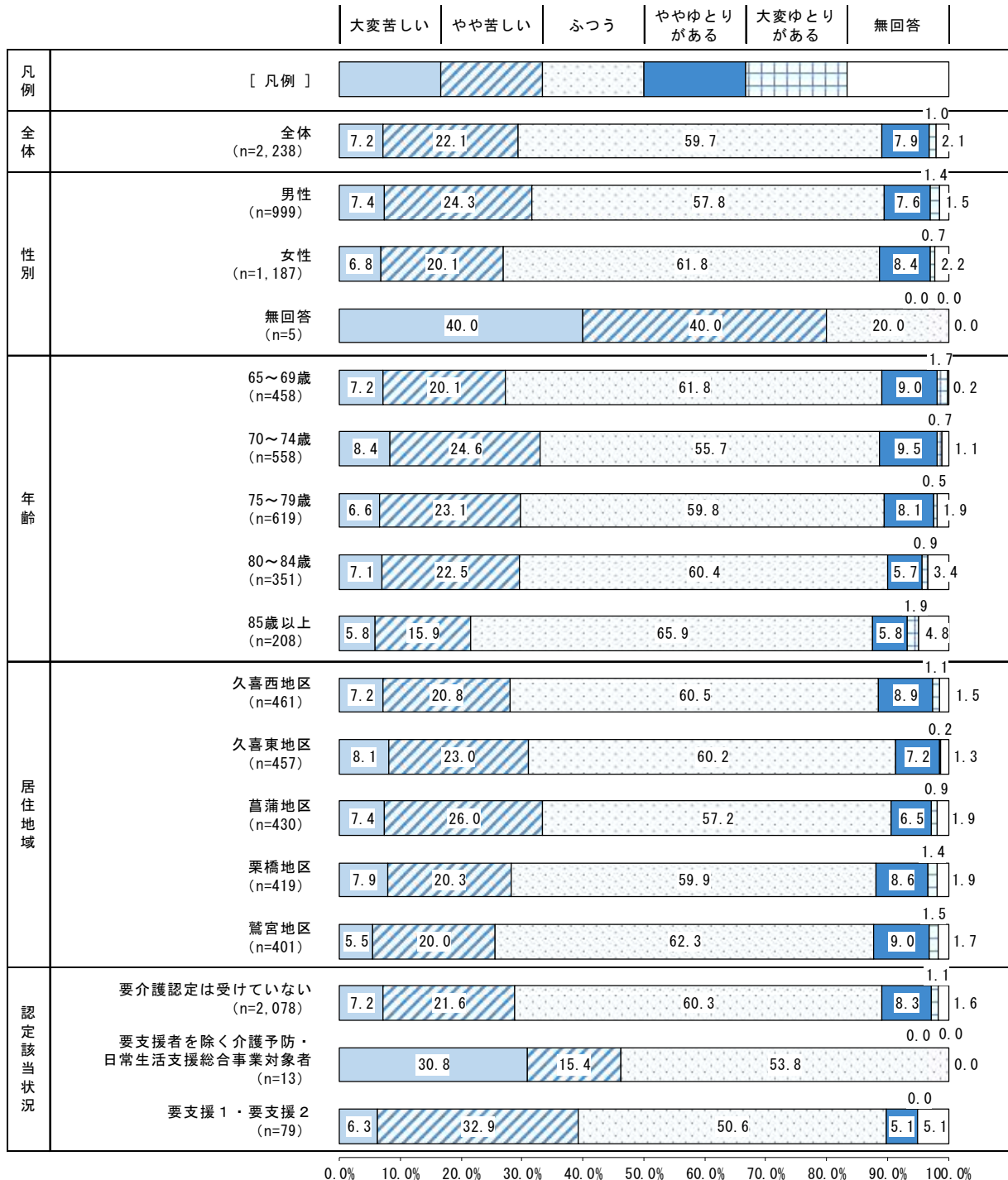
(6) 経済的にみた現在の暮らしの状況

●問8 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。(1つに○)

【全体】

○ 経済的にみた現在の暮らしの状況について、「ふつう」が 59.7%で最も多く、次いで「やや苦しい」が 22.1%、「ややゆとりがある」が 7.9%となっています。

【経済的にみた現在の暮らしの状況】



3. からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか

●問9 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 階段を手すりや壁をつたわずに昇れるかについて、「できるし、している」が61.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が21.9%、「できない」が14.7%となっています。

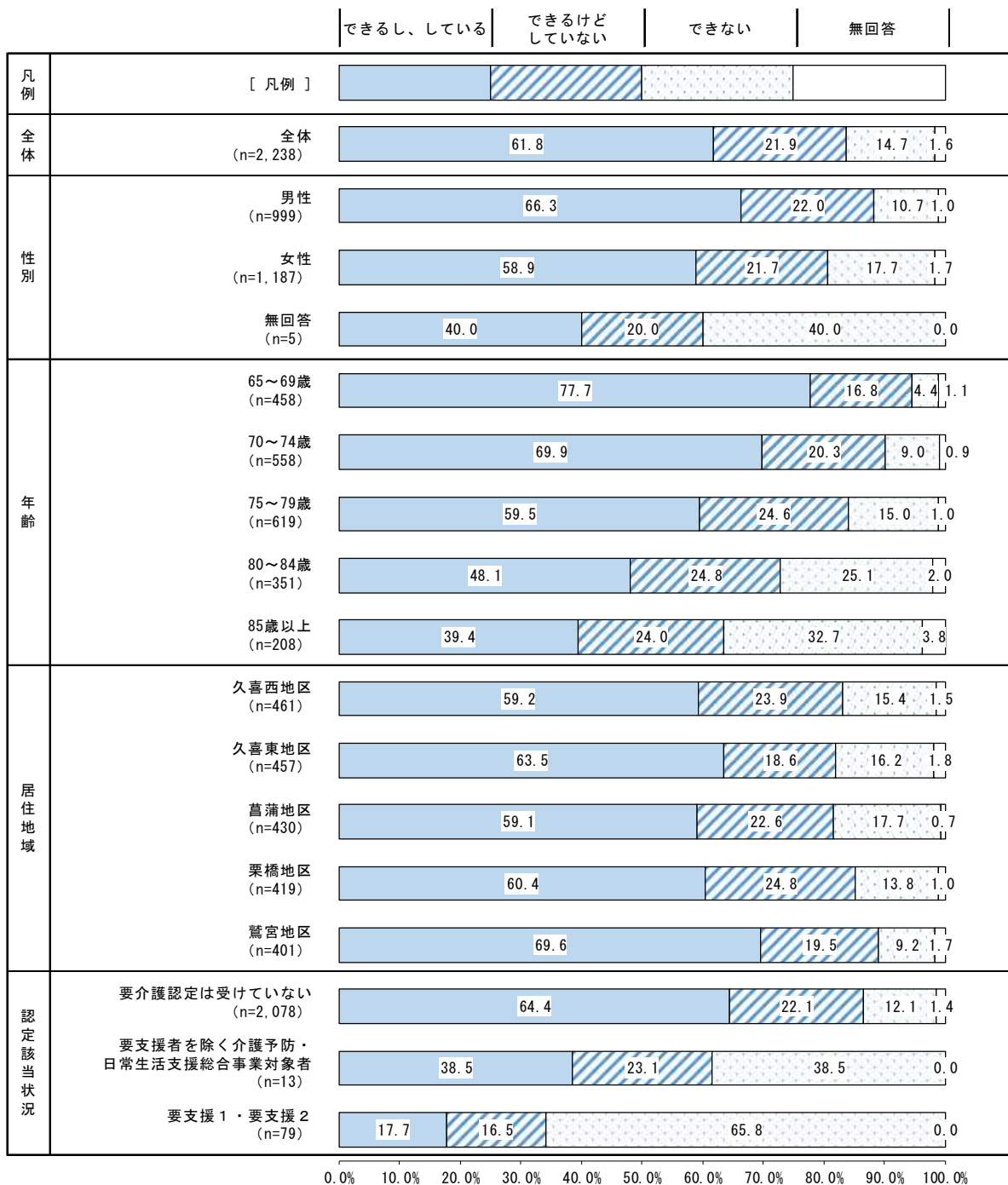
【性別】

○ 「できない」は女性が17.7%と、男性の10.7%を上回っています。

【年齢】

○ 年齢が高いほど「できるし、している」が少なくなる傾向がみられます。

【階段を手すりや壁をつたわずに昇れるか】

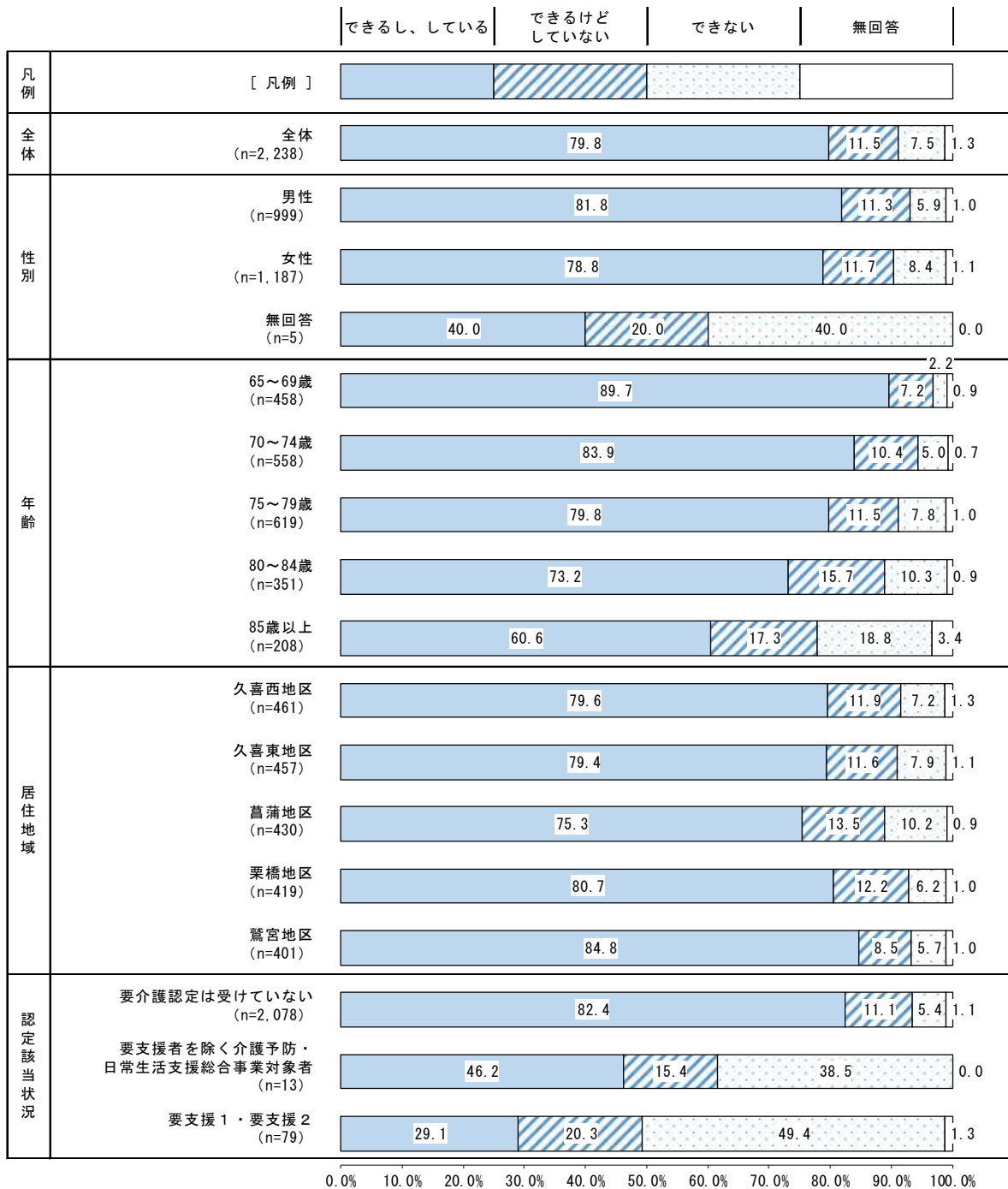


(2) 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか

●問10 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

- 【全体】
- 椅子から何もつかまらずに立ち上がれるかについて、「できるし、している」が79.8%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が11.5%、「できない」が7.5%となっています。
- 【年齢】
- 年齢が高いほど「できるし、している」が少なくなる傾向がみられます。
 - 85歳以上では、「できない」が18.8%となっています。

【椅子から何もつかまらずに立ち上がれるか】



(3) 15分位続けて歩けるか

●問11 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

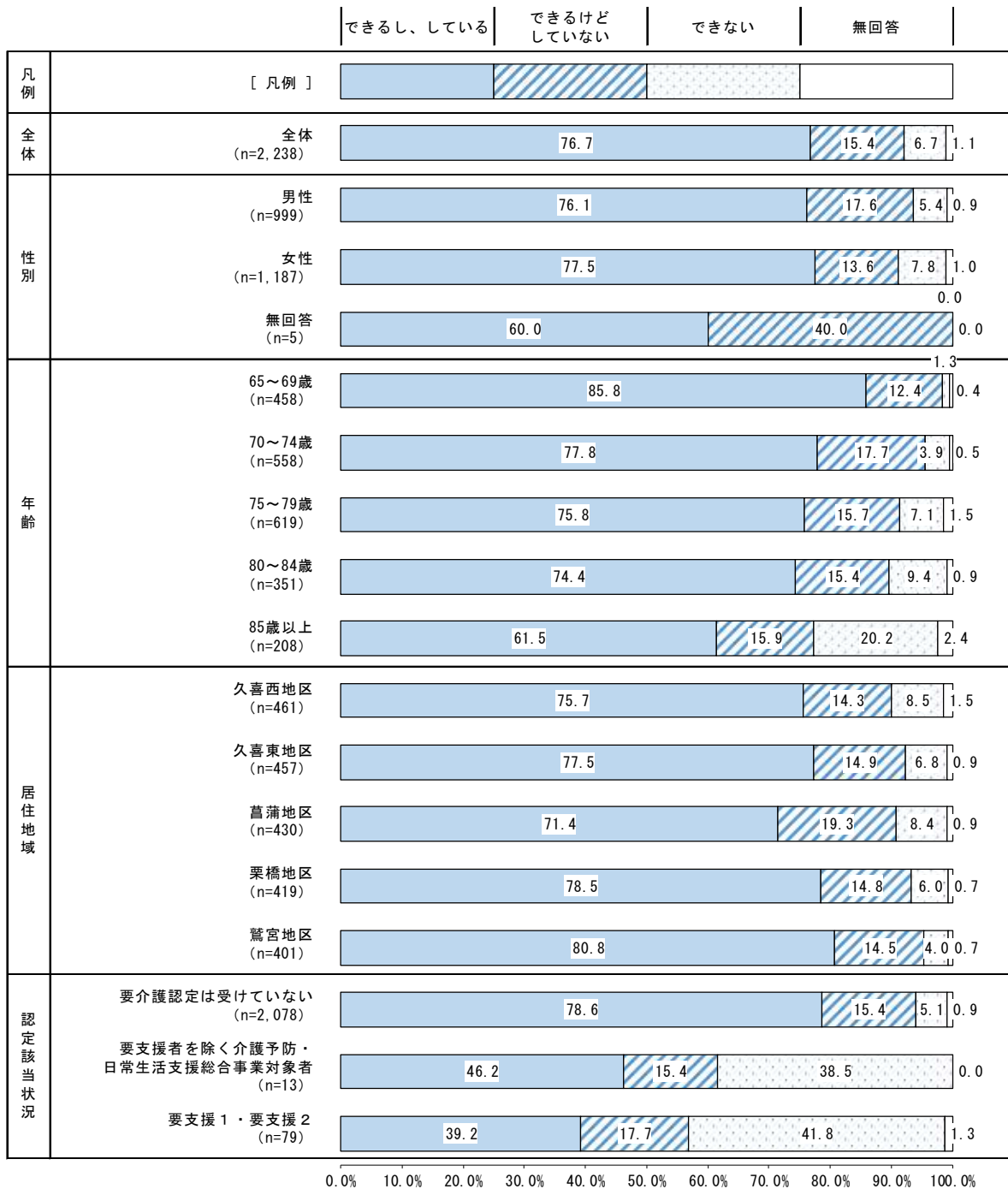
【全体】

○ 15分位続けて歩けるかについて、「できるし、している」が76.7%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が15.4%、「できない」が6.7%となっています。

【年齢】

- 年齢が高いほど「できるし、している」が少なくなる傾向がみられます。
- 85歳以上では、「できない」が20.2%となっています。

【15分位続けて歩けるか】



(4) 過去1年間の転倒経験

●問12 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

【全体】

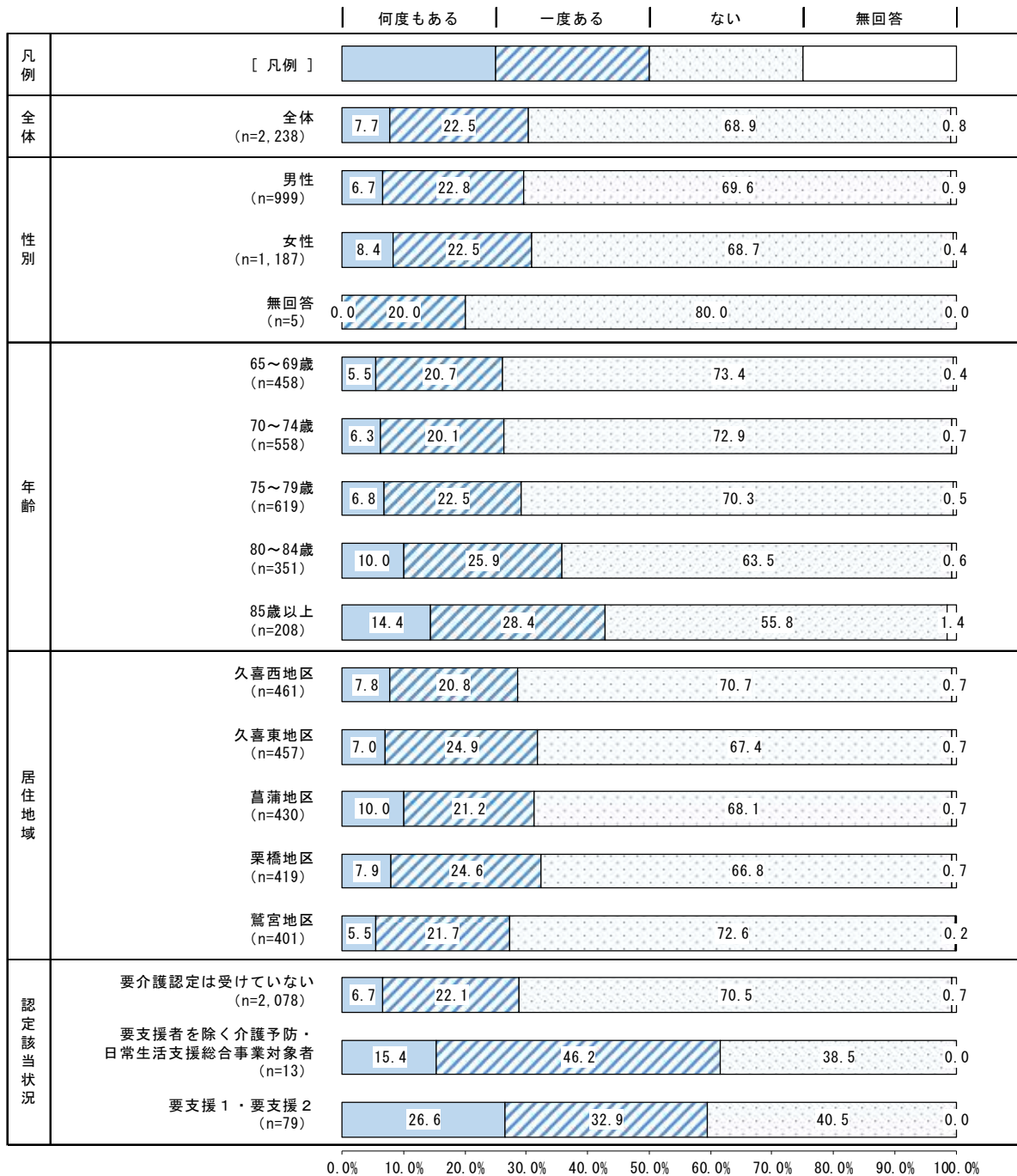
○ 過去1年間の転倒経験について、「ない」が68.9%で最も多く、次いで「一度ある」が22.5%、「何でもある」が7.7%となっています。

【年齢】

○ 年齢が高いほど「何でもある」が多くなる傾向がみられます。

○ 「何でもある」は80～84歳では10.0%、85歳以上では14.4%となっています。

【過去1年間の転倒経験】



(5) 転倒に対する不安

●問13 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

【全体】

○ 転倒に対する不安について、「やや不安である」が41.0%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が23.1%、「不安でない」が19.9%となっています。

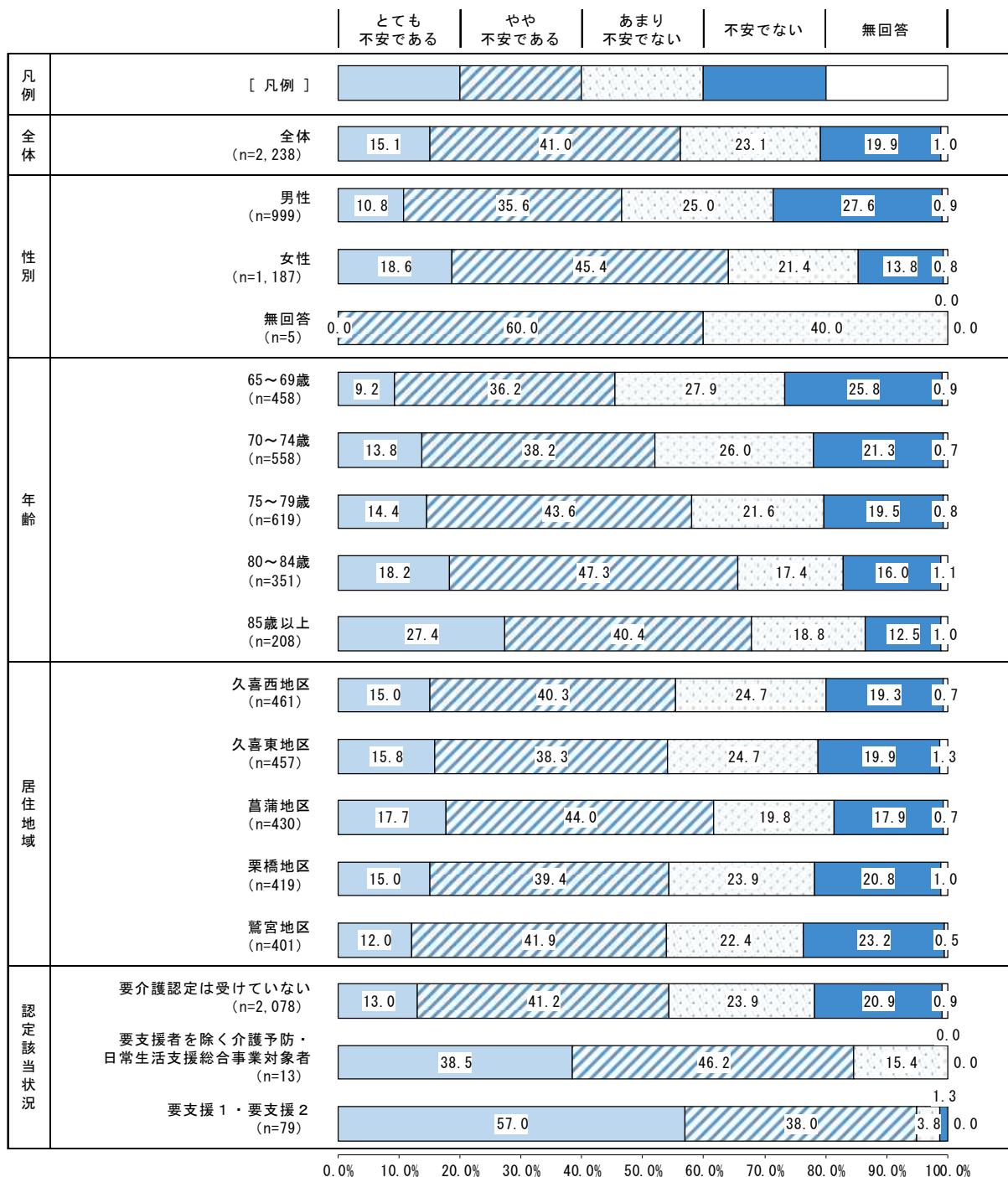
【性別】

○ 男性では、「不安でない」が27.6%、「あまり不安でない」が25.0%となっています。
 ○ 女性では、「やや不安である」が45.4%、「とても不安である」が18.6%となっています。

【年齢】

○ 年齢が高いほど「とても不安である」が多くなる傾向がみられます。

【転倒に対する不安】

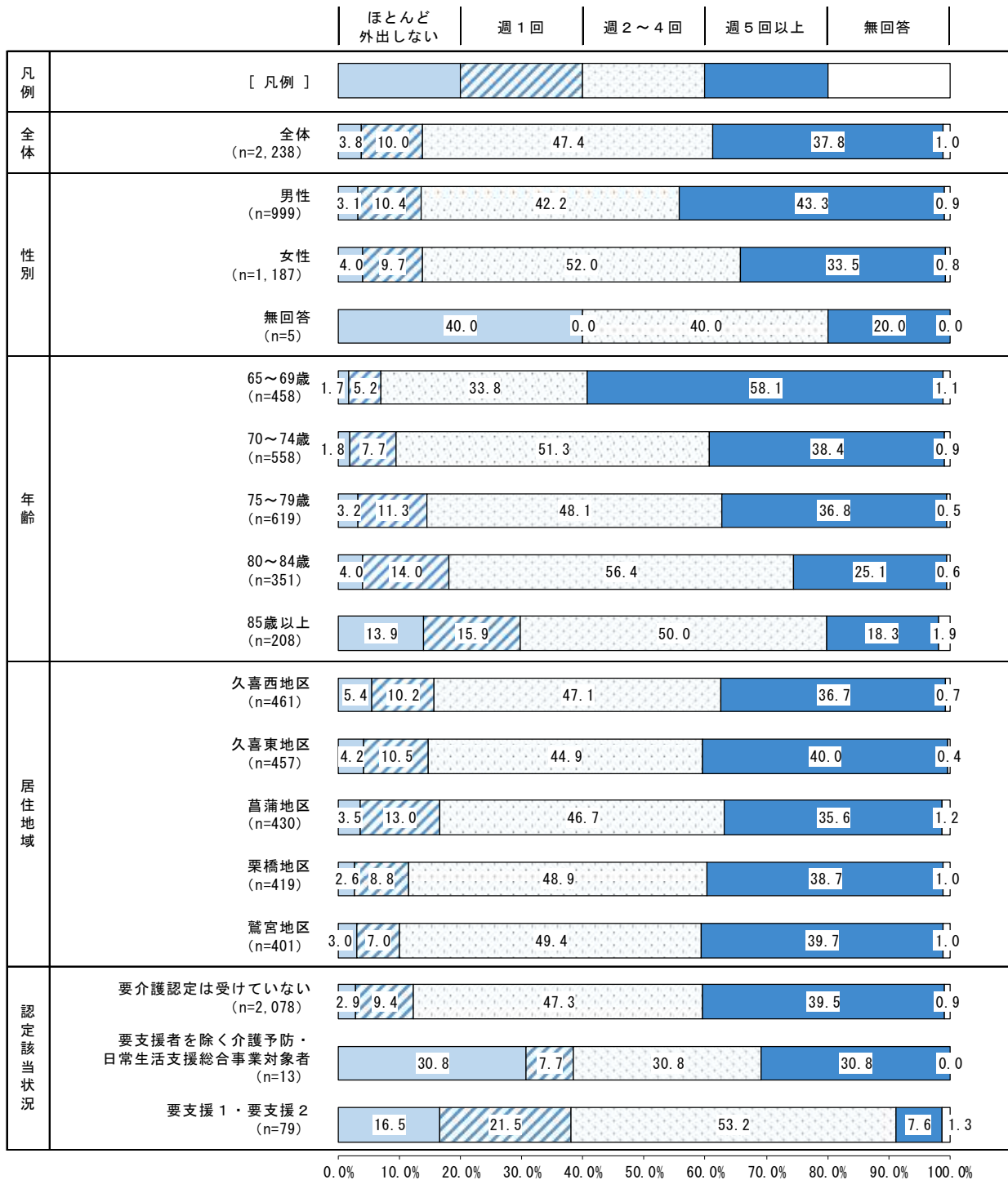


(6)週に1回以上の外出

●問14 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

- 【全体】
 ○ 週に1回以上の外出について、「週2～4回」が47.4%で最も多く、次いで「週5回以上」が37.8%、「週1回」が10.0%となっています。
- 【年齢】
 ○ 年齢が高いほど「ほとんど外出しない」が多くなる傾向がみられます。
 ○ 「ほとんど外出しない」は85歳以上が13.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【週に1回以上の外出】



(7) 外出をする際の移動手段

●問15 外出する際の移動手段は何ですか。(1つに○)

【全体】

- 外出をする際の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が 61.5%で最も多く、次いで「徒歩」が 59.6%、「自転車」が 38.3%となっています。

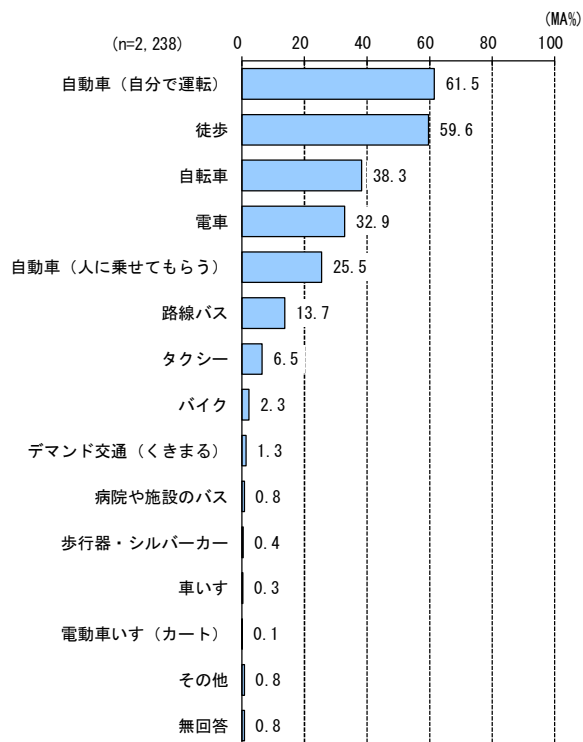
【性別】

- 女性では、「徒歩」が 59.1%で最も多くなっています。

【年齢】

- 80～84 歳、85 歳以上では、「徒歩」が最も多くなっています。

【外出をする際の移動手段(MA)】



単位：％

		母数 (n)	外出の際の移動手段(MA)							
			徒歩	自転車	バイク	(自動車 自分で運転)	(自動車 人に乗せてもらう)	電車	路線バス	デマンド交通 (くきまど)
全体		2,238	59.6	38.3	2.3	61.5	25.5	32.9	13.7	1.3
性別	男性	999	60.6	40.7	3.3	△ 76.6	▼ 12.3	32.1	12.1	0.9
	女性	1,187	59.1	36.7	1.2	▼ 49.4	△ 37.0	33.8	14.9	1.5
	無回答	5	△ 80.0	40.0	△ 20.0	▼ 20.0	△ 40.0	△ 80.0	△ 40.0	△ 20.0
年齢	65～69歳	458	62.4	36.0	3.7	△ 74.2	20.1	41.9	14.2	0.2
	70～74歳	558	59.7	37.6	2.9	△ 71.5	23.1	35.7	12.9	0.4
	75～79歳	619	60.1	42.6	2.3	64.5	24.6	31.8	12.6	1.0
	80～84歳	351	60.4	37.9	0.3	▼ 47.0	29.9	28.5	16.8	3.1
	85歳以上	208	52.9	35.6	-	▼ 24.0	△ 41.3	▼ 18.3	13.0	3.8
居住地域	久喜西地区	461	59.4	39.0	1.7	58.1	24.9	33.6	17.1	0.2
	久喜東地区	457	66.3	45.3	2.4	55.1	23.2	39.6	22.8	1.1
	菖蒲地区	430	▼ 48.1	33.0	2.8	69.8	27.0	▼ 16.5	15.1	1.2
	栗橋地区	419	58.2	33.9	1.2	64.9	28.2	34.1	▼ 2.9	2.9
	鷺宮地区	401	67.6	41.1	2.7	62.3	25.7	41.9	8.2	1.2
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	60.6	39.9	2.2	63.7	24.7	34.4	14.1	1.0
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼ 38.5	38.5	7.7	▼ 23.1	23.1	▼ 15.4	-	-
	要支援1・要支援2	79	▼ 48.1	▼ 8.9	1.3	▼ 20.3	△ 48.1	▼ 10.1	10.1	8.9

単位：％

		母数 (n)	外出の際の移動手段(MA)						
			病院や施設のバス	車いす	電動車いす(カート)	歩行器・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体		2,238	0.8	0.3	0.1	0.4	6.5	0.8	0.8
性別	男性	999	0.4	0.1	-	-	4.5	0.7	0.6
	女性	1,187	1.2	0.4	0.2	0.8	7.9	0.8	0.6
	無回答	5	-	-	-	-	△ 40.0	-	-
年齢	65～69歳	458	0.4	-	-	0.2	2.8	0.2	0.9
	70～74歳	558	0.4	0.2	-	-	3.4	0.2	0.5
	75～79歳	619	0.3	0.3	-	-	6.6	0.6	0.2
	80～84歳	351	1.7	0.3	-	0.6	11.4	1.7	0.6
	85歳以上	208	2.9	1.0	1.0	2.9	13.5	2.4	1.4
居住地域	久喜西地区	461	1.1	0.4	0.2	0.4	7.6	1.1	0.7
	久喜東地区	457	0.4	-	-	-	6.6	-	0.2
	菖蒲地区	430	0.9	0.7	-	0.9	2.6	0.9	0.7
	栗橋地区	419	0.7	0.2	-	0.5	6.2	1.7	0.7
	鷺宮地区	401	1.0	-	0.2	0.2	9.2	0.5	0.5
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	0.4	0.0	-	0.1	5.9	0.6	0.6
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	-	-	7.7	-	-	7.7	-
	要支援1・要支援2	79	8.9	5.1	1.3	6.3	△ 22.8	3.8	1.3

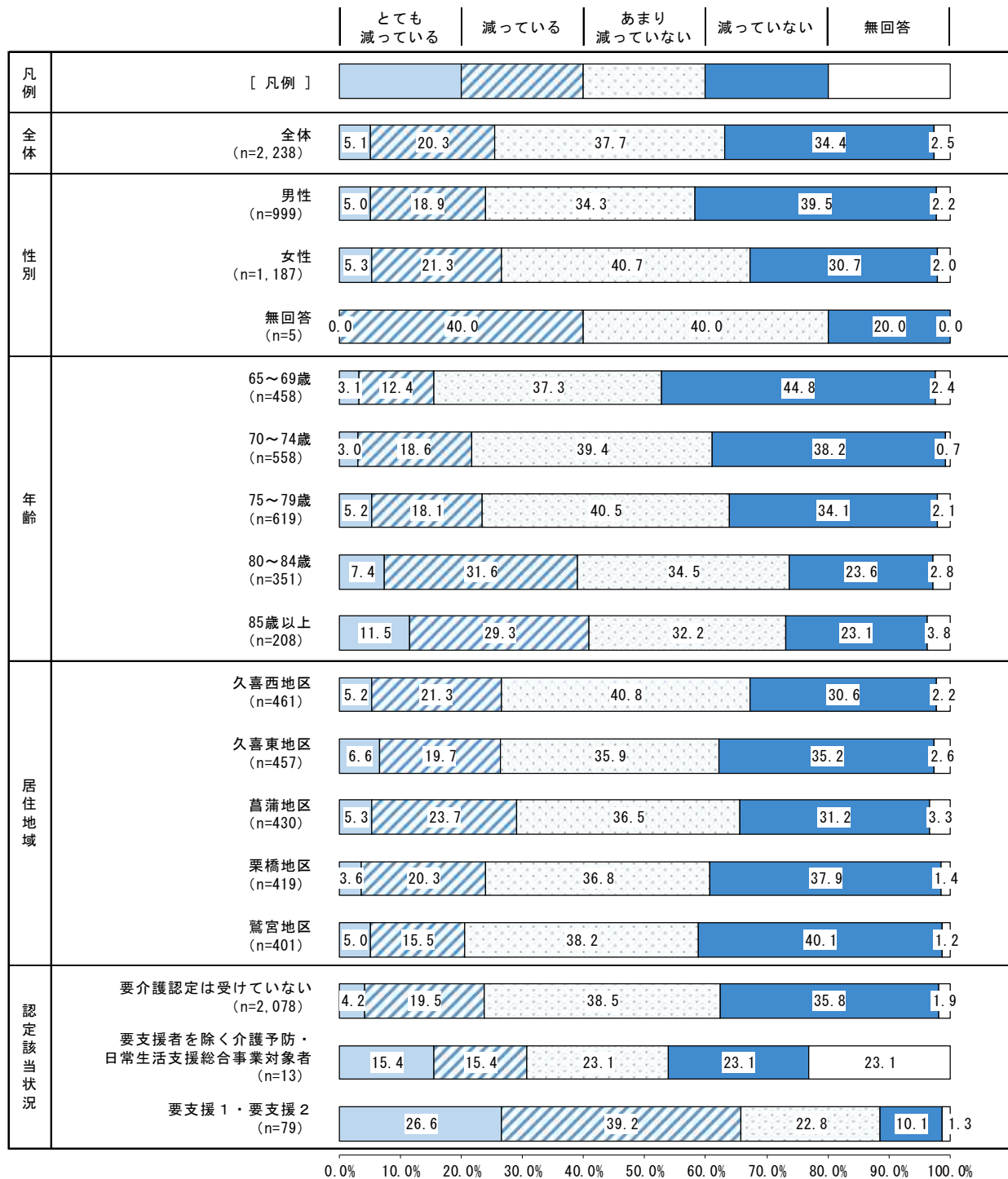
(8) 昨年と比べた際の外出の頻度

●問16 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 昨年と比べた際の外出の頻度について、「あまり減っていない」が 37.7%で最も多く、次いで「減っていない」が 34.4%、「減っている」が 20.3%となっています。

【昨年と比べた際の外出の頻度】



(9) 外出を控えているか

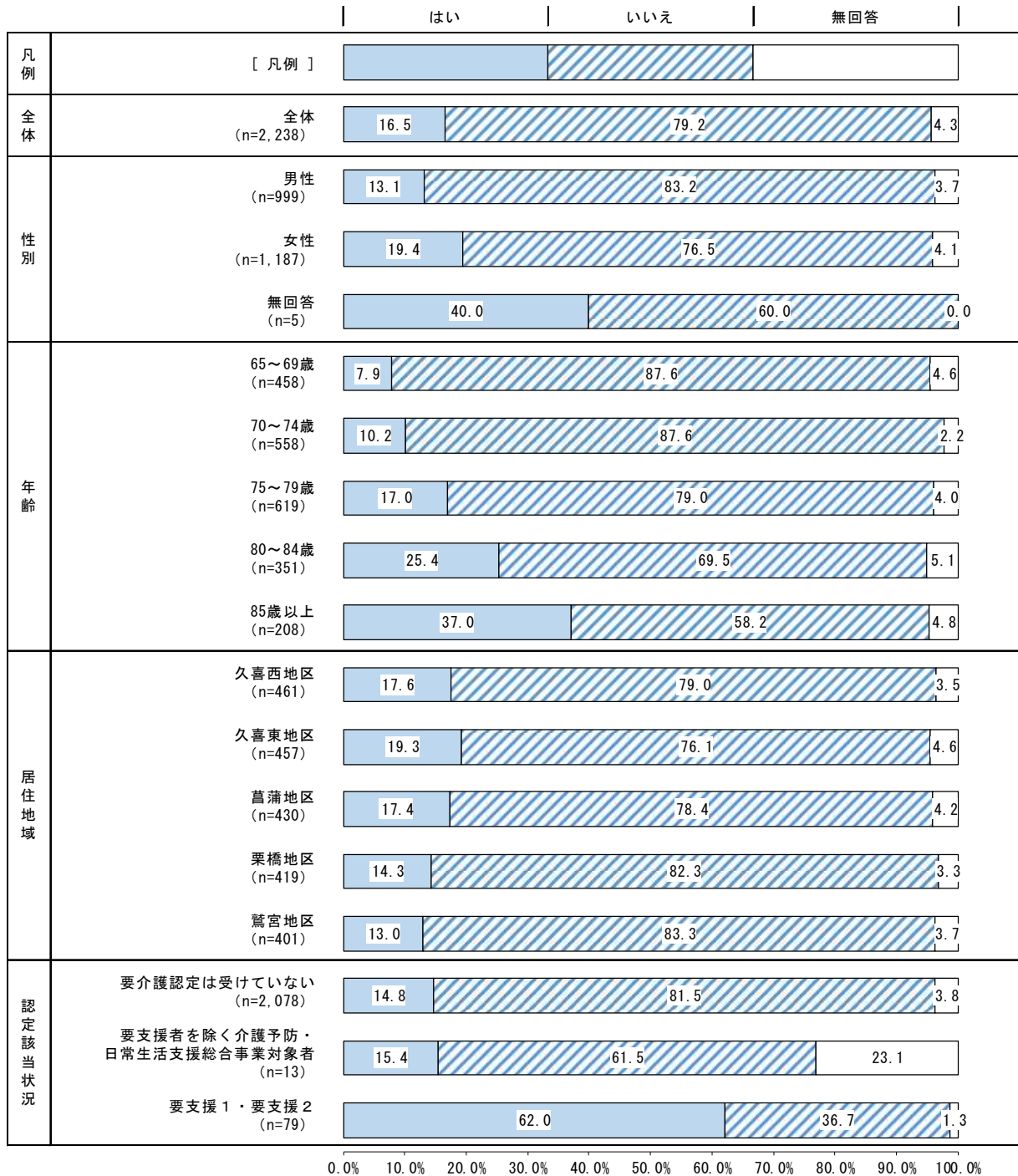
●問17 外出を控えていますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 外出を控えているかについて、「はい」が16.5%、「いいえ」が79.2%となっています。

【性別】
 ○ 「はい」は女性が19.4%と、男性の13.1%を上回っています。

【年齢】
 ○ 年齢が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【外出を控えているか】



(10) 外出を控えている理由

●問17-1 外出を控えている理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

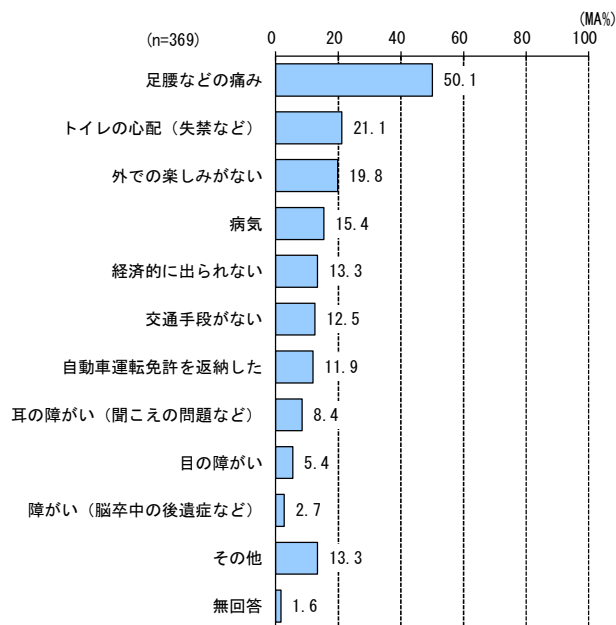
【全体】

- 外出を控えている理由について、「足腰などの痛み」が 50.1%で最も多く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が 21.1%、「外での楽しみがない」が 19.8%となっています。

【性別】

- 男性では、「外での楽しみがない」が 29.8%と、「足腰などの痛み」に次いで多くなっています。

【外出を控えている理由(MA)】



単位：％

	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)						
		病 気	障 が い (脳 卒 中 の 後 遺 症 な ど)	足 腰 な ど の 痛 み	(ト イ レ の 心 配 (失 禁 な ど))	耳 の 障 が い (聞 こ え の 問 題 な ど)	目 の 障 が い	
全体	369	15.4	2.7	50.1	21.1	8.4	5.4	
性別	男性	131	16.0	3.1	45.8	21.4	10.7	6.1
	女性	230	15.7	2.6	52.2	21.3	7.4	4.8
	無回答	2	-	-	△100.0	△50.0	-	-
年齢	65～69歳	36	19.4	2.8	▼38.9	13.9	2.8	2.8
	70～74歳	57	24.6	1.8	▼29.8	▼10.5	-	5.3
	75～79歳	105	20.0	5.7	48.6	23.8	5.7	5.7
	80～84歳	89	12.4	2.2	57.3	29.2	13.5	5.6
	85歳以上	77	▼5.2	-	△63.6	20.8	15.6	5.2
居住地域	久喜西地区	81	16.0	3.7	54.3	21.0	12.3	3.7
	久喜東地区	88	15.9	4.5	56.8	23.9	9.1	9.1
	菫蒲地区	75	20.0	1.3	49.3	17.3	6.7	2.7
	栗橋地区	60	10.0	1.7	▼40.0	21.7	6.7	3.3
	鷺宮地区	52	15.4	1.9	46.2	25.0	3.8	7.7
認定状況	要介護認定は受けていない	307	15.6	2.0	46.9	20.8	9.1	5.5
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	2	△50.0	-	50.0	-	-	-
	要支援1・要支援2	49	16.3	6.1	△65.3	26.5	4.1	4.1

単位：％

	母数 (n)	外出を控えている理由(MA)						
		外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	返 自 動 車 運 転 免 許 を	そ の 他	無 回 答	
全体	369	19.8	13.3	12.5	11.9	13.3	1.6	
性別	男性	131	△29.8	12.2	7.6	16.0	10.7	0.8
	女性	230	13.9	13.0	14.3	9.1	15.2	2.2
	無回答	2	-	△100.0	△50.0	-	-	-
年齢	65～69歳	36	△36.1	△36.1	8.3	2.8	16.7	-
	70～74歳	57	19.3	17.5	5.3	8.8	24.6	1.8
	75～79歳	105	21.9	14.3	12.4	9.5	14.3	1.9
	80～84歳	89	13.5	6.7	12.4	15.7	7.9	2.2
	85歳以上	77	16.9	5.2	18.2	15.6	9.1	1.3
居住地域	久喜西地区	81	14.8	11.1	7.4	13.6	8.6	-
	久喜東地区	88	15.9	19.3	11.4	17.0	12.5	1.1
	菫蒲地区	75	24.0	8.0	18.7	4.0	17.3	1.3
	栗橋地区	60	25.0	18.3	15.0	13.3	20.0	3.3
	鷺宮地区	52	25.0	7.7	7.7	9.6	7.7	1.9
認定状況	要介護認定は受けていない	307	22.1	14.3	11.1	12.1	15.0	2.0
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	2	-	-	-	-	-	-
	要支援1・要支援2	49	▼6.1	8.2	18.4	4.1	6.1	-

4. 食べることについて

(1) BMI

●問18 あなたの身長と体重を教えてください。(枠内に数字を記入)

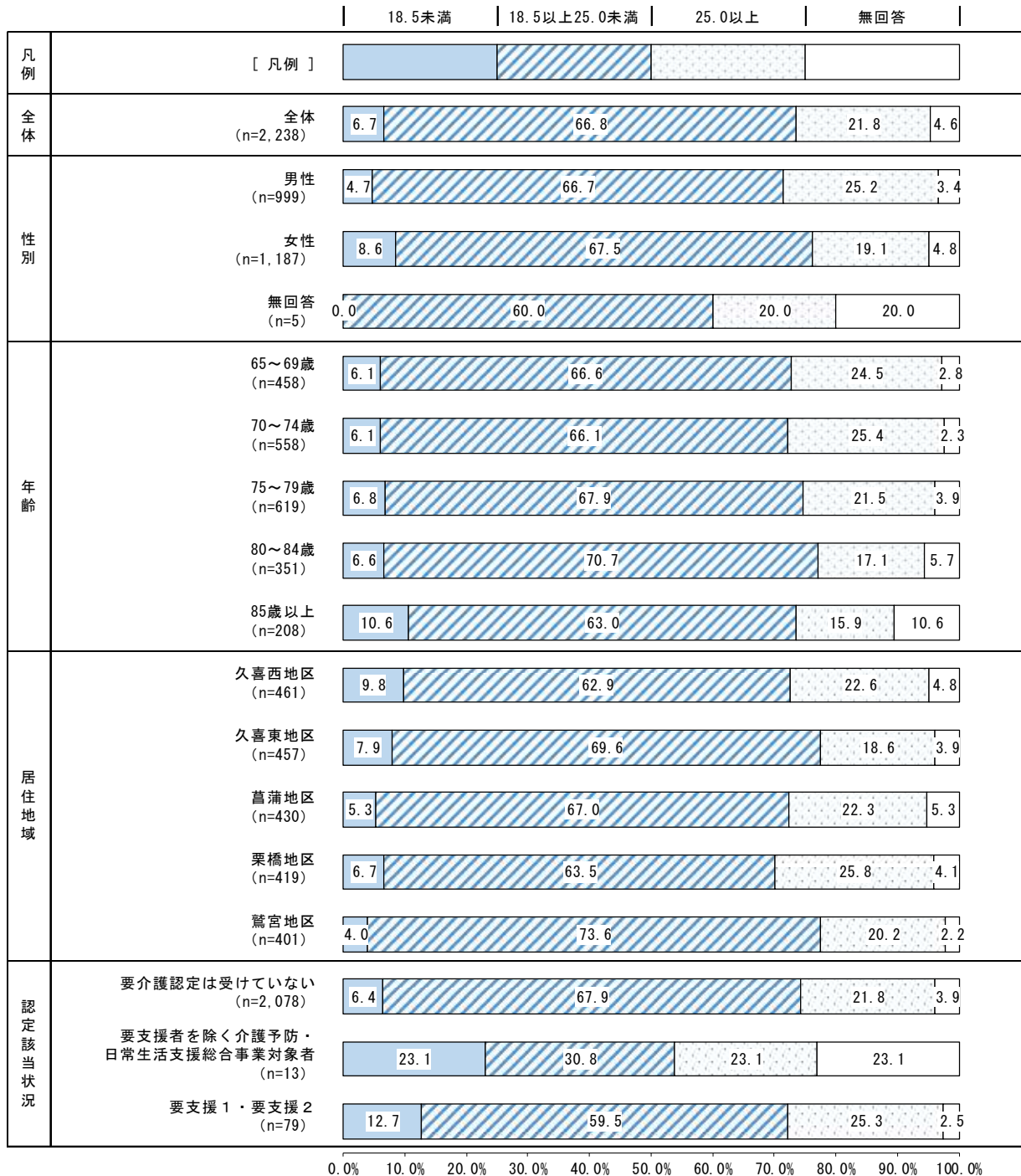
【全体】

- BMIについて、「18.5以上25.0未満」が66.8%で最も多く、次いで「25.0以上」が21.8%、「18.5未満」が6.7%となっています。

【性別】

- 「25.0以上」は男性が25.2%と、女性の19.1%を上回っています。

【BMI】

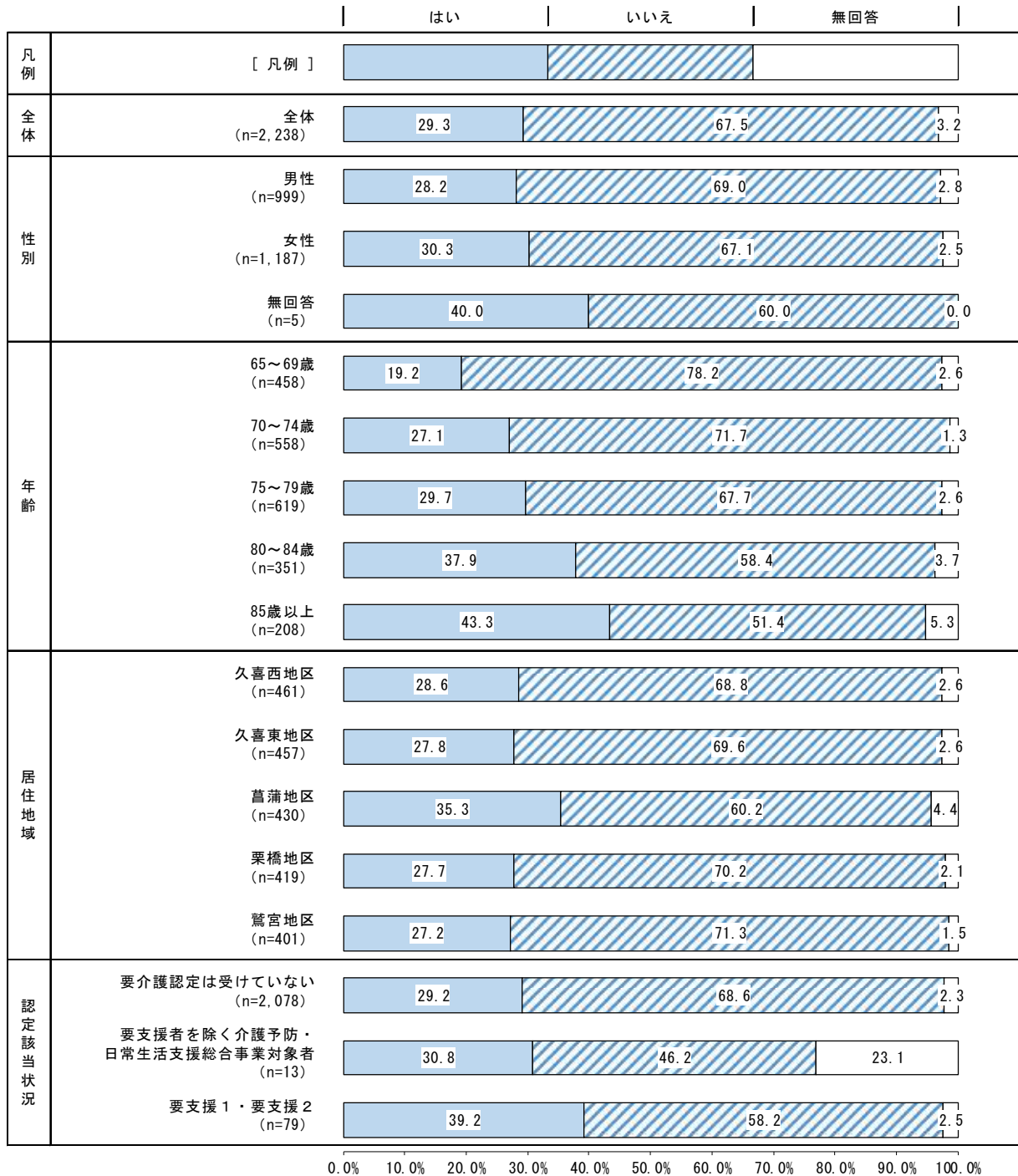


(2) 半年前と比べて固いものが食べにくくなったか

●問19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

- 【全体】
 ○ 半年前と比べて固いものが食べにくくなったかについて、「はい」が 29.3%、「いいえ」が 67.5%となっています。
- 【年齢】
 ○ 年齢が高いほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【半年前と比べて固いものが食べにくくなったか】

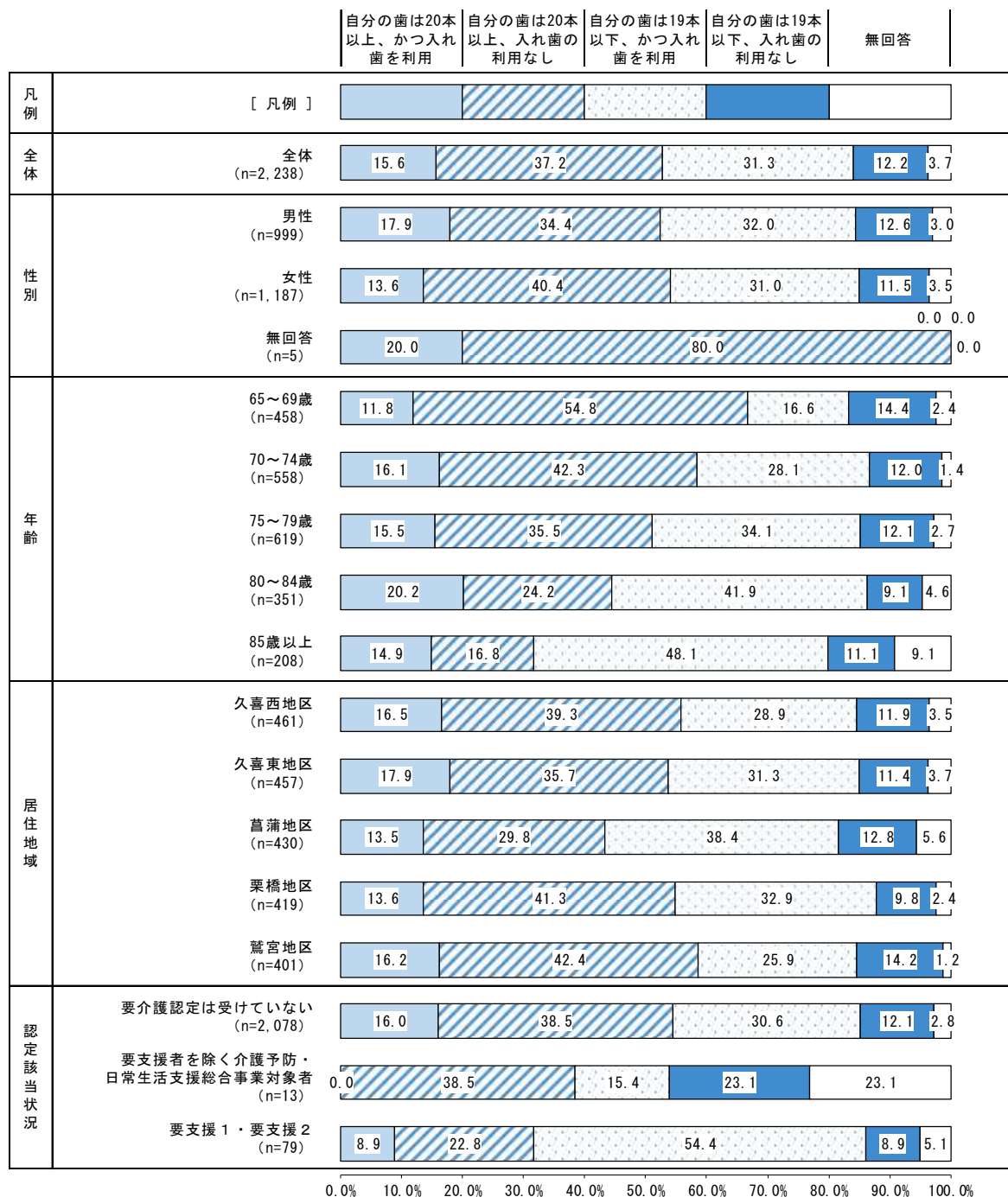


(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

- 問20 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）。（1つに○）

【全体】
○ 歯の数と入れ歯の利用状況について、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が37.2%で最も多く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が31.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が15.6%となっています。
【性別】
○ 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は女性が40.4%と、男性の34.4%を上回っています。
【年齢】
○ 年齢が高いほど「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が少なくなる傾向がみられます。

【歯の数と入れ歯の利用状況】

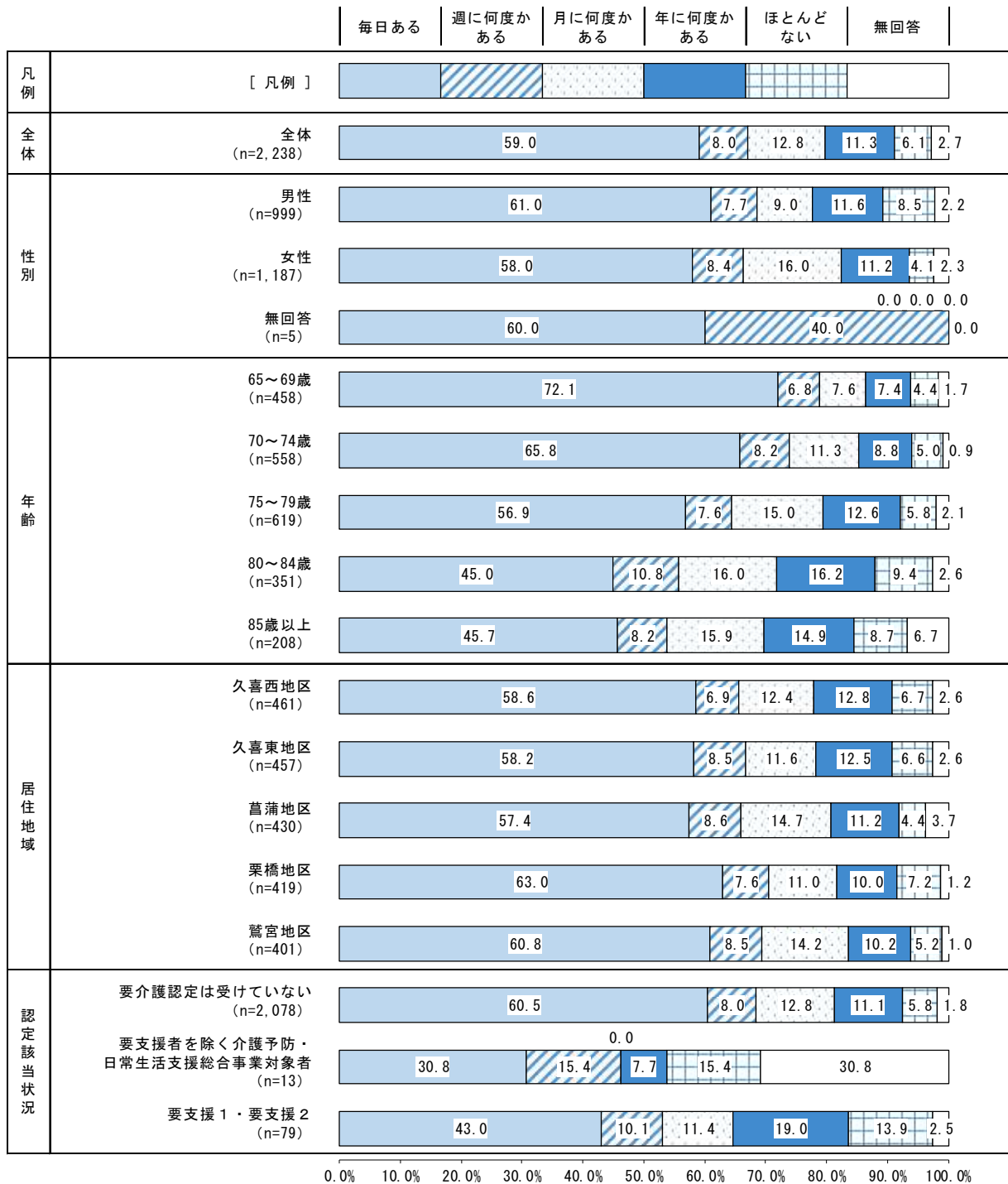


(4) 誰かと食事をとる機会

●問21 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 誰かと食事をとる機会について、「毎日ある」が 59.0%で最も多く、次いで「月に何度かある」が 12.8%、「年に何度かある」が 11.3%となっています。
 【年齢】
 ○ 「毎日ある」は、80～84歳では 45.0%、85歳以上では 45.7%と他の年代に比べて少なくなっています。

【誰かと食事をとる機会】



5. 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じるか

●問22 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

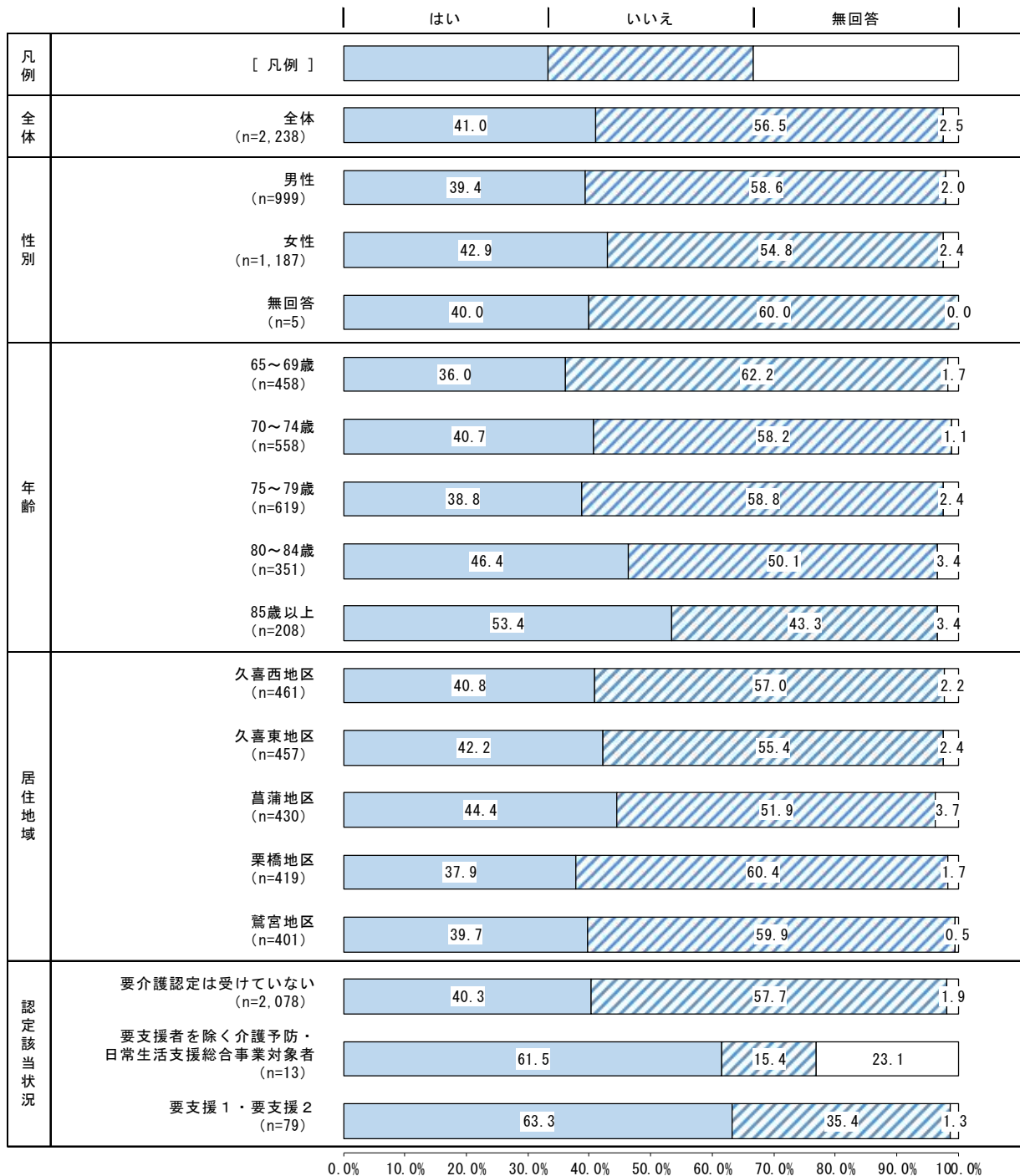
【全体】

○ 物忘れが多いと感じるかについて、「はい」が41.0%、「いいえ」が56.5%となっています。

【年齢】

○ 85歳以上では、「はい」が53.4%と、「いいえ」を上回っています。

【物忘れが多いと感じるか】

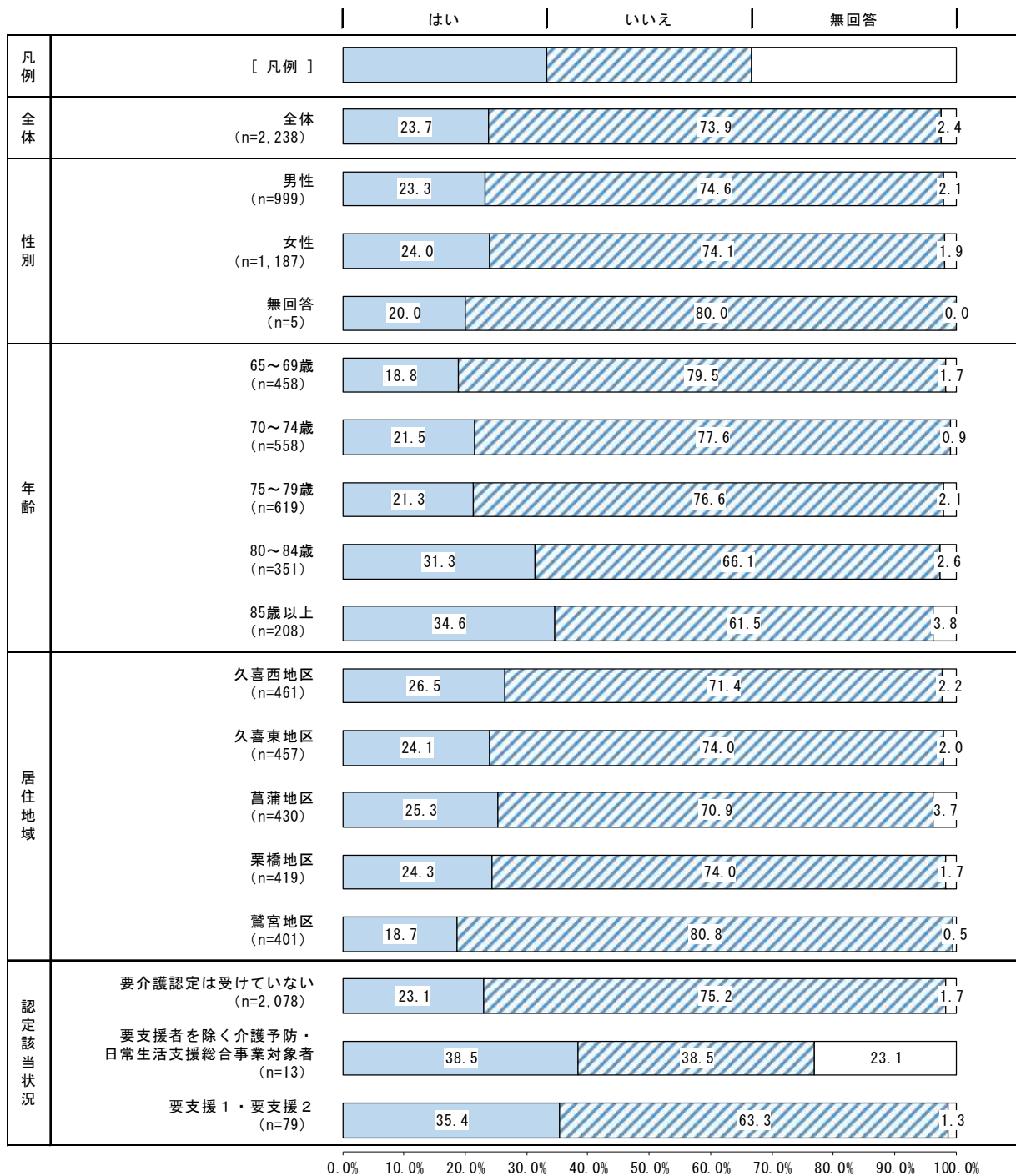


(2) 今日が何月何日かわからない時があるか

●問23 今日が何月何日かわからない時がありますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 今日が何月何日かわからない時があるかについて、「はい」が 23.7%、「いいえ」が 73.9%となっています。
 【年齢】
 ○ 「はい」は、80～84 歳では 31.3%、85 歳以上では 34.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【今日が何月何日かわからない時があるか】

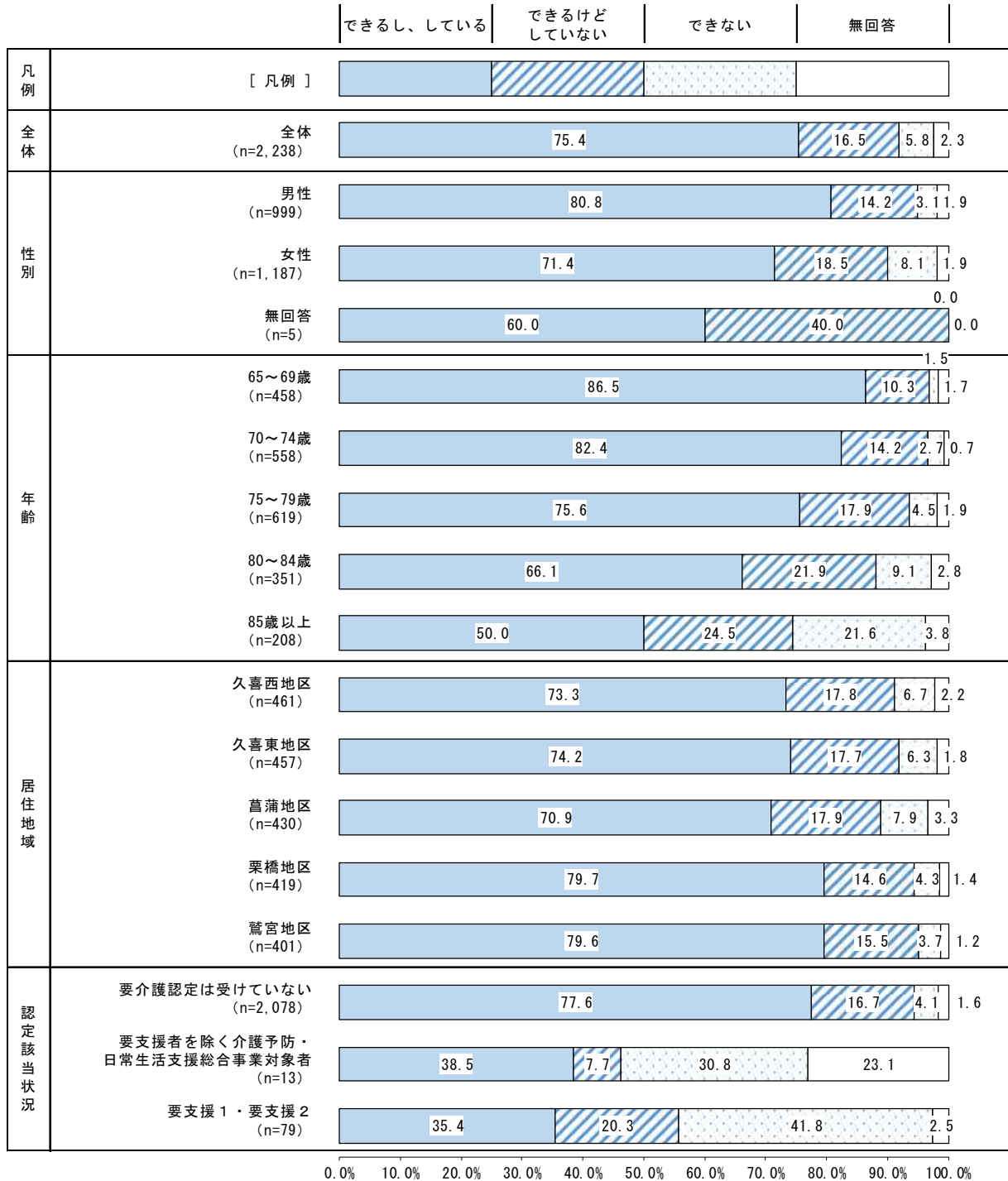


(3) バスや電車を使った外出

●問24 バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）。（1つに○）

- 【全体】
 ○ バスや電車を使った外出について、「できるし、している」が75.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が16.5%、「できない」が5.8%となっています。
- 【性別】
 ○ 「できない」は女性が8.1%と、男性の3.1%を上回っています。
- 【年齢】
 ○ 85歳以上では、「できない」が21.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【バスや電車を使った外出】

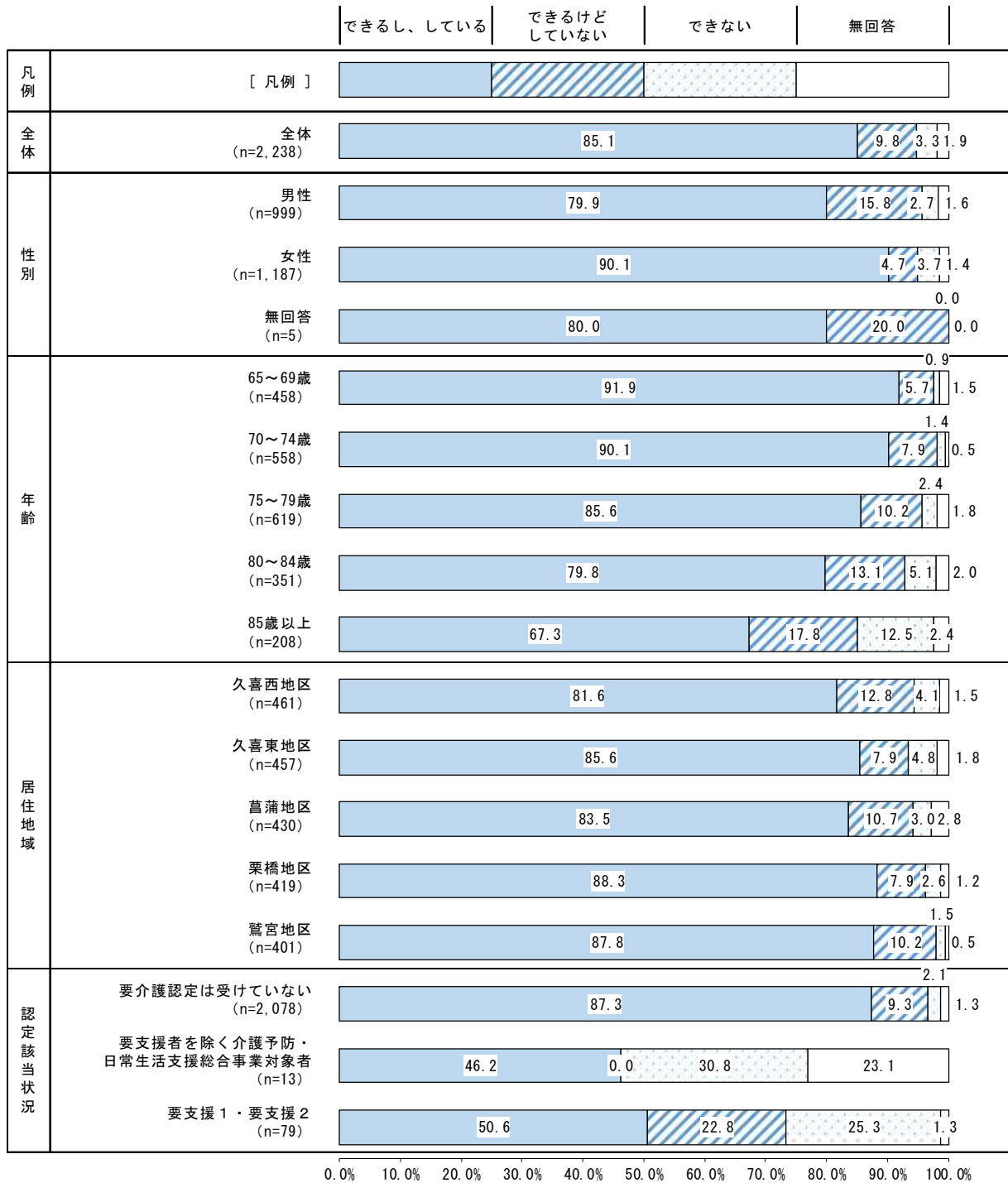


(4) 食品・日用品の買い物

●問25 自分で食品・日用品の買物をしていますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 食品・日用品の買い物について、「できるし、している」が85.1%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が9.8%、「できない」が3.3%となっています。
 【年齢】
 ○ 85歳以上では、「できない」が12.5%と他の年代に比べて多くなっています。

【食品・日用品の買い物】

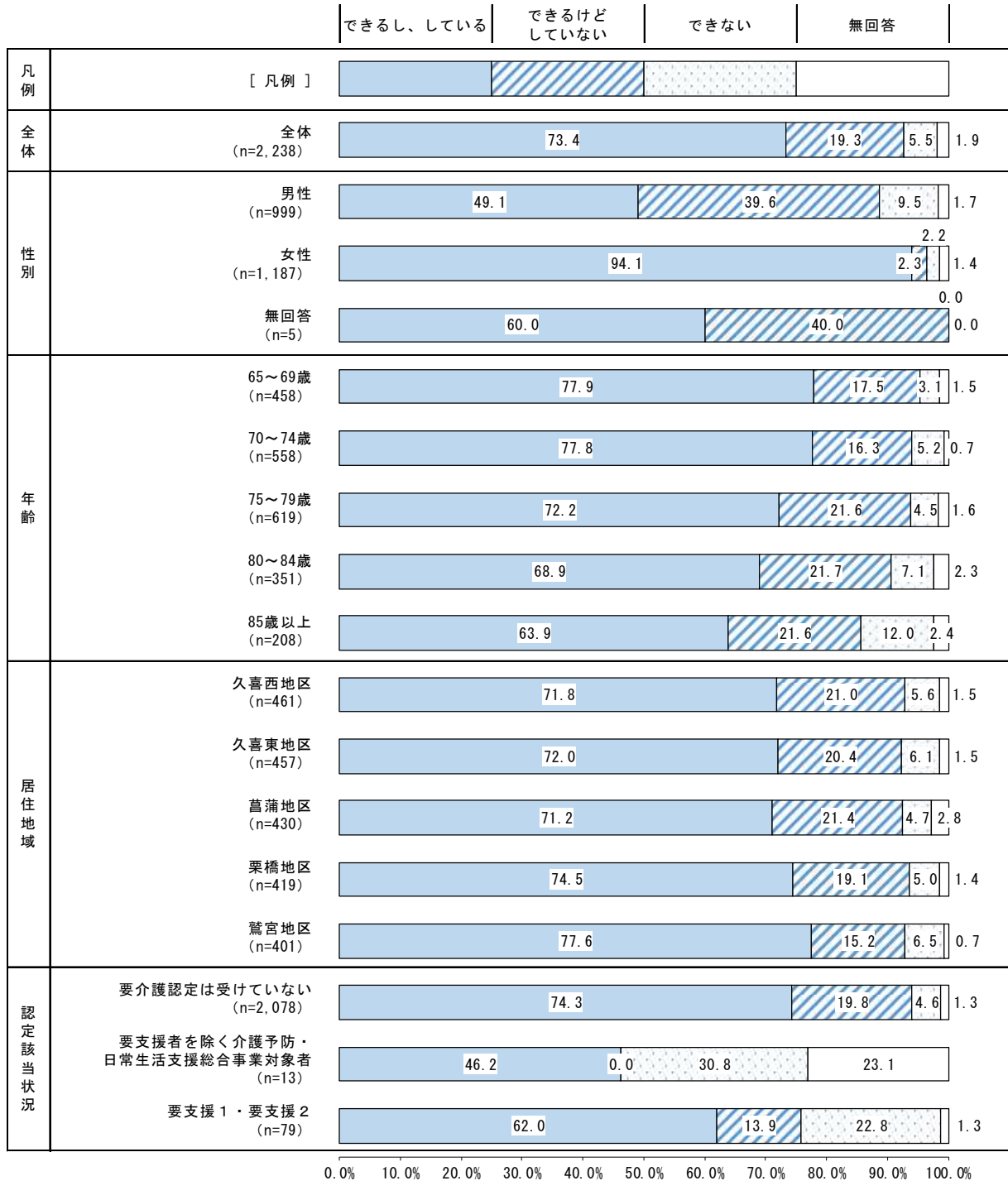


(5) 食事の用意

●問26 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

- 【全体】
 ○ 食事の用意について、「できるし、している」が73.4%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が19.3%、「できない」が5.5%となっています。
- 【性別】
 ○ 「できない」は男性が9.5%と、女性の2.2%を上回っています。
- 【年齢】
 ○ 85歳以上では、「できない」が12.0%と他の年代に比べて多くなっています。

【食事の用意】



(6) 請求書の支払い

●問27 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

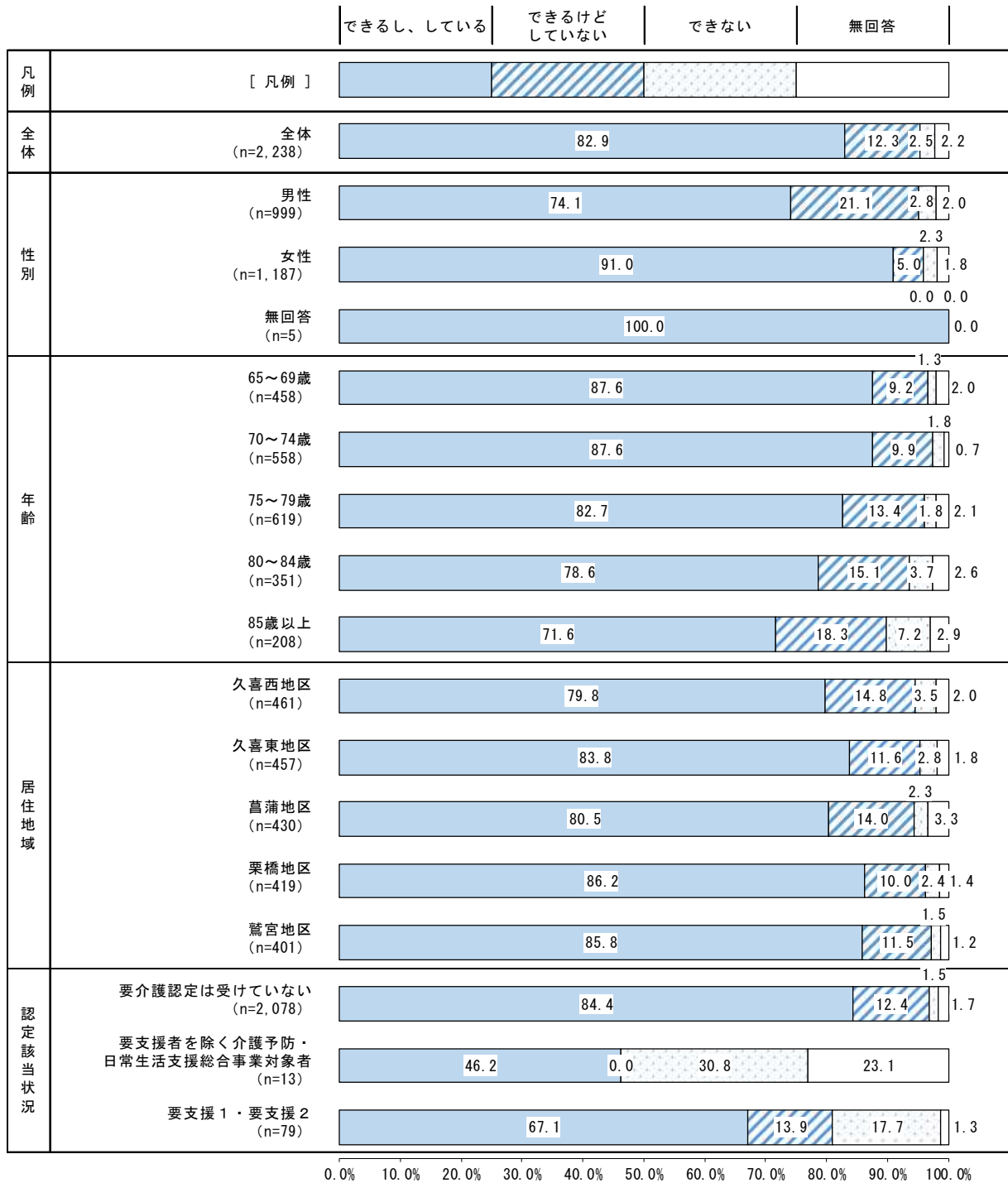
【全体】

○ 請求書の支払いについて、「できるし、している」が 82.9%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 12.3%、「できない」が 2.5%となっています。

【年齢】

○ 85歳以上では、「できない」が 7.2%と他の年代に比べて多くなっています。

【請求書の支払い】

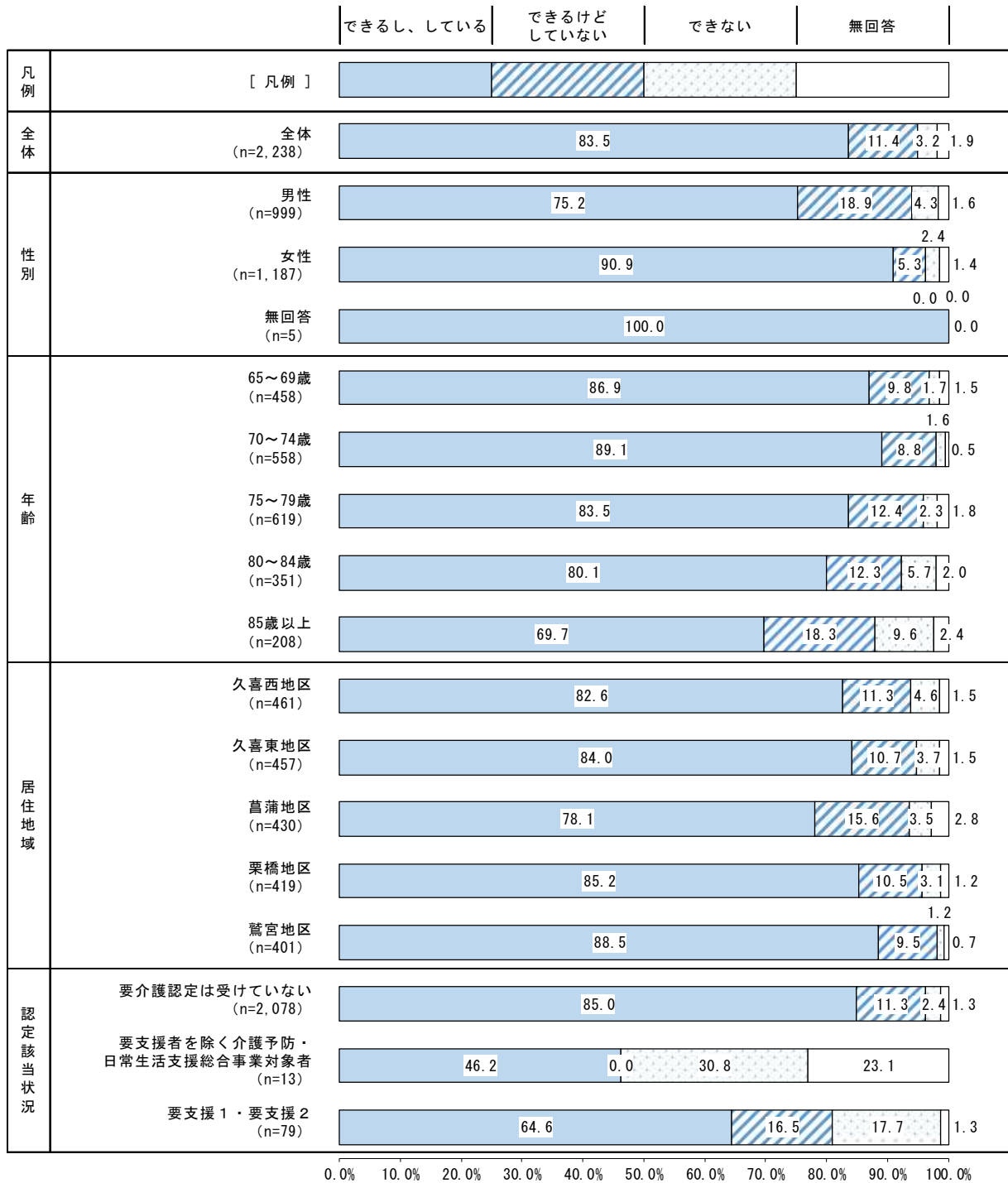


(7) 預貯金の出し入れ

●問28 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 預貯金の出し入れについて、「できるし、している」が 83.5%で最も多く、次いで「できるけどしていない」が 11.4%、「できない」が 3.2%となっています。
 【年齢】
 ○ 85歳以上では、「できない」が 9.6%と他の年代に比べて多くなっています。

【預貯金の出し入れ】



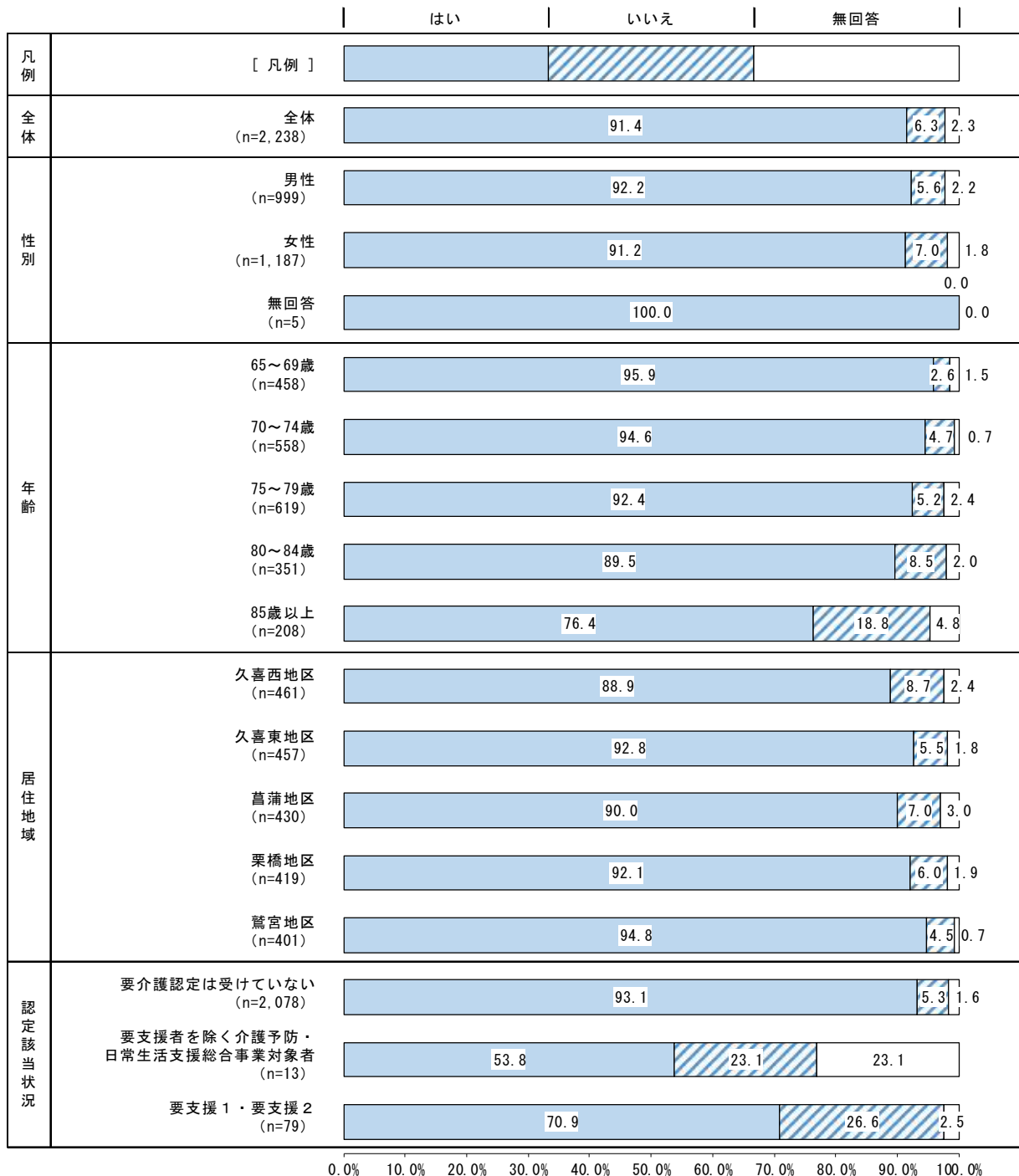
(8) 年金などの書類が書けるか

●問29 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。（1つに○）

【全体】

- 年金などの書類が書けるかについて、「はい」が91.4%、「いいえ」が6.3%となっています。
- 85歳以上では、「いいえ」が18.8%と他の年代に比べて多くなっています。

【年金などの書類が書けるか】

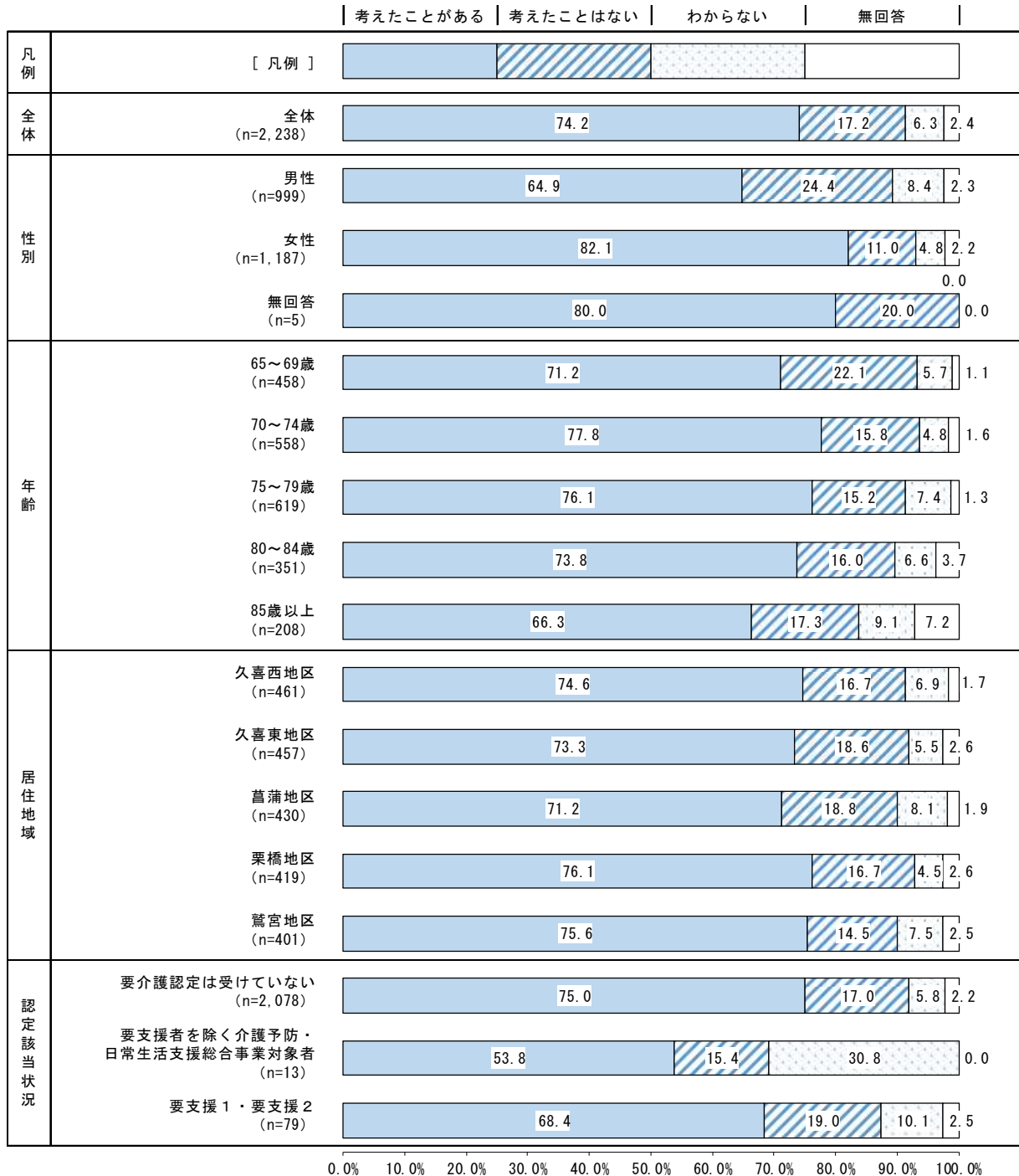


(9) 終活について

●問30 終活について考えたことはありますか。(1つに○)

- 【全体】**
 ○ 終活について、「考えたことがある」が74.2%で最も多く、次いで「考えたことはない」が17.2%、「わからない」が6.3%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「考えたことはない」は男性が24.4%と、女性の11.0%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では、「考えたことがある」が66.3%と他の年代に比べて少なくなっています。

【終活について】



6. 地域での活動について

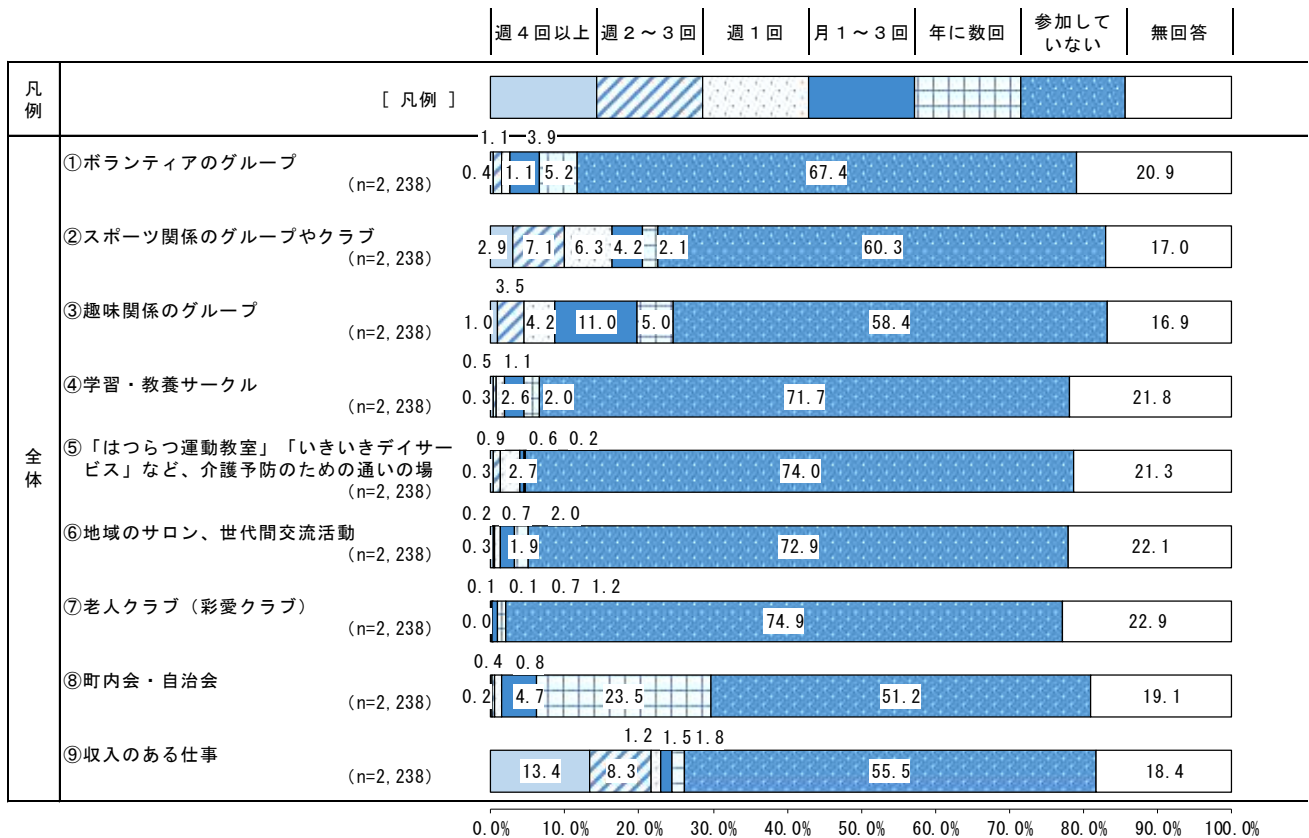
(1) グループ等への参加頻度

- 問31 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。(それぞれ1つに○)

【全体】

- グループ等への参加頻度について、比較的参加している人の割合が多いのは、②スポーツ関係のグループ、③趣味関係のグループ、⑧町内会・自治会、⑨収入のある仕事となっています。

【グループ等への参加頻度】



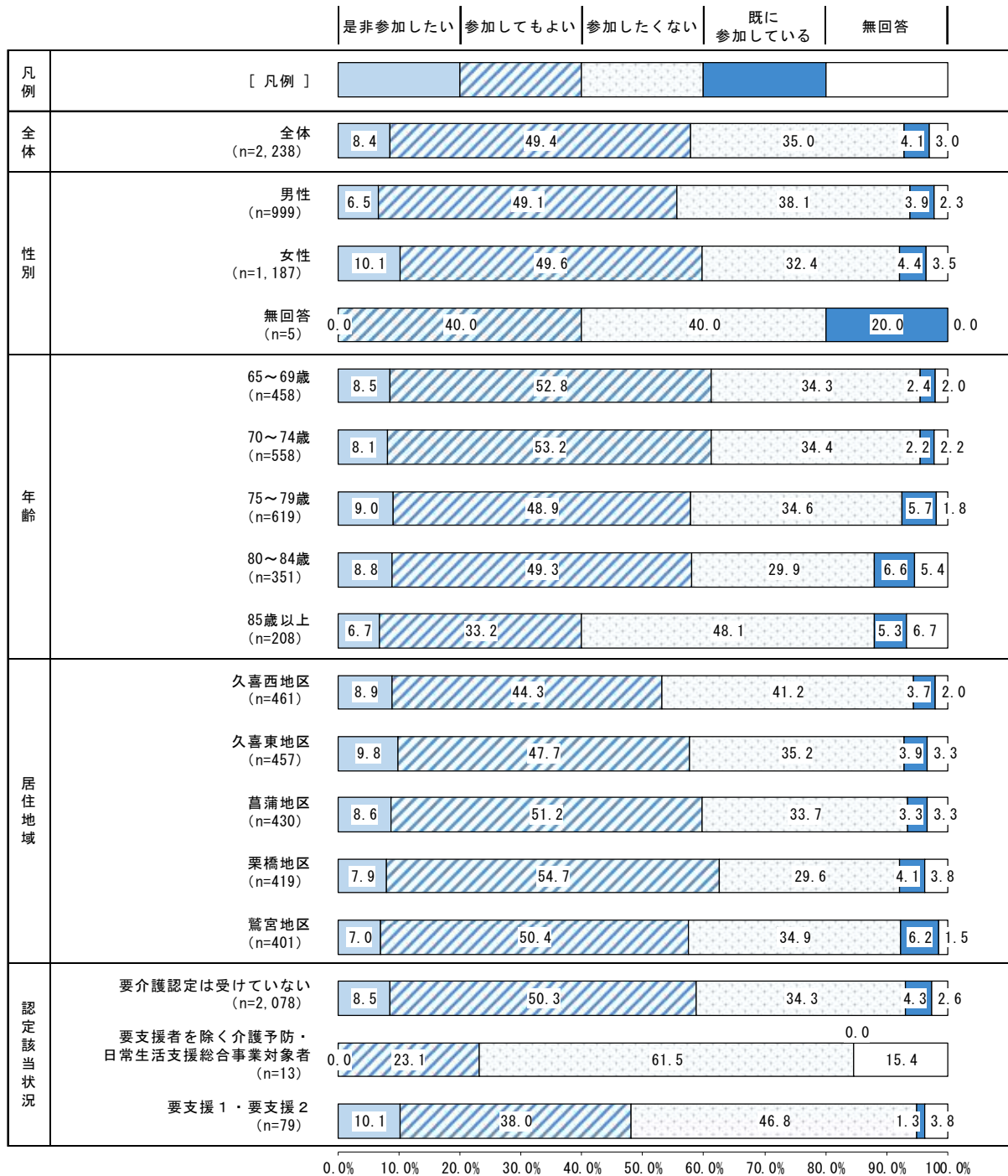
(2) 地域活動への参加者としての参加意向

- 問32 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

【全体】
○ 地域活動への参加者としての参加意向について、「参加してもよい」が49.4%で最も多く、次いで「参加したくない」が35.0%、「是非参加したい」が8.4%となっています。

【性別】
○ 「是非参加したい」は女性が10.1%と、男性の6.5%を上回っています。

【地域活動への参加者としての参加意向】



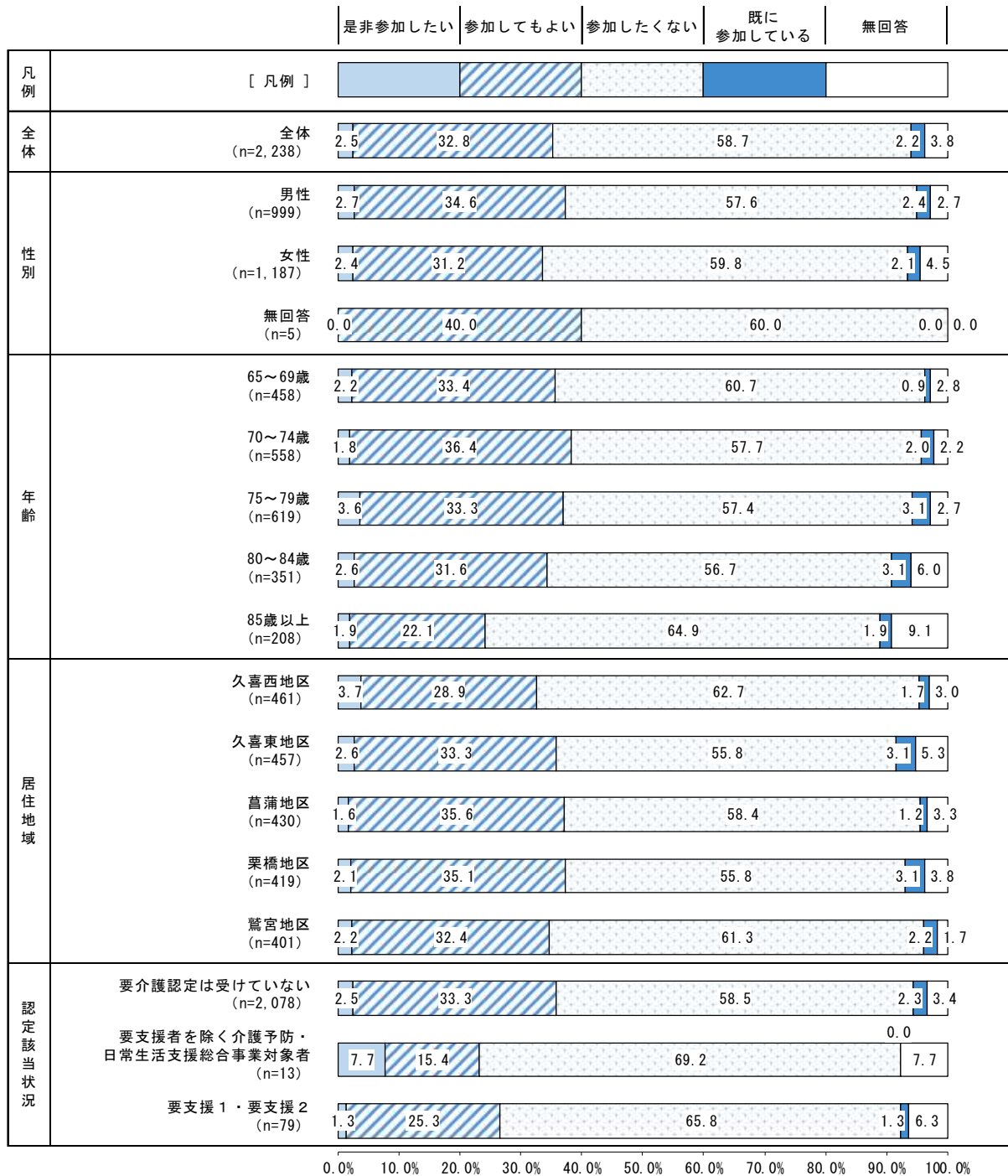
(3) 地域活動への企画・運営としての参加意向

- 問33 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。（1つに○）

【全体】
○ 地域活動への企画・運営としての参加意向について、「参加したくない」が 58.7%で最も多く、次いで「参加してもよい」が 32.8%、「是非参加したい」が 2.5%となっています。

【年齢】
○ 85歳以上では、「参加してもよい」が 22.1%と他の年代に比べて少なくなっています。

【地域活動への企画・運営としての参加意向】



7. たすけあいについて

(1) 困っていること、手助けが必要だと感じること

- 問34 現在、あなたが（在宅生活を送る上で）困っていること、手助けが必要だと感じることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

【全体】

-) 困っていること、手助けが必要だと感じることについて、「軽作業（電球交換・草むしりなど）」が12.3%で最も多く、次いで「通院」が7.9%、「買い物」が7.2%となっています。

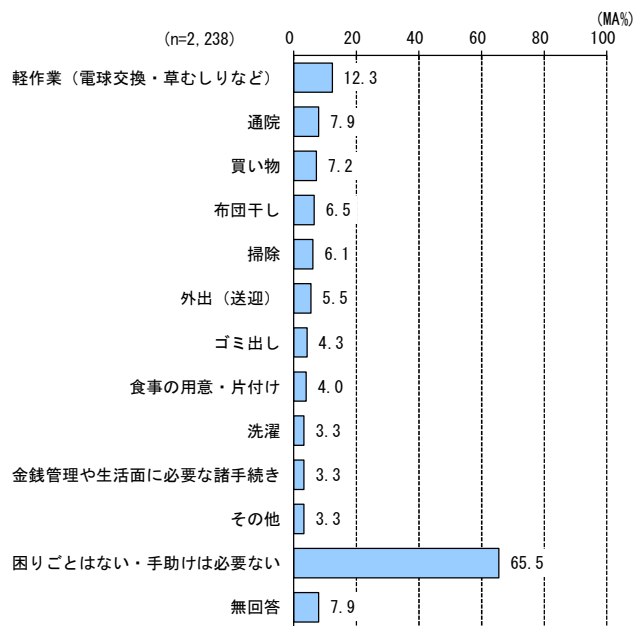
【性別】

- 「軽作業（電球交換・草むしりなど）」は女性が17.1%と、男性の6.8%を上回っています。

【年齢】

- 年齢が高いほど「通院」「買い物」が多くなる傾向がみられます。

【困っていること、手助けが必要だと感じること (MA)】



単位：%

		母数 (n)	困っていること、手助けが必要だと感じること(MA)						
			買 い 物	通 院	外 出 (送 迎)	食 事 の 用 意 ・ 片 付 け	掃 除	布 団 干 し	洗 濯
全体		2,238	7.2	7.9	5.5	4.0	6.1	6.5	3.3
性別	男性	999	4.7	5.0	3.5	4.8	5.7	4.3	4.2
	女性	1,187	9.3	10.2	7.0	3.4	6.4	8.1	2.5
	無回答	5	-	△ 20.0	△ 20.0	-	-	△ 20.0	-
年齢	65～69歳	458	2.2	1.3	0.9	1.5	2.4	2.2	1.7
	70～74歳	558	3.9	3.8	2.3	3.4	5.2	4.7	2.7
	75～79歳	619	6.1	7.6	4.7	3.7	5.5	5.2	2.3
	80～84歳	351	11.7	15.4	13.1	6.6	8.8	12.3	5.1
	85歳以上	208	△ 22.1	△ 21.2	13.0	7.7	13.5	13.9	8.2
居住地域	久喜西地区	461	8.9	8.0	5.4	3.7	6.9	6.5	3.9
	久喜東地区	457	7.0	7.2	5.0	3.3	5.7	7.2	3.5
	菫蒲地区	430	8.8	9.1	6.5	6.5	6.5	7.7	4.0
	栗橋地区	419	6.9	9.3	6.9	3.8	6.7	5.7	2.6
	鷲宮地区	401	4.5	6.0	3.5	3.0	4.7	5.0	2.5
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	5.4	6.1	4.1	3.3	4.8	5.0	2.6
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	△ 30.8	△ 30.8	△ 30.8	△ 38.5	△ 46.2	△ 38.5	△ 38.5
	要支援1・要支援2	79	△ 44.3	△ 44.3	△ 35.4	△ 16.5	△ 30.4	△ 31.6	△ 13.9

単位：%

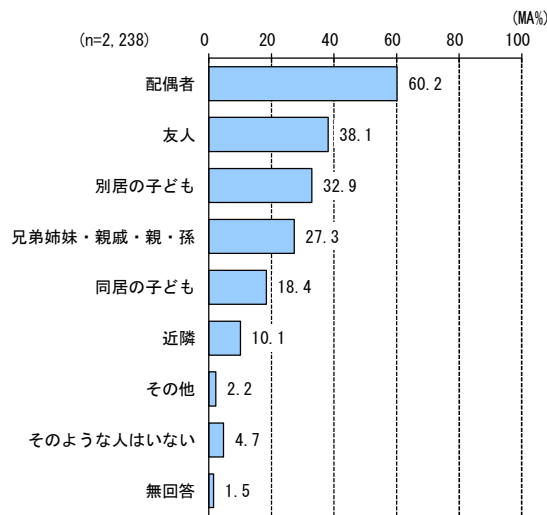
		母数 (n)	困っていること、手助けが必要だと感じること(MA)					
			コ ミ 出 し	(電 球 交 換 ・ 草 む し り な ど)	金 銭 管 理 や 生 活 面 に 必 要 な 諸 手 続 き	そ の 他	手 助 け ご と は 必 要 な い ・	無 回 答
全体		2,238	4.3	12.3	3.3	3.3	65.5	7.9
性別	男性	999	3.9	6.8	3.3	2.8	73.0	6.7
	女性	1,187	4.5	17.1	3.3	3.8	59.7	8.6
	無回答	5	△ 20.0	20.0	-	-	▼ 40.0	-
年齢	65～69歳	458	1.7	5.2	1.1	1.7	△ 85.6	3.9
	70～74歳	558	3.0	10.6	2.7	2.5	73.8	5.2
	75～79歳	619	4.5	13.6	2.4	3.1	64.8	10.5
	80～84歳	351	6.3	17.9	6.8	4.6	▼ 47.9	10.0
	85歳以上	208	9.1	20.2	6.3	7.7	▼ 32.7	11.5
居住地域	久喜西地区	461	4.1	14.3	3.7	3.0	63.3	8.5
	久喜東地区	457	4.4	11.4	3.5	2.2	69.6	6.6
	菫蒲地区	430	5.6	14.0	4.9	4.4	61.9	6.7
	栗橋地区	419	3.1	11.9	3.1	3.3	64.4	9.8
	鷲宮地区	401	4.5	10.5	1.2	3.0	69.6	7.2
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	3.3	11.5	2.8	3.3	68.3	7.8
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	△ 38.5	△ 23.1	△ 15.4	△ 23.1	▼ 30.8	-
	要支援1・要支援2	79	△ 24.1	△ 32.9	11.4	1.3	▼ 12.7	6.3

(2) 心配事や愚痴を聞いてくれる人

●問35 あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 心配事や愚痴を聞いてくれる人について、「配偶者」が60.2%で最も多く、次いで「友人」が38.1%、「別居の子ども」が32.9%となっています。
 - なお、「そのような人はいない」は4.7%となっています。
- 【性別】
- 「配偶者」は男性が72.3%と、女性の50.1%を上回っています。
 - 「友人」は女性が49.5%と、男性の24.6%を上回っています。
 - 「別居の子ども」は女性が43.9%と、男性の20.0%を上回っています。
- 【年齢】
- 年齢が高いほど「友人」が少なくなる傾向がみられます。
- 【認定状況】
- 要支援1・要支援2では、「別居の子ども」が40.5%で最も多くなっています。

【心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)】



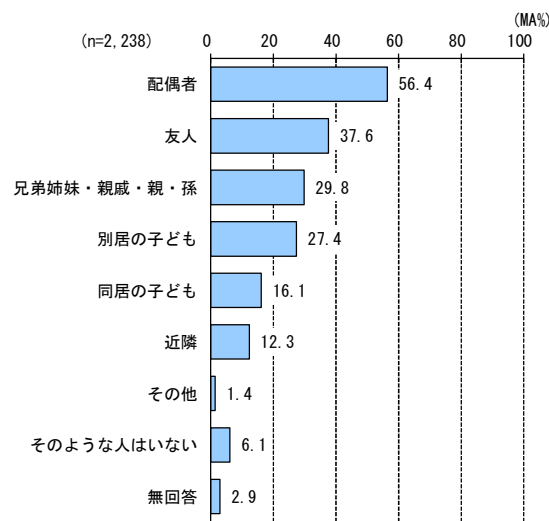
		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてくれる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそいそような人はいない	無回答
全体		2,238	60.2	18.4	32.9	27.3	10.1	38.1	2.2	4.7	1.5
性別	男性	999	△ 72.3	13.1	▼ 20.0	▼ 16.7	5.2	▼ 24.6	2.4	8.0	1.5
	女性	1,187	▼ 50.1	22.8	△ 43.9	36.7	13.9	△ 49.5	1.9	2.2	1.3
	無回答	5	△ 80.0	-	▼ 20.0	△ 40.0	-	▼ 20.0	-	-	-
年齢	65～69歳	458	64.8	17.7	29.0	30.8	7.6	46.1	2.6	5.7	0.7
	70～74歳	558	65.4	16.8	32.6	28.5	9.9	40.7	1.6	5.7	1.6
	75～79歳	619	61.7	16.5	37.5	28.4	10.3	37.5	2.4	3.9	1.1
	80～84歳	351	51.6	19.1	31.9	23.9	12.5	33.0	2.0	3.1	2.8
	85歳以上	208	▼ 46.6	△ 28.4	30.3	22.1	9.1	▼ 24.0	1.4	6.3	1.0
居住地	久喜西地区	461	56.4	16.7	30.4	28.4	8.7	36.4	2.0	5.6	0.4
	久喜東地区	457	62.1	17.1	32.8	28.2	10.5	38.5	2.6	4.8	1.8
	菖蒲地区	430	60.5	19.3	30.2	27.9	10.9	32.1	1.9	5.3	1.9
	栗橋地区	419	60.6	22.2	32.9	29.4	10.0	42.7	1.7	3.6	2.1
	鷺宮地区	401	63.3	17.2	38.7	23.9	9.2	40.9	2.2	4.2	1.0
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	61.4	18.1	32.9	28.0	10.1	39.2	2.2	4.7	1.4
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼ 30.8	△ 30.8	23.1	23.1	7.7	▼ 15.4	-	△ 15.4	-
	要支援1・要支援2	79	▼ 39.2	20.3	40.5	21.5	8.9	▼ 24.1	1.3	6.3	-

(3) 心配事や愚痴を聞いてあげる人

●問36 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 心配事や愚痴を聞いてあげる人について、「配偶者」が 56.4%で最も多く、次いで「友人」が 37.6%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 29.8%となっています。
 - なお、「そのような人はいない」は 6.1%となっています。
- 【性別】
- 男性では、「配偶者」が 70.7%で最も多くなっています。
 - 女性では、「友人」が 49.4%で最も多くなっています。
- 【年齢】
- 年齢が高いほど「配偶者」「兄弟姉妹・親戚・親・孫」「友人」が少なくなる傾向がみられます。

【心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)】



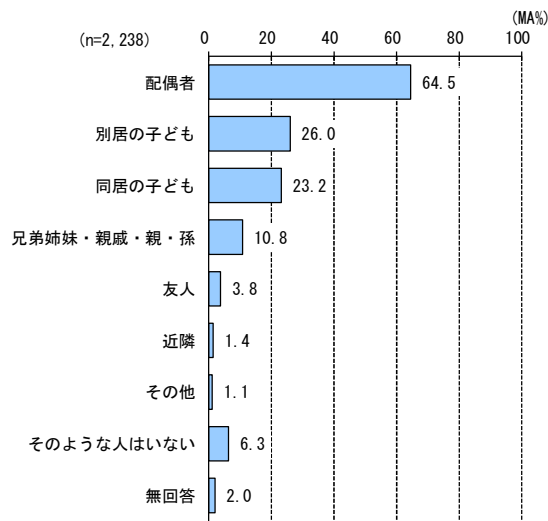
		母数 (n)	心配事や愚痴を聞いてあげる人(MA)								
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟・親戚・姉妹・孫	近隣	友人	その他	いそなような人は	無回答
全体		2,238	56.4	16.1	27.4	29.8	12.3	37.6	1.4	6.1	2.9
性別	男性	999	△ 70.7	13.6	21.1	19.9	6.2	▼ 24.0	1.3	8.5	3.0
	女性	1,187	▼ 44.8	18.3	32.9	38.4	17.2	△ 49.4	1.3	4.0	2.8
	無回答	5	△ 80.0	-	20.0	△ 40.0	20.0	▼ 20.0	-	-	-
年齢	65～69歳	458	63.1	20.1	28.8	36.9	10.9	45.6	1.7	3.9	0.9
	70～74歳	558	61.3	14.3	29.2	31.2	12.5	41.2	1.8	5.2	1.8
	75～79歳	619	57.8	13.4	29.1	29.7	13.2	37.6	0.8	5.2	3.4
	80～84歳	351	49.6	15.4	24.5	24.8	12.3	31.9	0.9	8.5	4.0
	85歳以上	208	▼ 38.5	21.6	20.2	21.2	10.6	▼ 21.2	1.4	11.1	6.7
居住地	久喜西地区	461	54.9	16.1	26.5	29.5	10.8	38.6	1.3	5.2	1.3
	久喜東地区	457	58.4	16.8	28.0	30.9	10.5	37.6	1.8	6.1	4.2
	菖蒲地区	430	56.5	16.5	23.5	29.8	14.2	32.3	1.9	6.0	3.5
	栗橋地区	419	55.1	19.1	24.8	33.4	12.2	41.3	1.2	6.0	2.6
	鷺宮地区	401	59.9	12.2	34.9	25.7	13.0	38.9	0.5	6.2	3.0
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	57.8	16.1	27.9	30.6	12.3	38.8	1.3	5.5	2.7
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼ 23.1	△ 30.8	30.8	▼ 15.4	15.4	▼ 23.1	-	△ 23.1	-
	要支援1・要支援2	79	▼ 38.0	15.2	22.8	▼ 19.0	10.1	▼ 20.3	2.5	12.7	2.5

(4) 看病や世話をしてくれる人

●問37 あなたが病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 看病や世話をしてくれる人について、「配偶者」が 64.5%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 26.0%、「同居の子ども」が 23.2%となっています。
 - なお、「そのような人はいない」は 6.3%となっています。
- 【性別】
- 「配偶者」は男性が 75.8%と、女性の 55.2%を上回っています。
 - 「別居の子ども」は女性が 32.7%と、男性の 18.0%を上回っています。
 - 「同居の子ども」は女性が 29.1%と、男性の 16.0%を上回っています。
- 【年齢】
- 85歳以上では、「同居の子ども」が 39.9%と他の年代に比べて多くなっています。

【看病や世話をしてくれる人(MA)】



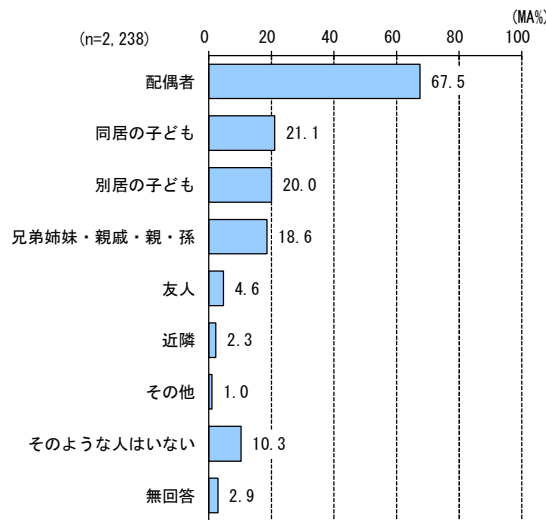
		看病や世話をしてくれる人(MA)									
		母数 (n)	配偶者	同居の 子ども	別居の 子ども	親 兄 戚 弟 ・ 姉 ・ 妹 ・ 孫	近 隣	友 人	そ の 他	い そ な い よ う な 人 は	無 回 答
全体		2,238	64.5	23.2	26.0	10.8	1.4	3.8	1.1	6.3	2.0
性別	男性	999	△ 75.8	16.0	18.0	8.3	0.4	1.5	0.6	7.4	2.6
	女性	1,187	55.2	29.1	32.7	12.9	2.4	5.9	1.4	5.4	1.5
	無回答	5	△ 80.0	-	20.0	20.0	-	-	-	△ 20.0	-
年齢	65～69歳	458	69.9	22.7	19.4	12.0	1.5	4.1	1.1	8.3	1.3
	70～74歳	558	71.1	19.5	23.8	10.4	1.4	4.7	0.7	6.1	1.3
	75～79歳	619	66.4	20.5	30.5	10.2	1.6	4.0	1.1	5.7	2.4
	80～84歳	351	56.7	23.9	28.5	10.5	0.9	2.3	1.4	6.3	2.8
	85歳以上	208	▼ 43.3	△ 39.9	27.9	12.0	1.9	3.4	1.0	4.8	2.9
居住地	久喜西地区	461	61.2	21.9	25.2	10.6	1.1	4.8	0.7	6.7	1.3
	久喜東地区	457	67.8	20.4	24.7	9.6	1.8	2.6	1.8	5.5	2.4
	菖蒲地区	430	62.6	27.4	26.3	12.1	0.7	2.8	1.4	7.2	2.3
	栗橋地区	419	66.1	26.3	24.8	12.9	1.7	4.8	0.5	6.2	2.4
	鷲宮地区	401	67.1	19.2	29.9	8.7	2.0	4.5	1.0	6.2	1.7
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	65.8	22.7	26.0	11.0	1.5	3.9	1.1	6.2	2.0
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼ 23.1	△ 46.2	▼ 15.4	7.7	-	△ 15.4	-	15.4	-
	要支援1・要支援2	79	▼ 45.6	27.8	27.8	7.6	1.3	1.3	-	11.4	-

(5) 看病や世話をしている人

●問38 反対に、あなたが看病や世話をしている人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】**
 ○ 看病や世話をしている人について、「配偶者」が 67.5%で最も多く、次いで「同居の子ども」が 21.1%、「別居の子ども」が 20.0%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「配偶者」は男性が 75.5%と、女性の 61.1%を上回っています。
 ○ 「同居の子ども」は女性が 25.3%と、男性の 16.4%を上回っています。
 ○ 「別居の子ども」は女性が 24.8%と、男性の 14.4%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では、「そのような人はいない」が 19.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定状況】**
 ○ 要支援1・要支援2では、「そのような人はいない」が 25.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【看病や世話をしている人(MA)】



単位：%

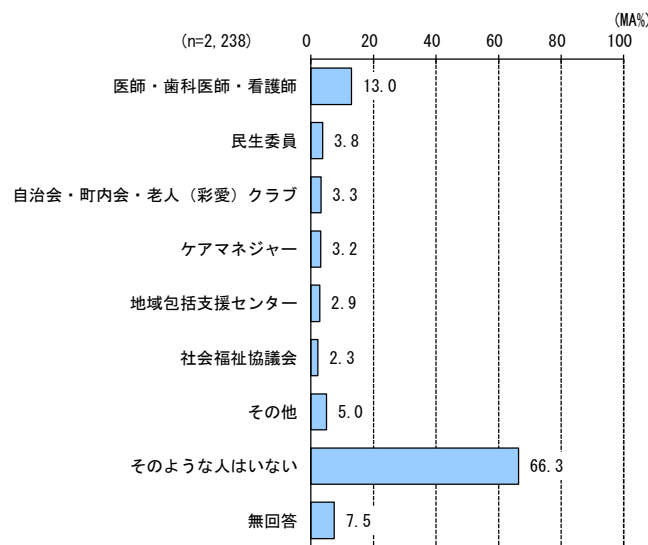
	母数 (n)	看病や世話をしている人(MA)									
		配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親兄弟姉妹・親戚・孫	近隣	友人	その他	いそのないような人は	無回答	
全体	2,238	67.5	21.1	20.0	18.6	2.3	4.6	1.0	10.3	2.9	
性別	男性	999	75.5	16.4	14.4	12.9	1.4	2.5	0.6	11.0	3.0
	女性	1,187	61.1	25.3	24.8	23.6	3.1	6.4	1.3	9.5	2.8
	無回答	5	△100.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-
年齢	65～69歳	458	71.4	25.1	20.7	26.6	2.2	4.6	0.4	8.5	1.3
	70～74歳	558	73.5	19.5	22.9	21.0	1.8	5.0	0.7	7.5	1.1
	75～79歳	619	70.3	19.7	22.0	16.8	2.7	4.8	0.5	8.9	3.2
	80～84歳	351	61.3	19.1	16.0	12.8	3.1	4.8	1.7	14.0	4.3
	85歳以上	208	▼47.1	24.5	11.5	10.6	1.4	2.4	3.4	19.2	7.7
居住地域	久喜西地区	461	63.6	18.2	18.2	18.4	2.2	6.1	1.3	11.7	2.4
	久喜東地区	457	70.5	20.6	19.9	17.9	2.0	4.4	1.1	10.1	3.9
	菖蒲地区	430	65.6	24.0	19.3	19.1	2.3	3.5	1.2	10.0	2.3
	栗橋地区	419	68.5	24.8	20.3	20.5	3.1	5.0	0.2	9.1	3.6
	鷲宮地区	401	71.6	18.2	23.2	17.5	2.0	3.7	1.2	10.0	2.2
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	68.9	21.2	20.3	19.3	2.4	4.7	0.8	9.6	2.8
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼38.5	23.1	15.4	15.4	-	7.7	7.7	△23.1	-
	要支援1・要支援2	79	▼46.8	17.7	12.7	▼3.8	1.3	1.3	5.1	△25.3	3.8

(6) 家族や友人、知人以外の相談相手

●問39 家族や友人・知人以外で、日常生活の心配事を相談する相手をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 家族や友人、知人以外の相談相手について、「医師・歯科医師・看護師」が 13.0%で最も多く、次いで「民生委員」が 3.8%、「自治会・町内会・老人（彩愛）クラブ」が 3.3%となっています。
 - なお、「そのような人はいない」は 66.3%となっています。
- 【年齢】
- 85 歳以上では、「医師・歯科医師・看護師」が 17.3%、「民生委員」が 11.5%と他の年代に比べて多くなっています。
- 【認定状況】
- 要支援 1・要支援 2 では、「ケアマネジャー」が 30.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族や友人、知人以外の相談相手 (MA)】



単位：%

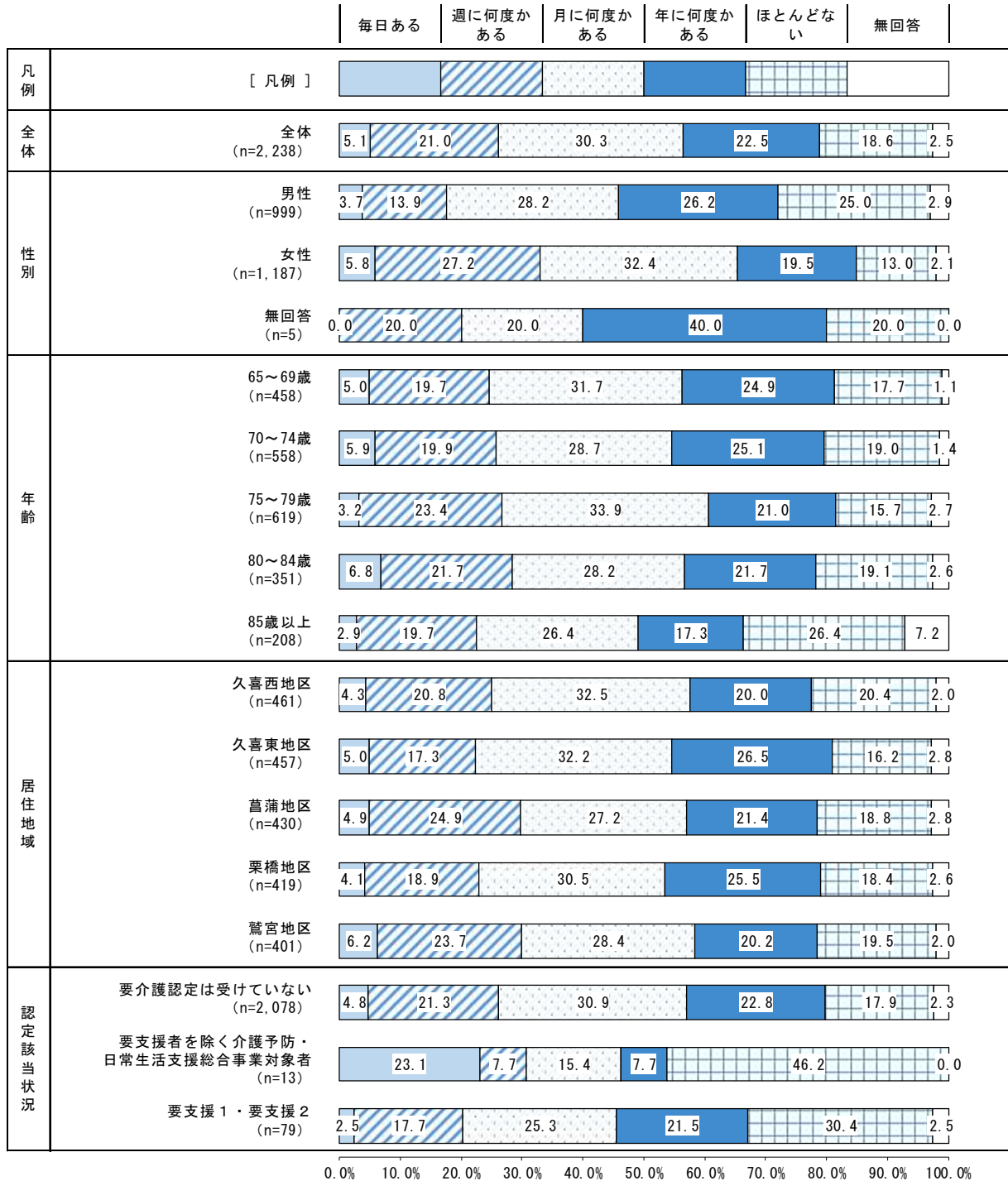
	母数 (n)	家族や友人、知人以外の相談相手 (MA)									
		老自治会(彩愛)町内会クラブ	社会福祉協議会	民生委員	ケアマネジャー	看護師・歯科医師	地域包括支援センター	その他	そのような人はいない	無回答	
全体	2,238	3.3	2.3	3.8	3.2	13.0	2.9	5.0	66.3	7.5	
性別	男性	999	4.6	2.5	4.0	2.6	12.9	1.9	5.0	68.2	5.6
	女性	1,187	2.1	1.9	3.6	3.8	13.1	3.8	4.8	65.1	8.9
	無回答	5	-	-	-	-	20.0	-	-	△ 80.0	-
年齢	65～69歳	458	2.2	0.2	2.2	2.4	11.6	0.9	4.1	△ 78.6	2.4
	70～74歳	558	2.9	2.0	1.4	2.0	14.3	3.4	3.8	72.6	4.1
	75～79歳	619	3.2	1.8	3.4	2.9	10.5	3.1	5.2	64.9	9.7
	80～84歳	351	3.4	5.1	5.7	4.6	14.5	3.1	5.7	56.4	11.4
	85歳以上	208	6.3	3.4	11.5	7.2	17.3	5.3	7.2	▼ 46.2	13.5
居住地	久喜西地区	461	3.0	1.3	2.4	2.8	13.0	3.0	4.6	69.4	6.1
	久喜東地区	457	3.9	3.3	3.9	5.0	13.6	3.7	6.1	60.8	8.1
	菖蒲地区	430	2.8	3.3	4.2	2.6	14.4	3.7	4.4	66.5	6.7
	栗橋地区	419	2.6	1.2	4.8	2.9	11.7	2.4	4.8	68.0	7.9
	鷺宮地区	401	3.5	2.0	3.0	3.0	12.0	1.7	4.5	69.1	7.7
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	3.2	2.0	3.6	1.8	13.1	2.5	4.9	67.9	7.3
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	7.7	-	7.7	△ 53.8	7.7	-	7.7	▼ 30.8	-
	要支援 1・要支援 2	79	1.3	3.8	7.6	△ 30.4	13.9	△ 16.5	5.1	▼ 44.3	5.1

(7) 友人・知人と連絡を取る頻度

●問40 友人・知人と連絡を取る頻度はどれくらいですか。(1つに○)

- 【全体】**
 ○ 友人・知人と連絡を取る頻度について、「月に何度かある」が30.3%で最も多く、次いで「年に何度かある」が22.5%、「週に何度かある」が21.0%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「ほとんどない」は男性が25.0%と、女性の13.0%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では、「ほとんどない」が26.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【友人・知人と連絡を取る頻度】



8. 健康について

(1) 現在の健康状態

●問41 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

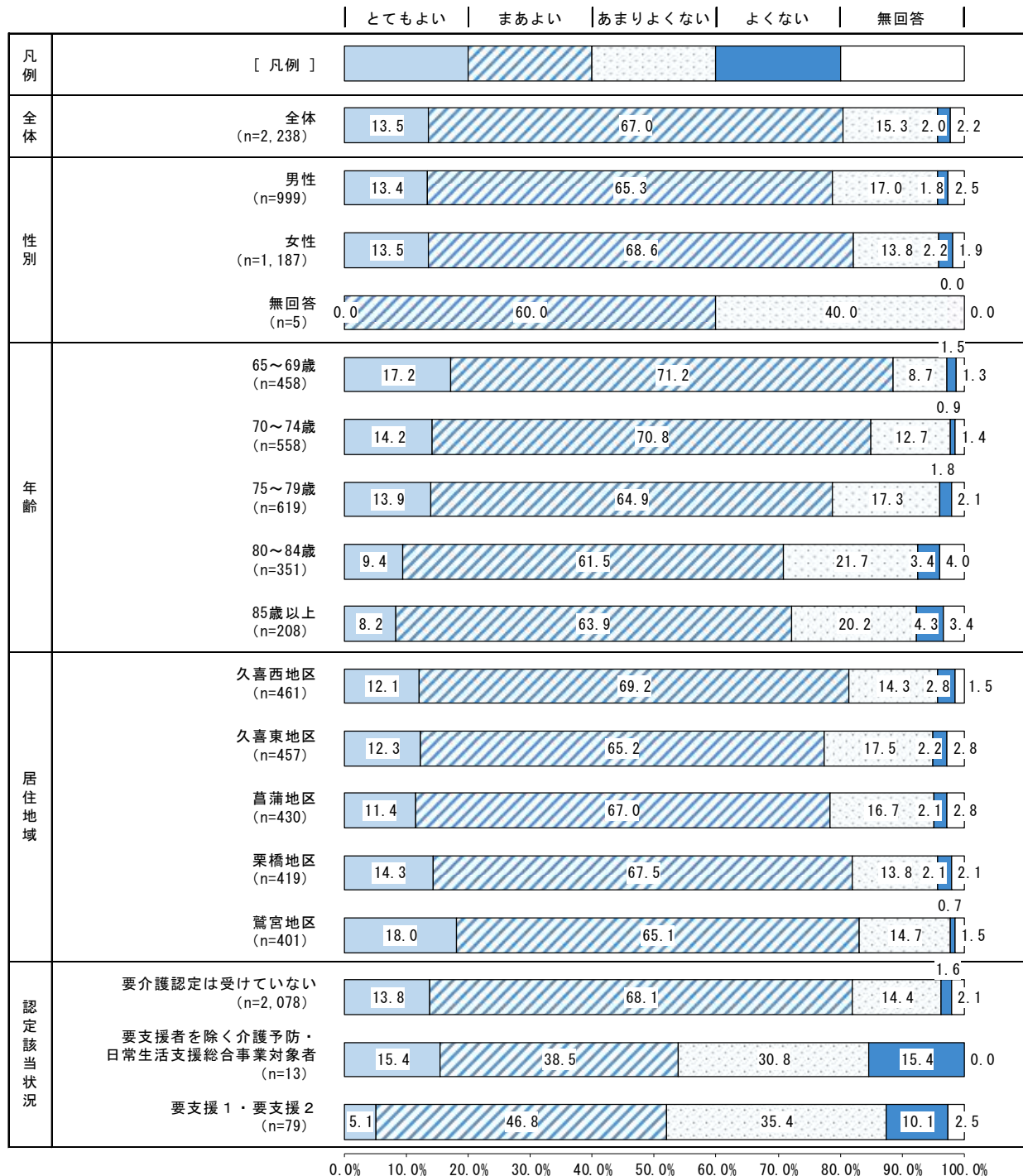
【全体】

- 現在の健康状態について、「まあよい」が 67.0%で最も多く、次いで「あまりよくない」が 15.3%、「とてもよい」が 13.5%となっています。

【年齢】

- 「あまりよくない」は、80～84歳では 21.7%、85歳以上では 20.2%と他の年代に比べて多くなっています。

【現在の健康状態】

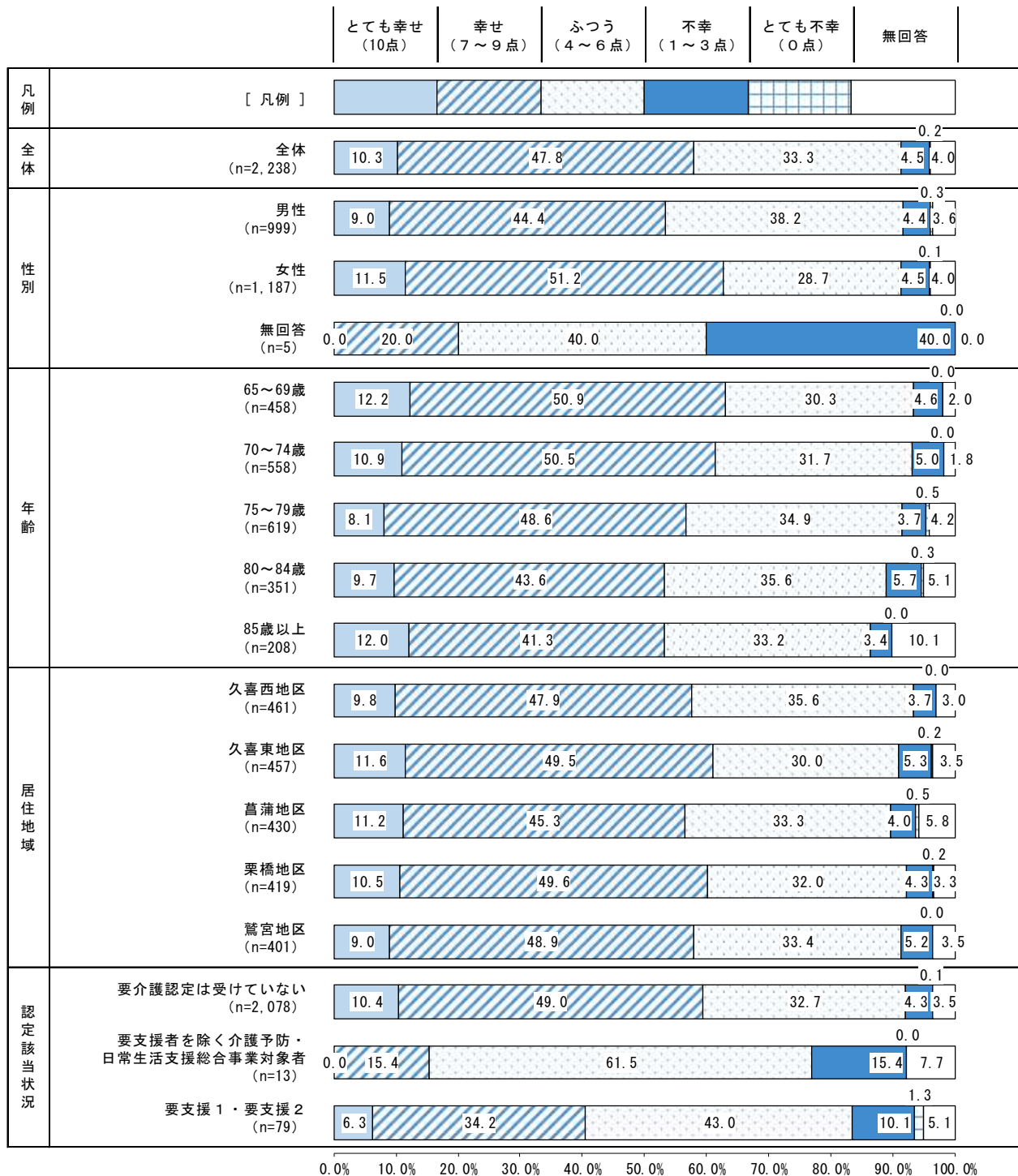


(2) 現在の幸せの程度

●問42 あなたは、現在どの程度幸せですか。(1つに○)

- 【全体】**
 ○ 現在の幸せの程度について、「幸せ（7～9点）」が47.8%で最も多く、次いで「ふつう（4～6点）」が33.3%、「とても幸せ（10点）」が10.3%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「幸せ（7～9点）」は女性が51.2%と、男性の44.4%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 年齢が高いほど「とても幸せ（10点）」が少なくなる傾向がみられます。

【現在の幸せの程度】

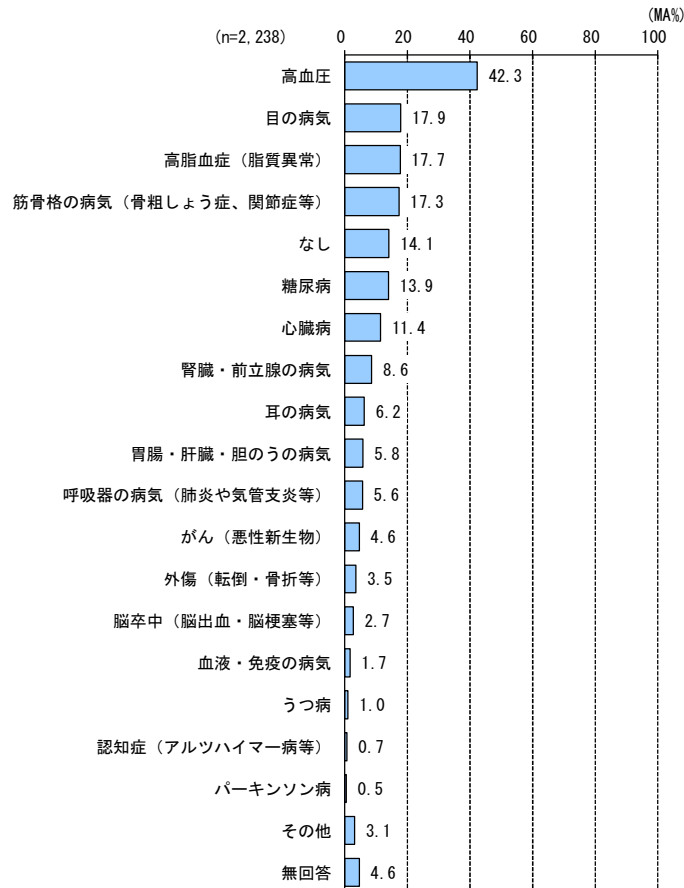


(3) 現在治療中または後遺症のある病気

●問43 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 現在治療中または後遺症のある病気について、「高血圧」が 42.3%で最も多く、次いで「目の病気」が 17.9%、「高脂血症（脂質異常）」が 17.7%となっています。
- 【性別】
- 男性では、「糖尿病」が 17.9%と、「高血圧」に次いで多くなっています。
- 【年齢】
- 年齢が高いほど「心臓病」「耳の病気」が多くなる傾向がみられます。

【現在治療中または後遺症のある病気 (MA)】



単位：％

	母数 (n)	現在治療中または後遺症のある病気(MA)										
		なし	高血圧	(脳卒中・ 脳出血・ 脳梗塞等)	心臓病	糖尿病	高脂血症 (脂質異常)	(呼吸器の 病気 肺炎や気管 支炎等)	胆のう・ 膵臓・ 肝臓の 病気	腎臓・ 前立腺の 病気	(骨粗しょう 症、 関節症等)	筋骨格の 病気
全体	2,238	14.1	42.3	2.7	11.4	13.9	17.7	5.6	5.8	8.6	17.3	
性別	男性	999	13.7	43.7	3.8	16.5	17.9	11.3	6.3	5.4	17.1	8.6
	女性	1,187	14.9	41.0	1.9	7.2	10.5	23.4	4.9	6.2	1.7	24.5
	無回答	5	-	△ 60.0	-	20.0	-	20.0	△ 20.0	△ 20.0	-	-
年齢	65～69歳	458	23.4	34.1	2.0	5.9	9.4	18.6	4.4	6.6	3.5	13.5
	70～74歳	558	15.2	39.8	2.7	8.4	15.2	20.8	4.5	4.8	7.0	17.2
	75～79歳	619	11.5	46.8	3.4	13.2	13.7	19.5	6.0	5.8	10.8	18.9
	80～84歳	351	9.1	45.9	3.4	16.2	16.8	13.7	6.8	5.4	10.3	20.2
	85歳以上	208	9.6	47.1	1.4	18.8	15.4	10.6	8.2	8.2	15.9	14.9
居住地	久喜西地区	461	14.3	42.1	2.6	12.1	14.1	16.7	4.3	6.7	8.0	21.7
	久喜東地区	457	13.6	39.2	2.8	10.3	12.9	19.9	6.6	5.3	10.1	16.8
	菖蒲地区	430	13.0	44.0	3.0	12.6	16.3	18.1	6.3	4.4	8.8	13.7
	栗橋地区	419	16.2	45.3	2.6	11.9	14.1	20.0	6.4	7.2	10.0	16.5
	鷲宮地区	401	14.7	41.1	2.5	10.5	12.0	15.0	4.2	5.5	7.0	16.5
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	14.9	42.4	2.5	11.0	13.7	18.3	5.4	5.7	8.5	16.6
	要支援者を除く介護予防・ 日常生活支援総合事業対象者	13	7.7	▼ 30.8	-	15.4	7.7	▼ 7.7	7.7	15.4	-	△ 30.8
	要支援1・要支援2	79	▼ 2.5	41.8	7.6	19.0	17.7	10.1	8.9	8.9	13.9	△ 34.2

単位：％

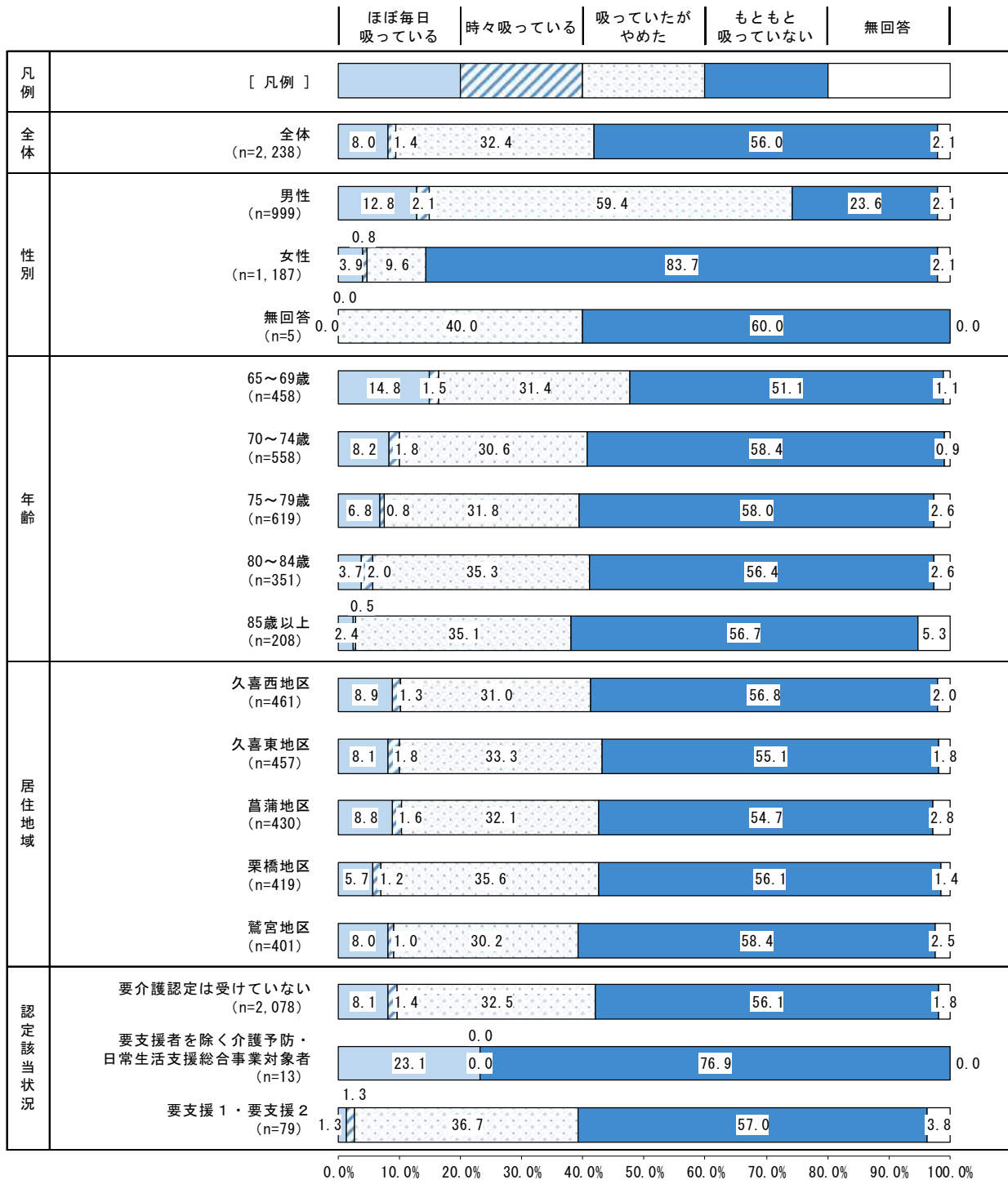
	母数 (n)	現在治療中または後遺症のある病気(MA)										
		外傷(転倒・ 骨折等)	がん(悪性 新生物)	血液・ 免疫の 病気	うつ病	(認知症 (アルツ ハイマー 病等)	パー キンソン 病	目の 病気	耳の 病気	その他	無 回 答	
全体	2,238	3.5	4.6	1.7	1.0	0.7	0.5	17.9	6.2	3.1	4.6	
性別	男性	999	1.6	5.9	1.0	0.9	0.4	0.5	17.4	6.9	3.0	5.0
	女性	1,187	5.1	3.6	2.4	1.2	0.8	0.4	18.2	5.7	3.3	4.3
	無回答	5	-	-	-	-	-	-	△ 40.0	-	-	-
年齢	65～69歳	458	4.1	3.7	1.3	1.3	-	0.4	12.9	3.7	3.1	5.0
	70～74歳	558	2.7	4.7	2.5	0.9	0.5	0.2	16.8	5.2	4.7	2.5
	75～79歳	619	3.4	5.0	1.3	1.1	0.2	0.8	16.6	5.8	2.9	5.3
	80～84歳	351	4.6	6.6	1.4	0.9	1.4	0.6	24.2	8.8	2.3	4.6
	85歳以上	208	2.9	2.4	2.9	1.0	2.4	-	24.5	11.5	1.4	7.7
居住地	久喜西地区	461	3.5	5.0	2.8	0.9	0.9	0.2	19.5	5.9	3.3	3.7
	久喜東地区	457	3.7	4.8	0.9	1.3	0.9	0.4	18.4	5.9	2.8	6.3
	菖蒲地区	430	3.7	3.3	2.3	1.2	1.2	0.2	17.9	6.7	2.8	4.2
	栗橋地区	419	3.1	3.8	1.0	1.2	0.5	0.7	17.9	6.7	2.1	3.6
	鷲宮地区	401	3.5	6.7	2.0	0.7	-	0.7	15.2	6.0	4.7	5.0
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	3.1	4.7	1.7	1.1	0.3	0.3	17.6	6.2	3.0	4.8
	要支援者を除く介護予防・ 日常生活支援総合事業対象者	13	△ 15.4	△ 15.4	-	-	7.7	-	15.4	15.4	15.4	-
	要支援1・要支援2	79	10.1	3.8	3.8	1.3	6.3	3.8	27.8	8.9	5.1	1.3

(4)喫煙習慣の有無

●問44 タバコは吸っていますか。(1つに○)

- 【全体】
 ○ 喫煙習慣の有無について、「もともと吸っていない」が56.0%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が32.4%、「ほぼ毎日吸っている」が8.0%となっています。
- 【性別】
 ○ 男性では、「吸っていたがやめた」が59.4%で最も多くなっています。
 ○ 「ほぼ毎日吸っている」は男性が12.8%と、女性の3.9%を上回っています。

【喫煙習慣の有無】



(5) 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか

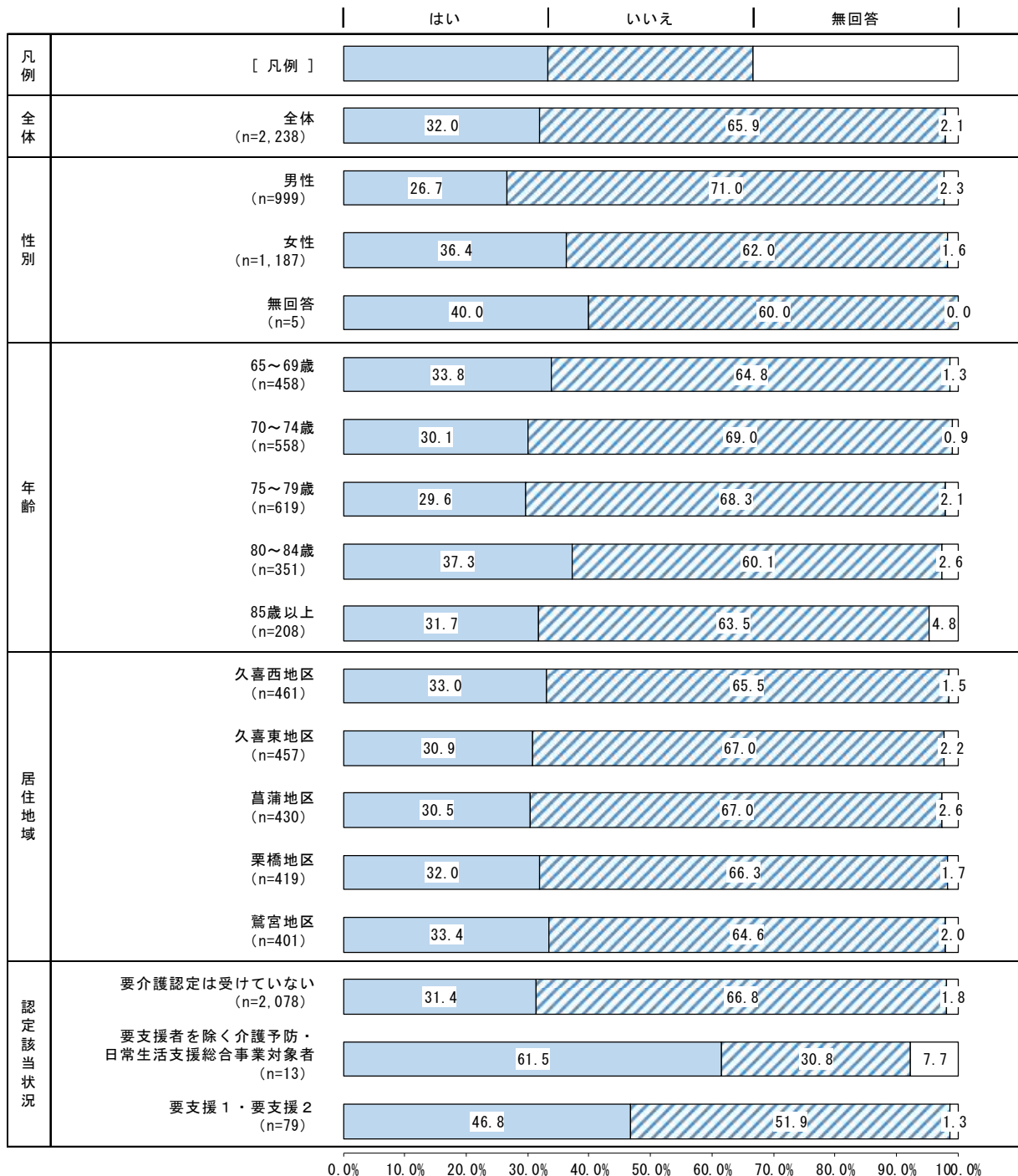
●問45 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

【全体】
 ○ 気分が沈んだりゆううつな気持ちになったかについて、「はい」が32.0%、「いいえ」が65.9%となっています。

【性別】
 ○ 「はい」は女性が36.4%と、男性の26.7%を上回っています。

【年齢】
 ○ 80～84歳では、「はい」が37.3%と他の年代に比べて多くなっています。

【気分が沈んだりゆううつな気持ちになったか】



(6) 物事に対し興味がわかないこと等があったか

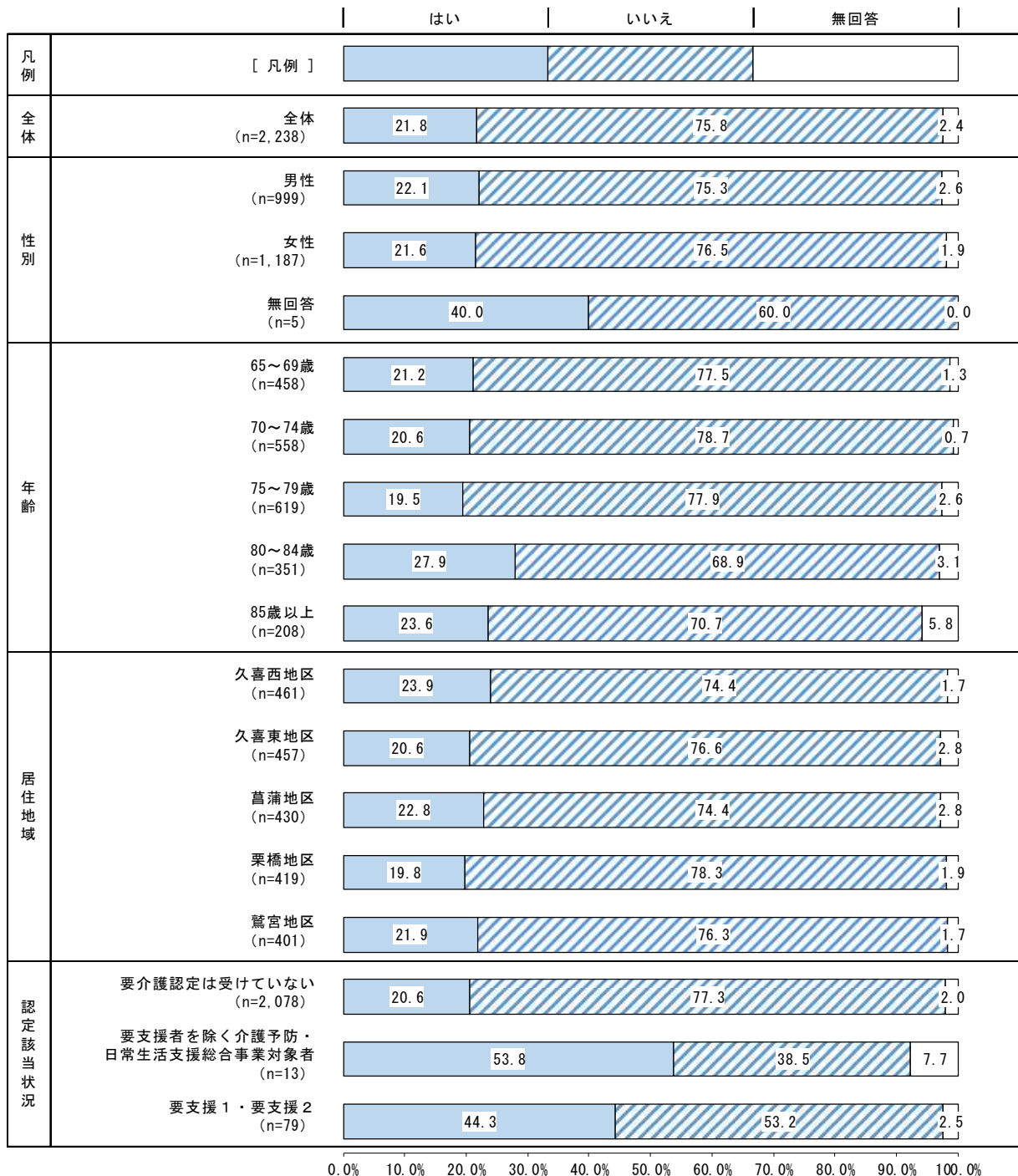
●問46 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

【全体】
 ○ 物事に対し興味がわかないこと等があったかについて、「はい」が21.8%、「いいえ」が75.8%となっています。

【年齢】
 ○ 80～84歳では、「はい」が27.9%と他の年代に比べて多くなっています。

【認定状況】
 ○ 要支援1・要支援2では、「はい」が44.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【物事に対し興味がわかないこと等があったか】



9. 認知症について

(1) 自分または家族に認知症の症状があるか

●問47 認知症の症状があるまたは家族に認知症の症状がある人がいますか。(1つに○)

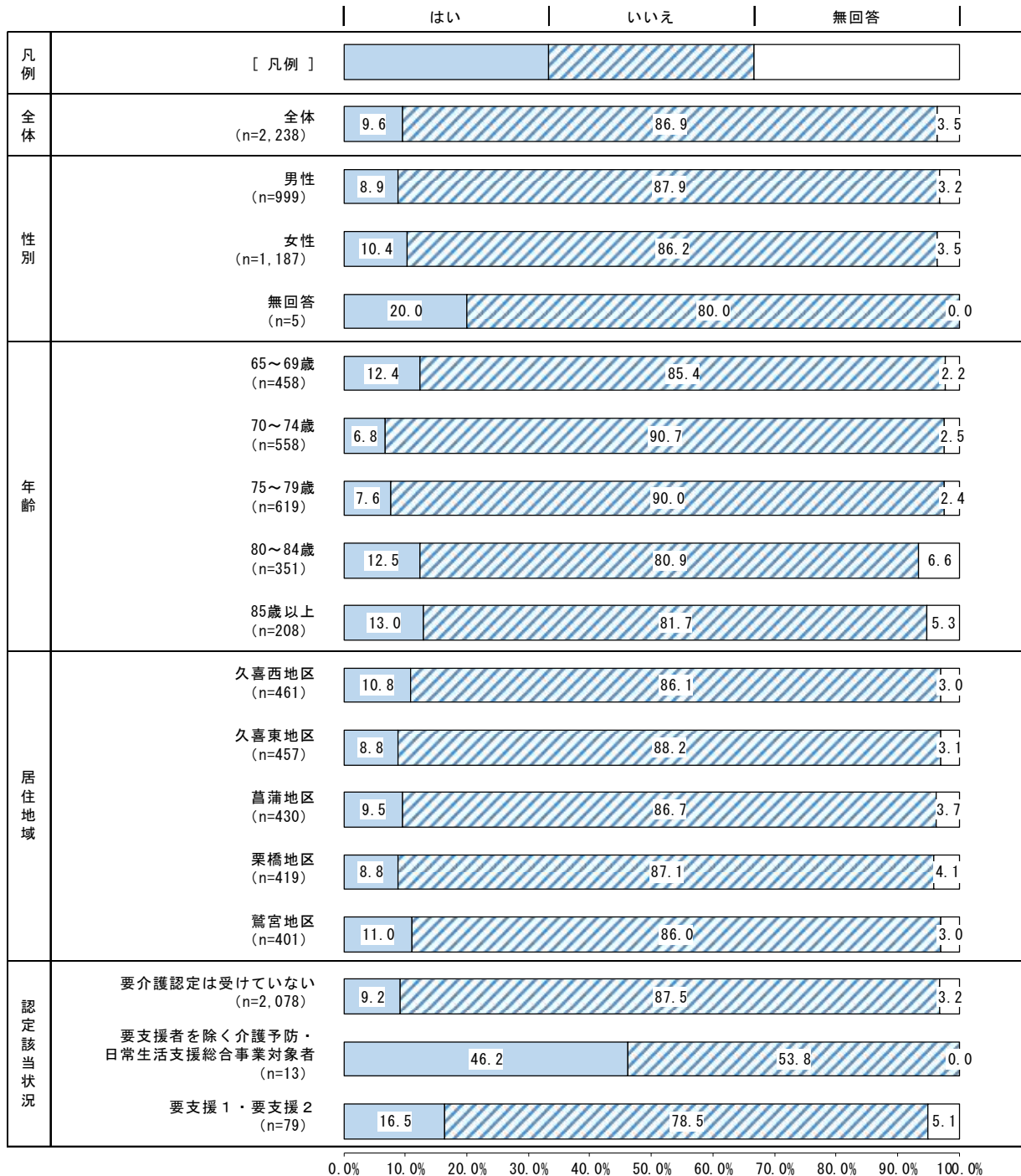
【全体】

○ 自分または家族に認知症の症状があるかについて、「はい」が9.6%、「いいえ」が86.9%となっています。

【認定状況】

○ 要支援1・要支援2では、「はい」が16.5%、「いいえ」が78.5%となっています。

【自分または家族に認知症の症状があるか】

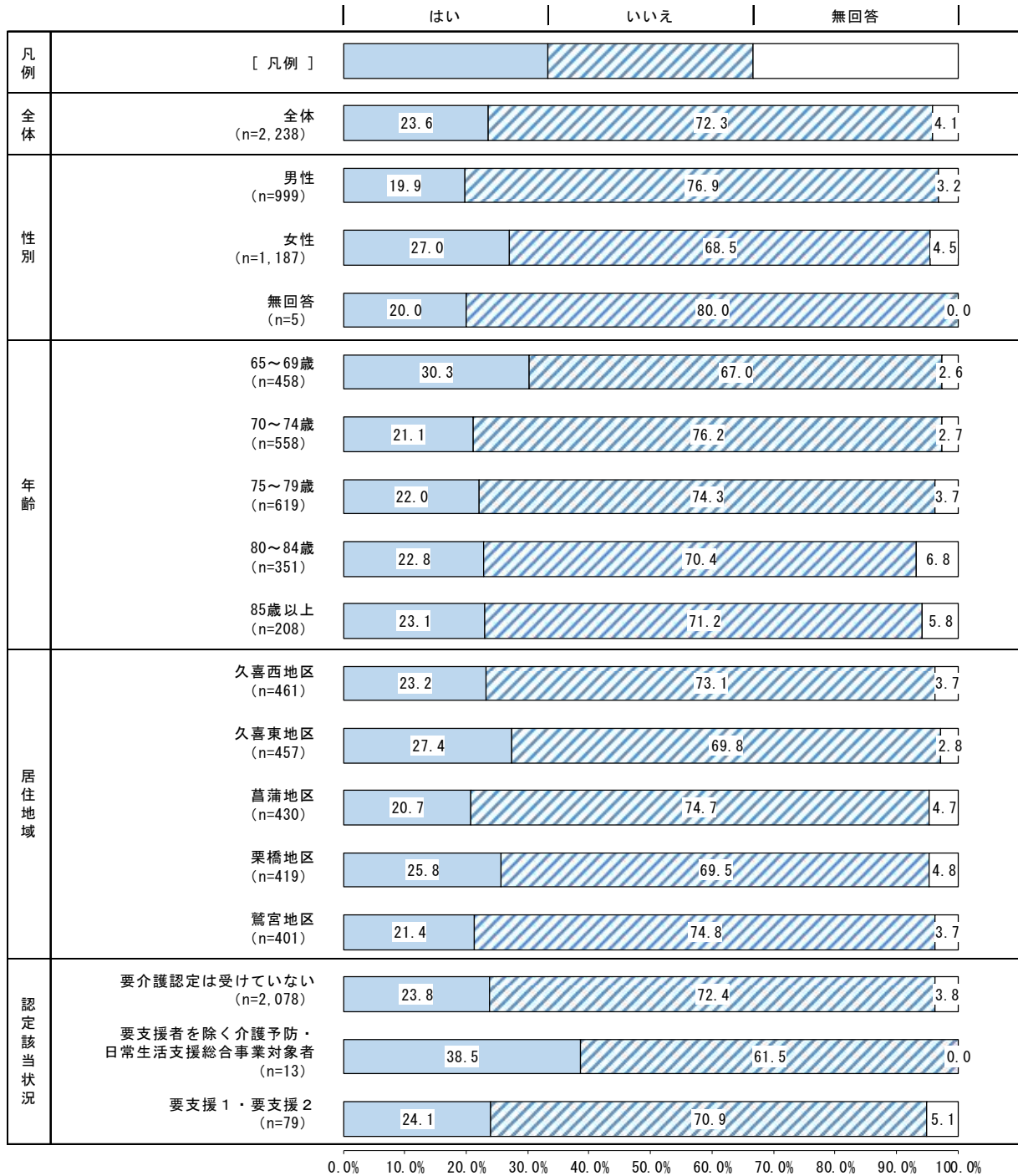


(2) 認知症に関する相談窓口を知っているか

●問48 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

- 【全体】
 ○ 認知症に関する相談窓口を知っているかについて、「はい」が 23.6%、「いいえ」が 72.3%となっています。
- 【性別】
 ○ 「はい」は女性が 27.0%と、男性の 19.9%を上回っています。
- 【年齢】
 ○ 65～69 歳では、「はい」が 30.3%と他の年代に比べて多くなっています。

【認知症に関する相談窓口を知っているか】



(3) 認知症について相談する相手

●問49 認知症について、相談する相手をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 認知症について相談する相手について、「配偶者」が 53.8%で最も多く、次いで「別居の子ども」が 39.0%、「同居の子ども」が 21.6%となっています。

【性別】

○ 女性では、「別居の子ども」が 45.5%で最も多くなっています。

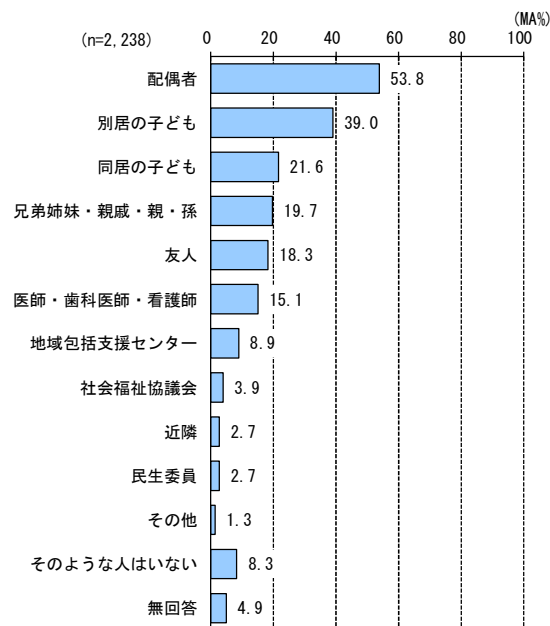
【年齢】

○ 85歳以上では、「配偶者」「同居の子ども」が 35.6%で最も多くなっています。

【認定状況】

○ 要支援1・要支援2では、「別居の子ども」が 35.4%で最も多くなっています。

【認知症について相談する相手(MA)】



単位：%

		母数 (n)	認知症について相談する相手(MA)						社会福祉協議会
			配偶者	同居の子ども	別居の子ども	親・兄弟・姉妹・親戚・孫	近隣	友人	
全体		2,238	53.8	21.6	39.0	19.7	2.7	18.3	3.9
性別	男性	999	△ 64.8	18.1	31.7	14.2	1.9	13.0	3.8
	女性	1,187	45.2	24.4	45.5	24.6	3.5	22.7	4.2
	無回答	5	60.0	-	40.0	△ 40.0	-	20.0	-
年齢	65～69歳	458	58.5	21.2	29.9	24.0	3.3	23.6	3.1
	70～74歳	558	61.3	18.5	43.5	22.4	2.7	20.8	3.4
	75～79歳	619	55.6	19.5	43.1	18.9	2.9	17.8	4.4
	80～84歳	351	45.3	21.9	40.5	16.5	2.3	12.5	6.0
	85歳以上	208	▼ 35.6	△ 35.6	33.7	13.0	2.4	11.1	3.4
居住地域	久喜西地区	461	50.1	20.6	34.5	18.0	2.6	18.0	2.6
	久喜東地区	457	56.7	19.7	39.4	18.4	3.3	17.3	7.2
	菖蒲地区	430	53.5	25.3	37.7	22.1	3.0	17.2	3.7
	栗橋地区	419	55.8	24.6	39.4	23.4	2.1	18.9	3.3
	鷲宮地区	401	55.6	17.5	45.1	17.7	3.0	20.7	3.2
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	55.4	21.4	39.6	20.4	2.8	18.9	4.0
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	▼ 15.4	30.8	30.8	15.4	-	15.4	△ 15.4
	要支援1・要支援2	79	▼ 32.9	24.1	35.4	10.1	2.5	▼ 6.3	3.8

単位：%

		母数 (n)	認知症について相談する相手(MA)					無回答
			民生委員	看護師・医師・歯科医師	地域包括支援センター	その他	そのような人はいない	
全体		2,238	2.7	15.1	8.9	1.3	8.3	4.9
性別	男性	999	2.8	15.9	5.7	1.0	11.2	3.9
	女性	1,187	2.8	14.7	11.8	1.5	5.8	5.4
	無回答	5	-	-	-	-	△ 40.0	-
年齢	65～69歳	458	2.2	15.3	7.6	1.1	10.9	2.2
	70～74歳	558	1.3	12.4	9.0	0.5	8.8	3.8
	75～79歳	619	3.4	12.6	10.0	1.5	8.4	3.7
	80～84歳	351	4.3	20.8	9.4	2.3	6.3	8.8
	85歳以上	208	3.8	21.2	8.2	1.4	4.8	8.7
居住地域	久喜西地区	461	1.5	15.8	6.7	0.7	8.9	5.4
	久喜東地区	457	3.5	14.2	9.8	1.8	8.5	3.9
	菖蒲地区	430	2.8	17.4	11.2	1.2	8.1	5.3
	栗橋地区	419	3.8	15.3	9.1	1.2	8.1	4.3
	鷲宮地区	401	2.5	13.7	8.5	1.5	7.7	4.7
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	2.7	15.4	8.7	1.1	8.1	4.5
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	-	15.4	-	7.7	15.4	-
	要支援1・要支援2	79	5.1	12.7	17.7	2.5	12.7	5.1

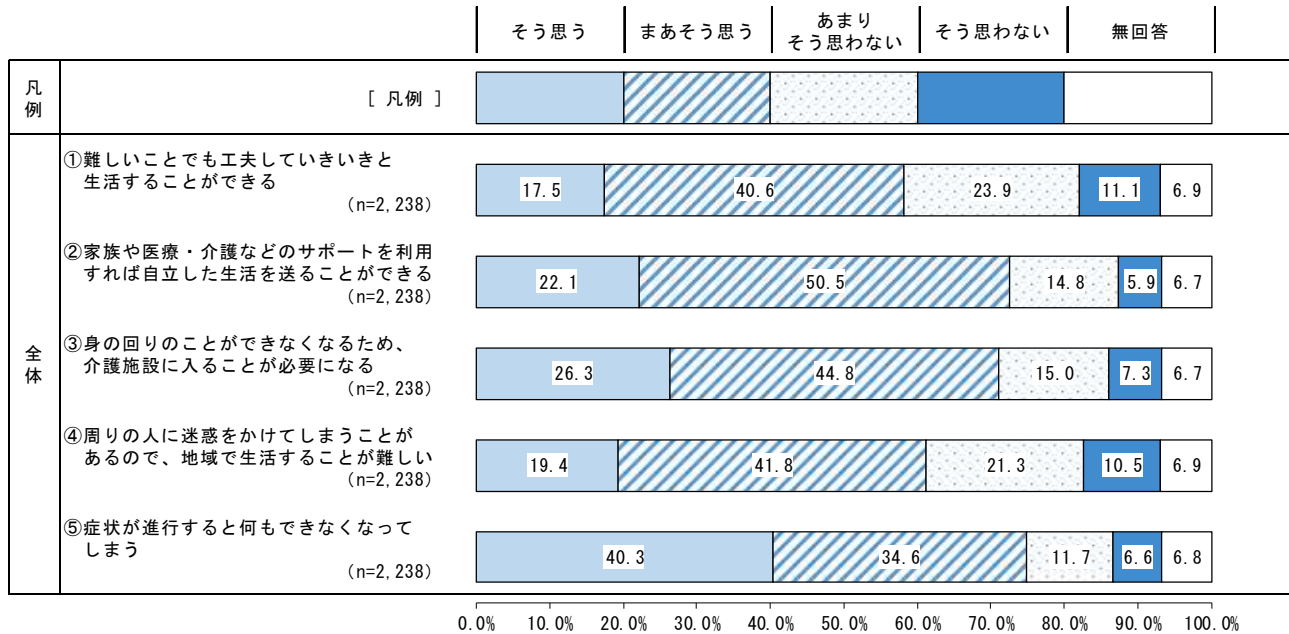
(4) 認知症に対するイメージ

●問50 認知症に対するイメージについてお答えください。(それぞれ1つに○)

【全体】

○ 認知症に対するイメージについて、「そう思う」が最も多いのは⑤症状が進行すると何もできなくなってしまう、「まあそう思う」が最も多いのは、②家族や医療・介護などのサポートを利用すれば自立した生活を送ることができるとなっています。

【認知症に対するイメージ】



(5) 認知症について知っていること

●問51 認知症について、知っていることを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

- 認知症について知っていることについて、「認知症は誰にでも発症する可能性がある」が 82.3%で最も多く、次いで「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」が 76.4%、「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」が 52.6%となっています。

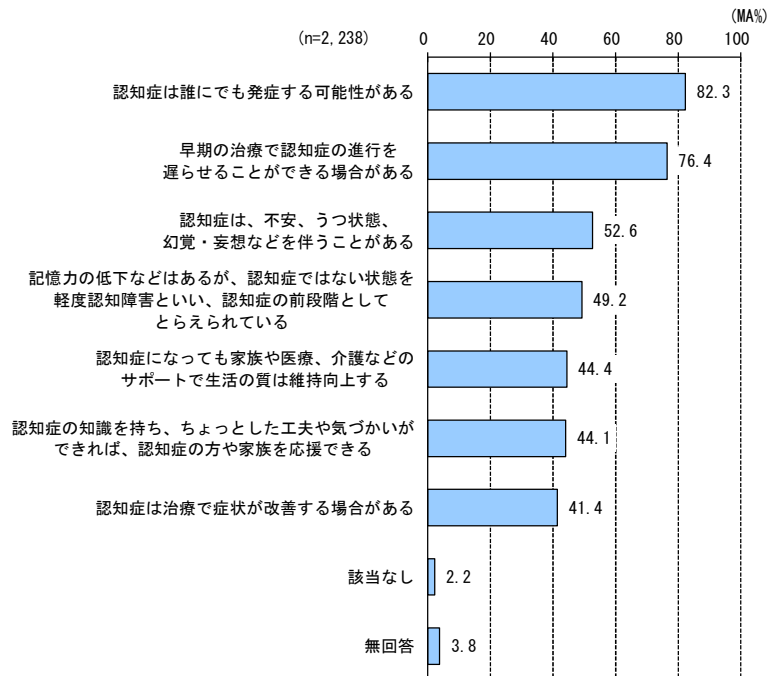
【性別】

- 「認知症になっても家族や医療、介護などのサポートで生活の質は維持向上する」「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」は、女性が男性を 10 ポイント以上上回っています。

【年齢】

- 85 歳以上では、「認知症は誰にでも発症する可能性がある」「早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある」「認知症は、不安、うつ状態、幻覚・妄想などを伴うことがある」が全体を 10 ポイント以上下回っています。

【認知症について知っていること (MA)】



		母数 (n)	認知症について知っていること(MA)								
			認知症は誰にでも発症する可能性がある	認知症は治療で症状が改善する可能性がある	早期の治療で認知症の進行を遅らせることができる場合がある	幻覚・妄想などを伴うことがある	認知症は、不安、うつ状態、	認知症の前段階としてとらえられている	記憶力の低下などはあるが、	介護などのサポートで生活の質は維持向上する	認知症の知識を持ち、ちよつとした工夫や応援ができる
全体		2,238	82.3	41.4	76.4	52.6	49.2	44.4	44.1	2.2	3.8
性別	男性	999	84.3	39.7	72.5	47.5	46.2	38.5	39.6	3.2	3.2
	女性	1,187	81.3	43.1	80.5	57.5	51.4	49.9	48.1	1.3	3.7
	無回答	5	△100.0	-	▼60.0	60.0	△80.0	▼20.0	▼20.0	-	-
年齢	65～69歳	458	88.9	42.1	80.1	60.7	48.9	44.3	49.6	1.7	2.2
	70～74歳	558	87.8	45.2	81.0	58.2	49.5	47.5	46.6	1.8	1.6
	75～79歳	619	81.9	40.2	77.1	49.6	52.5	46.0	41.5	1.9	3.4
	80～84歳	351	75.5	38.2	72.4	47.9	47.9	39.9	41.3	2.3	5.4
	85歳以上	208	▼68.8	38.9	▼63.9	▼39.9	40.4	40.9	38.5	4.8	8.7
居住地	久喜西地区	461	83.9	42.1	77.4	55.1	48.8	46.0	46.6	3.0	4.1
	久喜東地区	457	84.0	43.1	75.5	52.5	51.2	47.9	45.5	1.3	3.3
	菖蒲地区	430	78.4	40.2	74.2	50.9	46.0	40.2	41.2	3.3	3.7
	栗橋地区	419	83.3	39.9	78.8	54.2	50.8	46.1	45.3	1.9	3.8
	鷲宮地区	401	83.5	41.9	78.1	52.1	48.9	43.4	41.9	1.2	2.7
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	83.4	41.8	77.8	53.8	49.8	45.2	45.2	2.0	3.2
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	84.6	▼30.8	▼53.8	53.8	46.2	▼23.1	▼15.4	-	-
	要支援1・要支援2	79	▼68.4	40.5	▼62.0	▼38.0	▼38.0	35.4	▼29.1	2.5	6.3

(6) 近所に認知症の方がいた場合の接し方

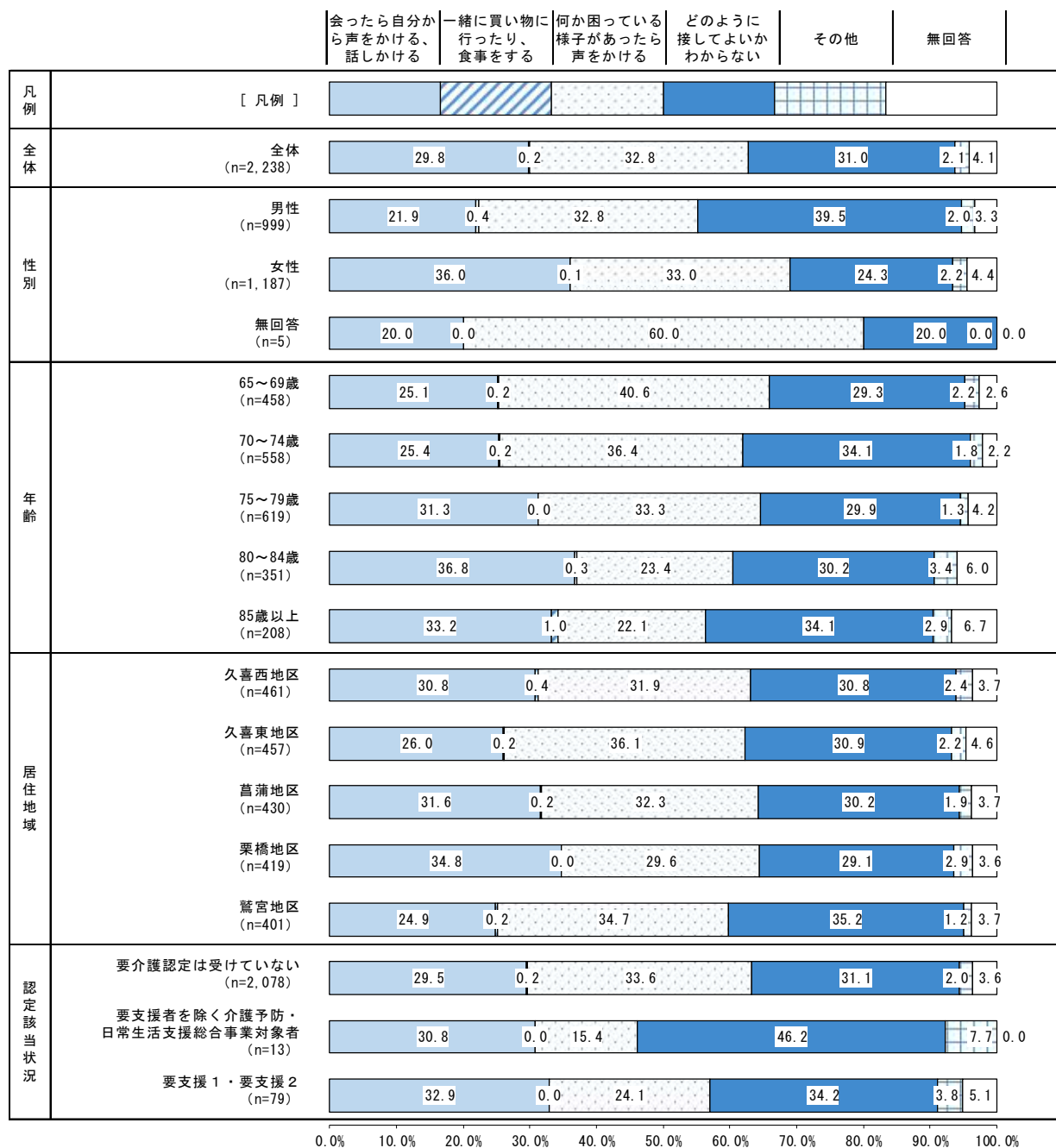
●問52 近所に認知症の方がいたら、どのように接しますか。現在のお気持ちに最も近いものをお答えください。(1つに○)

【全体】
 ○ 近所に認知症の方がいた場合の接し方について、「何か困っている様子があったら声をかける」が32.8%で最も多く、次いで「どのように接してよいかわからない」が31.0%、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が29.8%となっています。

【性別】
 ○ 男性では、「どのように接してよいかわからない」が39.5%で最も多くなっています。
 ○ 女性では、「会ったら自分から声をかける、話しかける」が36.0%で最も多くなっています。

【年齢】
 ○ 85歳以上では、「どのように接してよいかわからない」が34.1%で最も多くなっています。

【近所に認知症の方がいた場合の接し方】

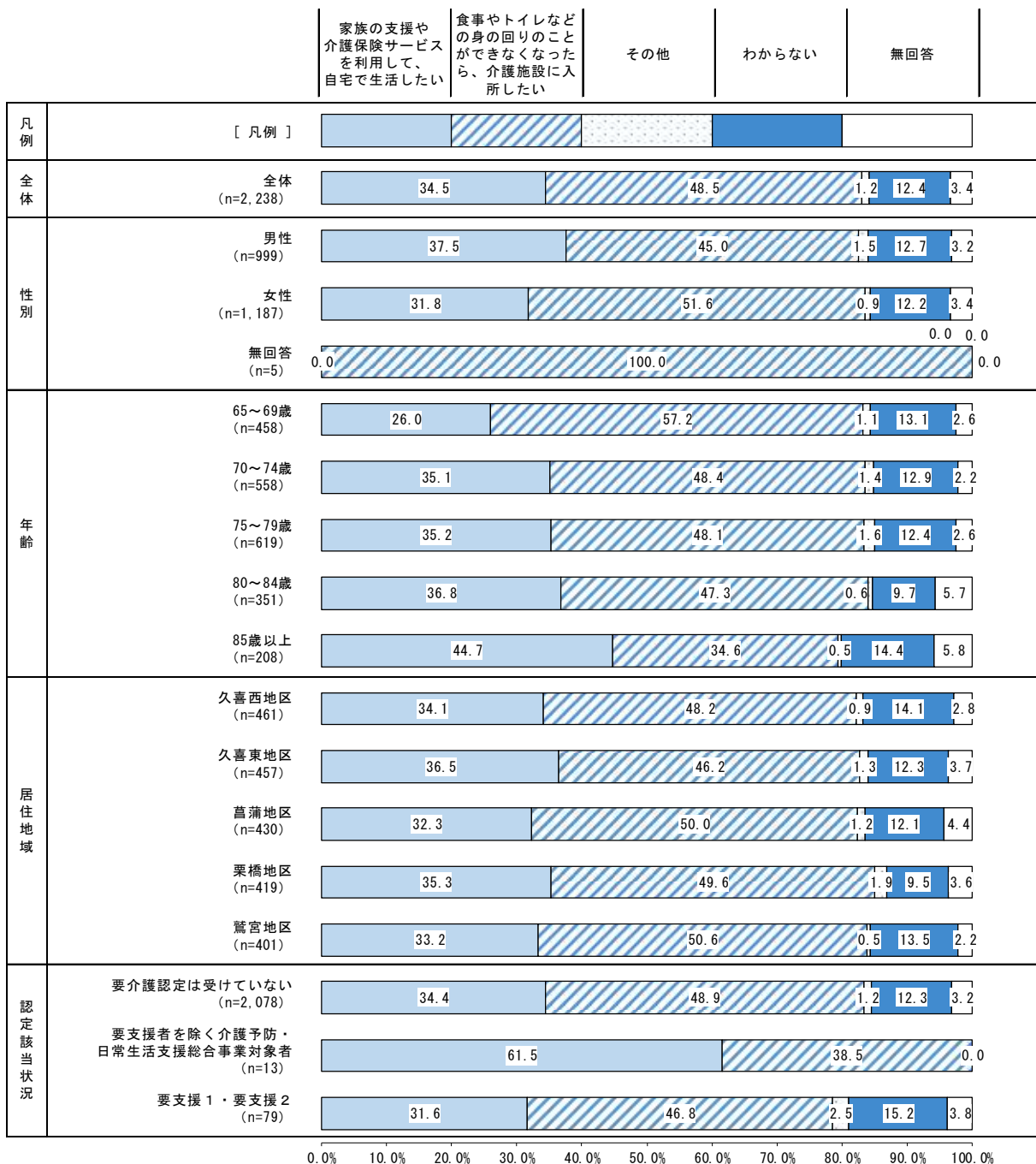


(7) 認知症になった場合に生活したい場所

●問53 ご自身が認知症になった場合、どこで生活したいですか。(1つに○)

- 【全体】**
 ○) 認知症になった場合に生活したい場所について、「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら、介護施設に入所したい」が48.5%で最も多く、次いで「家族の支援や介護保険サービスを利用して、自宅で生活したい」が34.5%、「わからない」が12.4%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「食事やトイレなどの身の回りのことができなくなったら、介護施設に入所したい」は女性が51.6%と、男性の45.0%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 年齢が高いほど「家族の支援や介護保険サービスを利用して、自宅で生活したい」が多くなる傾向がみられます。

【認知症になった場合に生活したい場所】



(8) 自分や家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思う

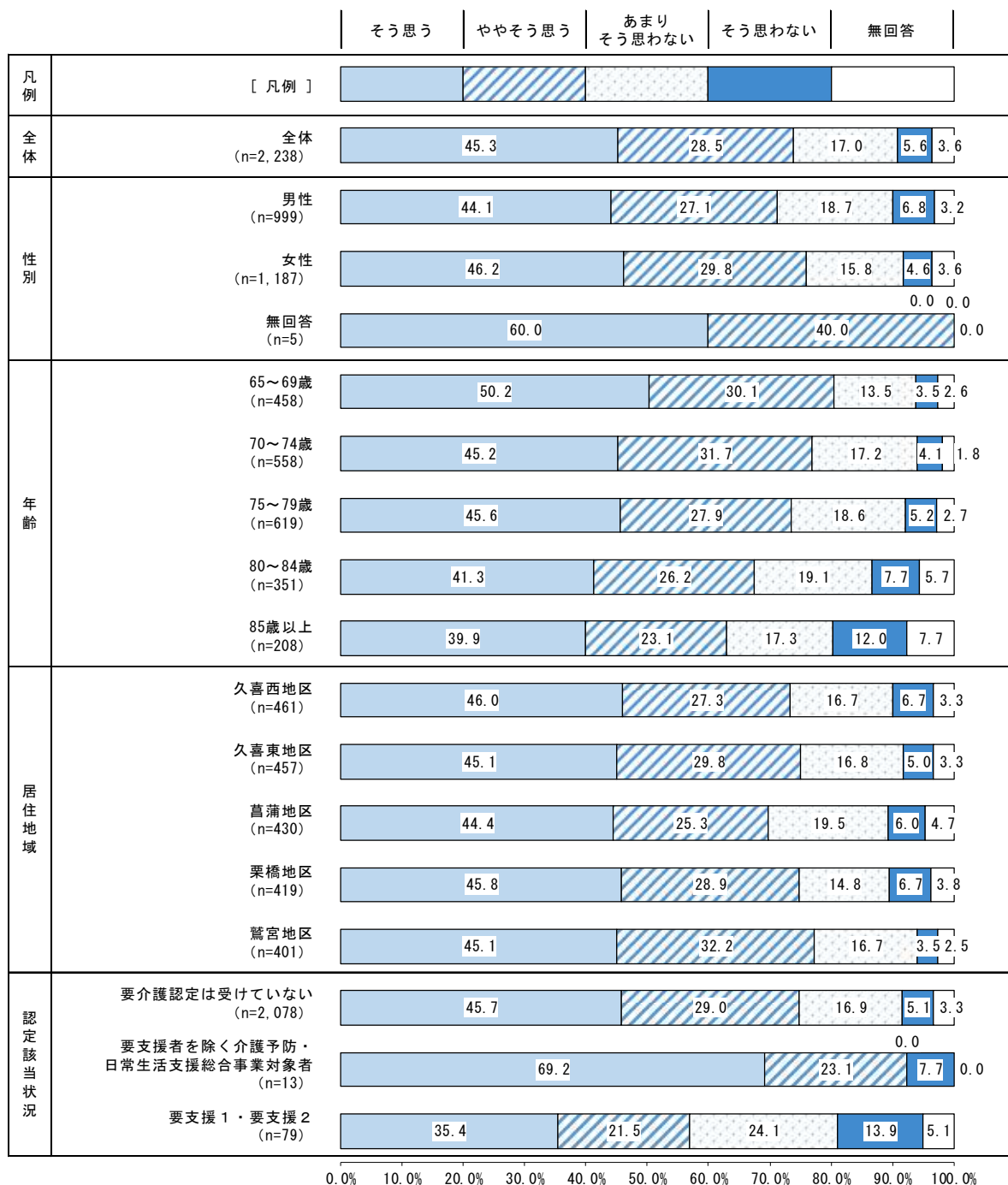
●問54 ご自身や家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思いますか。(1つに○)

【全体】
 ○ 自分や家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思うについて、「そう思う」が45.3%で最も多く、次いで「ややそう思う」が28.5%、「あまりそう思わない」が17.0%となっています。

【年齢】
 ○ 85歳以上では、「そう思わない」が12.0%と他の年代に比べて多くなっています。

【認定状況】
 ○ 要支援1・要支援2では、「そう思わない」が13.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【自分や家族、身近な人が認知症になった場合、そのことを周囲に伝えてもよいと思う】



10. 成年後見制度について

(1) 成年後見制度について

●問55 成年後見制度を知っていますか。(1つに○)

【全体】

- 成年後見制度について、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 47.2%で最も多く、次いで「以前から制度の内容を知っている」が 30.0%、「まったく知らない」が 16.0%となっています。

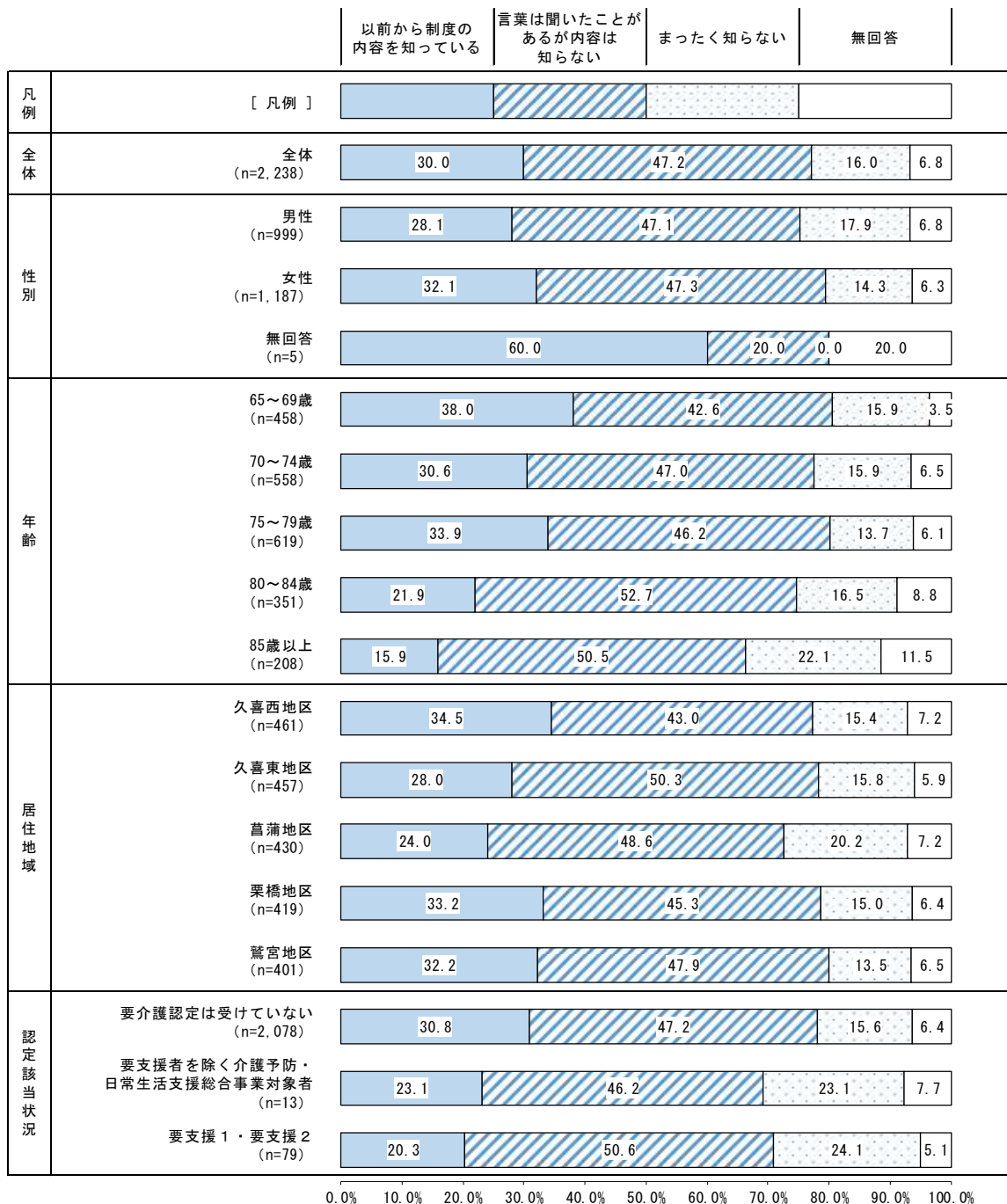
【年齢】

- 85歳以上では、「まったく知らない」が 22.1%と他の年代に比べて多くなっています。

【居住地域】

- 菖蒲地区では、「まったく知らない」が 20.2%と他の地域に比べて多くなっています。

【成年後見制度について】



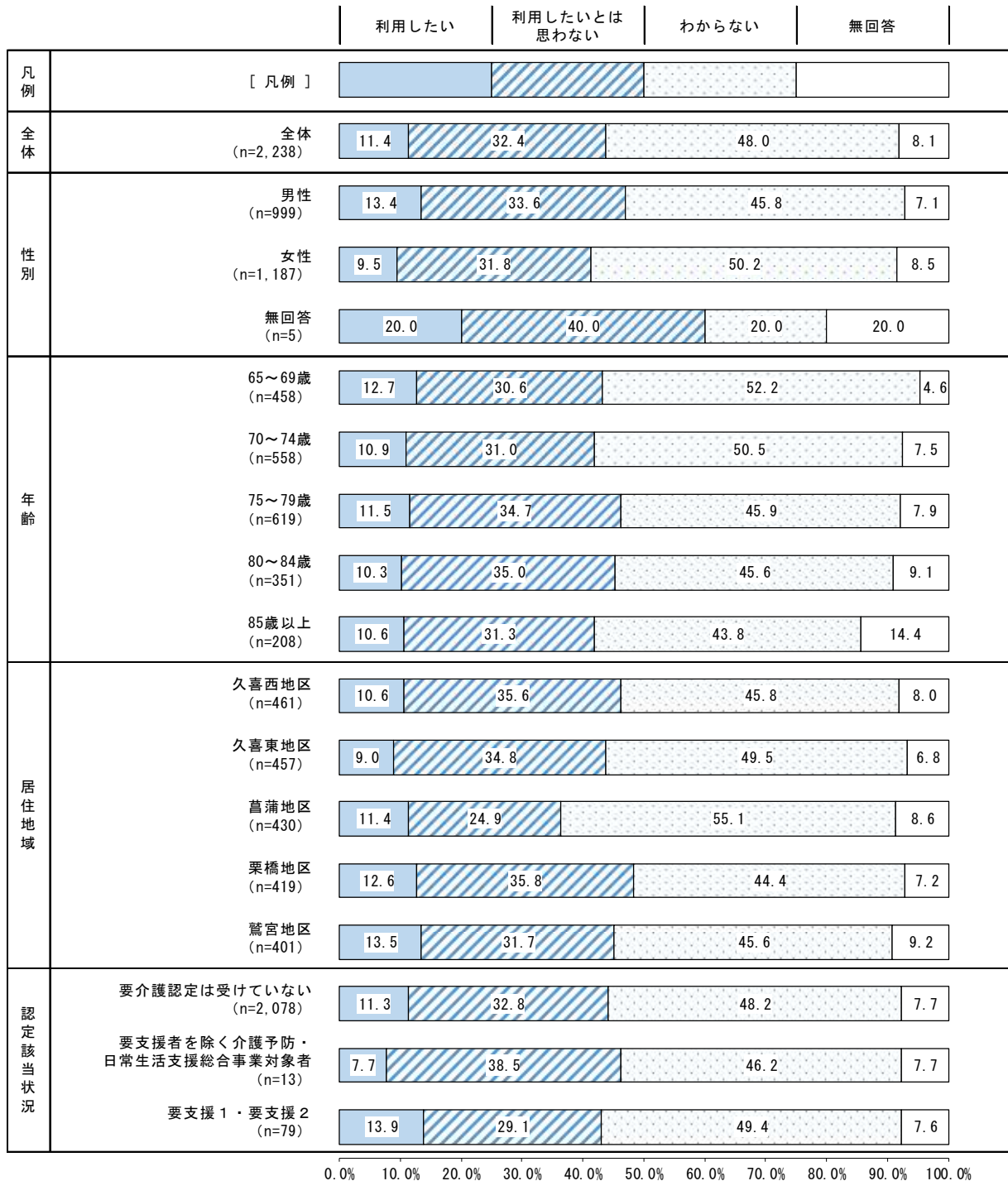
(2) 任意後見制度の利用意向

- 問56 成年後見制度には、法定後見制度のほかに、本人に十分な判断能力があるうちに、将来に備えて自ら代理人と契約する任意後見制度があります。任意後見制度を利用したいと思いますか。(1つに○)

【全体】
○ 任意後見制度の利用意向について、「利用したいとは思わない」が 32.4%、「利用したい」が 11.4%、「わからない」が 48.0%となっています。

【性別】
○ 「利用したい」は男性が 13.4%と、女性の 9.5%を上回っています。

【任意後見制度の利用意向】



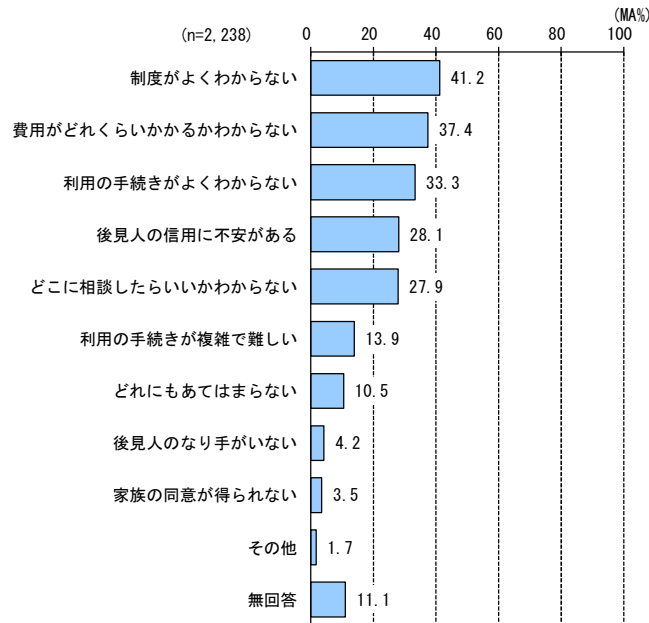
(3) 成年後見制度について思うこと

●問57 成年後見制度について思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

【全体】

○ 成年後見制度について思うことについて、「制度がよくわからない」が 41.2%で最も多く、次いで「費用がどれくらいかかるかわからない」が 37.4%、「利用の手続きがよくわからない」が 33.3%となっています。

【成年後見制度について思うこと (MA)】



単位：％

	母数 (n)	成年後見制度について思うこと (MA)											
		よく 度 わ か ら な い	よ く 利 用 の か 手 続 き が 続 き が い い	複 雑 な 手 続 き が い い	わ か ら な い か ら い	費 用 が ど れ く ら い か か る か わ か ら な い	い ど こ に わ か ら な い と い う と い う と い う と い う と	不 安 が あ る の 信 用 に	な り 見 人 の い な い	得 家 族 の 同 意 が	そ の 他	あ ど れ に も あ て は ま ら な い	無 回 答
全体	2,238	41.2	33.3	13.9	37.4	27.9	28.1	4.2	3.5	1.7	10.5	11.1	
性別	男性	999	44.8	36.5	13.6	40.3	31.0	27.6	4.4	3.4	1.7	7.6	9.5
	女性	1,187	38.4	30.7	14.1	35.4	25.4	28.6	4.0	3.7	1.7	13.2	11.9
	無回答	5	-	40.0	△ 40.0	△ 60.0	20.0	△ 60.0	-	-	-	-	20.0
年齢	65～69歳	458	42.1	34.3	13.1	41.3	29.0	31.9	4.1	3.5	1.7	12.0	5.0
	70～74歳	558	42.7	35.8	15.9	38.7	29.7	33.2	4.3	4.7	1.3	10.8	9.0
	75～79歳	619	36.7	34.6	15.0	38.3	26.8	28.1	4.4	3.7	1.8	10.8	10.5
	80～84歳	351	45.0	33.0	11.7	36.8	28.5	21.7	4.3	2.8	2.6	6.6	15.7
	85歳以上	208	43.3	▼ 21.2	10.6	▼ 26.4	22.6	18.3	2.9	1.4	1.0	13.5	21.6
居住地	久喜西地区	461	40.1	34.9	15.8	39.3	30.2	32.1	6.1	3.5	1.1	10.8	10.2
	久喜東地区	457	43.5	33.5	14.7	40.5	27.4	31.1	3.5	3.9	1.8	10.7	10.1
	菖蒲地区	430	45.6	35.8	15.3	37.0	27.7	24.2	3.7	2.8	1.4	8.8	12.3
	栗橋地区	419	37.9	30.5	9.3	33.4	27.9	27.4	3.3	2.9	2.1	12.2	10.7
	鷺宮地区	401	38.9	31.7	14.7	37.9	25.7	25.9	3.7	4.2	2.2	11.0	10.5
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	40.8	33.9	13.9	38.0	28.5	28.6	4.0	3.7	1.6	10.8	10.6
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	△ 53.8	38.5	23.1	△ 61.5	30.8	23.1	7.7	7.7	7.7	7.7	7.7
	要支援1・要支援2	79	△ 57.0	▼ 20.3	12.7	27.8	▼ 15.2	21.5	6.3	1.3	3.8	6.3	7.6

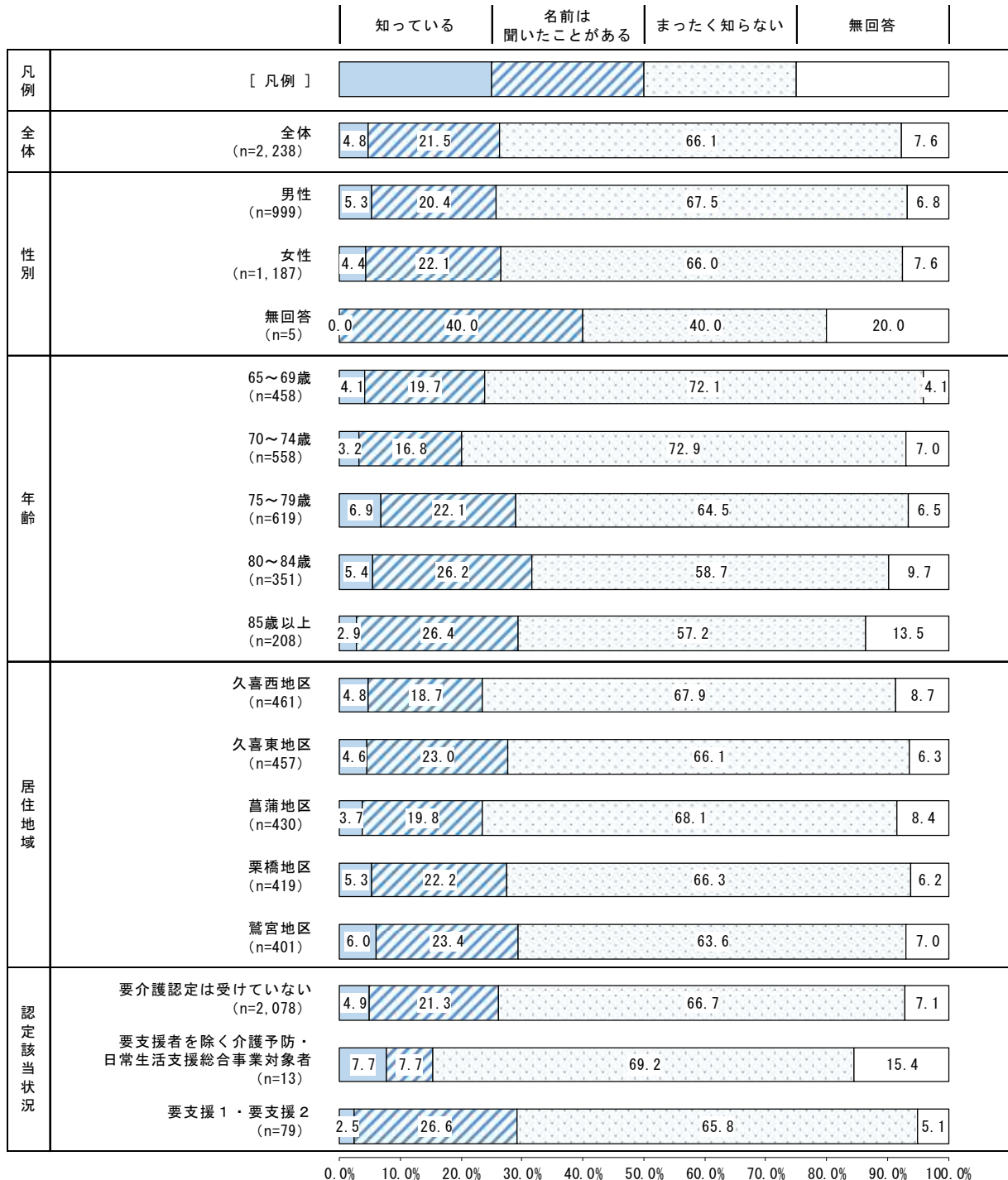
(4) 成年後見センターについて

●問58 成年後見センターを知っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 成年後見センターについて、「まったく知らない」が 66.1%で最も多く、次いで「名前は聞いたことがある」が 21.5%、「知っている」が 4.8%となっています。

【成年後見センターについて】



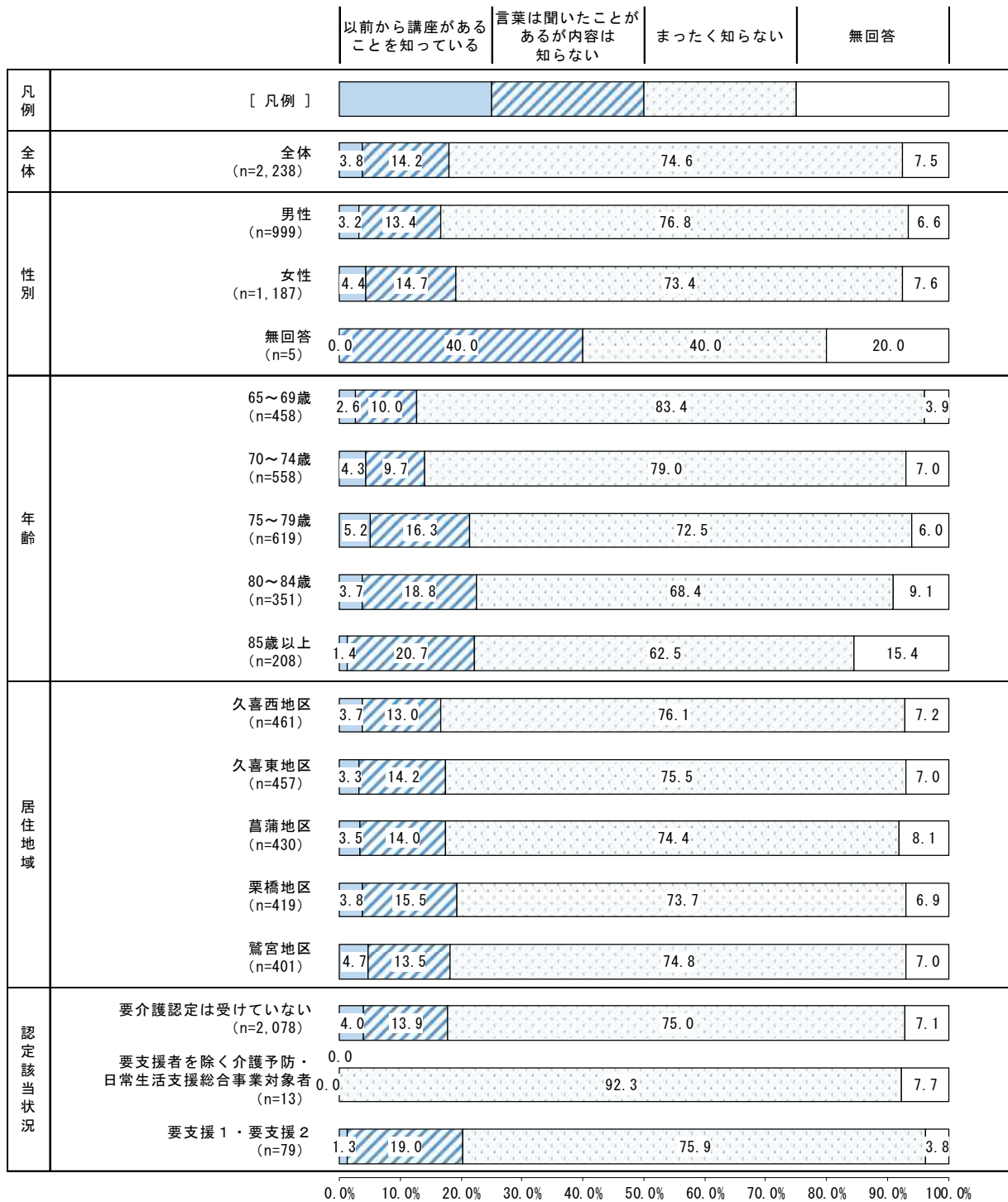
(5) 市民後見人の養成講座について

●問59 久喜市では、社会福祉協議会と連携し、市民後見人の養成講座を開催していますが、この講座を知っていますか。(1つに○)

【全体】

○ 市民後見人の養成講座について、「まったく知らない」が 74.6%で最も多く、次いで「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」が 14.2%、「以前から講座があることを知っている」が 3.8%となっています。

【市民後見人の養成講座について】



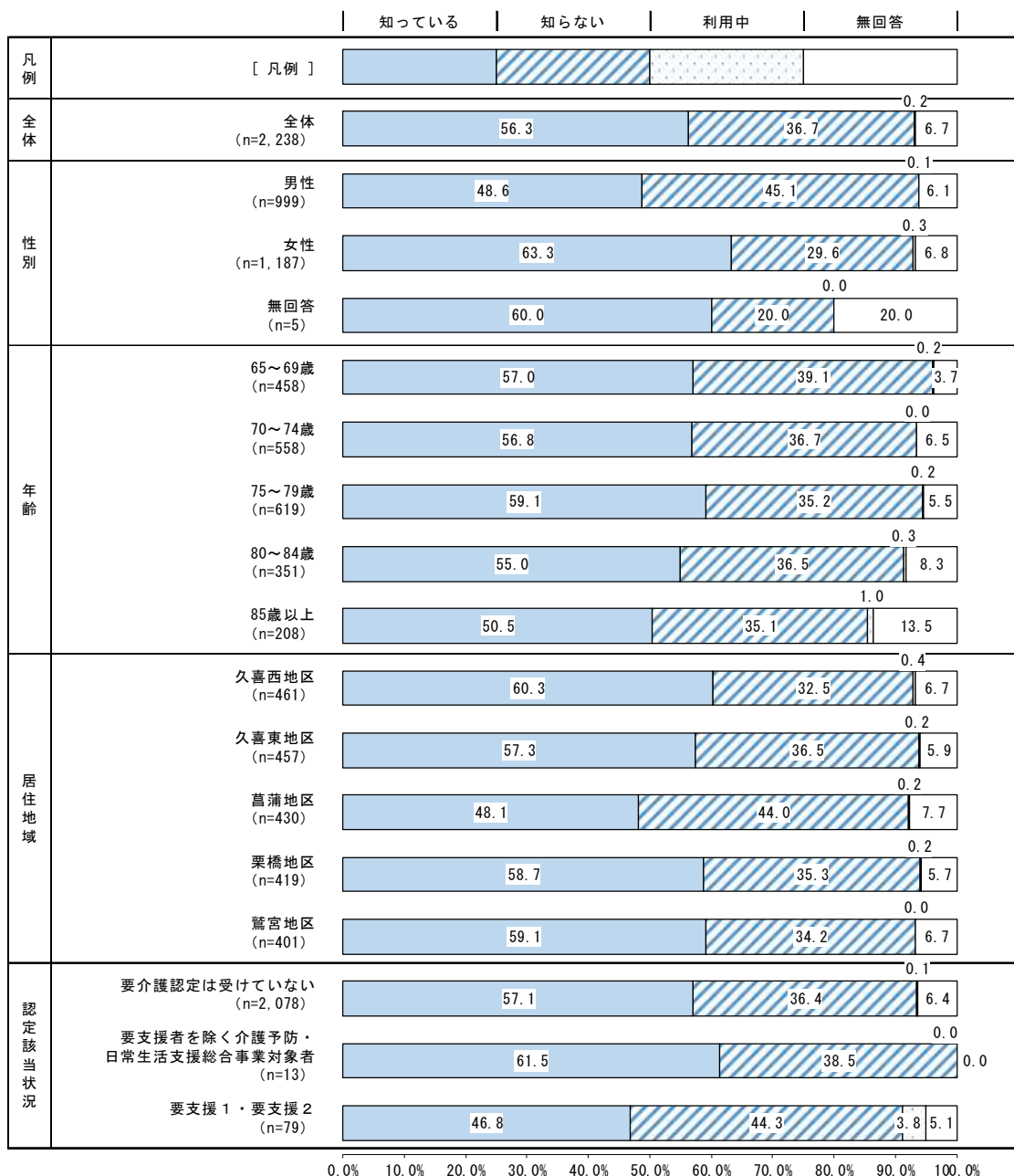
11. 在宅における医療と介護の連携について

(1) 訪問診療を利用できることを知っているか

- 問60 通院が困難になったときなど、訪問診療（定期的に自宅に来て診察すること）を利用できることを知っていますか。（1つに○）

【全体】
○ 訪問診療を利用できることを知っているかについて、「知っている」が 56.3%で最も多く、次いで「知らない」が 36.7%、「利用中」が 0.2%となっています。
【性別】
○ 「知っている」は女性が 63.3%と、男性の 48.6%を上回っています。
【年齢】
○ 85 歳以上では、「知っている」が 50.5%と他の年代に比べて少なくなっています。
【居住地域】
○ 菖蒲地区では、「知っている」が 48.1%と他の地域に比べて少なくなっています。

【訪問診療を利用できることを知っているか】

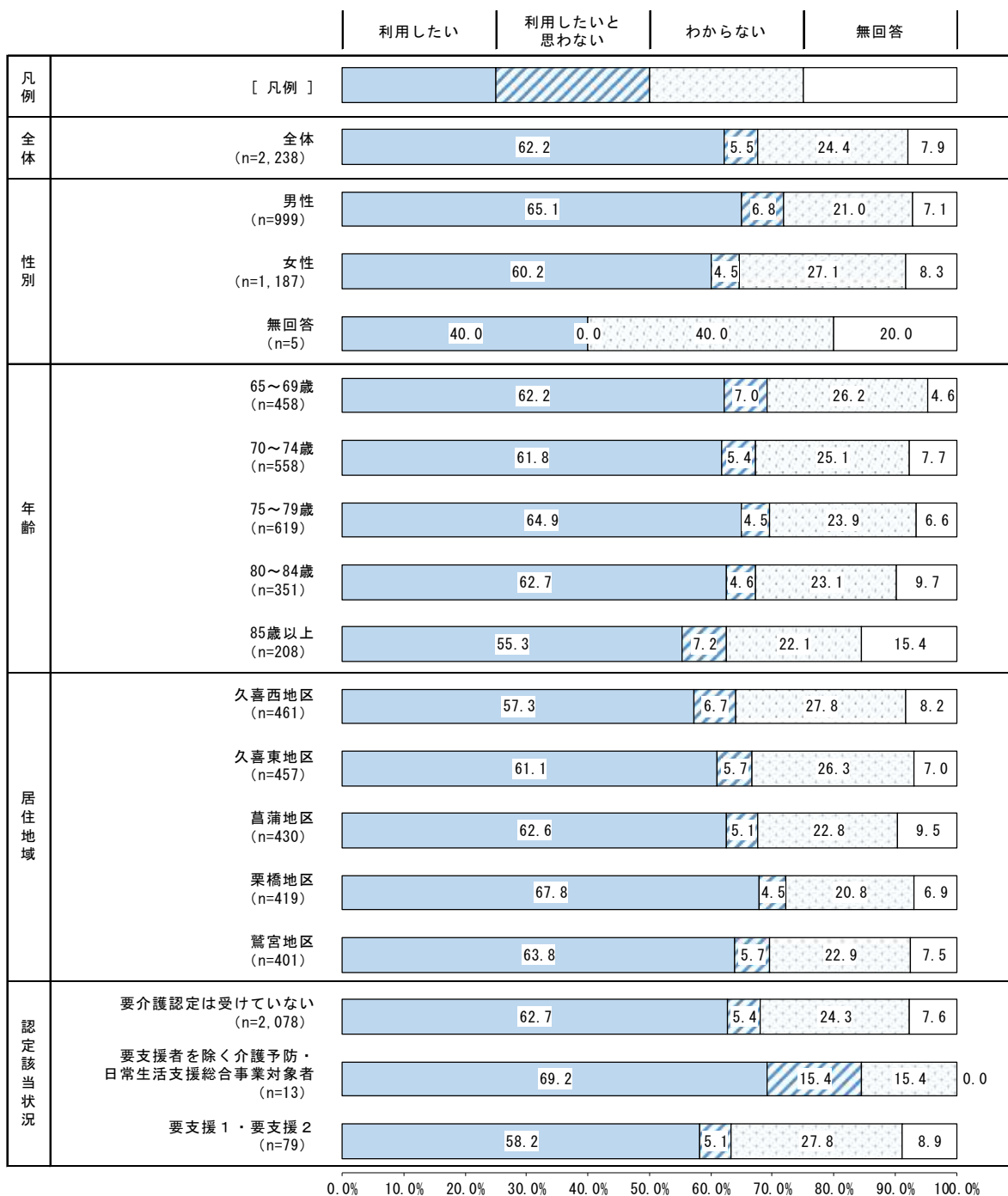


(2) 訪問診療の利用意向

●問61 訪問診療をしてくれる医師がいたら、利用したいと思いますか。(1つに○)

- 【全体】**
 ○ 訪問診療の利用意向について、「利用したい」が62.2%で最も多く、次いで「わからない」が24.4%、「利用したいと思わない」が5.5%となっています。
- 【性別】**
 ○ 「利用したい」は男性が65.1%と、女性の60.2%を上回っています。
- 【年齢】**
 ○ 85歳以上では、「利用したい」が55.3%と他の年代に比べて少なくなっています。
- 【居住地域】**
 ○ 久喜西地区では、「利用したい」が57.3%と他の地域に比べて少なくなっています。

【訪問診療の利用意向】

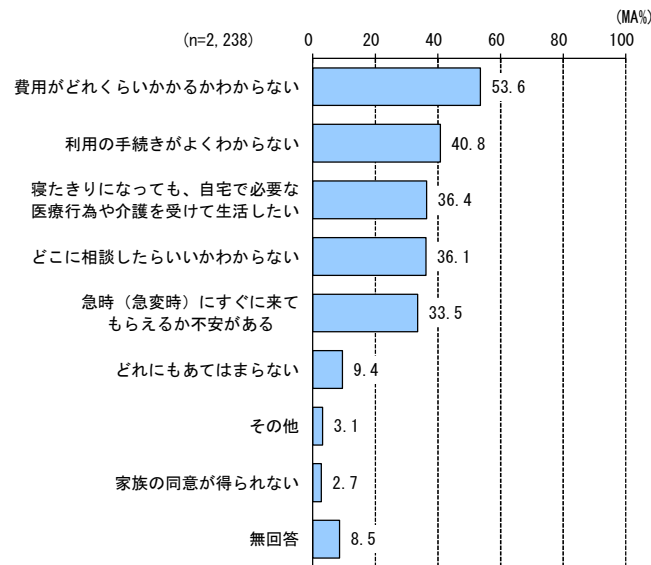


(3) 在宅における医療や介護について感じる事

●問62 在宅における医療や介護について感じる事について、ご回答ください。(あてはまるものすべてに○)

- 【全体】
- 在宅における医療や介護について感じる事について、「費用がどれくらいかかるかわからない」が 53.6%で最も多く、次いで「利用の手続きがよくわからない」が 40.8%、「寝たきりになっても、自宅で必要な医療行為や介護を受けて生活したい」が 36.4%となっています。
- 【性別】
- 女性では、「急時（急変時）にすぐに来てもらえるか不安がある」が 38.2%と、「費用がどれくらいかかるかわからない」に次いで多くなっています。

【在宅における医療や介護について感じる事 (MA)】



単位：%

	母数 (n)	在宅における医療や介護について感じる事 (MA)									
		介護を必要とする生活のため	寝たきりになっても、自宅で必要な医療行為や介護を受けて生活したい	よく利用の手続きがわからない	費用がどれくらいかかるかわからない	どこに相談したらいいかわからない	家族の同意が得られない	急時（急変時）にすぐに来てもらえるか不安がある	その他	どれもあてはまらない	無回答
全体	2,238	36.4	40.8	53.6	36.1	2.7	33.5	3.1	9.4	8.5	
性別	男性	999	43.8	44.6	57.5	40.8	2.5	28.4	2.9	7.0	7.2
	女性	1,187	30.2	37.2	50.1	32.3	2.9	38.2	3.5	11.5	9.1
	無回答	5	▼ 20.0	40.0	60.0	▼ 20.0	-	▼ 20.0	-	△ 20.0	20.0
年齢	65～69歳	458	29.0	36.5	52.2	30.6	2.6	34.9	3.7	13.1	4.4
	70～74歳	558	38.4	42.1	56.5	39.2	2.5	35.3	2.3	9.0	7.9
	75～79歳	619	37.5	41.8	52.8	37.6	2.9	34.9	4.2	8.9	7.1
	80～84歳	351	41.3	41.3	57.5	38.7	3.1	31.3	2.6	7.1	11.4
	85歳以上	208	35.6	40.9	▼ 43.3	31.3	1.9	26.9	2.4	8.7	16.3
居住地域	久喜西地区	461	35.6	42.1	55.5	36.0	4.1	34.3	3.5	10.2	7.4
	久喜東地区	457	35.0	40.7	55.6	39.8	2.4	33.7	2.8	11.4	8.8
	菖蒲地区	430	37.2	41.4	53.7	39.3	3.0	32.3	3.5	8.6	9.3
	栗橋地区	419	41.3	37.5	52.7	32.9	1.9	35.3	2.9	6.7	7.4
	鷺宮地区	401	33.2	40.6	49.6	31.9	2.2	32.4	3.0	10.5	8.5
認定状況	要介護認定は受けていない	2,078	36.3	40.6	53.7	36.6	2.6	33.6	3.3	9.6	8.2
	要支援者を除く介護予防・日常生活支援総合事業対象者	13	30.8	▼ 30.8	▼ 30.8	▼ 15.4	7.7	▼ 23.1	7.7	15.4	7.7
	要支援1・要支援2	79	40.5	46.8	59.5	32.9	5.1	40.5	-	6.3	3.8

12. 自由意見

- 問63 介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	高齢者福祉全般	件数	145件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・元気な年寄りを増やすためにいろんな運動サークルを広く知らせて、皆が入りやすいようにしてほしい。公民館等も集会所を補修し、各地域で皆が利用しやすいようにしてほしい。 ・高齢者同士のコミュニケーションは大切だと思うが、加えて若い方たちとの交流も重要ではないか。縦のつながり、横のつながりを広めていけたら、これからの子どもたちも思いやりを持って高齢者とよい関係が作れると思う。 ・高齢者に対する制度や手続きに対して、もう少し簡単に説明してほしい。年齢が高くなると、いろいろなことの判断ができなくなるので、優しく接してほしい。 ・制度があっても使い方がわからなかったり、手続きが面倒だったり、利用しづらいのでは意味がない。高齢者向けの案内や町の仕組みなどが書かれたパンフレットの配布とかあればよいと思う。 ・漠然とボランティア活動や福祉活動のお手伝いをしたいと思っても、何があるのか、自分でも動いていないため間口が狭くなっている。 ・福祉に携わる方の人手不足が心配だが、必要などきに必要な制度が受けられる市であってほしいと願っている。よい人材を採用していただきたい。 		

カテゴリ	介護保険制度・サービス	件数	103件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・要支援や要介護の認定をしてもらうときは、自分で市役所に連絡しないといけないのかわからない。要支援になったとき、初めて介護保険を利用できるのだろうか。もっと明確にわかるようにしてほしい。 ・インターネットでの案内だけでなく、窓口案内を充実してほしい。介護従事者の方々への待遇と質の向上を望む。 ・介護が必要となった際に、速やかに介護保険が利用できるとありがたい。手続き内容が簡素で、プロセスがスピーディーに行われると嬉しい。 ・要支援の認定を受けると、介護保険で福祉用具を安く借りられることを知った。とてもよい制度だと思った。認知している人は少ないと思う。 ・介護ロボットやICTを積極的に導入し、介護士の身体的、精神的な負担を軽減し、生産性を向上させることで、人材不足の解消につなげるべきだと思う。 		

カテゴリ	地域生活	件数	61件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・配偶者に先立たれ、一人暮らしをしている。料理をした経験がなく、今は電子レンジでの温めた食事になっているため栄養等が心配。食事等のサポートがあればと願っている。 ・高齢の一人暮らしが増えていくと思われる。そうした中、自治会のあり方・運営の仕方など見直しが必要と思われる。役員を受けることや配布物の受け取り、配布等が困難になる。 ・当番制で地区の役員等になるのは高齢であるし、地区のことも全くわからず責任があって負担が大きすぎる。行政で考えてほしい。 ・自治会で活動しているが、認知症の方の対応や具体的な介護の方法がわからない（例：いきいきサロンに車椅子で参加してよいか）。 		
カテゴリ	介護保険料	件数	60件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・年金生活者としては納付保険料がかなり負担。介護を受ける必要でない人にとっての恩恵は何かあるのか。 ・介護人材確保のため、今より税金を投入してほしい。ただし、保険料の増加は限界にきている。介護保険自己負担額の増加は、きめ細かい設定が必要。 ・高齢者で収入が少ないのに介護保険料が高すぎる。介護保険制度自体はよいと思う。 		
カテゴリ	交通・移動手段	件数	34件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・市内では市内循環バス等、さまざまな移動手段が確保されている。高齢者が自分らしい暮らしを続けるためには、移動手段の確保も大事と考える。今後も引き続き可能な限り、移動手段の確保に努めてほしい。 ・体力アップや趣味の講座があるが、車の運転ができないと移動が不便で参加が難しい。 ・地域により福祉活動にばらつきがある。特に、栗橋地区は公共交通がなく不便を感じる。 ・葛梅地区は全くバス便がなく、要支援になる前の高齢者が多数いるが行動が限られている。鷲宮地区は駅があるというだけで、鷲宮の公共施設、病院へ行く手段がない。 		
カテゴリ	将来に関する不安や悩み	件数	23件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・母を自宅で介護していたときは、おむつの補助が受けられた。現在はグループホームに入所しているが、おむつ代や消耗品の出費が多くかかっている。施設に入所しても同じように補助が受けられるとよいと思う。自分が介護を受けるようになったときに、預金がないと十分な介護が受けられないと思うと、とても不安になる。 ・車に乗らなくなった時の買い物や病院等、現実に身に不安を感じる。空家等が放置されている様子を見ると不安になる。 ・介護者のことはケアマネジャーに相談できるが、介護する人のことは誰も助けてくれない。ふれあいセンターで介護する人の集まりがあるそうだが、皆の前で話をしても、家に帰れば何も変わらないと思う。 		
カテゴリ	医療	件数	13件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療施設が脆弱なため、もしもの時（緊急時対応）の心配がある。 ・病院間の紹介からの移行が、希望通りになるように簡単にしたい（通いにくい場合もあるため）。 ・訪問看護制度の充実化。近隣のクリニックでは不可とのこと。 		

要介護認定者調査 調査結果

1. 宛名の本人について

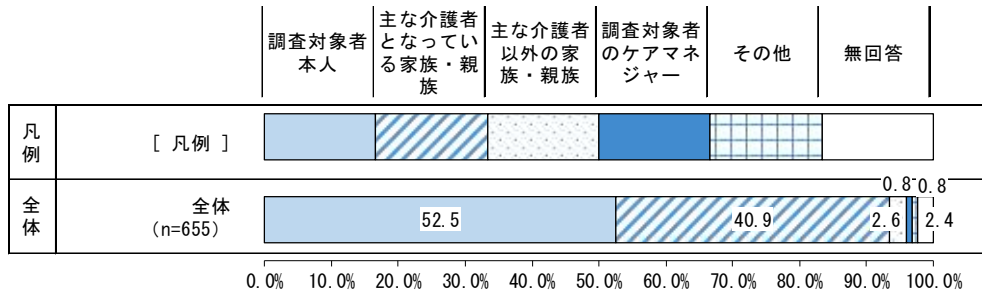
(1) 回答者

●問1 A票にご回答をいただいているのは、どなたですか。

【全体】

○ 回答者について、「調査対象者本人」が 52.5%で最も多く、次いで「主な介護者となっている家族・親族」が 40.9%、「主な介護者以外の家族・親族」が 2.6%となっています。

【回答者】



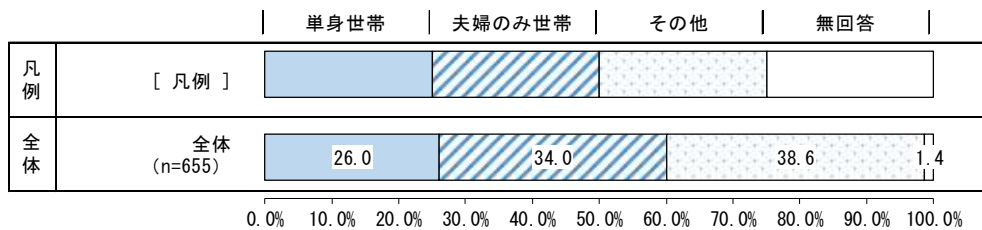
(2) 世帯類型

●問2 世帯類型について、ご回答ください。

【全体】

○ 世帯類型について、「夫婦のみ世帯」が 34.0%、「単身世帯」が 26.0%となっています。

【世帯類型】



(3) 家族等の介護の頻度

●問3 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

【全体】

- 家族等の介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が 38.3%で最も多く、次いで「ない」が 24.9%、「週に1～2日ある」が 14.0%となっています。

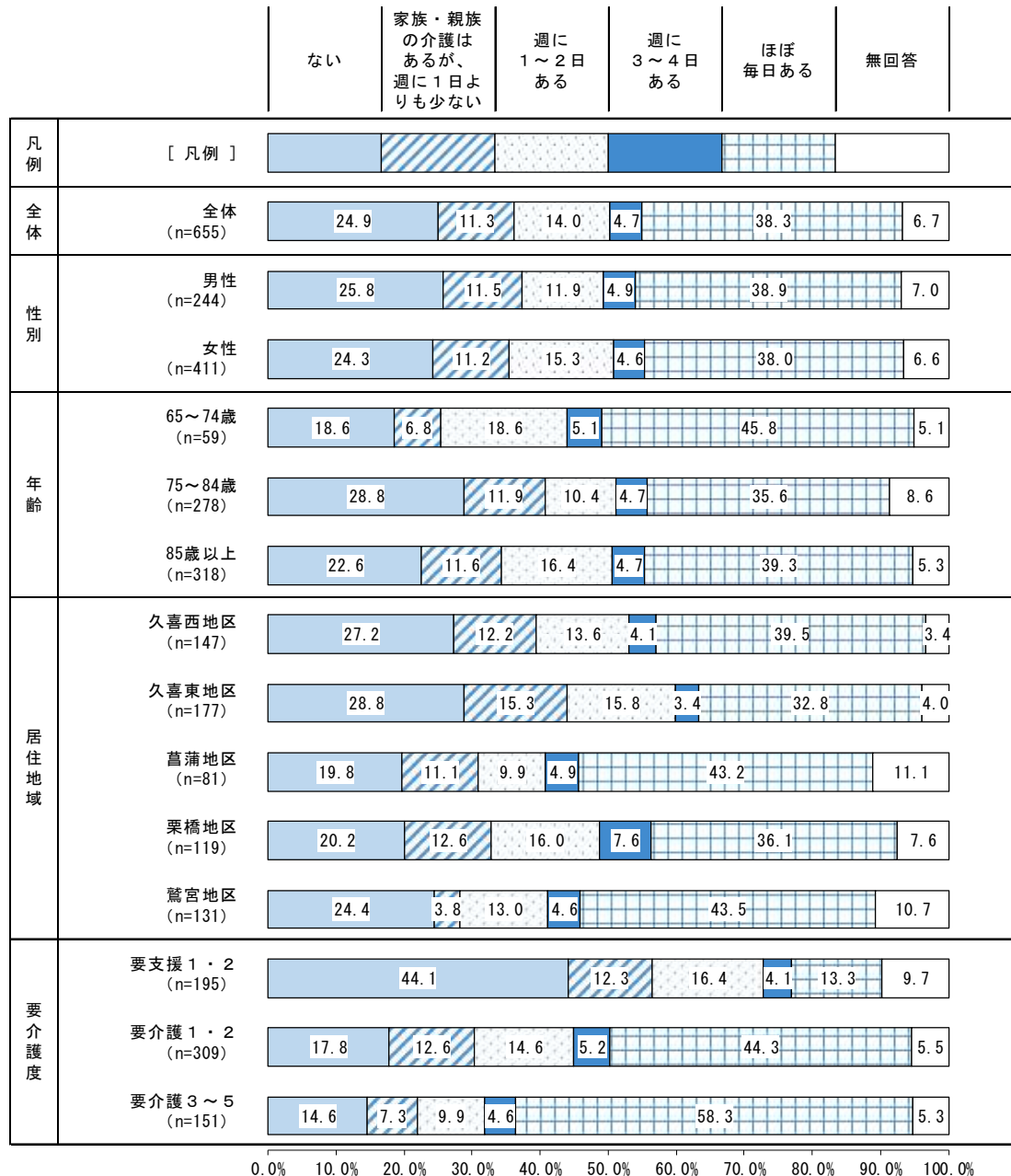
【年齢】

- 65～74歳では、「ほぼ毎日ある」が 45.8%と他の年代に比べて多くなっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「ほぼ毎日ある」が 58.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【家族等の介護の頻度】



(4) 主な介護者

●問3-1 主な介護者はどなたですか。

【全体】

○ 主な介護者について、「子」が 50.4%で最も多く、次いで「配偶者」が 36.2%、「子の配偶者」が 7.6%となっています。

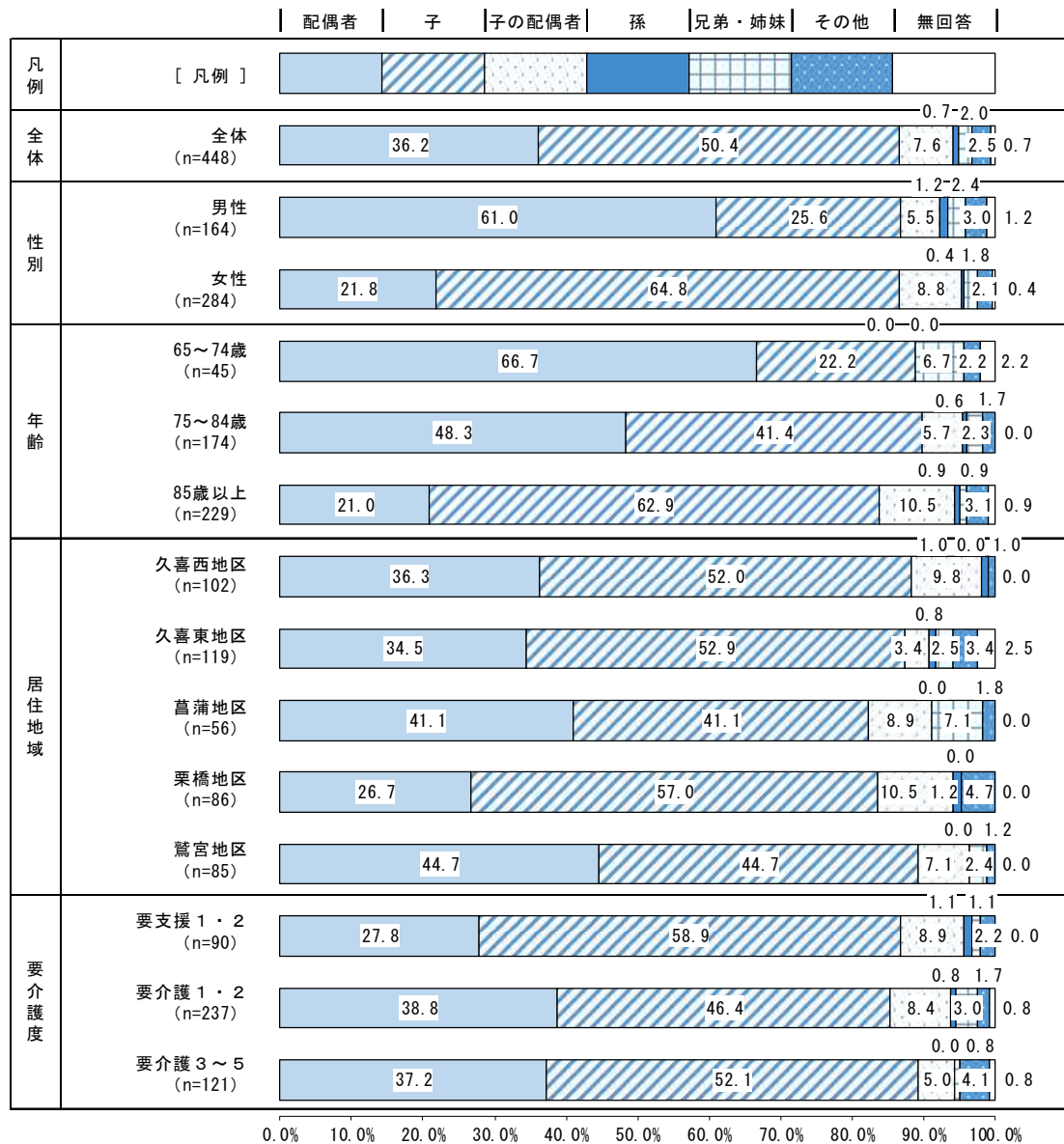
【性別】

○ 男性では「配偶者」が 61.0%で最も多く、女性では「子」が 64.8%で最も多くなっています。

【年齢】

○ 65～74 歳、75～84 歳では「配偶者」が最も多く、85 歳以上では「子」が最も多くなっています。

【主な介護者】

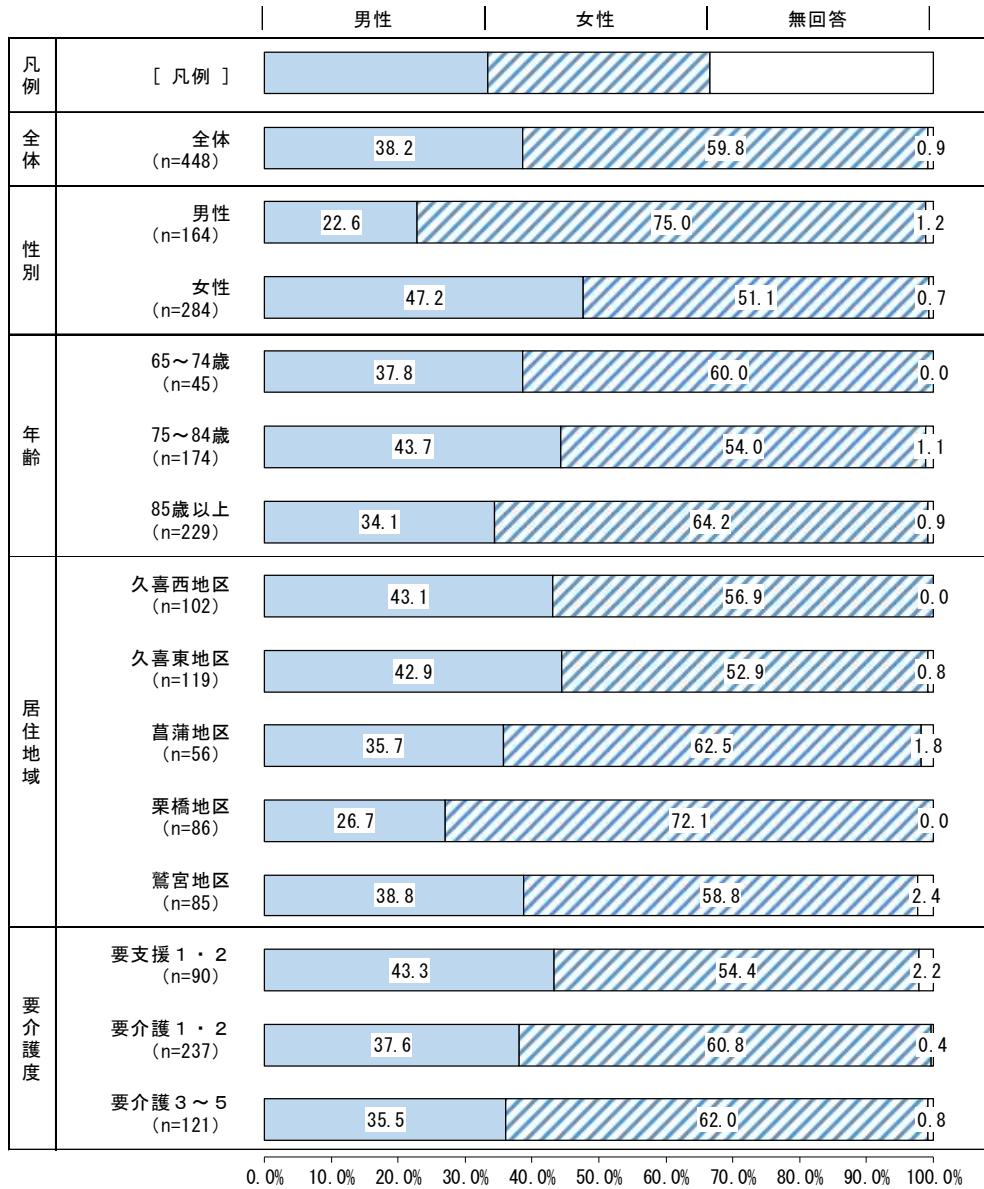


(5) 主な介護者の性別

●問3-2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。

【全体】
○ 主な介護者の性別について、「男性」が38.2%、「女性」が59.8%となっています。

【主な介護者の性別】



(6) 主な介護者の年齢

●問3-3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。

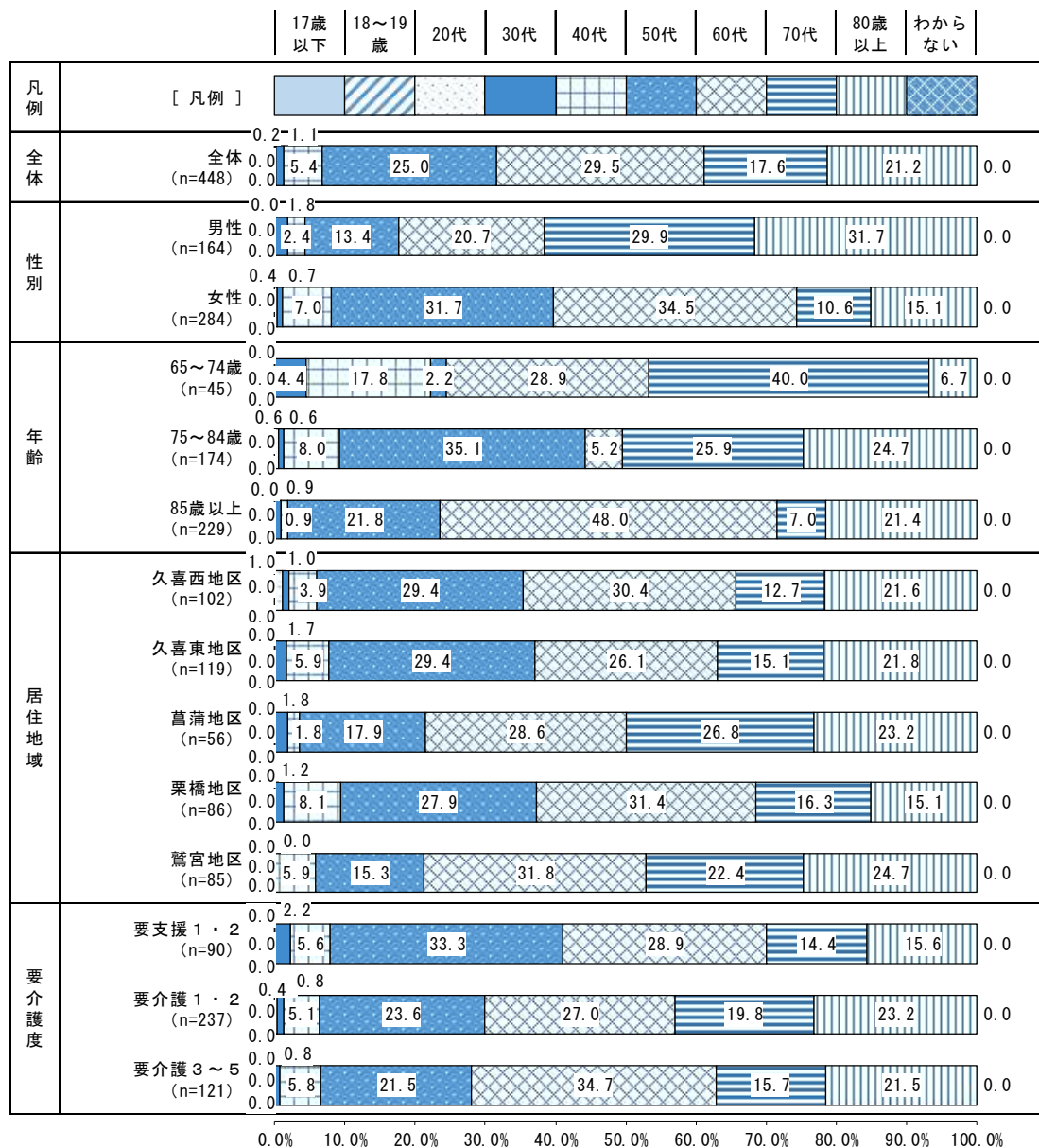
【全体】

- 主な介護者の年齢について、「60代」が29.5%で最も多く、次いで「50代」が25.0%、「80歳以上」が21.2%となっています。

【性別】

- 男性では、「80歳以上」が31.7%で最も多く、次いで「70代」が29.9%、「60代」が20.7%となっています。
- 女性では、「60代」が34.5%で最も多く、次いで「50代」が31.7%、「80歳以上」が15.1%となっています。

【主な介護者の年齢】



(7) 介護者が行っている介護

●問3-4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。(MA)

【全体】

- 介護者が行っている介護について、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が81.9%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が76.1%、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が70.3%となっています。

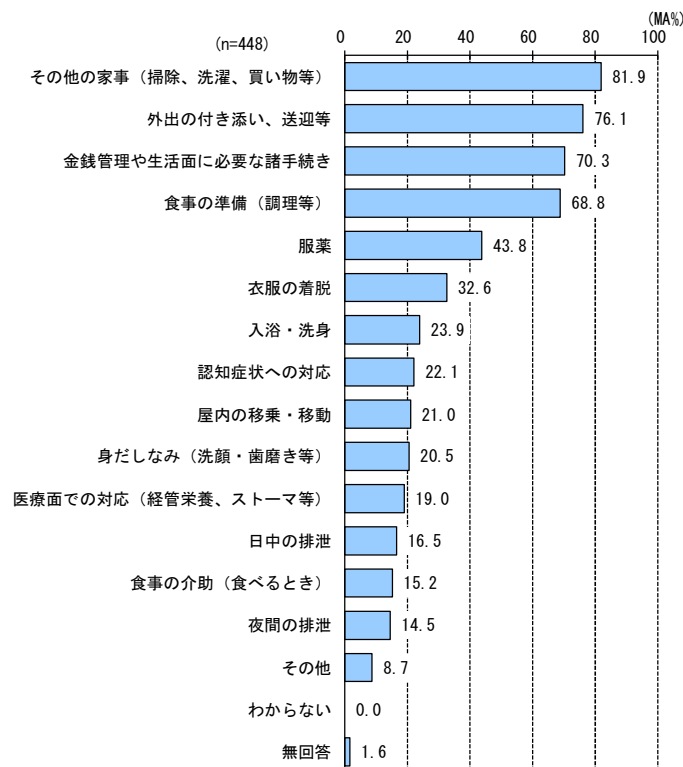
【性別】

- 男性では、「食事の準備（調理等）」「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が74.4%と「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」に次いで多くなっています。

【要介護度】

- 要支援1・2では、「外出の付き添い、送迎等」が70.0%で最も多くなっています。

【介護者が行っている介護】



単位：％

	母数 (n)	介護者が行っている介護									
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べるとき)	入浴・洗身	(身だしなみ 洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等の付き添い、	服薬	
全体	448	16.5	14.5	15.2	23.9	20.5	32.6	21.0	76.1	43.8	
性別	男性	164	16.5	16.5	17.7	29.3	23.8	39.0	19.5	71.3	53.7
	女性	284	16.5	13.4	13.7	20.8	18.7	28.9	21.8	78.9	38.0
年齢	65～74歳	45	△ 28.9	22.2	22.2	31.1	△ 35.6	△ 46.7	△ 35.6	73.3	46.7
	75～84歳	174	15.5	14.4	14.4	27.6	19.0	31.0	16.7	76.4	42.0
	85歳以上	229	14.8	13.1	14.4	19.7	18.8	31.0	21.4	76.4	44.5
居住地	久喜西地区	102	16.7	14.7	12.7	22.5	15.7	35.3	21.6	78.4	43.1
	久喜東地区	119	15.1	13.4	14.3	21.0	18.5	32.8	21.8	72.3	40.3
	菖蒲地区	56	16.1	16.1	21.4	28.6	26.8	28.6	25.0	73.2	46.4
	栗橋地区	86	14.0	12.8	10.5	24.4	24.4	26.7	16.3	77.9	39.5
	鷲宮地区	85	21.2	16.5	20.0	25.9	21.2	37.6	21.2	78.8	51.8
要介護度	要支援1・2	90	-	-	6.7	▼ 12.2	▼ 1.1	▼ 7.8	▼ 7.8	70.0	▼ 10.0
	要介護1・2	237	▼ 5.9	7.2	8.0	24.9	11.4	24.5	13.1	78.5	44.7
	要介護3～5	121	△ 49.6	△ 39.7	△ 35.5	30.6	△ 52.9	△ 66.9	△ 46.3	76.0	△ 66.9

単位：％

	母数 (n)	介護者が行っている介護								
		認知症状への対応	(経管栄養、 ストーマ等)	医療面での対応 (調理等)	食事の準備	(掃除、洗濯、 買い物等)	その他の家事	必要な諸手続き 生活面に	その他	わからない
全体	448	22.1	19.0	68.8	81.9	70.3	8.7	-	1.6	
性別	男性	164	20.7	20.1	74.4	83.5	74.4	10.4	-	2.4
	女性	284	22.9	18.3	65.5	81.0	68.0	7.7	-	1.1
年齢	65～74歳	45	▼ 8.9	17.8	75.6	86.7	80.0	13.3	-	2.2
	75～84歳	174	24.1	17.2	69.0	82.8	71.8	8.6	-	2.3
	85歳以上	229	23.1	20.5	67.2	80.3	67.2	7.9	-	0.9
居住地	久喜西地区	102	26.5	18.6	70.6	82.4	75.5	8.8	-	1.0
	久喜東地区	119	23.5	16.8	65.5	79.8	68.1	12.6	-	2.5
	菖蒲地区	56	26.8	21.4	69.6	78.6	66.1	7.1	-	3.6
	栗橋地区	86	14.0	10.5	72.1	80.2	65.1	8.1	-	-
	鷲宮地区	85	20.0	△ 29.4	67.1	88.2	75.3	4.7	-	1.2
要介護度	要支援1・2	90	▼ 6.7	15.6	▼ 47.8	▼ 68.9	▼ 43.3	6.7	-	2.2
	要介護1・2	237	20.7	17.3	68.4	83.5	72.6	8.4	-	2.1
	要介護3～5	121	△ 36.4	24.8	△ 85.1	88.4	△ 86.0	10.7	-	-

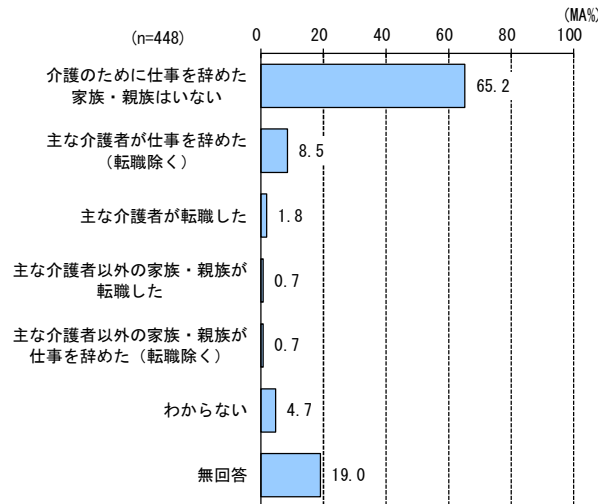
(8) 介護のための離職の有無

●問3-5 ご家族やご親族の中で、ご本人（調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか。（MA）

【全体】

○ 介護のための離職の有無について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 65.2%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 8.5%、「わからない」が 4.7%となっています。

【介護のための離職の有無】



単位：%

	母数 (n)	介護のための離職の有無						わからない	無回答
		辞めた 主な 介護者 (転職 除く)	辞めた 家族・ 親族 (転職 除く)	主な 介護 者が 転職 した	主な 介護 者が 以外 の 職に 就いた	主な 介護 者が 以外 の 職に 就いた	い ない た め に 家 族 ・ 親 族 が 仕 事 を 辞 め た		
全体	448	8.5	0.7	1.8	0.7	65.2	4.7	19.0	
性別	男性	164	8.5	0.6	0.6	1.2	62.8	6.1	20.1
	女性	284	8.5	0.7	2.5	0.4	66.5	3.9	18.3
年齢	65～74歳	45	13.3	-	-	2.2	68.9	6.7	8.9
	75～84歳	174	5.7	0.6	0.6	1.1	65.5	4.6	22.4
	85歳以上	229	9.6	0.9	3.1	-	64.2	4.4	18.3
居住地域	久喜西地区	102	7.8	1.0	-	-	63.7	3.9	23.5
	久喜東地区	119	8.4	-	3.4	0.8	63.0	6.7	17.6
	菑蒲地区	56	10.7	1.8	-	-	66.1	7.1	16.1
	栗橋地区	86	3.5	-	1.2	-	73.3	4.7	17.4
	鷺宮地区	85	12.9	1.2	3.5	2.4	61.2	1.2	18.8
要介護度	要支援1・2	90	5.6	1.1	1.1	-	67.8	6.7	17.8
	要介護1・2	237	6.8	-	1.7	0.8	66.2	3.8	21.5
	要介護3～5	121	14.0	1.7	2.5	0.8	61.2	5.0	14.9

(9) 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス

●問4 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、ご回答ください。

(MA)

【全体】

- 在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについて、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 39.7%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が 36.8%、「買い物（宅配は含まない）」が 28.1%となっています。
- なお、「特になし」は 18.2%となっています。

【年齢】

- 65～74 歳、75～84 歳では「外出同行（通院、買い物など）」「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も多くなっています。

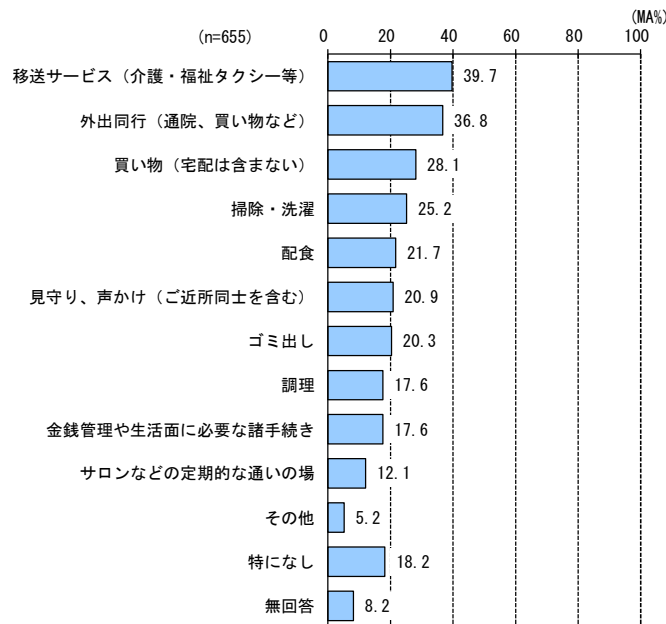
【居住地区】

- 久喜東地区では、「外出同行（通院、買い物など）」が 40.1%で最も多くなっています。

【要介護度】

- 要介護 1・2 では、「外出同行（通院、買い物など）」が 40.1%で最も多くなっています。
- 要介護 3～5 では、「見守り、声かけ（ご近所同士を含む）」が 24.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス】



単位：％

	母数 (n)	在宅生活の継続に必要と感ずる支援・サービス							
		配食	調理	掃除・洗濯	買い物 (宅配は含まない)	ゴミ出し	外出同行 (通院、買い物など)	移送サービス (介護・福祉タクシー等)	
全体	655	21.7	17.6	25.2	28.1	20.3	36.8	39.7	
性別	男性	244	22.5	19.7	23.0	27.0	18.4	37.3	41.0
	女性	411	21.2	16.3	26.5	28.7	21.4	36.5	38.9
年齢	65～74歳	59	18.6	16.9	23.7	25.4	18.6	37.3	37.3
	75～84歳	278	23.4	20.9	27.3	30.2	20.1	38.8	38.8
	85歳以上	318	20.8	14.8	23.6	26.7	20.8	34.9	40.9
居住地域	久喜西地区	147	19.0	21.1	31.3	33.3	21.8	42.9	44.9
	久喜東地区	177	24.3	18.6	29.4	32.2	23.2	40.1	39.0
	菖蒲地区	81	13.6	12.3	18.5	▼17.3	14.8	33.3	37.0
	栗橋地区	119	24.4	14.3	16.8	24.4	15.1	31.9	43.7
	鷺宮地区	131	23.7	18.3	24.4	26.7	22.9	32.1	32.8
要介護度	要支援1・2	195	21.5	13.8	24.6	31.8	21.0	38.5	40.5
	要介護1・2	309	21.4	22.0	30.1	29.4	21.7	40.1	38.8
	要介護3～5	151	22.5	13.2	15.9	20.5	16.6	27.8	40.4

単位：％

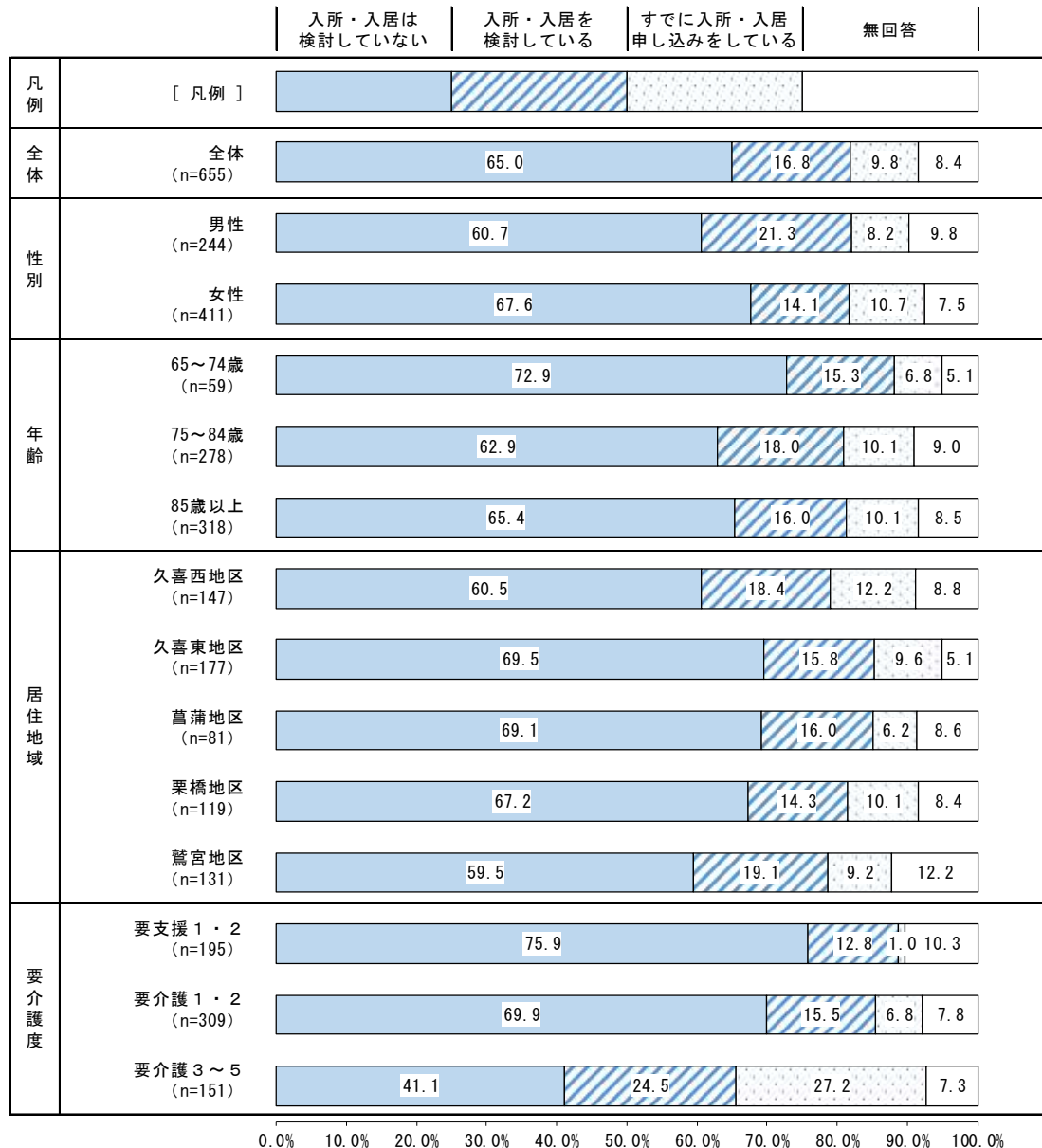
	母数 (n)	在宅生活の継続に必要と感ずる支援・サービス						
		(ご近所同士の声かけを含む)	定期的な通いの場	必要な諸手続き	金銭管理や生活面に	その他	特になし	無回答
全体	655	20.9	12.1	17.6	5.2	18.2	8.2	
性別	男性	244	18.9	12.3	18.4	4.5	17.6	10.7
	女性	411	22.1	11.9	17.0	5.6	18.5	6.8
年齢	65～74歳	59	22.0	8.5	13.6	10.2	15.3	3.4
	75～84歳	278	20.5	13.3	19.8	4.3	18.7	10.8
	85歳以上	318	21.1	11.6	16.4	5.0	18.2	6.9
居住地域	久喜西地区	147	21.8	11.6	24.5	6.1	16.3	4.8
	久喜東地区	177	19.8	14.7	15.8	5.6	16.4	6.8
	菖蒲地区	81	21.0	13.6	16.0	6.2	21.0	11.1
	栗橋地区	119	21.0	10.1	10.9	3.4	21.0	7.6
	鷺宮地区	131	21.4	9.9	19.1	4.6	18.3	13.0
要介護度	要支援1・2	195	17.9	12.3	16.4	2.6	17.4	9.2
	要介護1・2	309	21.0	13.3	17.5	5.2	18.4	7.4
	要介護3～5	151	24.5	9.3	19.2	8.6	18.5	8.6

(10) 施設等への入所・入居の検討状況

●問5 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

- 【全体】**
- 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 65.0%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 16.8%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 9.8%となっています。
- 【性別】**
- 「入所・入居は検討していない」は女性が 67.6%と、男性の 60.7%に比べて多くなっています。
- 【居住地区】**
- 鷺宮地区では、「入所・入居を検討している」が 19.1%と他の地区に比べて多くなっています。
 - 久喜西地区では、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 12.2%と他の地区に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
- 要介護度が高いほど、「入所・入居を検討している」「すでに入所・入居申し込みをしている」が多くなる傾向がみられます。

【施設等への入所・入居の検討状況】

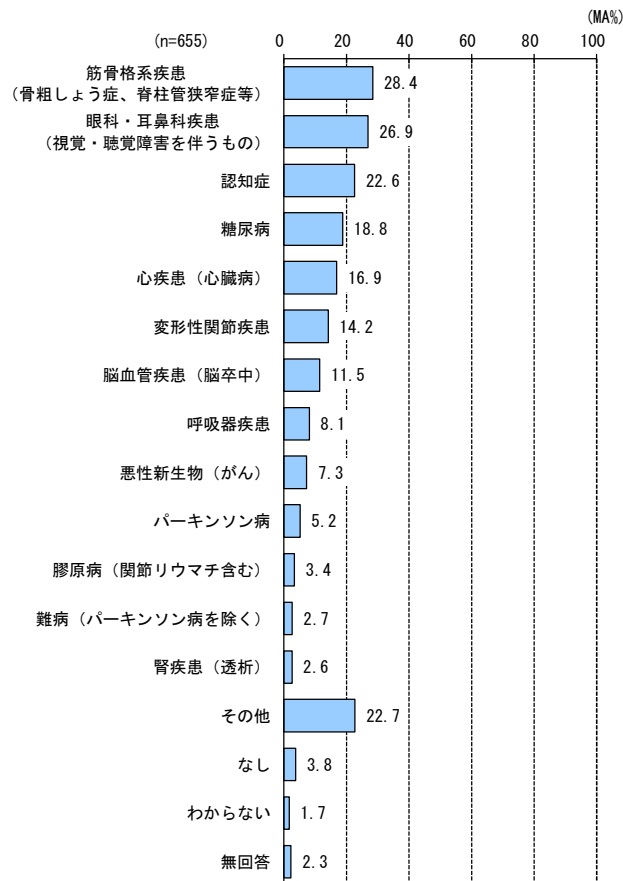


(11) 現在抱えている傷病

●問6 ご本人（調査対象者）が現在抱えている傷病について、ご回答ください。（MA）

- 【全体】**
- 現在抱えている傷病について、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が28.4%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が26.9%、「認知症」が22.6%となっています。
- 【性別】**
- 男性では、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が28.7%で最も多く、次いで「糖尿病」が23.4%となっています。
- 【年齢】**
- 65～74歳では、「脳血管疾患（脳卒中）」「糖尿病」が22.0%と「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」に次いで多くなっています。
 - 85歳以上では、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が34.0%で最も多くなっています。
- 【要介護度】**
- 要介護3～5では、「認知症」が41.1%で最も多くなっています。

【現在抱えている傷病】



単位：％

	母数 (n)	現在抱えている傷病									
		脳血管疾患 (脳卒中)	心疾患 (心臓病)	悪性新生物 (がん)	呼吸器疾患	腎疾患 (透析)	筋骨格系疾患 (骨粗しょう症、 脊柱管狭窄症等)	膠原病 (関節リウマチ含む)	変形性関節疾患	認知症	
全体	655	11.5	16.9	7.3	8.1	2.6	28.4	3.4	14.2	22.6	
性別	男性	244	15.6	16.4	10.7	9.8	3.3	▼ 17.2	2.0	6.1	22.1
	女性	411	9.0	17.3	5.4	7.1	2.2	35.0	4.1	19.0	22.9
年齢	65～74歳	59	△ 22.0	10.2	3.4	8.5	1.7	28.8	6.8	6.8	▼ 11.9
	75～84歳	278	12.9	14.7	8.3	8.6	2.5	29.9	4.7	12.9	23.4
	85歳以上	318	8.2	20.1	7.2	7.5	2.8	27.0	1.6	16.7	23.9
居住地	久喜西地区	147	6.8	19.0	6.8	6.1	1.4	34.0	2.7	12.2	22.4
	久喜東地区	177	11.9	17.5	9.0	10.7	4.0	28.2	2.8	15.8	24.3
	菖蒲地区	81	11.1	17.3	3.7	3.7	1.2	25.9	7.4	11.1	22.2
	栗橋地区	119	11.8	16.0	7.6	8.4	3.4	27.7	2.5	14.3	18.5
	鷺宮地区	131	16.0	14.5	7.6	9.2	2.3	24.4	3.1	16.0	24.4
要介護度	要支援1・2	195	7.7	15.4	5.1	10.3	2.6	34.4	4.1	14.9	▼ 5.6
	要介護1・2	309	12.3	18.1	8.1	7.4	3.2	27.8	3.2	14.9	24.3
	要介護3～5	151	14.6	16.6	8.6	6.6	1.3	21.9	2.6	11.9	△ 41.1

単位：％

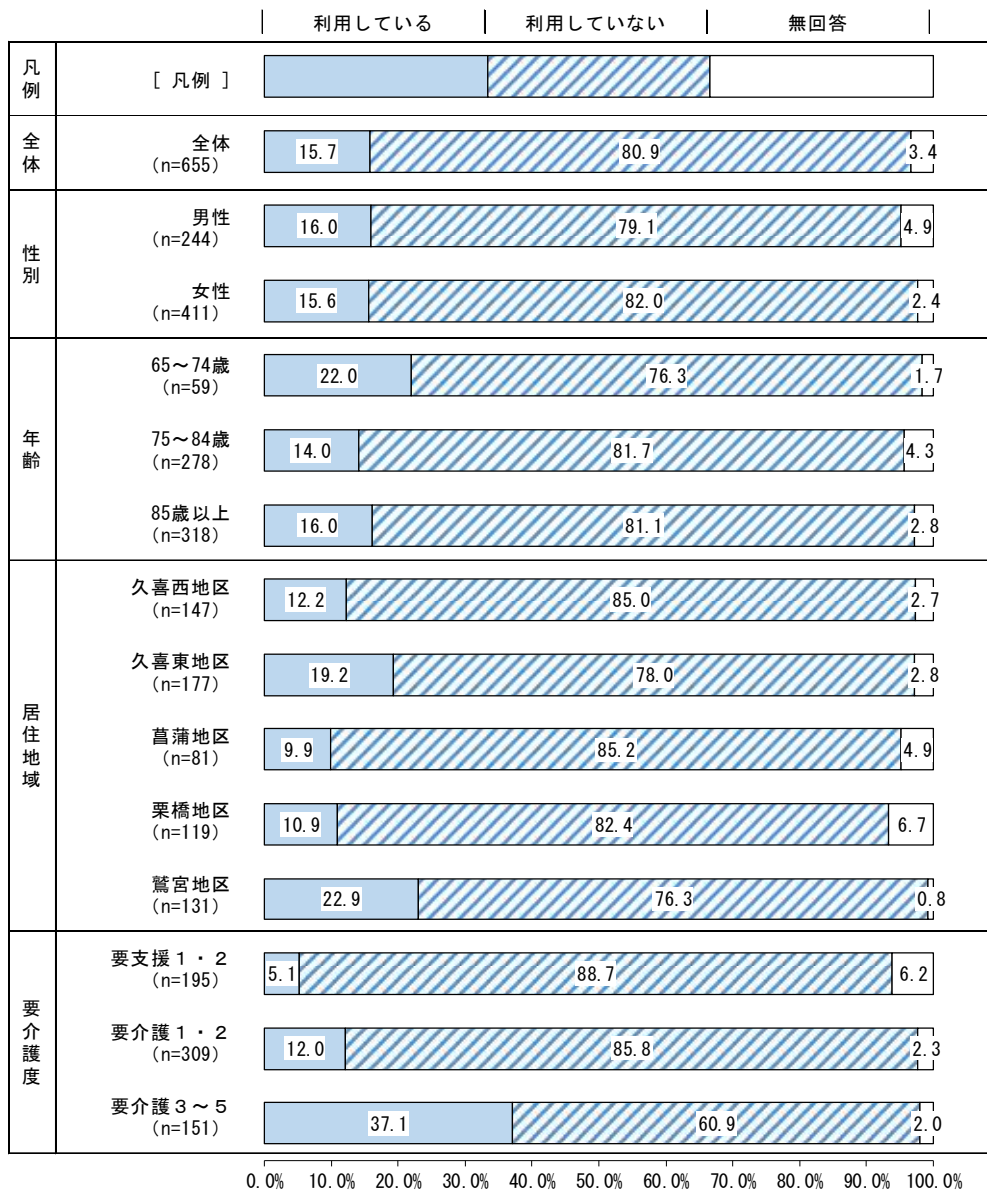
	母数 (n)	現在抱えている傷病								
		パーキンソン病	難病 (パーキンソン病を除く)	糖尿病	(視覚・耳鼻科疾患を 伴うもの)	その他	なし	わからない	無回答	
全体	655	5.2	2.7	18.8	26.9	22.7	3.8	1.7	2.3	
性別	男性	244	6.6	2.5	23.4	28.7	23.0	3.7	1.2	1.6
	女性	411	4.4	2.9	16.1	25.8	22.6	3.9	1.9	2.7
年齢	65～74歳	59	11.9	10.2	22.0	▼ 16.9	25.4	1.7	-	1.7
	75～84歳	278	6.1	3.2	21.2	20.9	26.6	2.9	1.4	3.2
	85歳以上	318	3.1	0.9	16.0	34.0	18.9	5.0	2.2	1.6
居住地	久喜西地区	147	3.4	3.4	17.7	26.5	26.5	3.4	3.4	4.8
	久喜東地区	177	6.2	2.3	19.8	28.2	25.4	4.0	1.1	1.1
	菖蒲地区	81	4.9	2.5	17.3	28.4	19.8	2.5	2.5	-
	栗橋地区	119	5.0	4.2	18.5	26.1	21.0	3.4	-	2.5
	鷺宮地区	131	6.1	1.5	19.8	25.2	18.3	5.3	1.5	2.3
要介護度	要支援1・2	195	2.1	1.5	18.5	32.3	22.1	6.7	1.5	2.6
	要介護1・2	309	5.8	2.9	19.7	27.2	21.4	2.6	1.9	2.3
	要介護3～5	151	7.9	4.0	17.2	19.2	26.5	2.6	1.3	2.0

(12) 訪問診療の利用状況

●問7 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか。

- 【全体】**
 ○ 訪問診療の利用状況について、「利用している」が 15.7%、「利用していない」が 80.9%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 65～74 歳では、「利用している」が 22.0%と他の年代に比べて多くなっています。
- 【居住地区】**
 ○ 「利用している」は鷺宮地区が 22.9%、久喜東地区が 19.2%と他の地区に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
 ○ 要介護度が高いほど「利用している」が多くなる傾向がみられます。

【訪問診療の利用状況】



(13) 訪問診療の利用意向

●問8 在宅における医療や介護について感じていることについて、ご回答ください。(MA)

【全体】

- 在宅における医療や介護について感じていることについて、「寝たきりになっても、自宅で必要な医療行為や介護を受けて生活できるとよいと思う」が41.4%で最も多く、次いで「人生の最期は自宅で迎えたい」が37.7%、「退院後、治療を継続するために、入院していた病院まで通うことが負担である」が28.2%となっています。
- なお、「特にない」は22.4%となっています。

【年齢】

- 65～74歳では、「退院後、治療を継続するために、入院していた病院まで通うことが負担である」が35.6%と「寝たきりになっても、自宅で必要な医療行為や介護を受けて生活できるとよいと思う」に次いで多くなっています。

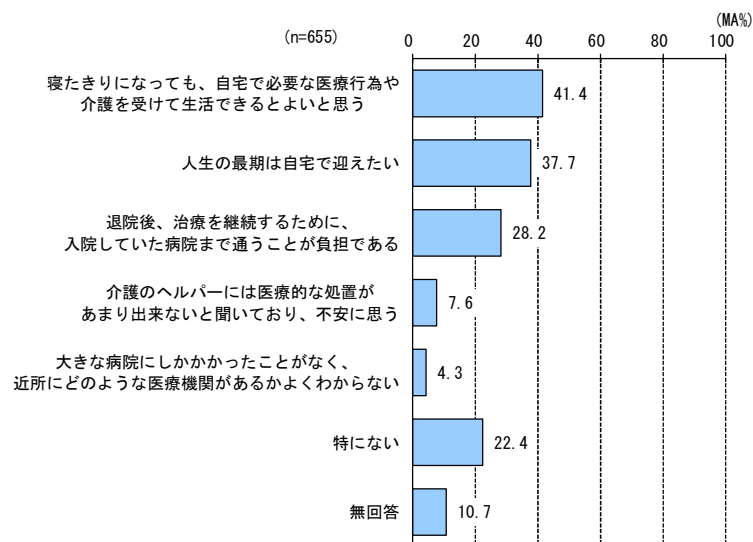
【居住地区】

- 鷺宮地区では、「人生の最期は自宅で迎えたい」が39.7%で最も多くなっています。

【要介護度】

- 要支援1・2では、「人生の最期は自宅で迎えたい」が37.4%で最も多くなっています。
- 要介護度が高いほど「寝たきりになっても、自宅で必要な医療行為や介護を受けて生活できるとよいと思う」「退院後、治療を継続するために、入院していた病院まで通うことが負担である」が多くなる傾向がみられます。

【在宅における医療や介護について感じていること】



単位：％

	母数 (n)	在宅における医療や介護について感じていること									
		負担で ある	入院後、 治療を 院まで 通うた めに、	退院後、 治療を 院まで 通うた めに、	大きな 病に かか るこ とが	不安に 思 う	介 護の ヘル パー には 医 療的 な 処 置	寝 た り な ら ず と い う 思 い	寝 た り な ら ず と い う 思 い	人 生 の 最 期 は 自 宅 で 迎 え たい	特 に な い
全体	655	28.2	4.3	7.6	41.4	37.7	22.4	10.7			
性別	男性	244	28.7	4.5	7.0	39.3	37.3	21.7	11.1		
	女性	411	28.0	4.1	8.0	42.6	38.0	22.9	10.5		
年齢	65～74歳	59	35.6	10.2	13.6	42.4	▼27.1	20.3	11.9		
	75～84歳	278	29.5	5.0	7.9	39.2	34.2	23.7	11.2		
	85歳以上	318	25.8	2.5	6.3	43.1	42.8	21.7	10.1		
居住地域	久喜西地区	147	29.9	4.1	4.8	39.5	38.8	23.1	10.2		
	久喜東地区	177	29.9	4.5	9.6	42.4	38.4	23.2	10.2		
	菖蒲地区	81	32.1	4.9	12.3	43.2	37.0	17.3	8.6		
	栗橋地区	119	26.9	4.2	5.0	46.2	33.6	22.7	10.9		
	鷲宮地区	131	22.9	3.8	7.6	36.6	39.7	23.7	13.0		
要介護度	要支援1・2	195	25.1	4.1	5.6	35.9	37.4	24.6	12.3		
	要介護1・2	309	25.9	3.9	9.1	43.0	40.8	21.4	9.4		
	要介護3～5	151	37.1	5.3	7.3	45.0	31.8	21.9	11.3		

(14) 介護保険サービスの利用状況

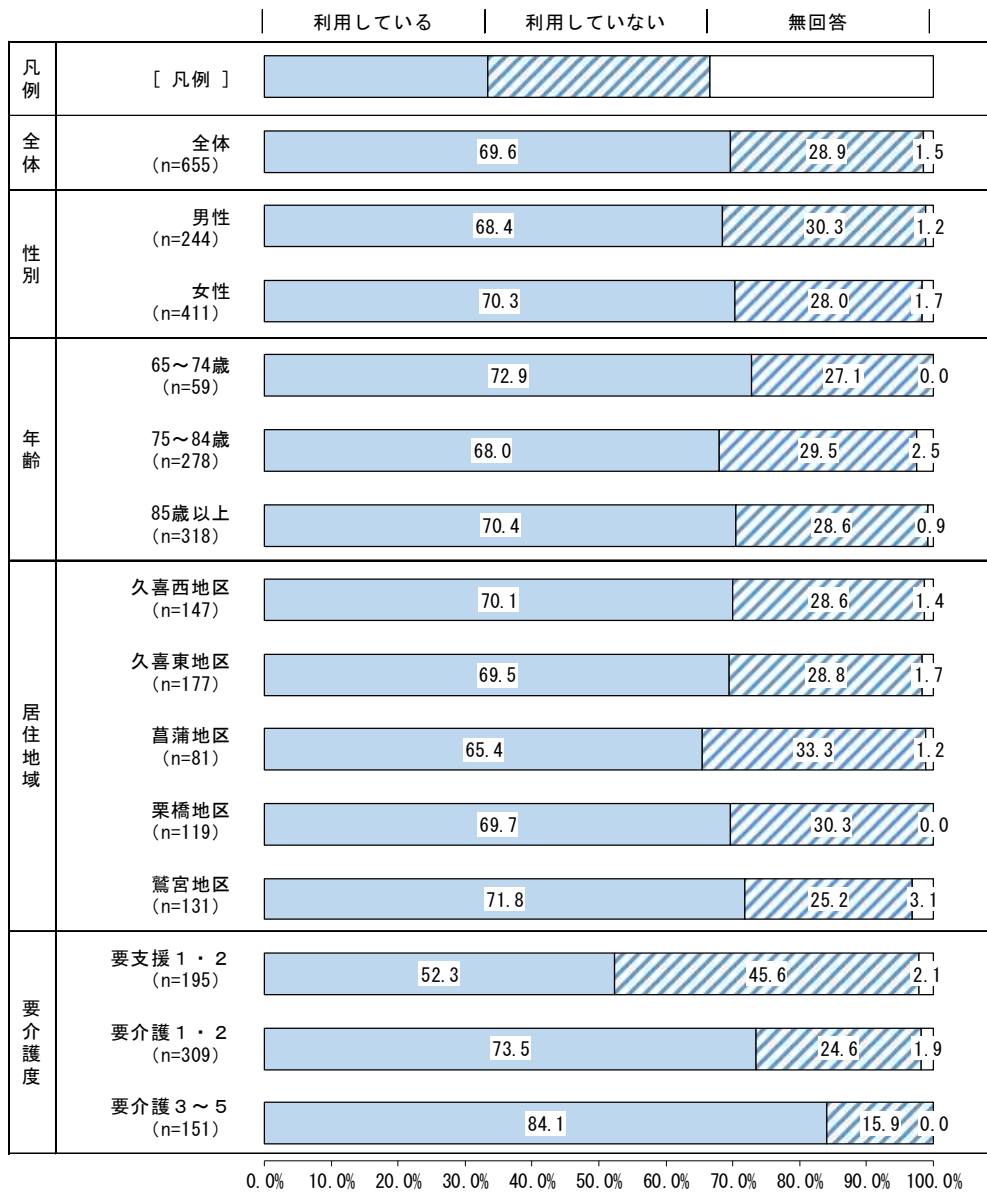
- 問9 現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか。

【全体】
 ○ 介護保険サービスの利用状況について、「利用している」が 69.6%、「利用していない」が 28.9%となっています。

【居住地区】
 ○ 菖蒲地区では、「利用していない」が 33.3%と他の地区に比べて多くなっています。

【要介護度】
 ○ 要介護度が高いほど「利用している」が多くなる傾向がみられます。

【介護保険サービスの利用状況】



(15) 介護保険サービスを利用していない理由

●問9-1 介護保険のサービスを利用していない理由は何ですか。(MA)

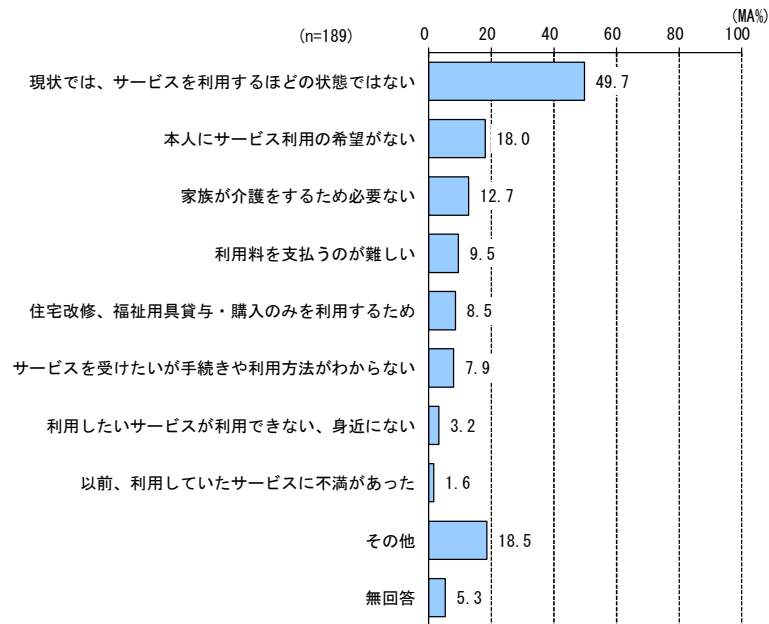
【全体】

- 介護保険サービスを利用していない理由について、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が 49.7%で最も多く、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が 18.0%、「家族が介護をするため必要ない」が 12.7%となっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「家族が介護をするため必要ない」が 25.0%で最も多くなっています。

【介護保険サービスを利用していない理由】



単位：%

	母数 (n)	介護保険サービスを利用していない理由										
		現状では利用するほどの状態ではない	本人にサービス利用の希望がない	家族が介護をするため必要ない	利用料を支払うのが難しい	住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため	サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない	利用したいサービスが利用できない、身近にない	以前、利用していたサービスに不満があった	その他	無回答	
全体	189	49.7	18.0	12.7	9.5	8.5	7.9	3.2	1.6	18.5	5.3	
性別	男性	74	50.0	21.6	13.5	2.7	8.1	4.1	8.1	5.4	14.9	6.8
	女性	115	49.6	15.7	12.2	0.9	10.4	2.6	8.7	9.6	20.9	4.3
年齢	65～74歳	16	▼ 31.3	▼ 6.3	18.8	-	-	6.3	6.3	△ 25.0	25.0	-
	75～84歳	82	56.1	19.5	11.0	1.2	12.2	3.7	9.8	7.3	19.5	3.7
	85歳以上	91	47.3	18.7	13.2	2.2	8.8	2.2	7.7	5.5	16.5	7.7
居住地域	久喜西地区	42	52.4	11.9	14.3	2.4	19.0	2.4	7.1	7.1	23.8	7.1
	久喜東地区	51	43.1	15.7	9.8	2.0	11.8	7.8	9.8	11.8	19.6	3.9
	菖蒲地区	27	51.9	△ 33.3	18.5	-	7.4	3.7	7.4	7.4	3.7	7.4
	栗橋地区	36	50.0	16.7	16.7	-	5.6	-	11.1	8.3	11.1	8.3
鷺宮地区	33	54.5	18.2	6.1	3.0	-	-	6.1	3.0	30.3	-	
要介護度	要支援1・2	89	△ 62.9	21.3	5.6	2.2	7.9	1.1	7.9	7.9	15.7	4.5
	要介護1・2	76	46.1	15.8	17.1	1.3	11.8	5.3	6.6	9.2	18.4	5.3
	要介護3～5	24	▼ 12.5	12.5	△ 25.0	-	8.3	4.2	16.7	4.2	29.2	8.3

(16) 自由意見

●問10 在宅における医療や介護について、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	介護保険サービス	件数	22 件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを受けるのに手続きが難しい。 ・デイサービスの情報がない。 ・施設の数が増えることが理想。 ・本人たちは周りが思っているよりも自分でできると思っているため、もっと介護ヘルパー等を利用したいが説得に時間がかかる。そういった際の相談をケアマネジャーのみではない形でのフォローも利用できるとよい。ケアマネジャー不足も耳にする。ケアする側とされる側が、少しでも気持ちのよい過ごしやすい環境づくりを望む。 ・デイケアのスタッフやヘルパー等の給料を上げ、もっと待遇をよくしてもらいたい。彼等がもっと働きやすくなれば、私たちもよいサービスを受けられると思う。 		
カテゴリ	医療	件数	17 件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の急な発熱や体調不良になると不安。救急を呼ぶか医師に電話するか、悩んだときのサポートがあるとよい。 ・在宅医療の必要を感じている。歯科医の訪問や、今の在宅訪問をもう少し増やしてほしい。血圧や健康管理の他、認知症の人の話を聞いたりする対応(精神科)もしていただければと思う。 ・訪問在宅医療は便利だが、通院の場合と比較して金額が高すぎる気がする。 ・訪問診察で本来受けられるサービスが、ケアマネジャーの認識度合いによって受けられないことがあった。 		
カテゴリ	高齢者福祉全般	件数	14 件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険、障害福祉、難病とそれぞれの管轄が違い、更新や申請の時期も違うので、高齢者だけの世帯ではあまりにも理解が難しい。本人サイドのわかりやすいノートがあるとよいと思う。 ・多職種連携の強化：医師、看護師、ケアマネジャー、理学療法士等の多職種の皆様が密接な連携を取り、迅速に情報共有を徹底し、利用者の状態変更に対応できる体制を構築してくださっていることに、心より感謝したい。 ・在宅で、介護者の外出のために要介護認定者が1人で在宅しなくてはならない場合、デイサービスやショートステイを使わずに安全と保護はできるのか。 		
カテゴリ	介護者の負担や不安	件数	12 件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の負担が大きい。子などが数人いても結局1人が背負う。心身の負担、経済面の負担が大きい。 ・現在は大丈夫だと思うが、今後は本人や介護者の体調等の変化により状況も変わっていくことになると思うので、先々の心配や不安は常にあるのが現実でもある。 ・本人が日中1人で過ごしているとき、電話もできないため何かあったときに助けが呼べない状況である。介護施設には金額が高いため、本人の年金以外に負担しないと入れず断念している。今後、介護の度合いが要すれば仕事を辞めざるを得ず、家族の家計にも厳しくなる、どうすればよいのか不安になる。 		

カテゴリ	生活支援	件数	11件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ出しはふれあい収集が利用できてありがたかったが、承認を受けるために2回申請し苦勞した。もう少し暖かい思いやりのある対応が欲しかった。 ・緊急通報装置を利用しているが、実際に活用できるか不安がある。 ・一度おむつ使用証明書を医者からもらったら、毎年書いてもらわなくても次の認定までおむつを使うことを継続して認めるようにしてほしい。 		
カテゴリ	交通・移動手段	件数	4件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・現在困っているのは、集合住宅の階段を登る手だてがないこと。スロープや車いすを借りているが、介護者だけで散歩や外出に連れ出すことができない。 ・車いすなので、通院が大変（介護者に面倒をかける）。お金がなくバリアフリーのリフォームができないため、段差が怖い。家でお風呂に入りたい。車いすでも旅行に行きたい。 ・本人が歩行困難で介護者も遠くまで運転できないとき、タクシー料金の何割かを補助してもらえると移動しやすい。 		

2. 主な介護者の方について

(1) 主な介護者の現在の勤務形態

●問11 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。

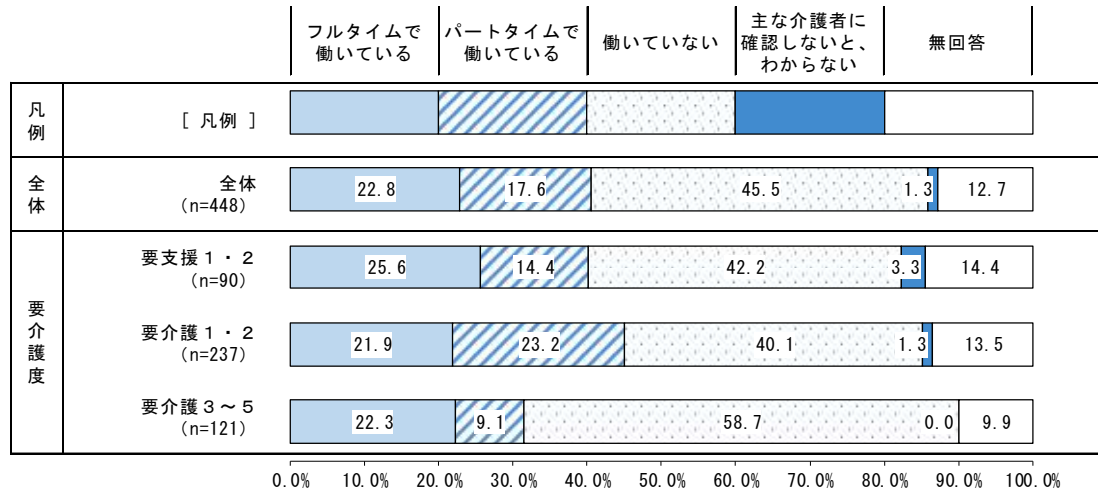
【全体】

○ 主な介護者の現在の勤務形態について、「働いていない」が 45.5%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 22.8%、「パートタイムで働いている」が 17.6%となっています。

【要介護度】

○ 要介護3～5では、「働いていない」が 58.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者の現在の勤務形態】

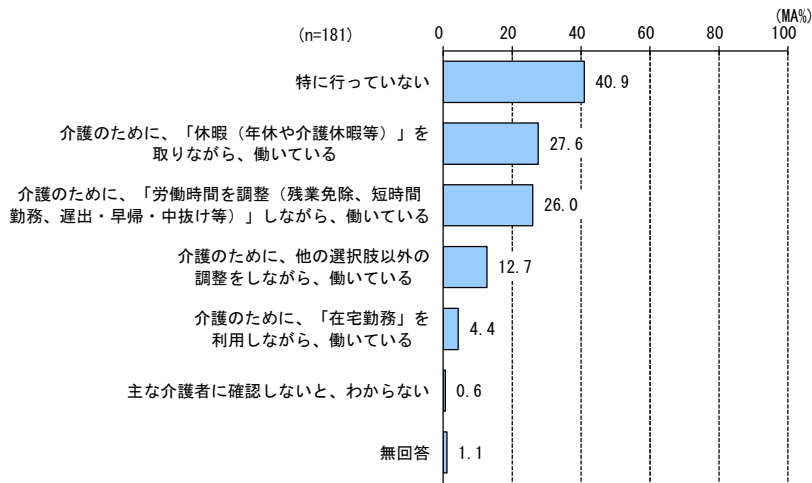


(2) 主な介護者の働き方についての調整等

●問11-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(MA)

- 【全体】**
- 主な介護者の働き方についての調整等について、「特に行っていない」が 40.9%で最も多く、次いで「介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 27.6%、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 26.0%となっています。
- 【要介護度】**
- 要介護3～5では、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 42.1%で最も多くなっています。

【主な介護者の働き方についての調整等】



単位：%

	母数 (n)	主な介護者の働き方についての調整等						
		特に行っていない	休業免除等）しながら、働いている	介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている	介護のために、他の選択肢以外の調整をしながら、働いている	介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている	主な介護者に確認しないと、わからない	無回答
全体	181	40.9	26.0	27.6	4.4	12.7	0.6	1.1
要介護度	要支援1・2	△ 69.4	▼ 8.3	▼ 8.3	2.8	11.1	-	2.8
	要介護1・2	36.4	26.2	30.8	3.7	12.1	-	0.9
	要介護3～5	▼ 26.3	△ 42.1	36.8	7.9	15.8	2.6	-

(3) 介護者の就労継続の可否に係る意識

●問11-2 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

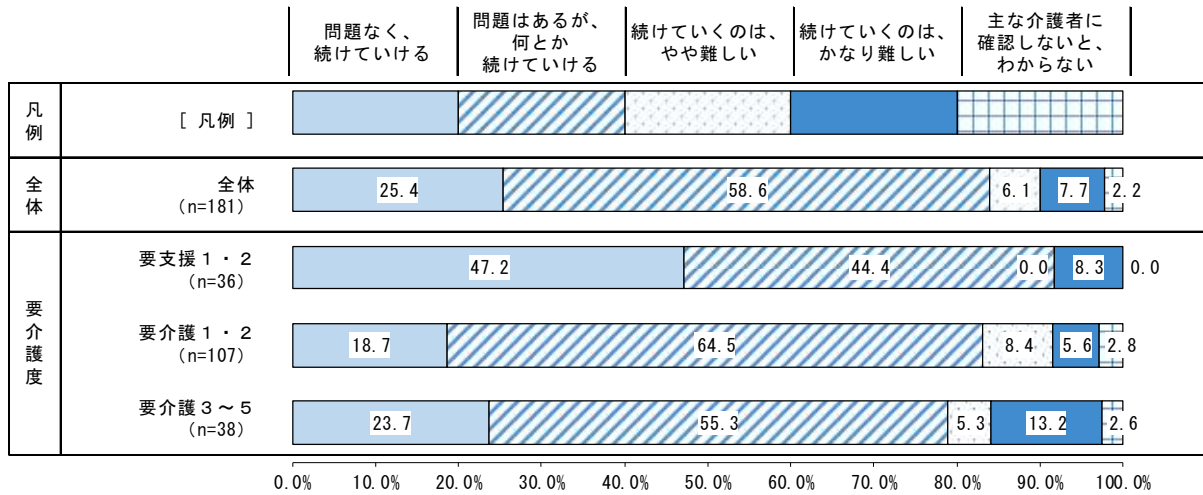
【全体】

- 介護者の就労継続の可否に係る意識について、「問題はあるが、何とか続けていける」が 58.6%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 25.4%、「続けていくのは、かなり難しい」が 7.7%となっています。

【要介護度】

- 要介護3～5では、「続けていくのは、かなり難しい」が 13.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護者の就労継続の可否に係る意識】



(4) 不安に感じる介護

●問12 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください。(3LA)

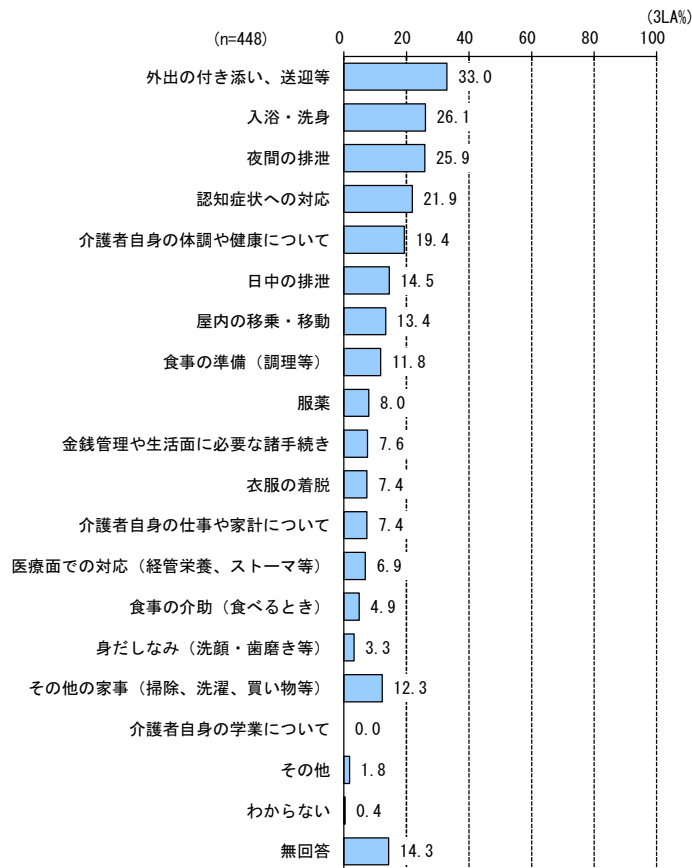
【全体】

○ 不安に感じる介護について、「外出の付き添い、送迎等」が 33.0%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が 26.1%、「夜間の排泄」が 25.9%となっています。

【要介護度】

○ 要介護 3～5 では、「夜間の排泄」が 38.8%で最も多く、次いで「介護者自身の体調や健康について」が 28.1%、「認知症状への対応」が 25.6%となっています。

【不安に感じる介護】



単位：％

	母数 (n)	不安を感じる介護										
		日中の排泄	夜間の排泄	食事の介助 (食べるとき)	入浴・洗身	身だしなみ (洗顔・歯磨き等)	衣服の着脱	屋内の移乗・移動	送迎等 外出の付き添い、	服薬	認知症状への対応	
全体	448	14.5	25.9	4.9	26.1	3.3	7.4	13.4	33.0	8.0	21.9	
要介護度	要支援1・2	90	7.8	17.8	2.2	23.3	-	2.2	15.6	△ 44.4	6.7	13.3
	要介護1・2	237	12.7	22.4	4.6	28.3	4.6	8.4	9.3	34.2	10.1	23.2
	要介護3～5	121	23.1	△ 38.8	7.4	24.0	3.3	9.1	19.8	▼ 22.3	5.0	25.6

単位：％

	母数 (n)	不安を感じる介護										
		医療面での対応 (経管栄養、 ストーマ等)	食事の準備 (調理等)	その他の家事 (掃除、洗濯、 買い物等)	金銭管理や生活面に 必要な諸手続き	介護者自身の体調や 健康について	介護者自身の 学業について	介護者自身の 家計について	その他	わからない	無回答	
全体	448	6.9	11.8	12.3	7.6	19.4	-	7.4	1.8	0.4	14.3	
要介護度	要支援1・2	90	6.7	15.6	△ 24.4	10.0	▼ 8.9	-	3.3	3.3	1.1	17.8
	要介護1・2	237	8.0	13.5	11.8	8.9	19.0	-	7.6	0.8	0.4	13.9
	要介護3～5	121	5.0	5.8	4.1	3.3	28.1	-	9.9	2.5	-	12.4

(5) 自由意見

問13 介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	介護保険サービス	件数	46件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・自身の介護保険料を高いと思ったときもあったが、母の在宅サービスを利用するようになって、今はとてもよい制度だと思っている。デイサービス、介護負担助成金、おむつ代補助等、本当に助かっている。 ・介護の認定等を簡素化し、多くの人に利用可能にしていきたい。利用しなければならない人は数多くいるのではないかと思う。 ・週1回リハビリに通っている。送迎をしていただいているので、とても助かっている。スタッフの方もとてもよい人たちで、楽しく運動を続けている。こういう場所を知らない人にぜひ知ってもらいたい。 ・本人が認知症を患っているが、アルツハイマー病の場合は精神面での対応が難しく、デイサービス、デイケアと模索しているが性格等もあるので難しい。認知症(アルツハイマー病)に合う介護サービスが知りたい。 ・将来的に認知症や歩けなくなって車いす利用等で施設等を利用する場合、低所得者でも入所できるようにお願いしたい。 		
カテゴリ	高齢者福祉全般	件数	22件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・おかげさまで、ある程度のサポート補助は受けられているが、今後、歳を重ねていくに連れて家庭での介護がだんだん厳しくなるので、特別養護老人ホーム等の利用もやむを得ないとき、経費負担等が難しい。長生きすればするほど、悩みがますます増えそうである。隣近所、地域での手厚いサポート協力ができる、協力がしやすい久喜市であってほしい。どんな形でも、親には長生きしてほしい望みもある。 ・市独自のサービスを積極的にアピールしてほしい。要介護度いくつならこんなサービスがあるなど。「市のホームページを見てください。全部載っています」という窓口があったが、高齢者は見ることができない。 ・高齢者や単身世帯、近くに介護を担ってくれる方がいない世帯(介護保険制度の利用を希望しない方)は、手続きが複雑で難しいのではないかと思う。民生委員や地域で活躍している一般市民等がどこまで介入してよいか、課題だと思っている。 ・高齢者で要介護ではない人々が集まれる場所が少ないので、ちょっとした憩いの場があればよいと思う。こども食堂のようなところで、お茶やおしゃべりで脳を活性化し、市全体で介護に至る人を減少させ、1日も長く自分のことは自分でできる時間を確保したい。 		
カテゴリ	交通・移動手段	件数	21件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・足回りが弱いので、スロープやバリアフリーがもっと店舗等にあったらよいと思う。 ・驚宮も、循環バスが車いすでも乗れるようになってほしい。夜間タクシーがないので、呼び出しがあるときに病院へ行けず不便。 ・今は車の運転ができるが、高齢でいつまで運転できるか不安。要介護のため、市内循環バスにも乗れず、移動手段はタクシーしかない。先日も病院に行くため前日に連絡したにもかかわらず、予約がいっぱいと断られた。 ・デマンド交通やふれあいタクシーがあるのは助かると思うが、母は認知症のため使い方がわからないらしく、利用していない。 		

カテゴリ	介護者の負担や不安	件数	13件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護認定が上がると、使用している全てのものの金額が上がるので家計の負担が大きくなり、生活全般が大変になって困る。その場合は受けられるサービスを考えなくてはならない。家族の負担が大きくなる。 ・介護が直接的な原因で仕事を辞めた訳ではないが、仕事を続けにくくなった原因のひとつである。介護休暇があってもそれが使えないのが現状で、年間の日数も足りないと思う。仕事を辞めて介護だけをしていると、気持ちがつらくなる。求職中だが、仕事はなかなか見つかりそうにない。 ・老々介護で、自分の今後にも不安が大きい。介護をしている方の話が聞ける場が近くにあったらよいと思う。 		
カテゴリ	医療	件数	9件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護師、リハビリ、医師のおかげで安心していられる。 ・具合が悪くなったときの訪問診療についてわからないので知りたい。現状では、車に乗れない場合は救急車しか移動手段がないと考えている。 ・医療機関で、こちらが何も言わなくても患者が認知症だとわかるように、カルテの色を変えたり何か印を付けるなどして欲しい。一見、認知症だと気づかれないので、医師や看護師が説明や質問をしても本人は全く理解できていない。本人は自分が認知症だと思っていないし、本人の尊厳のために本人の目の前で「この人は認知症です」とは言えない。 		
カテゴリ	生活支援	件数	3件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護者が急用や急病で親元に行けないときにすぐ駆けつけて、代わりにやってくれる短時間サービスが欲しい。介護者も高齢化している。金銭的にも、この物価高では今後安心して継続できる見込みが立たない。 ・集合住宅の2階以上(エレベーターなし)では、ゴミを出すのが困難。粗大ゴミは本当に困っている。50歳代、60歳代の子どもでも、重い物は持てない。 		

介護保険施設等入所者調査 調査結果

1 回答者について

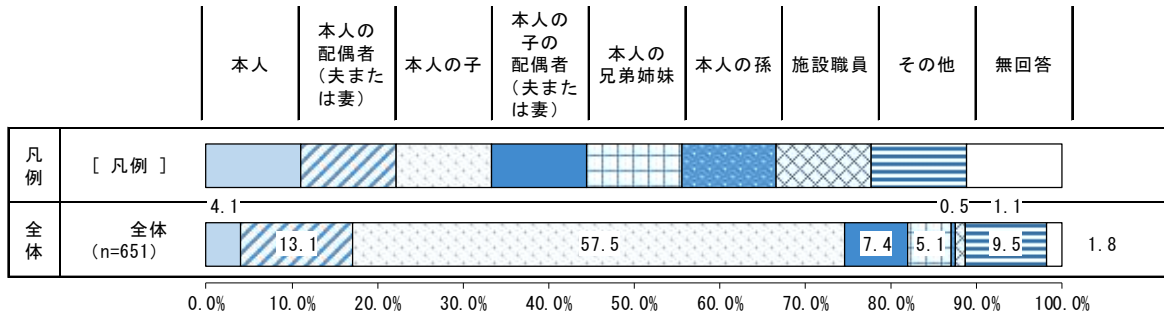
(1) 回答者

●問1 この調査の記入者はどなたですか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 回答者について、「本人の子」が 57.5%で最も多く、次いで「本人の配偶者（夫または妻）」が 13.1%、「本人の子の配偶者（夫または妻）」が 7.4%となっています。

【回答者】



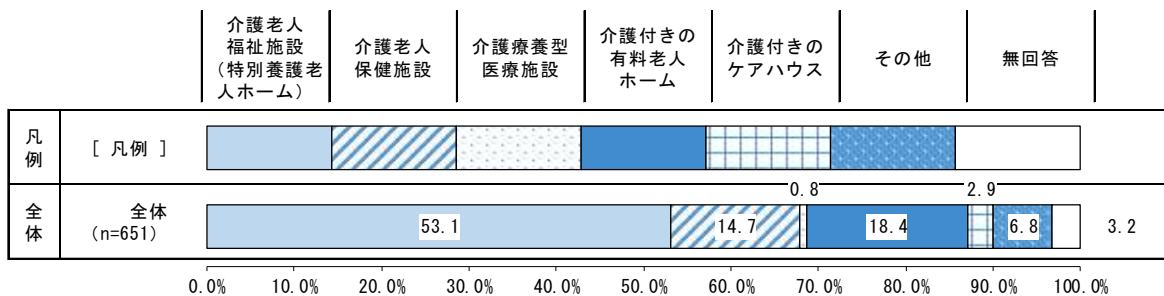
(2) 現在の入所施設

●問2 現在の入所施設はどちらですか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 現在の入所施設について、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が 53.1%で最も多く、次いで「介護付きの有料老人ホーム」が 18.4%、「介護老人保健施設」が 14.7%となっています。

【現在の入所施設】



2 宛名の本人について

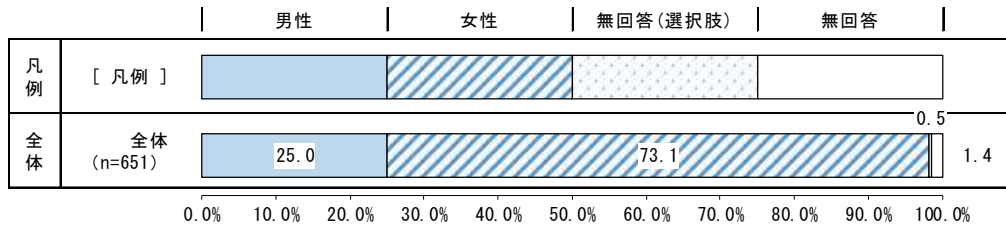
(1) 性別

●問3 ご本人の性別をご回答ください。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 性別について、「男性」が25.0%、「女性」が73.1%となっています。

【性別】



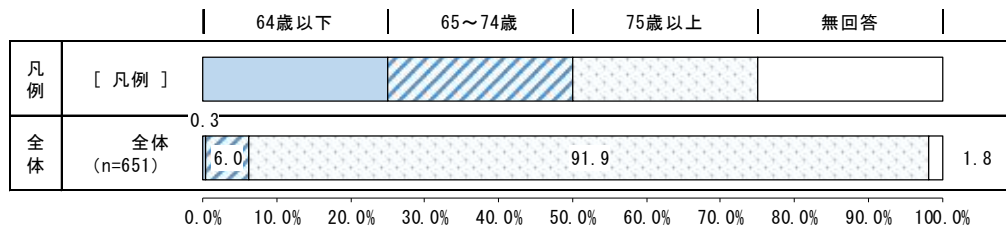
(2) 年齢

●問4 ご本人の年齢をご回答ください。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 年齢について、「75歳以上」が91.9%で最も多く、次いで「65～74歳」が6.0%、「64歳以下」が0.3%となっています。

【年齢】

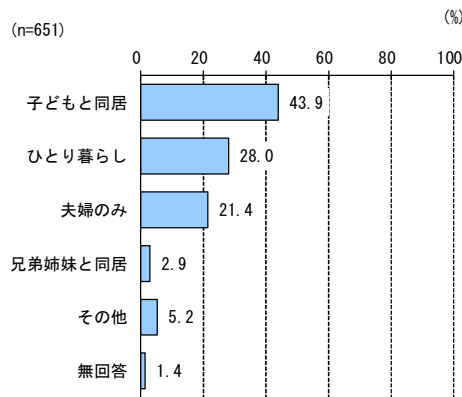


(3) 入所前の家族の状況

●問5 入所前のご家族の状況について、ご回答ください。(いくつでも○)

- 【全体】**
 ○ 入所前の家族の状況について、「子どもと同居」が 43.9%で最も多く、次いで「ひとり暮らし」が 28.0%、「夫婦のみ」が 21.4%となっています。
- 【入所施設】**
 ○ 介護付きの有料老人ホーム、介護付きのケアハウスでは、「ひとり暮らし」が最も多く、全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。
- 【性別】**
 ○ 男性では、「夫婦のみ」が 38.0%で最も多く、次いで「子どもと同居」が 35.0%、「ひとり暮らし」が 23.9%となっています。

【入所前の家族の状況】



単位：%

	母数 (n)	入所前の家族の状況						
		ひとり暮らし	夫婦のみ	子どもと同居	兄弟姉妹と同居	その他	無回答	
全体	651	28.0	21.4	43.9	2.9	5.2	1.4	
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	346	23.4	22.0	47.7	3.2	5.8	-
	介護老人保健施設	96	26.0	22.9	45.8	4.2	5.2	-
	介護療養型医療施設	5	20.0	△ 40.0	40.0	-	-	-
	介護付きの有料老人ホーム	120	△ 44.2	20.8	35.8	-	3.3	-
	介護付きのケアハウス	19	△ 47.4	▼ 10.5	36.8	5.3	-	-
	その他	44	25.0	20.5	45.5	-	9.1	-
性別	男性	163	23.9	△ 38.0	35.0	2.5	7.4	-
	女性	476	30.0	16.2	47.5	3.2	4.6	-
	無回答	3	-	-	△ 100.0	-	-	-
年齢	75歳未満	41	▼ 17.1	29.3	34.1	12.2	9.8	-
	75歳以上	598	28.9	21.2	45.3	2.3	5.0	-

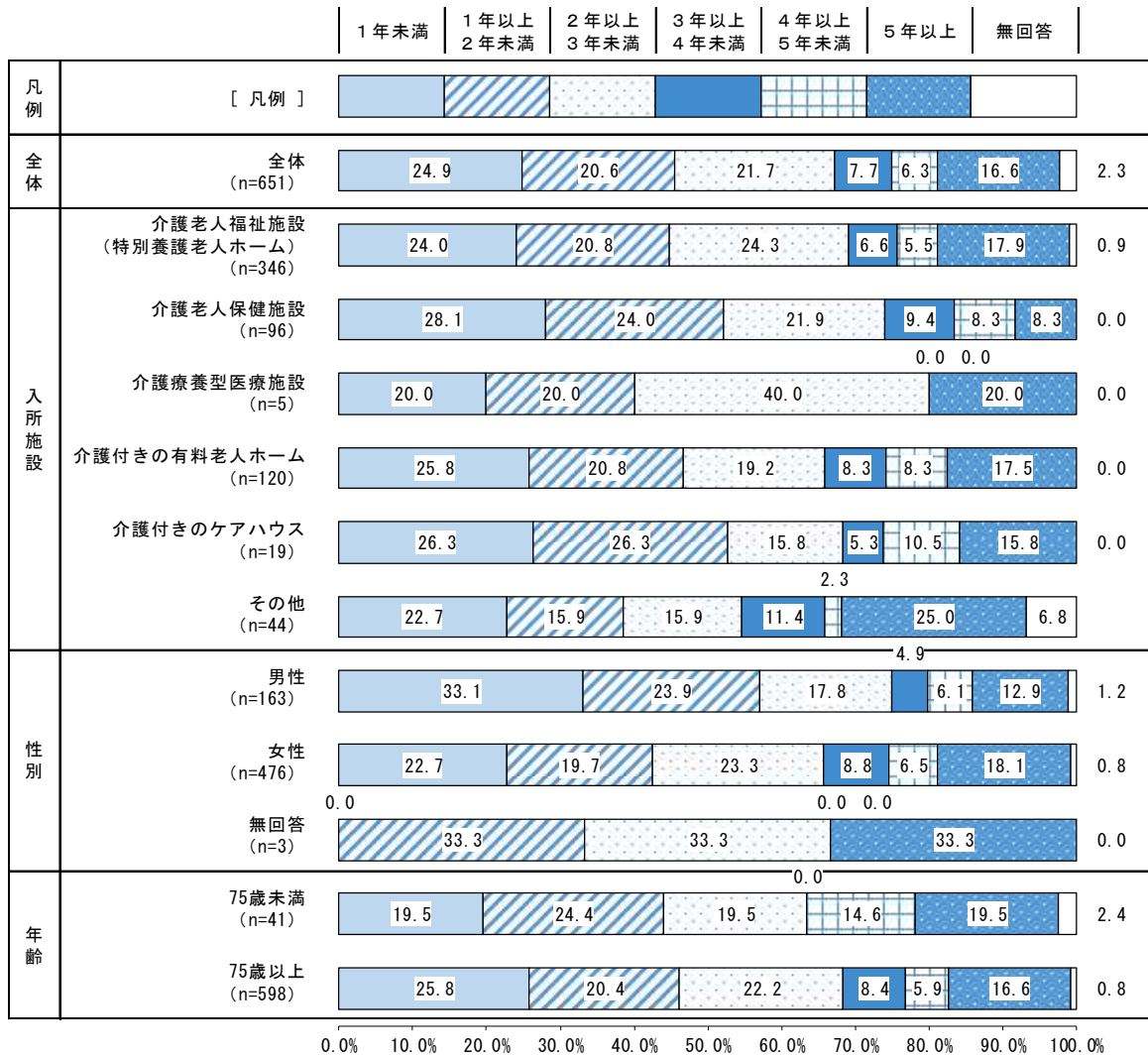
(4) 現在の施設の利用期間

●問6 現在の施設の利用期間はどの程度ですか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 現在の施設の利用期間について、「1年未満」が24.9%で最も多く、次いで「2年以上3年未満」が21.7%、「1年以上2年未満」が20.6%となっています。

【現在の施設の利用期間】



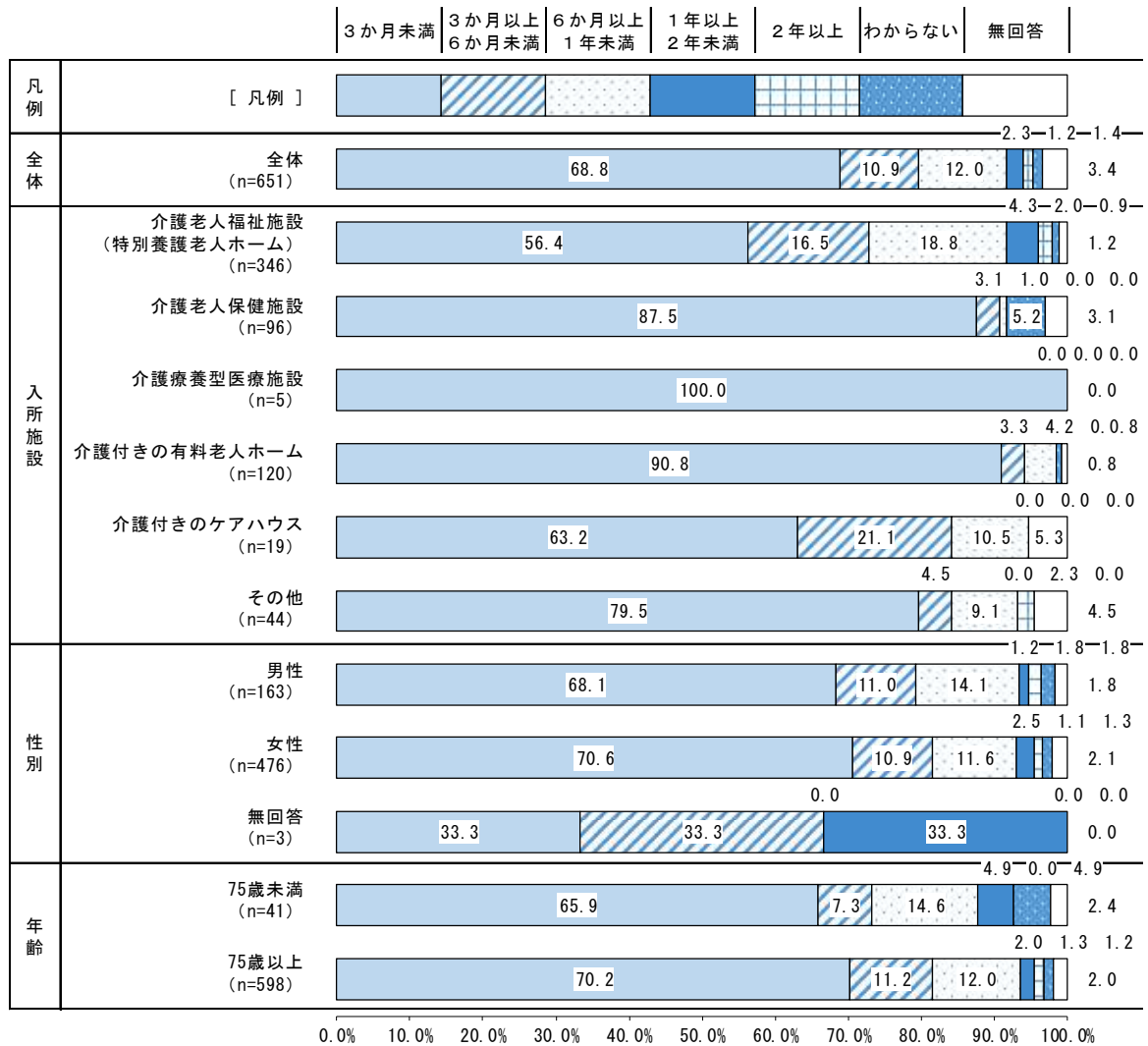
(5) 申込みから入所するまでの待機期間

●問7 申込みから入所するまでの待機期間はどの程度ありましたか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 申込みから入所するまでの待機期間について、「3か月未満」が68.8%で最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が12.0%、「3か月以上6か月未満」が10.9%となっています。

【申込みから入所するまでの待機期間】



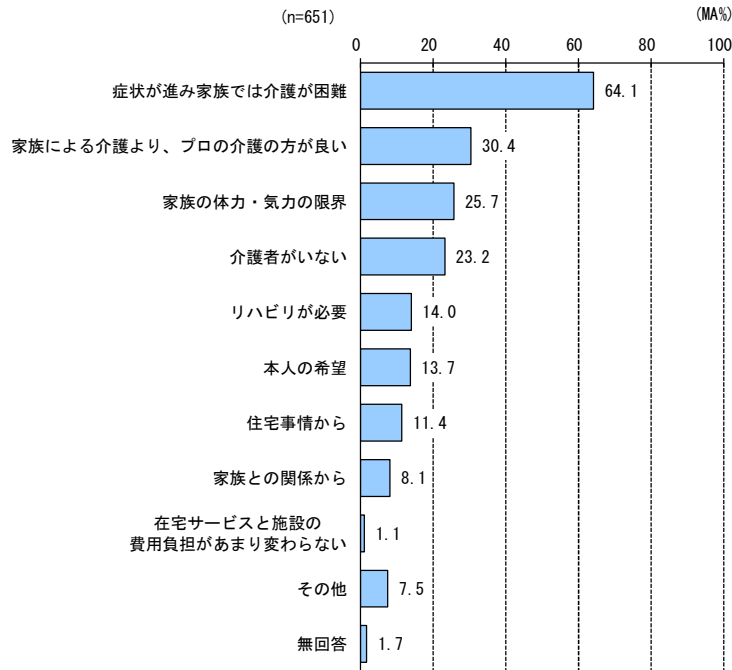
(6) 入所した理由

●問8 どのような理由で入所されましたか。(いくつでも○)

【全体】

○ 入所した理由について、「症状が進み家族では介護が困難」が 64.1%で最も多く、次いで「家族による介護より、プロの介護の方が良い」が 30.4%、「家族の体力・気力の限界」が 25.7%となっています。

【入所した理由 (MA)】



単位：%

	母数 (n)	入所した理由 (MA)											
		本人の希望	症状が進み家族では	家族の体力・気力の限界	リハビリが必要	在宅サービスと施設の費用負担があまり変わらない	家族による介護の方が良い	住宅事情から	家族との関係から	介護者がいない	その他	無回答	
全体	651	13.7	64.1	25.7	14.0	1.1	30.4	11.4	8.1	23.2	7.5	1.7	
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	346	11.0	72.5	30.3	8.1	1.2	31.2	12.4	7.2	25.7	6.6	0.6
	介護老人保健施設	96	12.5	53.1	19.8	47.9	1.0	29.2	18.8	3.1	19.8	10.4	-
	介護療養型医療施設	5	20.0	60.0	20.0	40.0	-	40.0	20.0	20.0	20.0	-	-
	介護付きの有料老人ホーム	120	24.2	55.8	18.3	6.7	0.8	30.0	8.3	13.3	19.2	6.7	-
	介護付きのケアハウス	19	5.3	73.7	42.1	5.3	-	42.1	-	5.3	26.3	5.3	-
	その他	44	13.6	54.5	20.5	9.1	2.3	25.0	4.5	11.4	25.0	13.6	-
性別	男性	163	12.9	65.6	33.1	14.1	0.6	23.3	15.3	8.0	25.2	8.0	0.6
	女性	476	14.3	64.5	23.5	14.1	1.3	33.4	10.1	8.4	22.9	7.6	0.2
	無回答	3	-	100.0	33.3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	-	-
年齢	75歳未満	41	7.3	65.9	22.0	19.5	-	22.0	9.8	12.2	22.0	4.9	2.4
	75歳以上	598	14.4	65.1	26.4	13.9	1.2	31.6	11.5	8.0	23.4	7.9	0.2

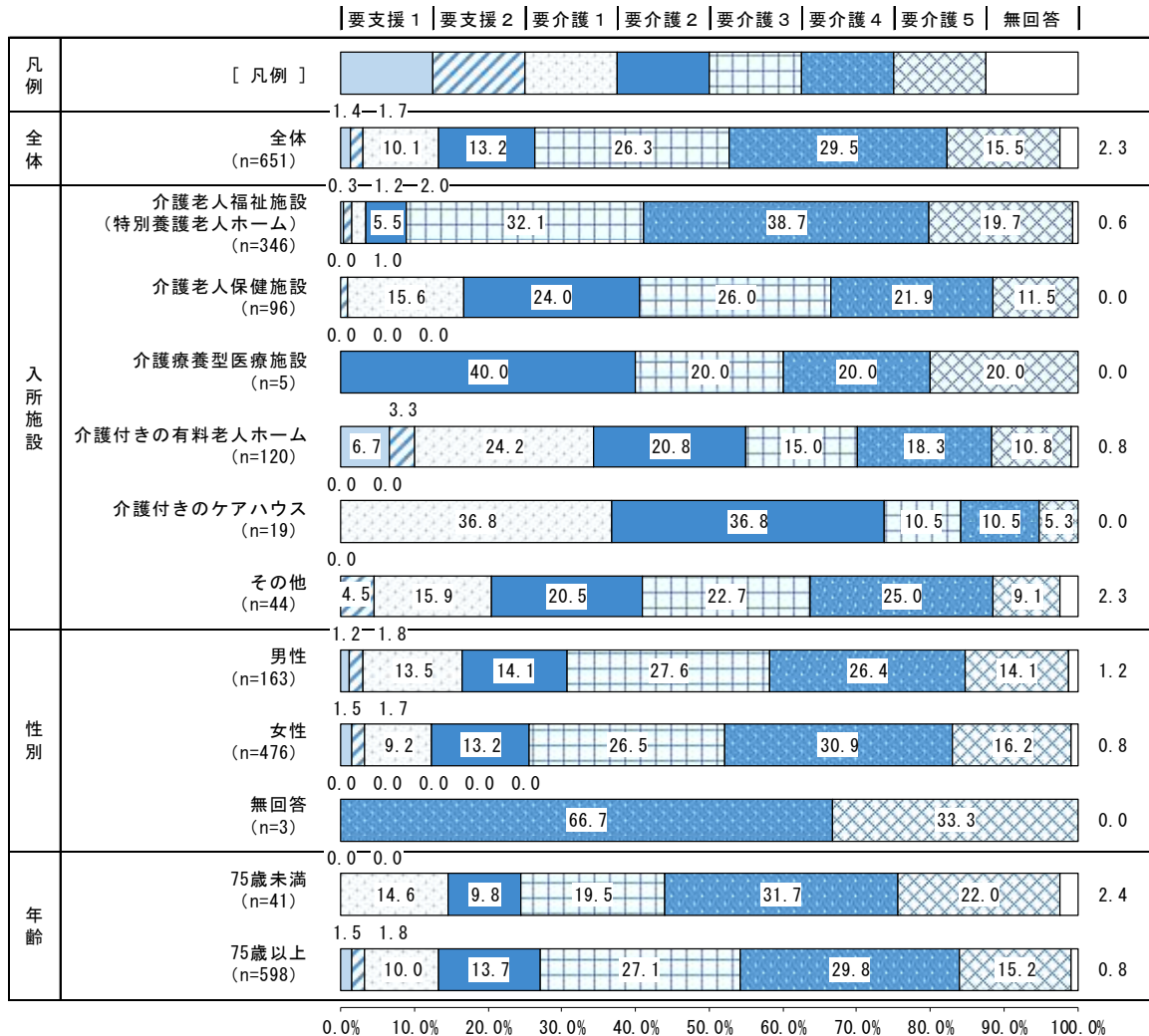
(7)現在の要介護度

●問9 現在、認定されている要介護度について、ご回答ください。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 現在の要介護度について、「要介護4」が29.5%で最も多く、次いで「要介護3」が26.3%、「要介護5」が15.5%となっています。

【現在の要介護度】



3 介護保険サービスについて

(1) 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況

- 問10 施設に入所する以前、自宅などで介護保険による居宅介護サービスを利用して
いましたか。(ひとつだけ○)

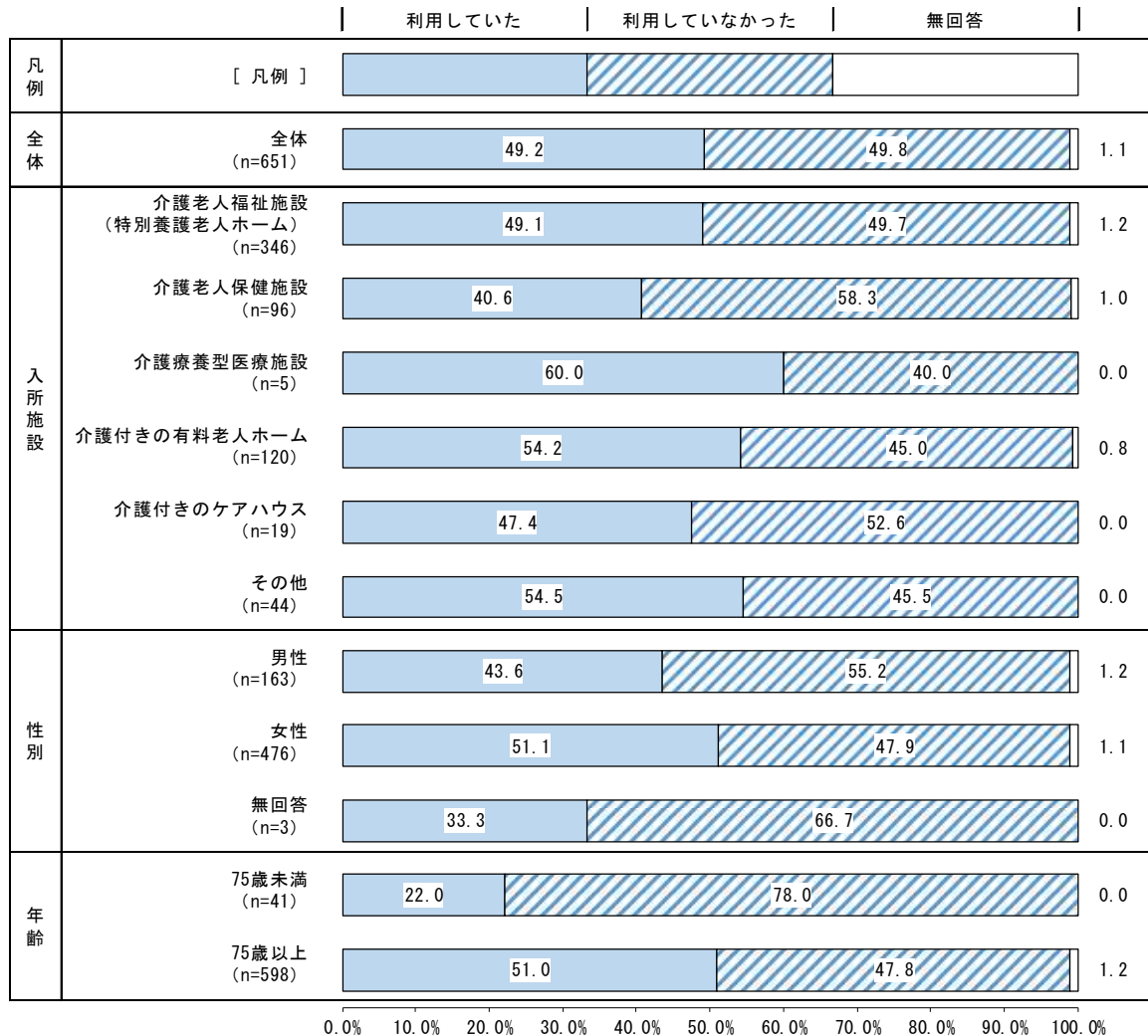
【全体】

○ 施設入所前の居宅介護サービスの利用状況について、「利用していた」が49.2%、「利用していなかった」が49.8%となっています。

【年齢】

○ 75歳未満では、「利用していた」が22.0%、「利用していなかった」が78.0%となっています。

【施設入所前の居宅介護サービスの利用状況】



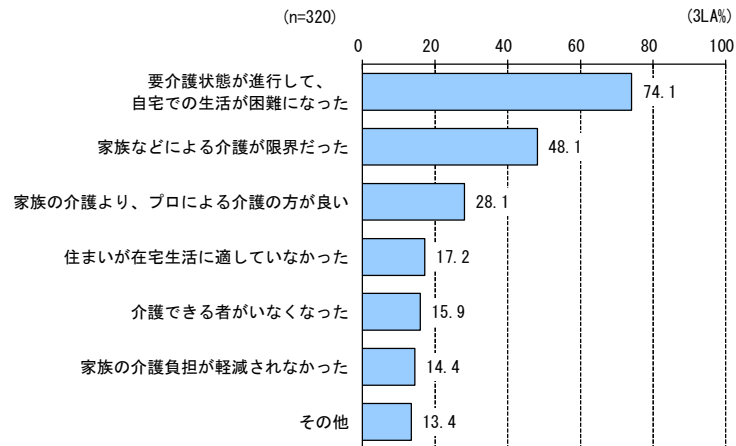
(2) 自宅での生活が続けられなかった理由

●問10-1 居宅介護サービスを利用しながら、自宅での生活が続けられなかった主な理由は何ですか。(3つまで○)

【全体】

○ 自宅での生活が続けられなかった理由について、「要介護状態が進行して、自宅での生活が困難になった」が74.1%で最も多く、次いで「家族などによる介護が限界だった」が48.1%、「家族の介護より、プロによる介護の方が良い」が28.1%となっています。

【自宅での生活が続けられなかった理由(3LA)】



単位：%

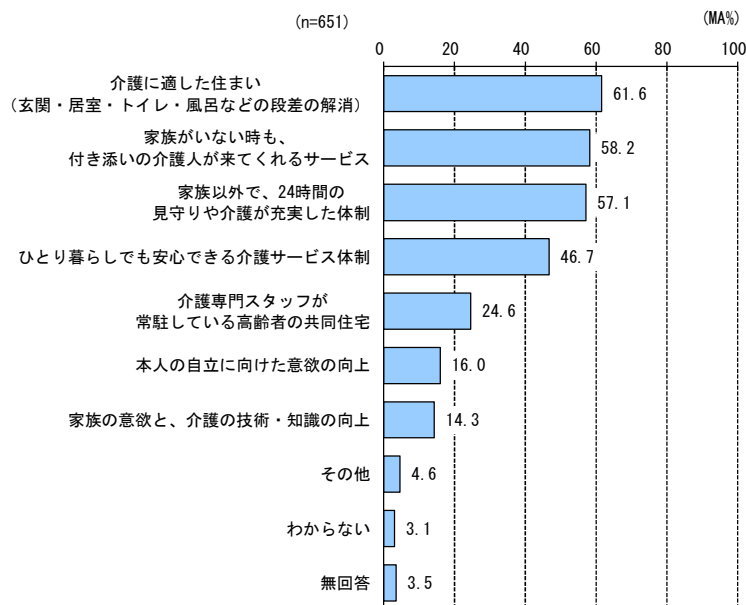
	母数 (n)	自宅での生活が続けられなかった理由(3LA)							
		自宅介護の状況が進行して、困難になった	家族の介護負担が軽減されなかった	家族などによる介護が限界だった	家族の介護より、プロによる介護の方が良い	住まいが在宅生活に適していなかった	介護できる者がいなくなった	その他	
全体	320	74.1	14.4	48.1	28.1	17.2	15.9	13.4	
入所施設	介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	170	76.5	15.3	54.1	30.6	17.1	14.7	12.4
	介護老人保健施設	39	76.9	7.7	43.6	25.6	20.5	15.4	10.3
	介護療養型医療施設	3	△100.0	△33.3	△66.7	33.3	-	△33.3	-
	介護付きの有料老人ホーム	65	64.6	13.8	▼36.9	21.5	23.1	12.3	16.9
	介護付きのケアハウス	9	66.7	22.2	55.6	△44.4	-	22.2	11.1
	その他	24	70.8	12.5	▼25.0	20.8	12.5	25.0	16.7
性別	男性	71	74.6	12.7	△59.2	▼15.5	16.9	21.1	12.7
	女性	243	73.7	14.8	44.4	31.3	17.7	13.2	13.6
	無回答	1	-	△100.0	△100.0	△100.0	-	△100.0	-
年齢	75歳未満	9	△88.9	11.1	55.6	▼11.1	22.2	22.2	11.1
	75歳以上	305	73.1	14.8	47.9	28.5	17.0	15.1	13.4

(3) 自宅などで生活するための必要な条件

●問11 自宅などの住み慣れた地域で生活するためには、どのような条件が整うことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 自宅などで生活するための必要な条件について、「介護に適した住まい（玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消）」が 61.6%で最も多く、次いで「家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス」が 58.2%、「家族以外で、24 時間の見守りや介護が充実した体制」が 57.1%となっています。
- 【入所施設】
- 介護付きの有料老人ホーム、介護付きのケアハウスでは、「家族以外で、24 時間の見守りや介護が充実した体制」が最も多くなっています。

【自宅などで生活するための必要な条件(MA)】



単位：%

	母数 (n)	自宅などで生活するための必要な条件(MA)										
		介護に適した住まい (玄関・居室・トイレ・風呂などの段差の解消)	家族がいない時も、付き添いの介護人が来てくれるサービス	家族以外で、24時間の見守りや介護が充実した体制	介護専門スタッフが常駐している高齢者の共同住宅	本人の自立に向けた意欲の向上	家族の意欲と、介護の技術・知識の向上	ひとり暮らしでも安心できる介護サービス体制	介護専門スタッフが常駐している高齢者の共同住宅	本人の自立に向けた意欲の向上	その他	わからない
全体	651	61.6	58.2	57.1	14.3	46.7	24.6	16.0	4.6	3.1	3.5	
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	346	64.5	57.8	57.5	13.0	42.5	22.3	13.3	2.6	3.2	2.9
	介護老人保健施設	96	64.6	61.5	▼45.8	14.6	51.0	21.9	16.7	5.2	3.1	3.1
	介護療養型医療施設	5	△100.0	60.0	60.0	△40.0	△60.0	△40.0	20.0	-	-	-
	介護付きの有料老人ホーム	120	59.2	63.3	65.8	15.0	53.3	28.3	19.2	8.3	5.0	1.7
	介護付きのケアハウス	19	▼47.4	52.6	57.9	10.5	52.6	31.6	▼5.3	-	-	10.5
	その他	44	▼38.6	▼47.7	59.1	20.5	45.5	31.8	22.7	9.1	-	9.1
性別	男性	163	65.6	59.5	54.0	14.1	44.8	25.2	20.9	8.0	2.5	5.5
	女性	476	59.7	57.6	58.4	14.3	46.8	24.4	14.1	3.4	3.4	2.9
	無回答	3	66.7	△100.0	66.7	-	△66.7	33.3	△33.3	-	-	-
年齢	75歳未満	41	61.0	53.7	53.7	7.3	46.3	19.5	9.8	2.4	9.8	4.9
	75歳以上	598	61.4	58.5	57.5	14.7	46.3	25.1	16.4	4.7	2.7	3.5

(4) 入所施設はどのように選んだか

●問12 入所している施設は、どのように選びましたか。(ひとつだけ○)

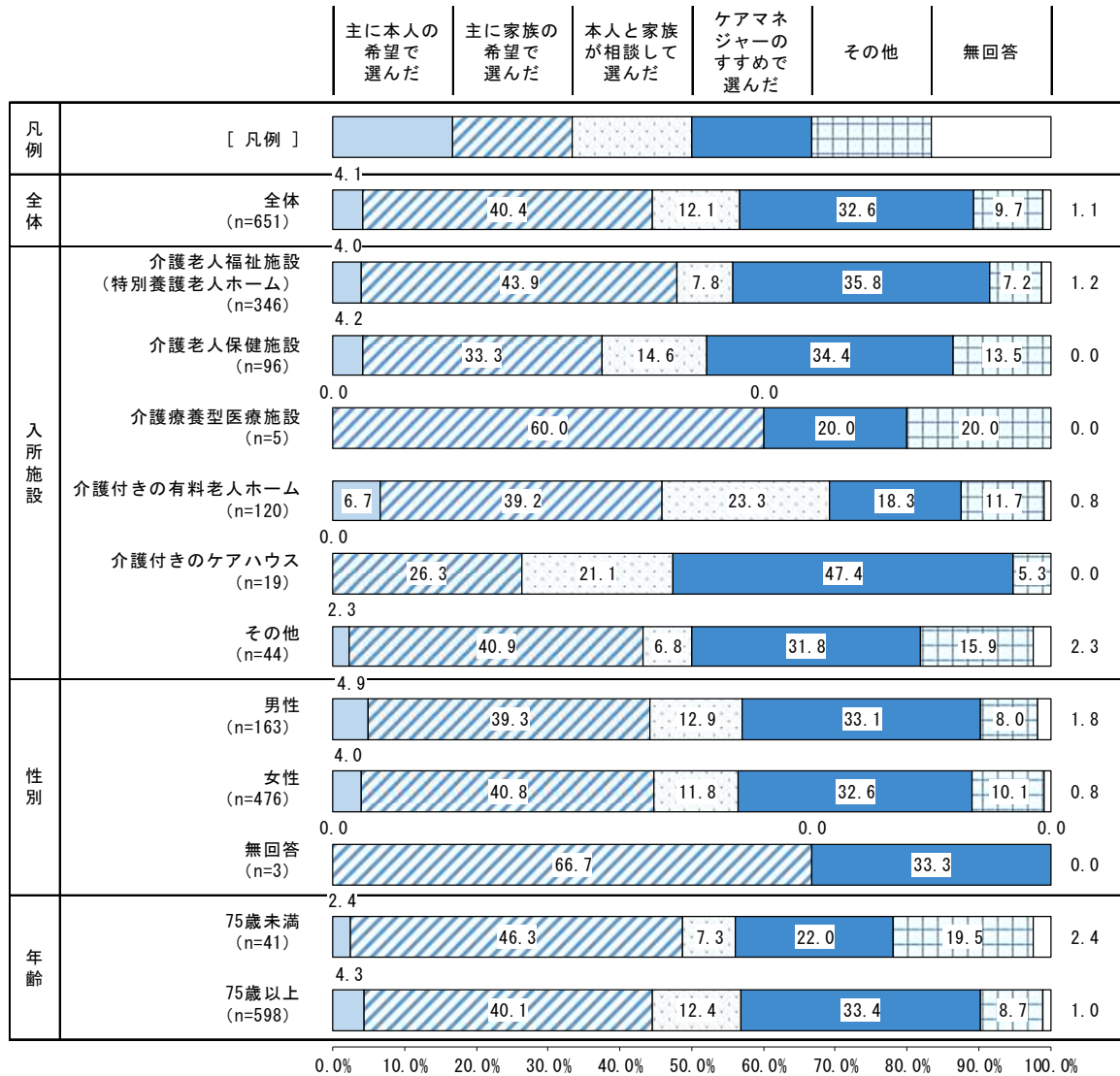
【全体】

- 入所施設はどのように選んだかについて、「主に家族の希望で選んだ」が 40.4%で最も多く、次いで「ケアマネジャーのすすめで選んだ」が 32.6%、「本人と家族が相談して選んだ」が 12.1%となっています。

【入所施設】

- 介護付きの有料老人ホーム、介護付きのケアハウスでは、「本人と家族が相談して選んだ」が 20.0%以上となっており、他の施設と比べて高くなっています。

【入所施設はどのように選んだか】



(5) 施設を選んだ時に重視したこと

●問13 施設を選んだ時に重視したことは何ですか。(いくつでも○)

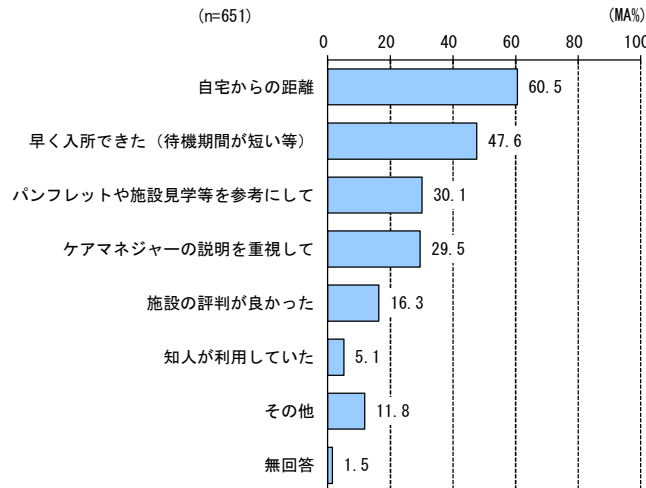
【全体】

- 施設を選んだ時に重視したことについて、「自宅からの距離」が 60.5%で最も多く、次いで「早く入所できた（待機期間が短い等）」が 47.6%、「パンフレットや施設見学等を参考にして」が 30.1%となっています。

【入所施設】

- 介護付きの有料老人ホーム、介護付きのケアハウスでは、「パンフレットや施設見学等を参考にして」が全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【施設を選んだ時に重視したこと (MA)】



単位：%

	母数 (n)	施設を選んだ時に重視したこと (MA)								
		自宅からの距離	知人が利用していた	パンフレットや施設見学等を参考にして	ケアマネジャーの説明を重視して	施設の評判が良かった	早く入所できた (待機期間が短い等)	その他	無回答	
全体	651	60.5	5.1	30.1	29.5	16.3	47.6	11.8	1.5	
入所施設	介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	346	63.3	6.6	24.0	31.8	16.5	44.8	11.6	2.3
	介護老人保健施設	96	56.3	5.2	▼17.7	31.3	17.7	45.8	17.7	-
	介護療養型医療施設	5	▼20.0	△20.0	40.0	20.0	20.0	▼20.0	40.0	-
	介護付きの有料老人ホーム	120	63.3	3.3	△55.8	▼15.0	16.7	52.5	9.2	0.8
	介護付きのケアハウス	19	△73.7	-	△42.1	36.8	15.8	△57.9	-	-
	その他	44	▼40.9	-	25.0	38.6	▼4.5	52.3	15.9	-
性別	男性	163	55.8	4.3	28.2	25.2	16.6	52.8	12.9	1.2
	女性	476	62.0	5.5	30.5	30.7	16.0	46.0	11.8	1.7
	無回答	3	66.7	-	-	33.3	-	▼33.3	-	-
年齢	75歳未満	41	65.9	9.8	▼17.1	24.4	14.6	51.2	7.3	2.4
	75歳以上	598	60.0	4.8	30.8	29.6	16.2	47.5	12.4	1.5

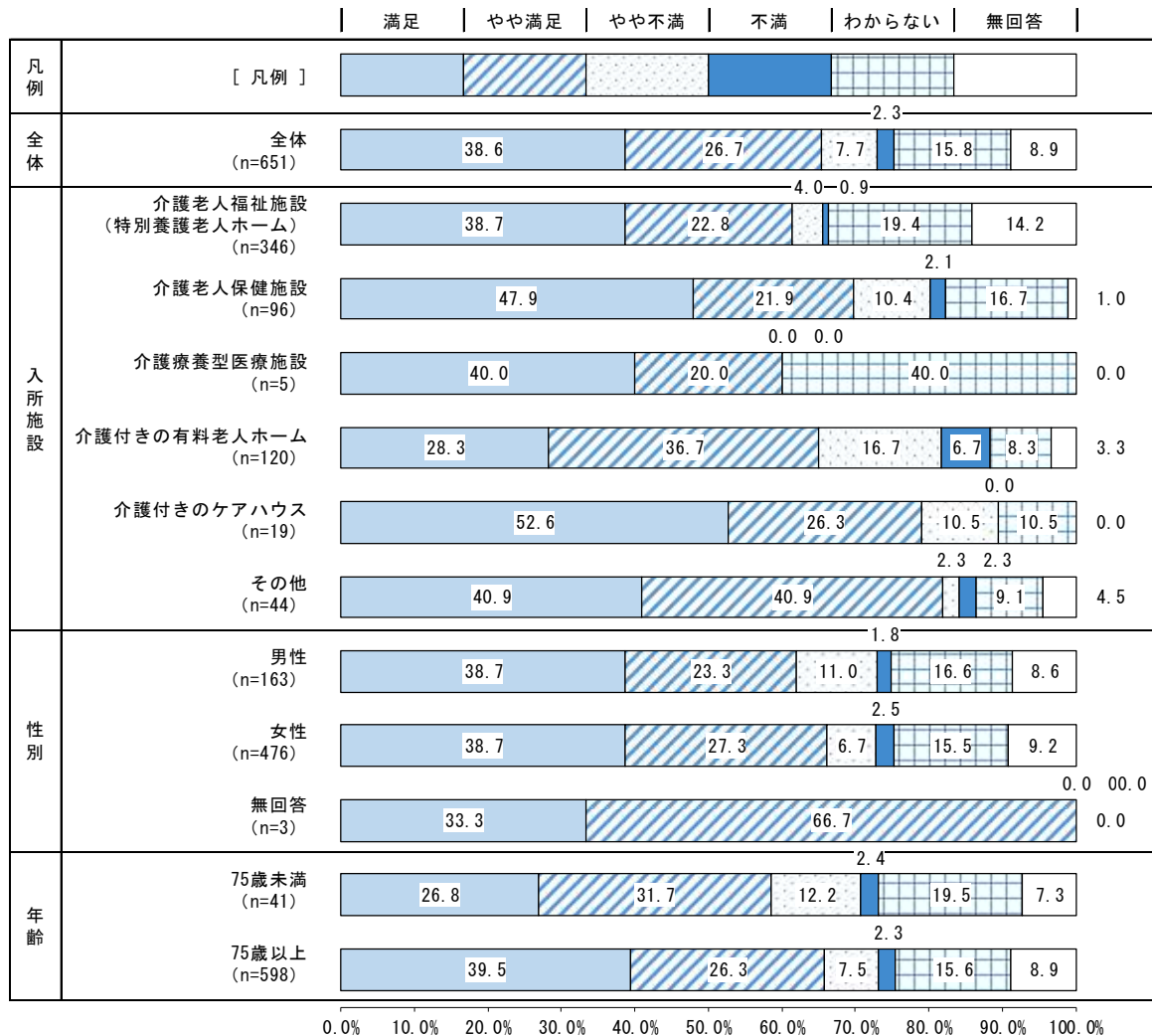
(6) 満足度

●①食事（食事時間やメニューなど）

【全体】

○ ①食事について、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が65.3%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が10.0%となっています。

【満足度①食事】

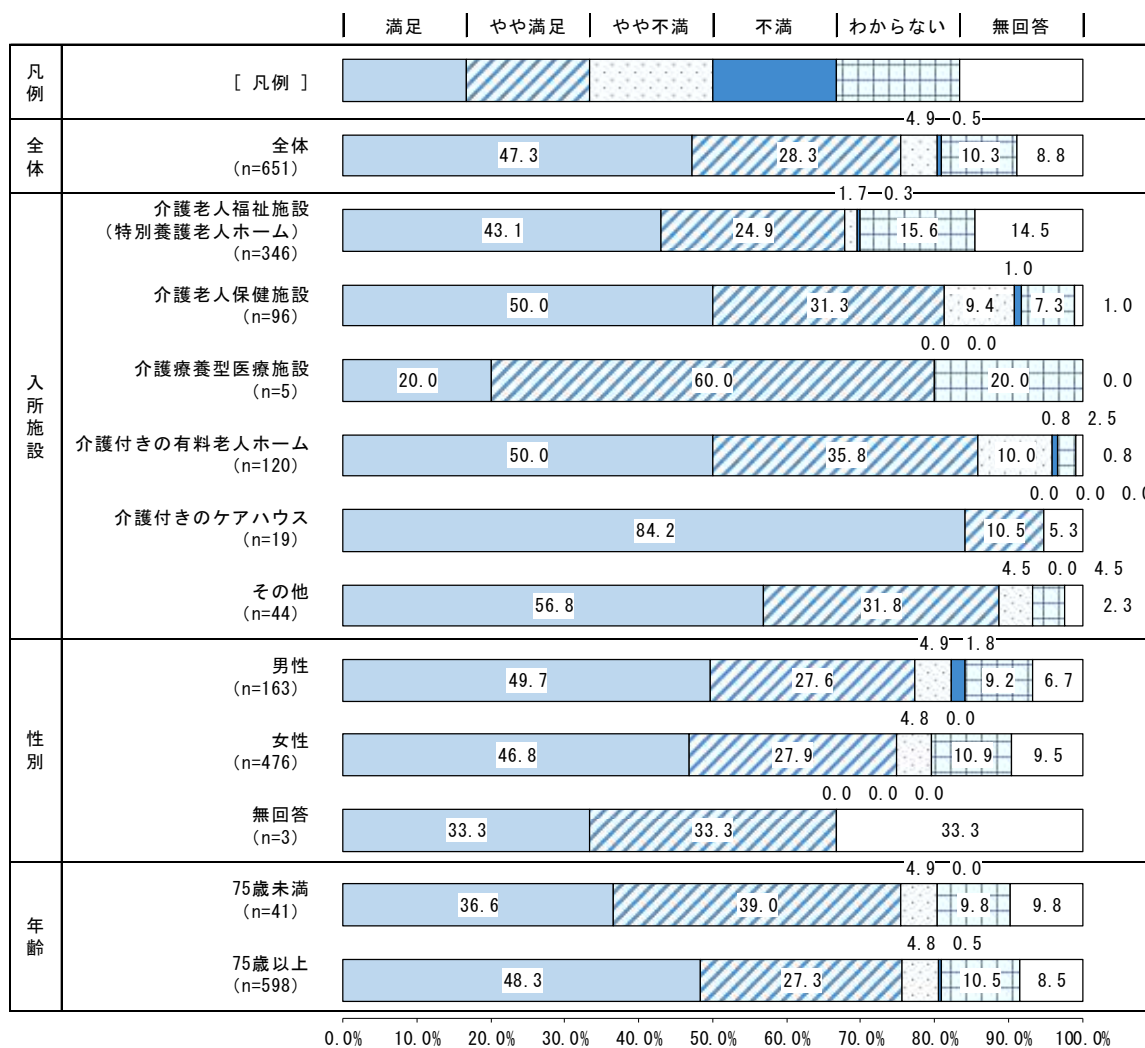


●②居室の空間

【全体】

- ②居室の空間について、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が75.6%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が5.4%となっています。

【満足度②居室の空間】

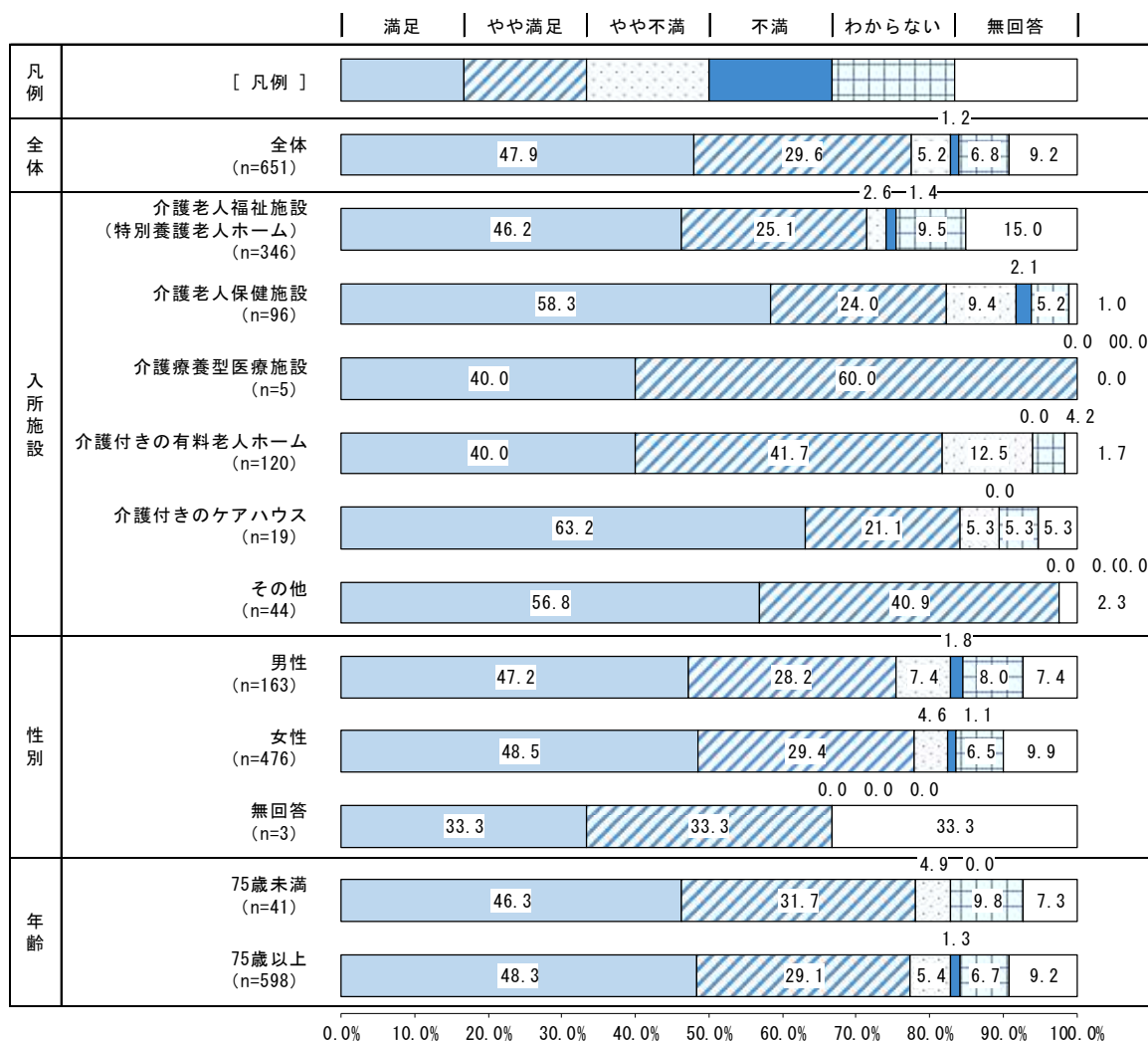


●③日ごろの介護、職員の接し方

【全体】

- ③日ごろの介護、職員の接し方について、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が77.5%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が6.4%となっています。

【満足度③日ごろの介護、職員の接し方】

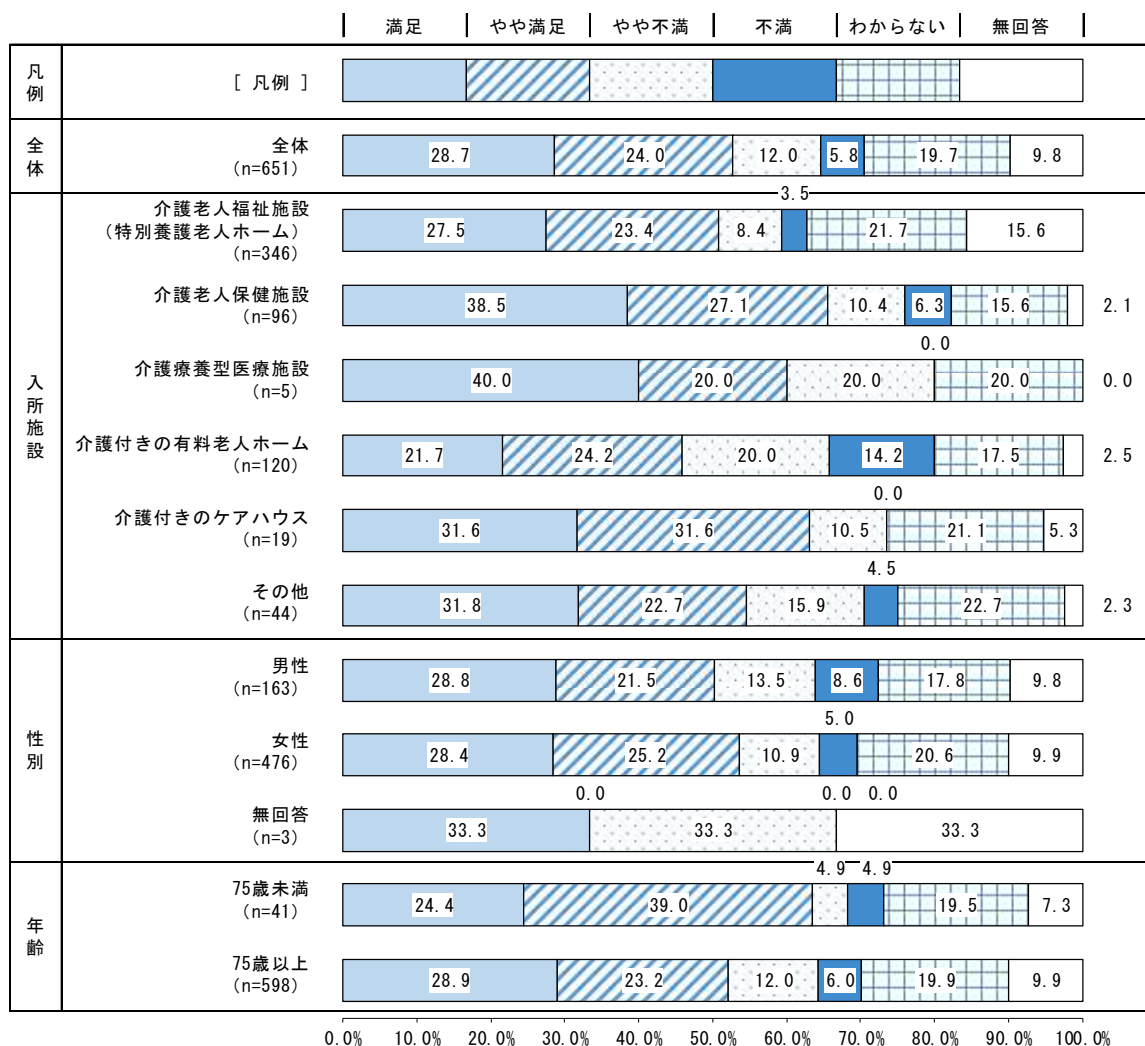


●④リハビリや生活訓練

【全体】

○ ④リハビリや生活訓練について、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が52.7%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が17.8%となっています。

【満足度④リハビリや生活訓練】

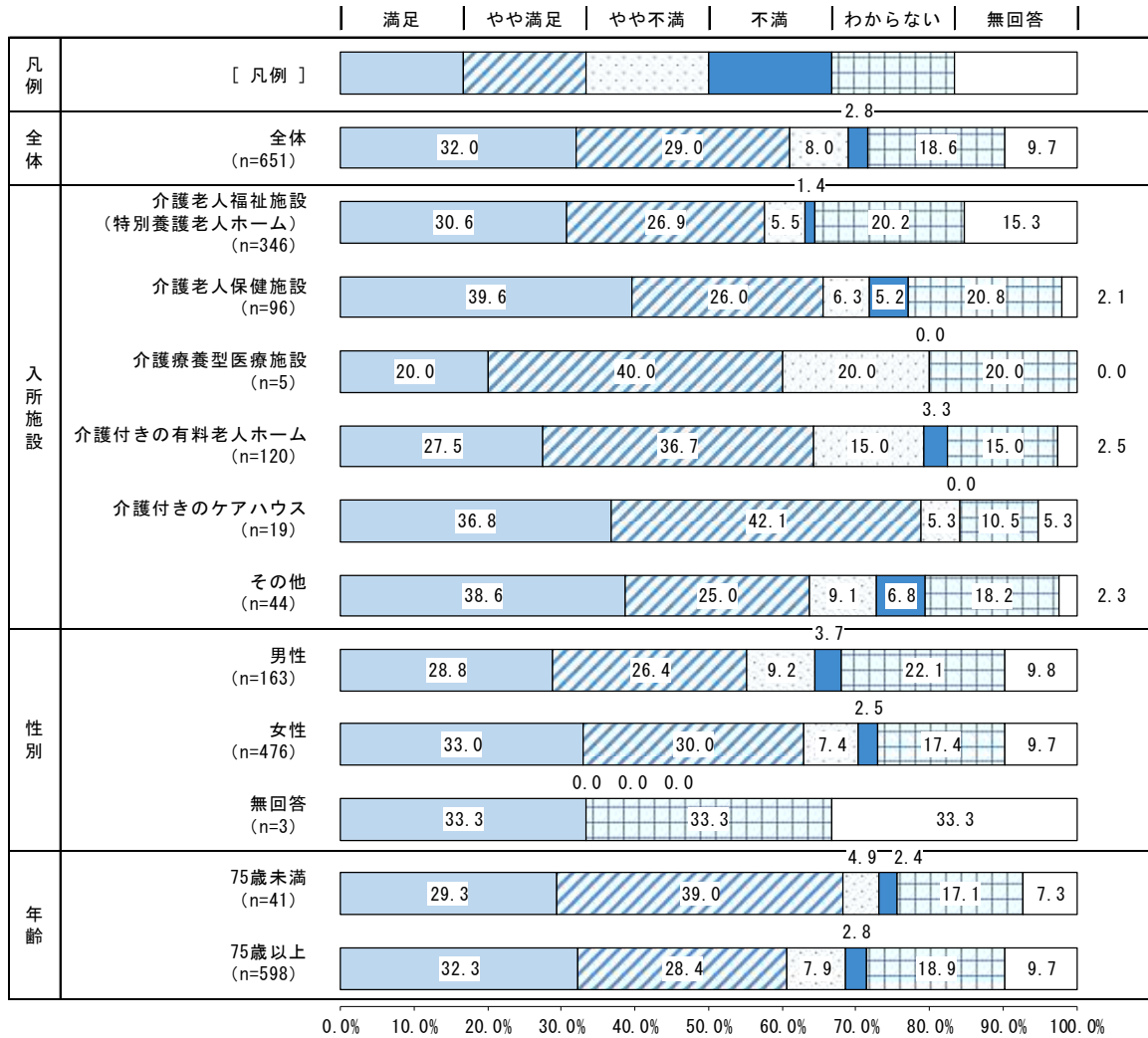


●⑤娯楽・レクリエーション

【全体】

○ ⑤娯楽・レクリエーションについて、「満足」と「やや満足」を合わせた“満足”が61.0%、「やや不満」と「不満」を合わせた“不満”が10.8%となっています。

【満足度⑤娯楽・レクリエーション】



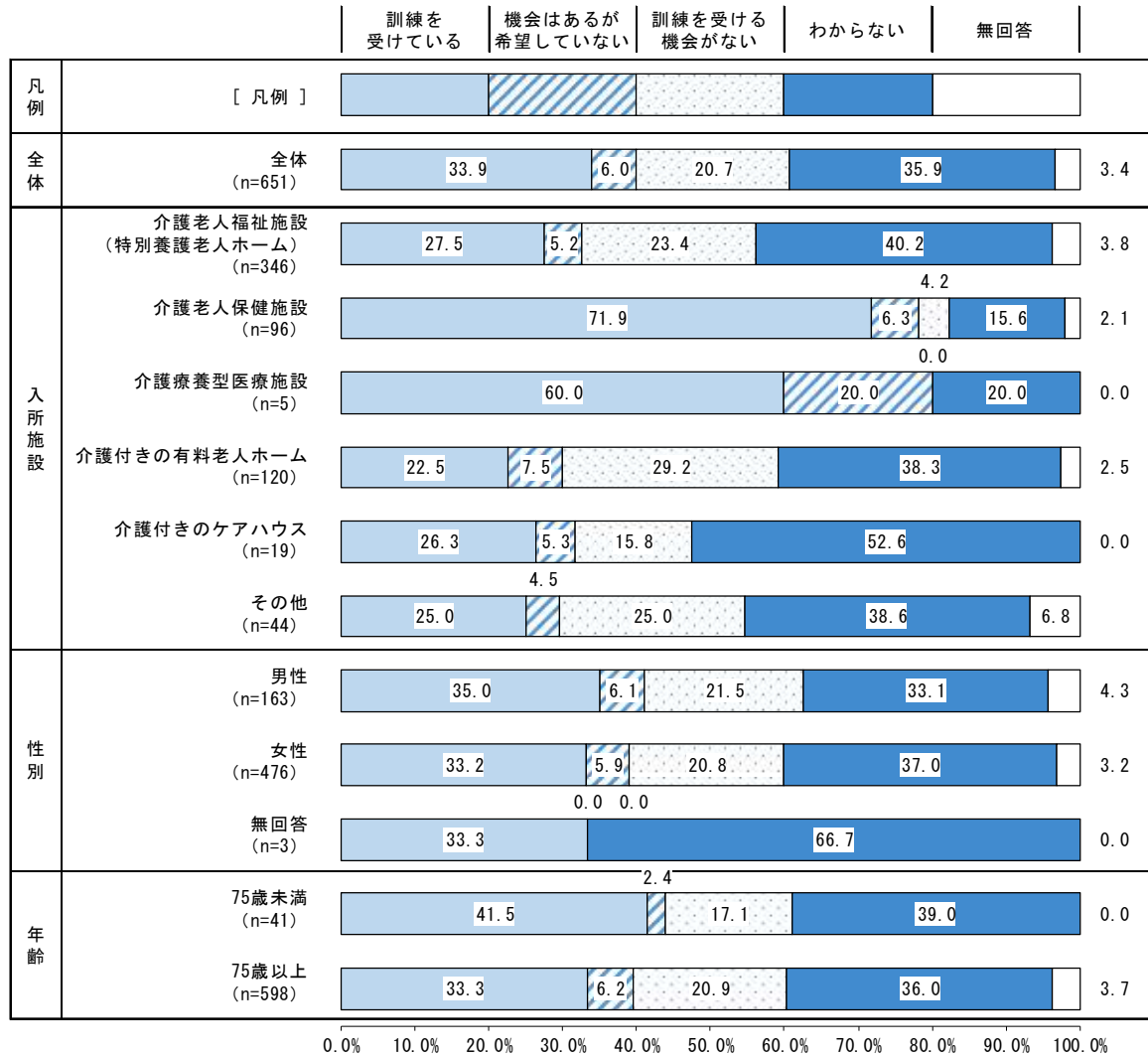
(7) 要介護状態を改善するための訓練を受けているか

●問15 要介護状態を改善するための訓練を受けていますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 要介護状態を改善するための訓練を受けているかについて、「わからない」が 35.9%で最も多く、次いで「訓練を受けている」が 33.9%、「訓練を受ける機会がない」が 20.7%となっています。

【要介護状態を改善するための訓練を受けているか】



(8) 入所後の要介護度の変化

●問16 入所してから、要介護度に変化はありましたか。(ひとつだけ○)

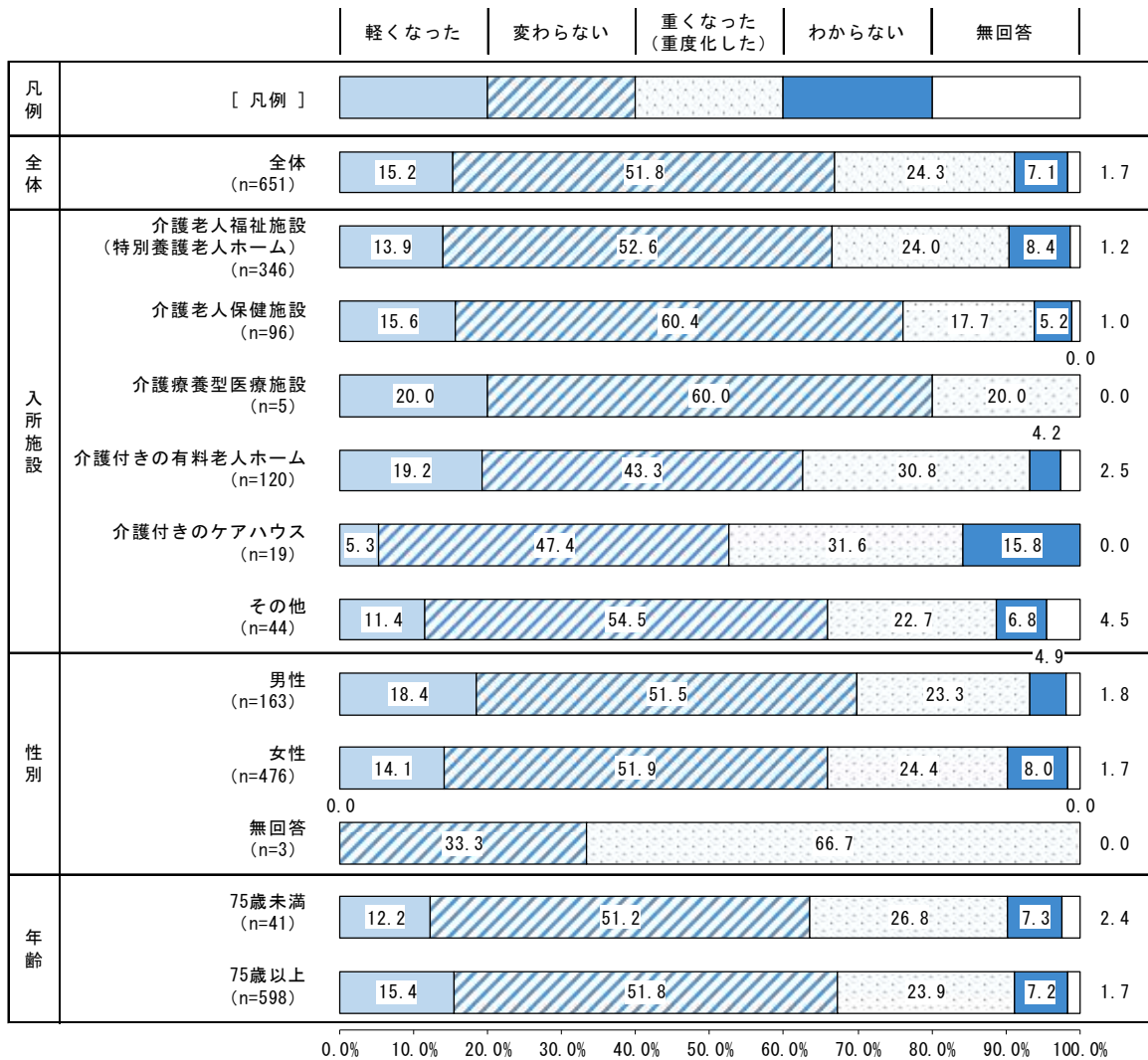
【全体】

○ 入所後の要介護度の変化について、「変わらない」が 51.8%で最も多く、次いで「重くなった（重度化した）」が 24.3%、「軽くなった」が 15.2%となっています。

【入所施設】

○ 介護付きの有料老人ホーム、**介護付きのケアハウス**では、「重くなった（重度化した）」が 30.0%以上となっています。

【入所後の要介護度の変化】



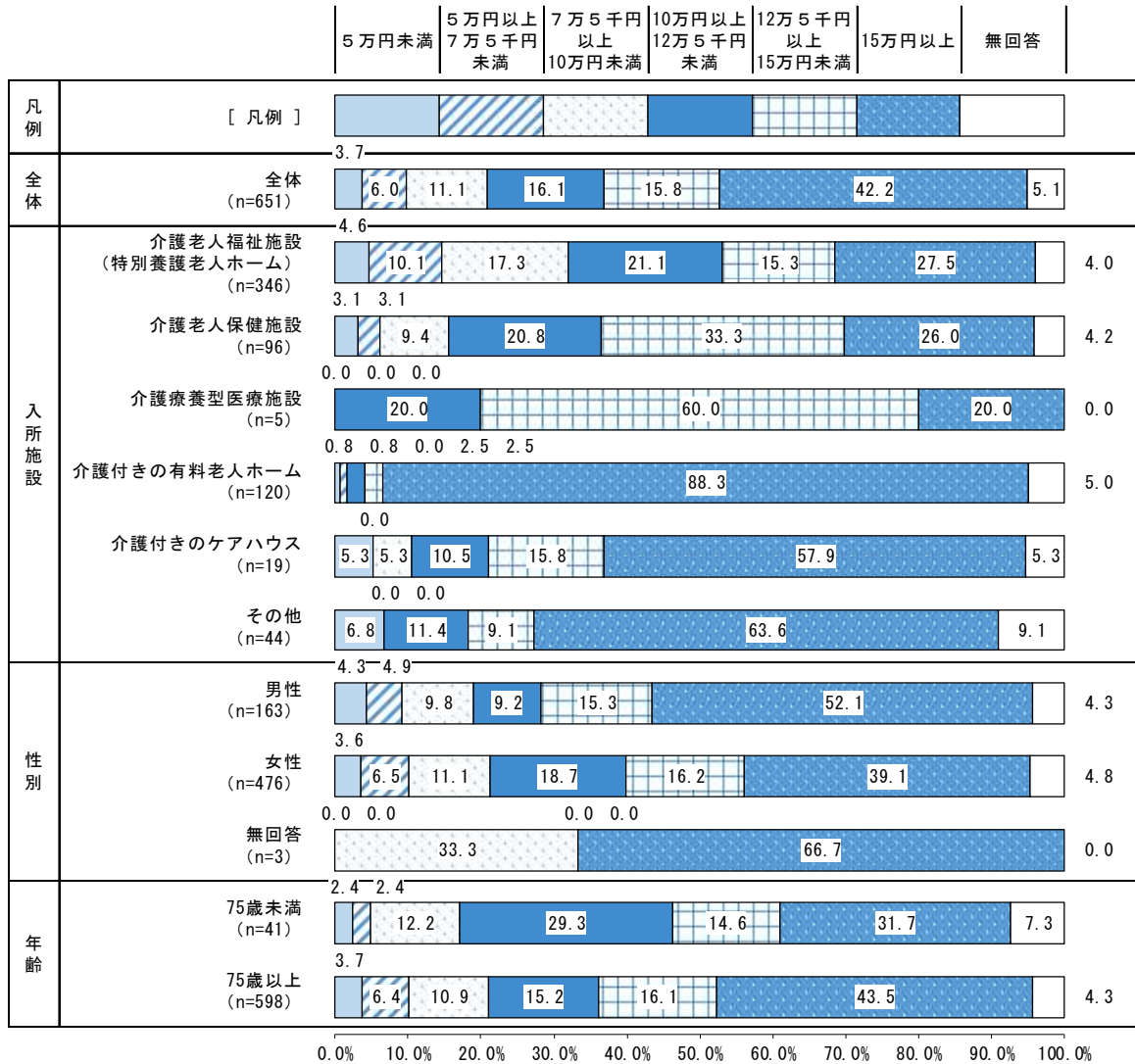
(9) 入所にかかる1か月の費用

●問17 入所にかかる1か月の費用はどのくらいになりますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 入所にかかる1か月の費用について、「15万円以上」が42.2%で最も多く、次いで「10万円以上12万5千円未満」が16.1%、「12万5千円以上15万円未満」が15.8%となっています。

【入所にかかる1か月の費用】



4 自由意見

- 問18 最後に、介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご自由にご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	サービス費用	件数	74件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・本人の年金が少ないため、親の遺産でやり繰りしており、負担軽減を求める。 ・物価高や人手不足の影響で費用が年々上がり不安だ。 ・年金生活者にとって、介護費用負担が大きすぎる。 ・認知症で独居から(要介護2)グループホーム入居の選択しかなく費用に苦勞した。進行により特養(要介護4)へ入居でき費用面では安心出来ましたが、通院する病院が遠方な場合、車イス等は介護タクシーを使用せざるをえず、毎回の出費に悩まされた。 		
カテゴリ	施設サービス	件数	54件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・昨今、物価高で施設の食事の不満・人手不足で生活まわりの介護の不満が多くなってきたと思う。 ・スタッフの皆さんが良くしてくれるため、母も満足して生活している。強いて言えば、母が外への散歩を希望している。 ・入所前説明と入所後の介護内容に相違がある。介護内容が悪化しているが、苦情の申し出先が不明。 ・認知症型高齢者は動けても、グループホームで対応できない(暴力、暴言をとまなう)場合もあり、サービスを受けられないこともある。 ・リハビリをしてくれる施設を増やしてほしい。リハビリをやっている施設でも回数が少ない。 ・高齢者が増える昨今、低価格で市民が安心して入れる施設の充実、介護職の人材の育成及び大学病院の誘致など、市民に寄り添った施策を切望する。 		
カテゴリ	職員体制	件数	40件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護士の皆さんによくしてもらっているので、給料を上げてほしい。 ・職員の方が忙しく、コミュニケーション面で不足している。職員の方の働き方や待遇の改善をお願いしたい(行政面でのできるサポート) ・高齢者の増加が予想される中、介護施設等では既に人員不足が生じている。介護スタッフが働きやすい環境整備を希望する。 ・要介護になった時、ケアマネージャー探しに大変苦勞した。電話してもケアマネージャーが手一杯で、受け入れを断られる状況だった。 		
カテゴリ	制度・行政	件数	76件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・ある日突然介護が必要になり、介護認定をするところから特養に入所するまで手続きなど時間がかかり大変だったが、介護保険、高齢者福祉の制度が使い、大変助かりありがたく思っている。 ・テレビニュース等で職員や元職員の方の入居者に対する犯罪が頻発している。安心して入所してもらうためにも、施設に対する行政面でのチェックや指導強化をお願いしたい。 ・入所手続きの際、担当職員によって知識不足を感じた場面があった。 		

介護サービス事業所調査 調査結果

1 事業所で実施しているサービスについて

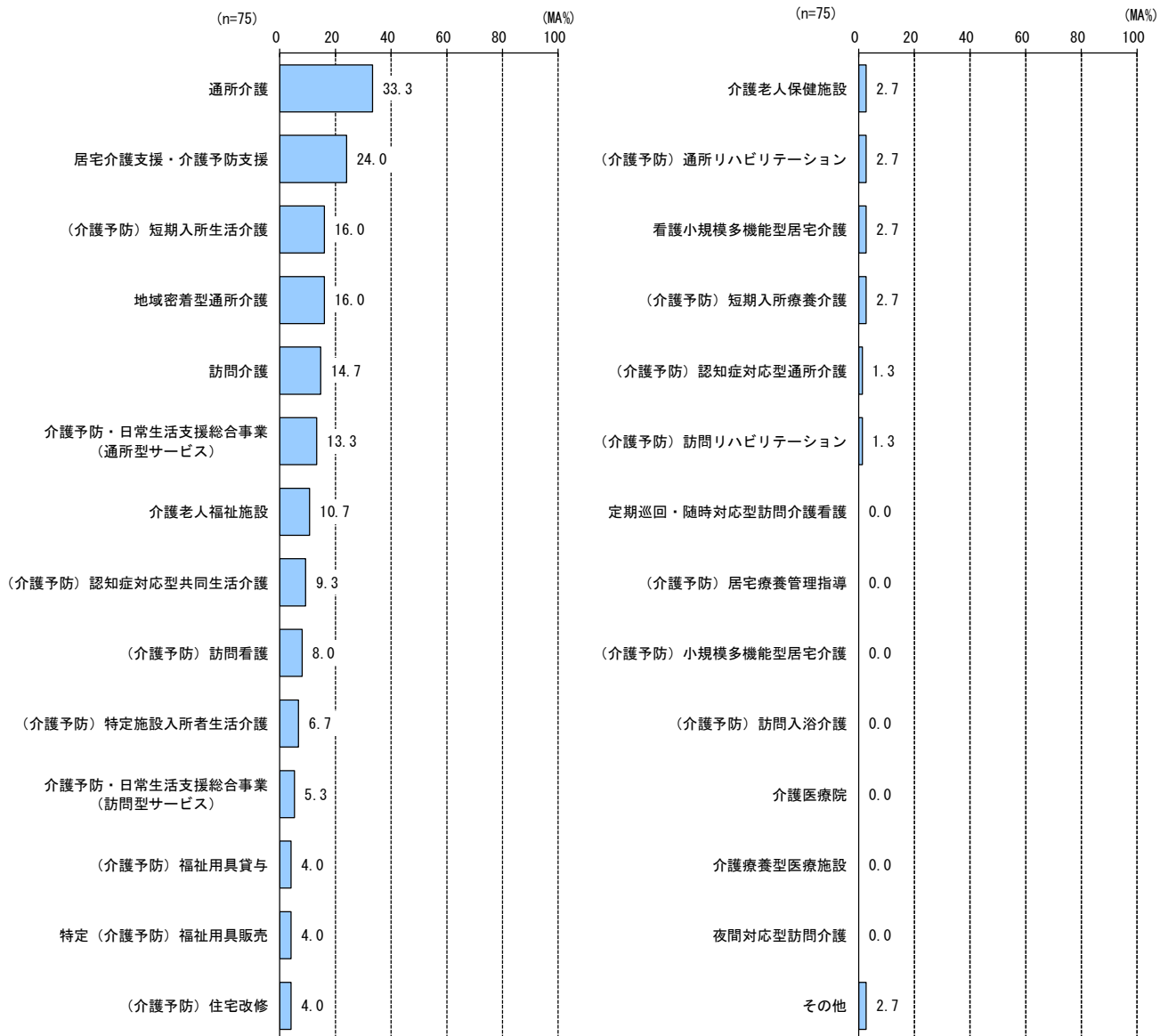
(1) 提供している介護サービス

●問2 貴事業所で提供している介護サービスをご回答ください。(いくつでも○)

【全体】

- 提供している介護サービスについて、「通所介護」が 33.3%で最も多く、次いで「居宅介護支援・介護予防支援」が 24.0%、「(介護予防) 短期入所生活介護」「地域密着型通所介護」が 16.0%となっています。

【提供している介護サービス(MA)】



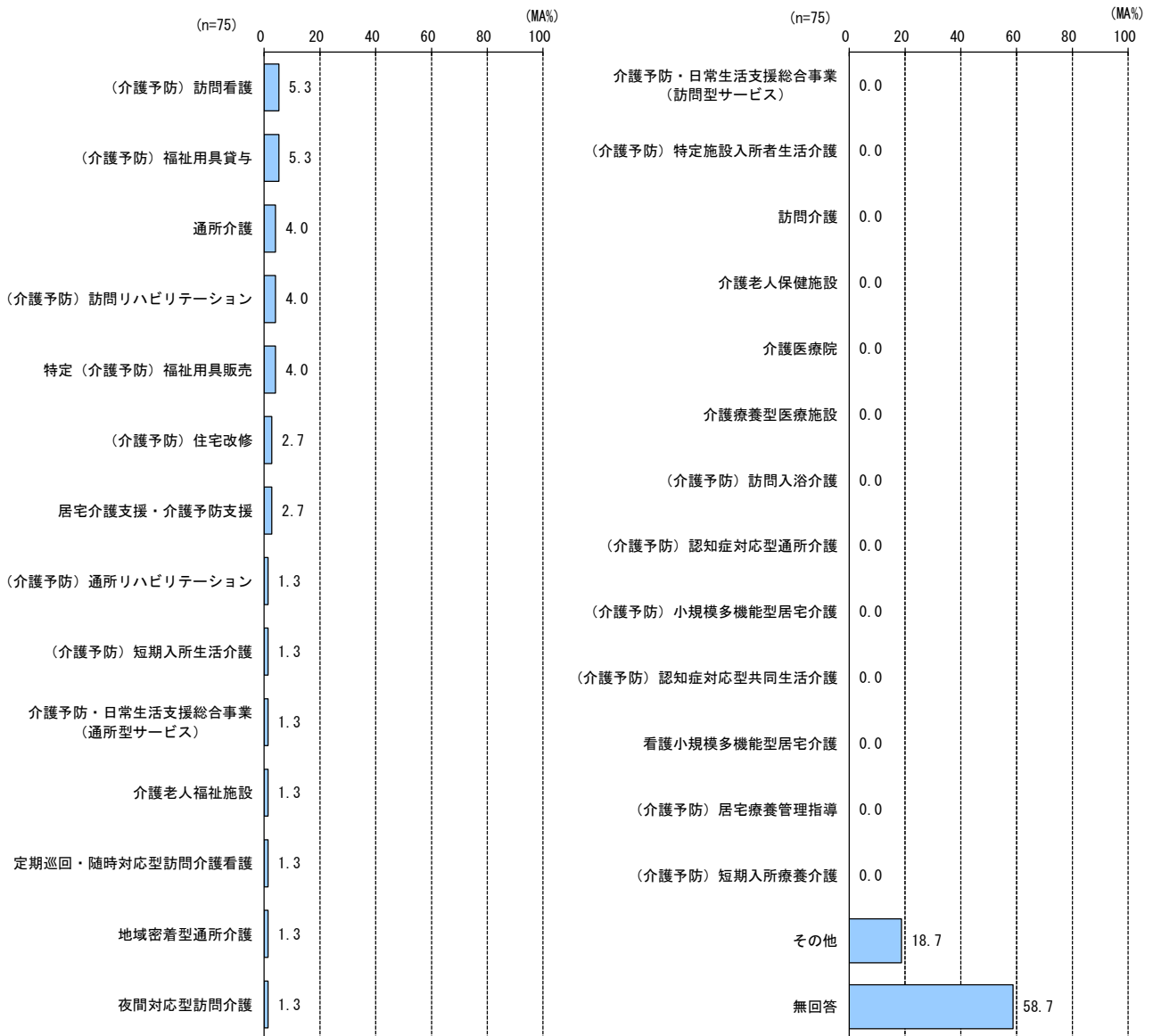
(2) 拡大したい介護サービス

- 問3 今後の方針として、拡大（新規参入）したい介護サービスをご回答ください。
（いくつでも○）

【全体】

○ 拡大したい介護サービスについて、「(介護予防) 訪問看護」「(介護予防) 福祉用具貸与」が5.3%で最も多く、次いで「(介護予防) 訪問リハビリテーション」「通所介護」「特定(介護予防) 福祉用具販売」が4.0%、「(介護予防) 住宅改修」「居宅介護支援・介護予防支援」が2.7%となっています。

【拡大したい介護サービス(MA)】



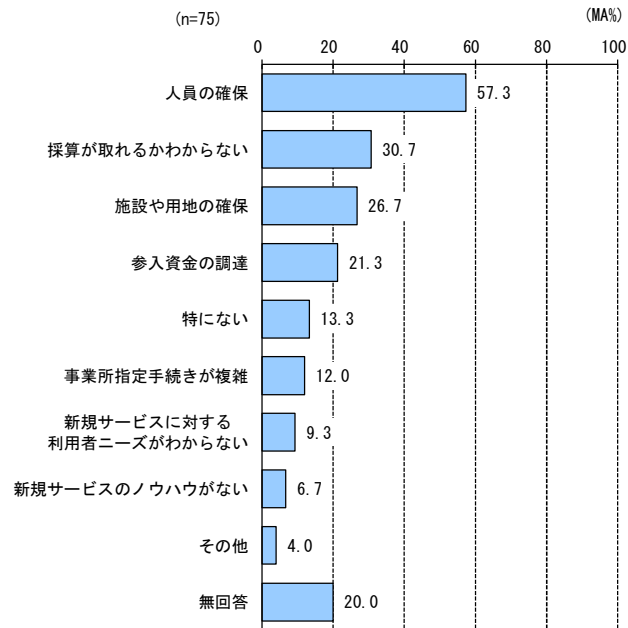
(3) 新規事業に参入する際に課題となること

- 問4 貴事業所が新規事業に参入する際に課題となることは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】

- 新規事業に参入する際に課題となることについて、「人員の確保」が 57.3%で最も多く、次いで「採算が取れるかわからない」が 30.7%、「施設や用地の確保」が 26.7%となっています。

【新規事業に参入する際に課題となること (MA)】



(4) 縮小したい介護サービス

- 問5 今後の方針として、縮小（休止）したい介護サービスをご回答ください。
(いくつでも○)

【全体】

- 縮小したい介護サービスについて、「居宅介護支援・介護予防支援」「介護予防・日常生活支援総合事業（通所型サービス）」が1.3%で最も多くなっています。

【縮小したい介護サービス (MA)】



2 サービス利用者について

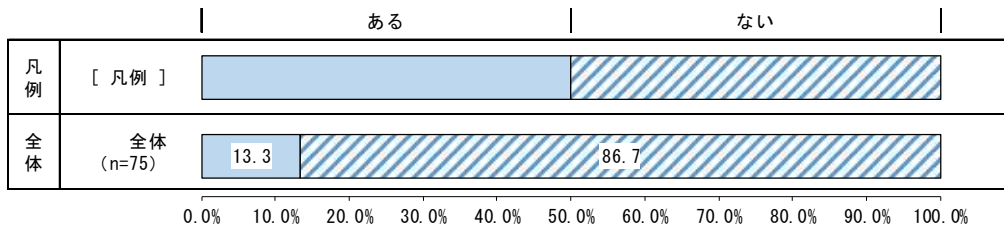
(1) 家族から虐待が疑われる事例の経験

●問6 貴事業所のサービス利用者（ひとつだけ○）

【全体】

- 家族から虐待が疑われる事例の経験について、「ある」が 13.3%、「ない」が 86.7%となっています。

【家族から虐待が疑われる事例の経験】



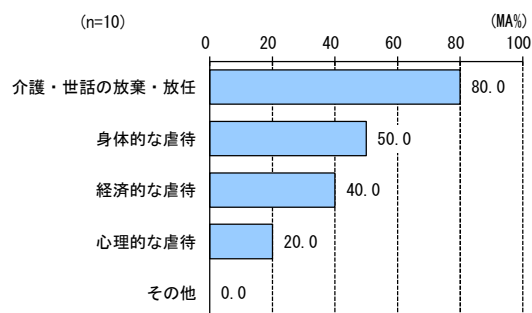
(2) 虐待の内容

●問6-1 それはどのような内容ですか。（いくつでも○）

【全体】

- 虐待の内容について、「介護・世話の放棄・放任」が 80.0%で最も多く、次いで「身体的な虐待」が 50.0%、「経済的な虐待」が 40.0%となっています。

【虐待の内容 (MA)】



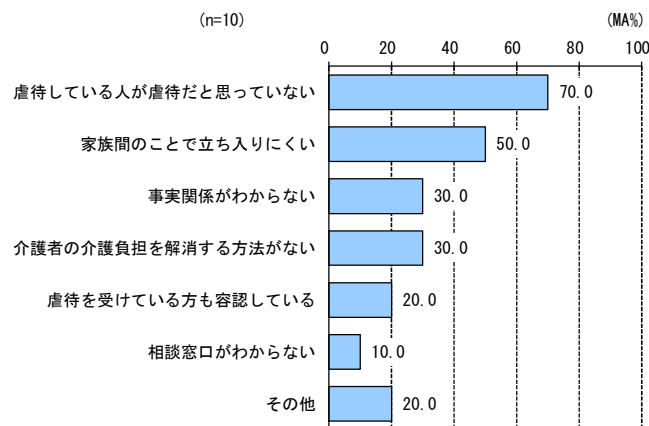
(3) 高齢者への虐待の対応についての問題

- 問6-2 高齢者への虐待の対応にあたり、どのような問題がありますか。
(いくつでも○)

【全体】

- 高齢者への虐待の対応についての問題について、「虐待している人が虐待だと思っていない」が70.0%で最も多く、次いで「家族間のことで立ち入りにくい」が50.0%、「事実関係がわからない」「介護者の介護負担を解消する方法がない」が30.0%となっています。

【高齢者への虐待の対応についての問題(MA)】



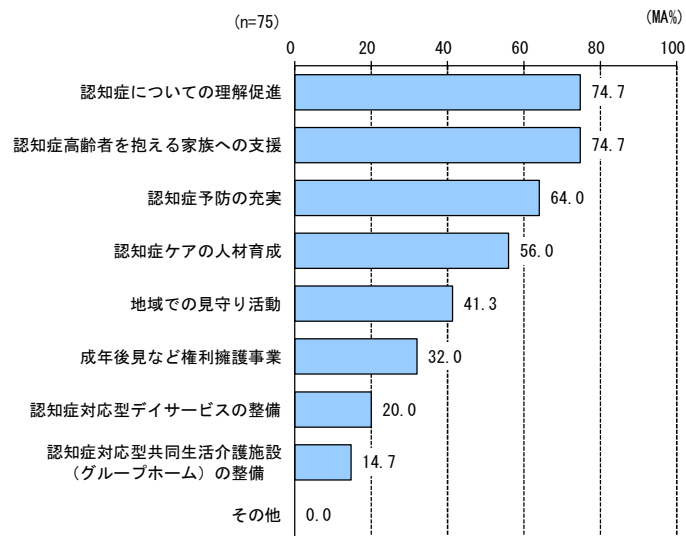
(4) 認知症高齢者の介護に必要なこと

- 問7 認知症高齢者の介護に関して、今後どのようなことを進める必要があると思いますか。(いくつでも○)

【全体】

- 認知症高齢者の介護に必要なことについて、「認知症についての理解促進」「認知症高齢者を抱える家族への支援」が74.7%で最も多く、次いで「認知症予防の充実」が64.0%、「認知症ケアの人材育成」が56.0%となっています。

【認知症高齢者の介護に必要なこと(MA)】



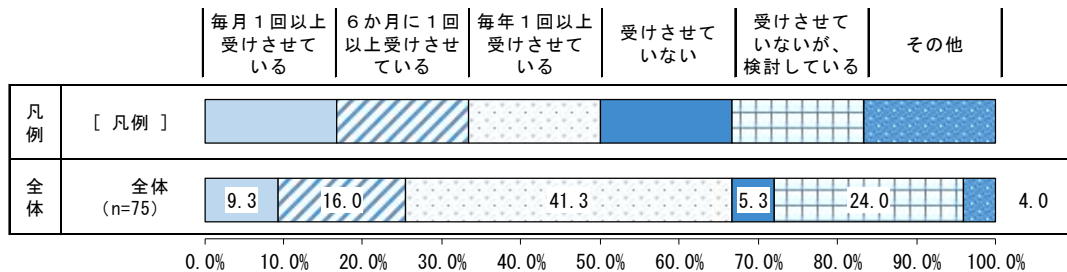
(5) 職員の技術・知識向上のための外部研修

●問8 職員の技術・知識向上のための外部研修を受講していますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 職員の技術・知識向上のための外部研修について、「毎年1回以上受けさせている」が41.3%で最も多く、次いで「受けさせていないが、検討している」が24.0%、「6か月に1回以上受けさせている」が16.0%となっています。

【職員の技術・知識向上のための外部研修】



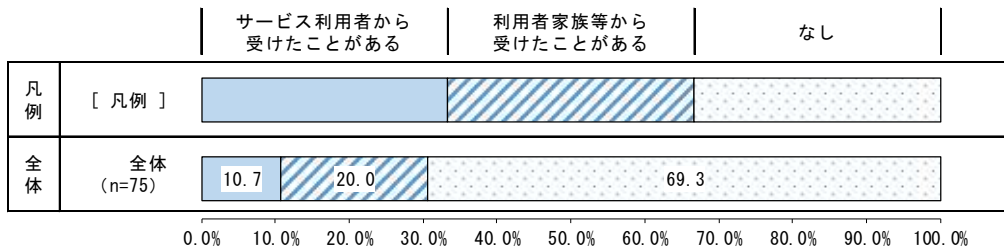
(6) サービス利用者から不当な要求を受けたこと

●問9 サービス利用者等から不当な要求を受けたことはありますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ サービス利用者から不当な要求を受けたことについて、「なし」が69.3%で最も多く、次いで「利用者家族等から受けたことがある」が20.0%、「サービス利用者から受けたことがある」が10.7%となっています。

【サービス利用者から不当な要求を受けたこと】



3 事業所の運営状況について

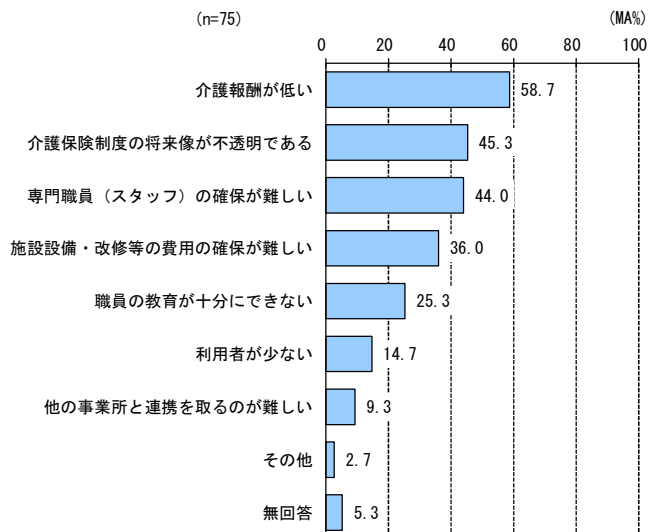
(1) 事業展開上の課題

●問10 貴事業所の事業展開上、どのような課題がありますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 事業展開上の課題について、「介護報酬が低い」が 58.7%で最も多く、次いで「介護保険制度の将来像が不透明である」が 45.3%、「専門職員（スタッフ）の確保が難しい」が 44.0%となっています。

【事業展開上の課題 (MA)】



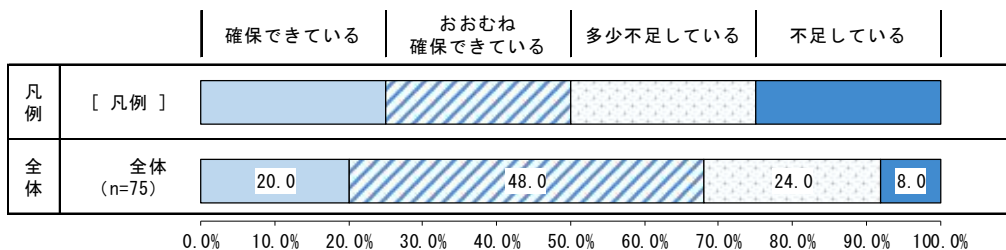
(2) 1年間の人材の確保の状況

●問11 貴事業所のこの1年間の人材の確保の状況はいかがですか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 1年間の人材の確保の状況について、「おおむね確保できている」が 48.0%で最も多く、次いで「多少不足している」が 24.0%、「確保できている」が 20.0%となっています。

【1年間の人材の確保の状況】



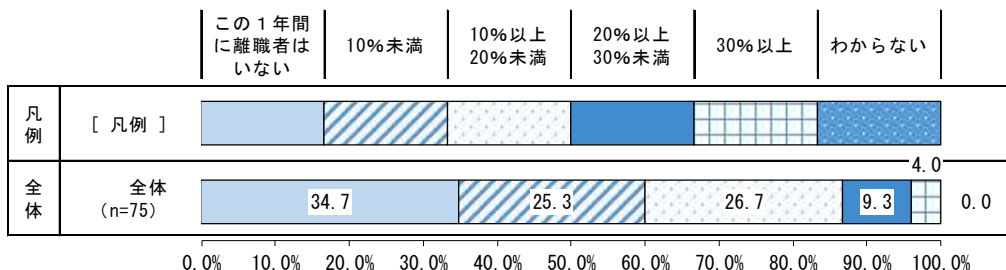
(3) 1年間の離職率

●問12 貴事業所のこの1年間の離職率はどれくらいですか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 1年間の離職率について、「この1年間に離職者はいない」が34.7%で最も多く、次いで「10%以上20%未満」が26.7%、「10%未満」が25.3%となっています。

【1年間の離職率】



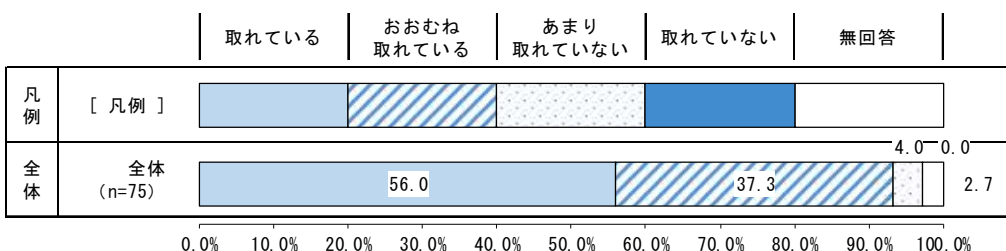
(4) ケアマネジャーとの連携

●問13 貴事業所において、ケアマネジャーとの連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ ケアマネジャーとの連携について、「取れている」が56.0%で最も多く、次いで「おおむね取れている」が37.3%、「あまり取れていない」が4.0%となっています。

【ケアマネジャーとの連携】



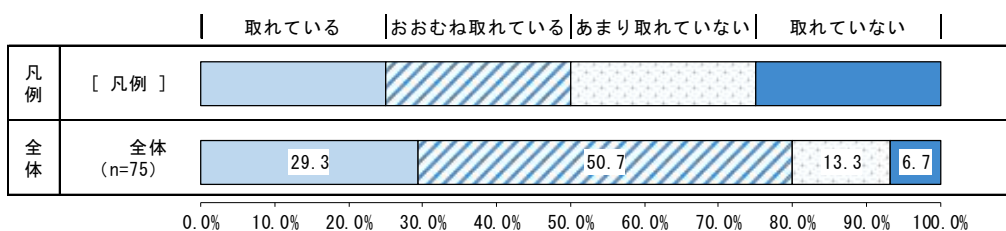
(5) 医療機関との連携

●問14 貴事業所において、医療機関との連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 医療機関との連携について、「おおむね取れている」が50.7%で最も多く、次いで「取れている」が29.3%、「あまり取れていない」が13.3%となっています。

【医療機関との連携】



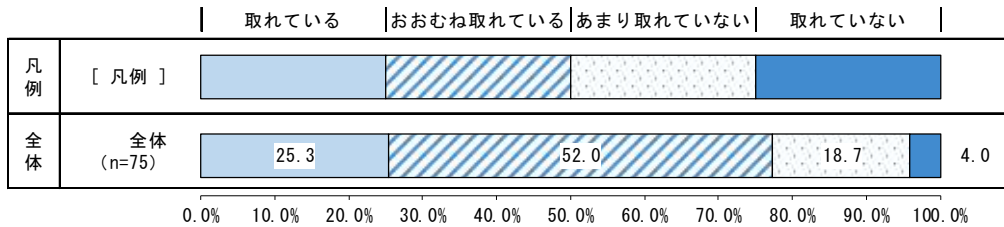
(6) 他のサービス事業所との連携

- 問15 貴事業所において、他のサービス事業所との連携は取れていますか。
(ひとつだけ○)

【全体】

○ 他のサービス事業所との連携について、「おおむね取れている」が 52.0%で最も多く、次いで「取れている」が 25.3%、「あまり取れていない」が 18.7%となっています。

【他のサービス事業所との連携】



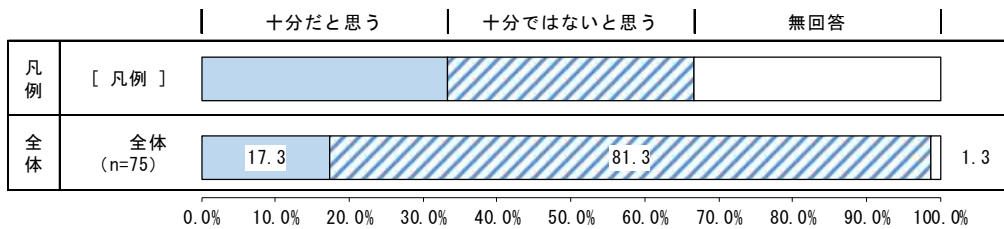
(7) 現状の在宅における医療と介護の連携は十分か

- 問16 現状、在宅における医療と介護の連携は十分だと思いますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 現状の在宅における医療と介護の連携は十分かについて、「十分だと思う」が 17.3%、「十分ではないと思う」が 81.3%となっています。

【現状の在宅における医療と介護の連携は十分か】



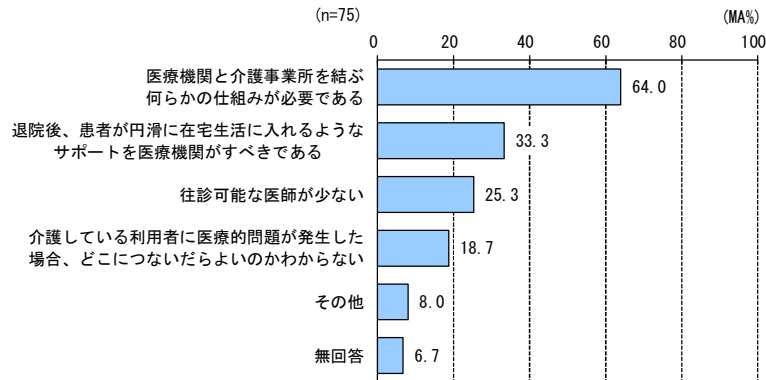
(8) 在宅における医療と介護の連携についての課題

- 問17 在宅における医療と介護の連携について、課題だと思うことは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】

- 在宅における医療と介護の連携についての課題について、「医療機関と介護事業所を結ぶ何らかの仕組みが必要である」が64.0%で最も多く、次いで「退院後、患者が円滑に在宅生活に入れるようなサポートを医療機関がすべきである」が33.3%、「往診可能な医師が少ない」が25.3%となっています。

【在宅における医療と介護の連携についての課題(MA)】



4 自由意見

- 問18 介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがありましたら、ご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	人材・雇用	件数	8件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・人材採用に関しては採用がしやすい地域ではあると思っている。 ・久喜市でケアマネジャーの資質向上のための研修会開催を希望する。 ・久喜市に限らず介護事業所は人員確保が困難なため、市主催の面接会の機会を希望する。 ・高齢者採用や AI 機器導入・補助金制度がないと事業が成り立たないため、研修だけでなく検討を求める。 		
カテゴリ	制度・政策	件数	9件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険や高齢者福祉は制度が前提だが、困難事例が増える今、臨機応変で柔軟な対応が重要。 ・自主点検表がリニューアルされ、分かりやすくなった。 ・制度改正の際には、重要な部分についてアナウンスしてほしい。 		
カテゴリ	介護報酬	件数	2件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・現場の賃金上昇に伴い、賃金が安いケアマネへの転向を望む若い層はいない。 ・物価高騰、特に食材価格上昇を受け、介護報酬の見直しが必要と考える。訪問介護の報酬単価が厳しくなれば、事業所を中止するケースが増えるだろう。 		
カテゴリ	医療連携	件数	5件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護の連携において、介護側が希望しても医療機関側が拒否するケースがある。 ・行政と医師会による医療機関と介護事業所を結ぶ仕組み作りや機会は、継続的な取り組みが望ましい。 ・医療・福祉連携会議は日中の開催を希望する。 		
カテゴリ	地域連携	件数	9件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・軽度者中心の地域ケア会議に対し、ケアマネは要介護度が高い利用者支援や経済的困窮、医療依存度の高い在宅困難者対応など、複雑な課題に日々奮闘している。他事業所との合同検討会では課題解決に至らず、多職種による地域ケア会議の開催を強く希望する。 ・当事業所や市内の事業所で、利用者ニーズと提供サービスが合わないケースが見られる。利用者家族やケアマネジャーに対し、介護サービスの理解を深める勉強会や情報発信の機会が必要。 ・包括支援センターケアマネジャーのサービス事業所選定に偏りがあり問題。 ・地域包括支援センターと居宅介護支援センターの連携を強化してほしい。 		

ケアマネジャー調査 調査結果

1 回答者について

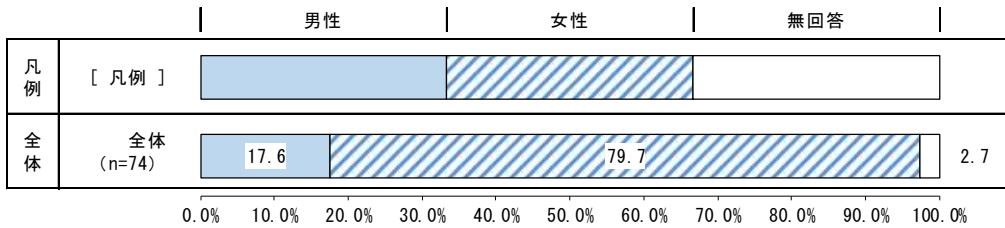
(1) 性別

●問1 あなたの性別をお選びください。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 性別について、「男性」が17.6%、「女性」が79.7%となっています。

【性別】



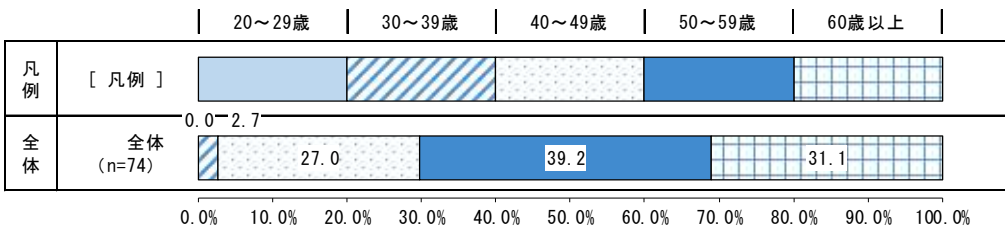
(2) 年齢

●問2 あなたの年齢をお選びください。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 年齢について、「50～59歳」が39.2%で最も多く、次いで「60歳以上」が31.1%、「40～49歳」が27.0%となっています。

【年齢】



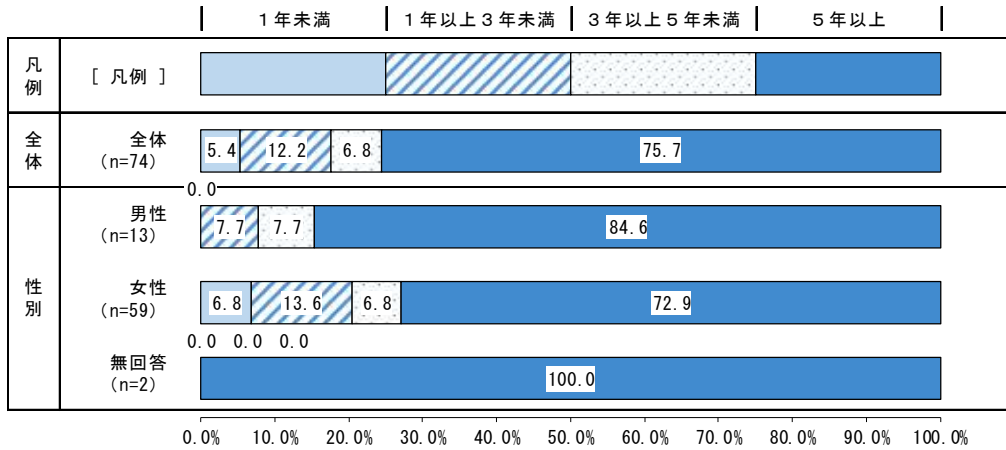
(3) ケアマネジャーとしての従事期間

- 問3 あなたは、ケアマネジャーの仕事をしてどのくらいになりますか。
(ひとつだけ○)

【全体】

○ ケアマネジャーとしての従事期間について、「5年以上」が75.7%で最も多く、次いで「1年以上3年未満」が12.2%、「3年以上5年未満」が6.8%となっています。

【ケアマネジャーとしての従事期間】



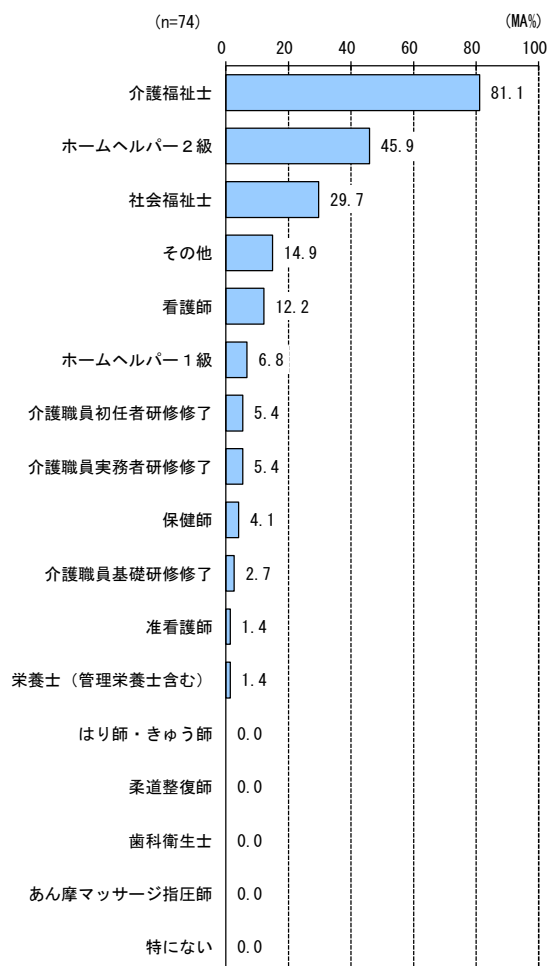
(4) 保有している資格

- 問4 あなたは、介護支援専門員以外にどのような資格をお持ちですか。
(いくつでも○)

【全体】

- 保有している資格について、「介護福祉士」が 81.1%で最も多く、次いで「ホームヘルパー 2 級」が 45.9%、「社会福祉士」が 29.7%となっています。

【保有している資格】



単位：％

	母数	保有している資格								
		社会福祉士	介護福祉士	保健師	看護師	准看護師	歯科衛生士	栄養士（管理栄養士含む）	あん摩マッサージ指圧師	はり師・きゆう師
全体	74	29.7	81.1	4.1	12.2	1.4	-	1.4	-	-
性別	男性	13△	46.2	76.9	-	-	-	-	-	-
	女性	59	25.4	81.4	5.1	15.3	1.7	-	1.7	-
	無回答	2△	50.0	100.0	-	-	-	-	-	-

単位：％

	母数	保有している資格							特 に な い	
		柔道整復師	ホームヘルパー1級	介護職員実務者研修修了	ホームヘルパー2級	介護職員初任者研修修了	介護職員基礎研修修了	その他		
全体	74	-	6.8	5.4	45.9	5.4	2.7	14.9	-	
性別	男性	13	-	7.7	7.7	△69.2	-	-	△30.8	-
	女性	59	-	6.8	5.1	39.0	6.8	3.4	10.2	-
	無回答	2	-	-	-	△100.0	-	-	△50.0	-

2 介護支援専門員の業務について

(1) 介護支援専門員の業務で難しいこと

- 問5 介護支援専門員の業務として難しいと思っていることは何ですか。
(いくつでも○)

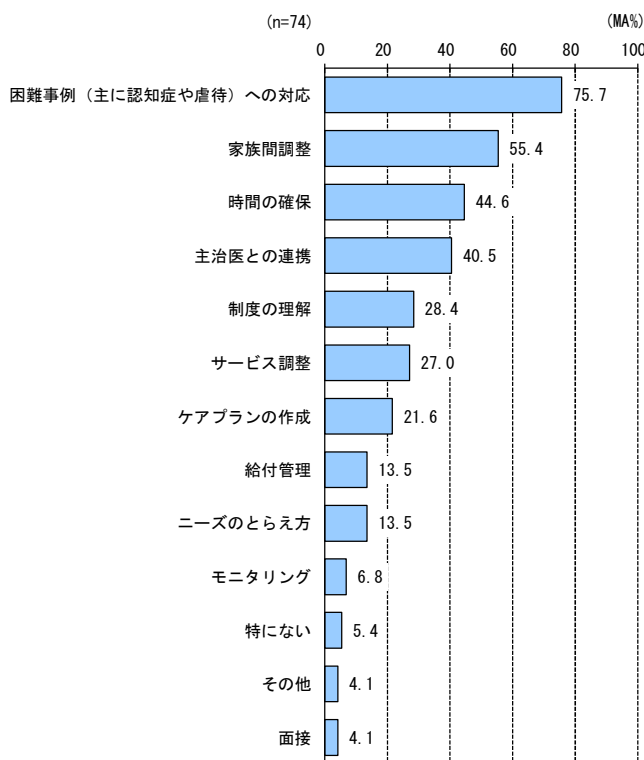
【全体】

- 介護支援専門員の業務で難しいことについて、「困難事例（主に認知症や虐待）への対応」が75.7%で最も多く、次いで「家族間調整」が55.4%、「時間の確保」が44.6%となっています。

【性別】

- 男性では、「サービス調整」「面接」「主治医との連携」「制度の理解」が全体よりも10ポイント以上高くなっています。

【介護支援専門員の業務で難しいこと】



単位：%

	母数	介護支援専門員の業務で難しいこと												
		サービス調整	家族間調整	時間の確保	ケアプランの作成	ニーズのとらえ方	面接	給付管理	（主に認知症や虐待）への対応	主治医との連携	モニタリング	制度の理解	その他	特にない
全体	74	27.0	55.4	44.6	21.6	13.5	4.1	13.5	75.7	40.5	6.8	28.4	4.1	5.4
性別														
男性	13	△53.8	61.5	46.2	23.1	7.7	△15.4	15.4	76.9	△53.8	15.4	△38.5	-	7.7
女性	59	22.0	52.5	44.1	22.0	15.3	1.7	13.6	74.6	37.3	5.1	27.1	5.1	5.1
無回答	2	-	△100.0	50.0	-	-	-	-	△100.0	50.0	-	-	-	-

(2) 予防支援者数・介護支援者数

●問6

- ①予防支援者数 平均 7.4人
- ②介護支援者数 平均 28.6人

(3) 充足状況

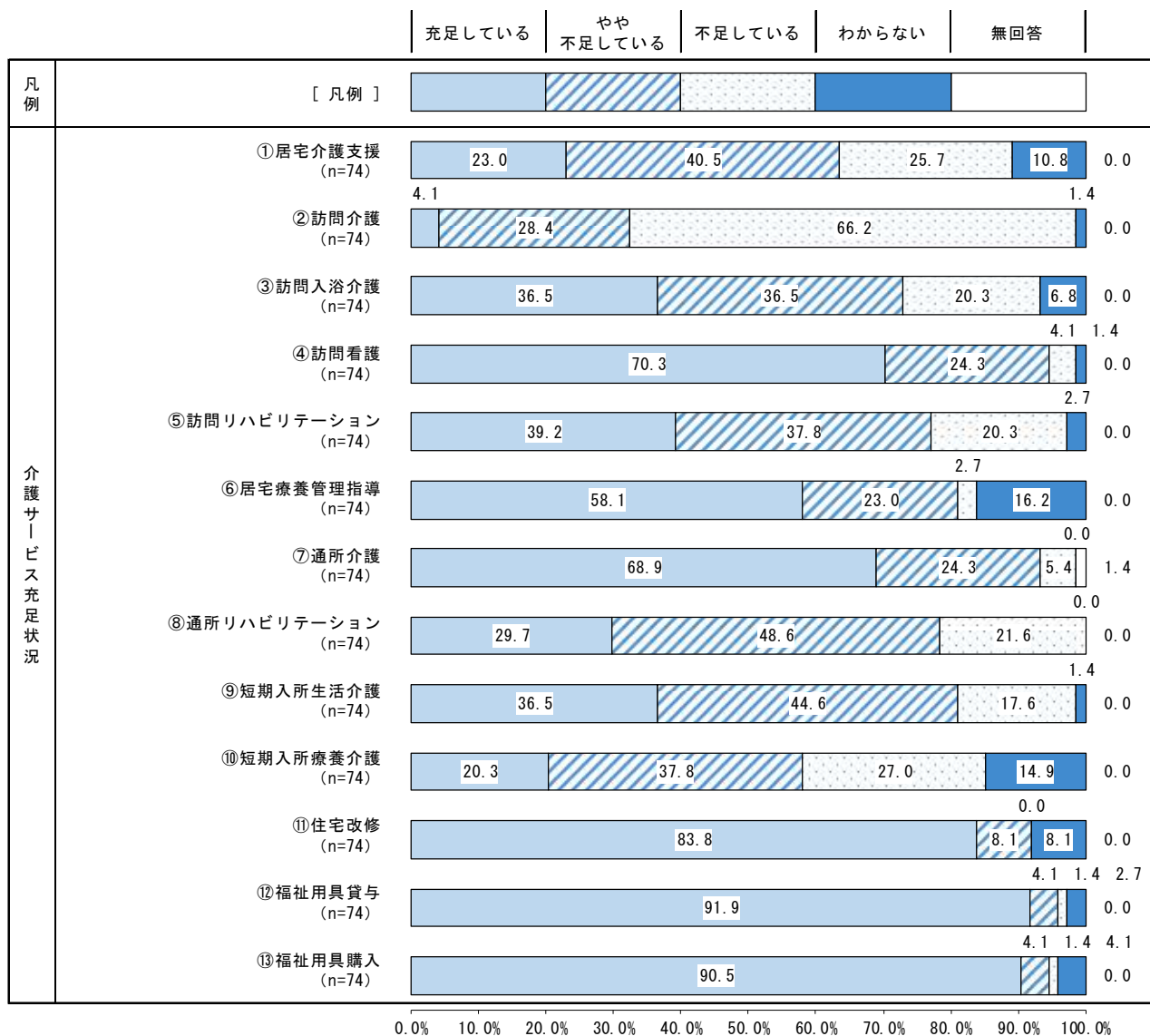
●問7 あなたは、この地域（本市内）での介護サービスの種類や量は、それぞれの利用者の需要（希望）に対して、充足していると思いますか。

（項目ごとに1つに○）

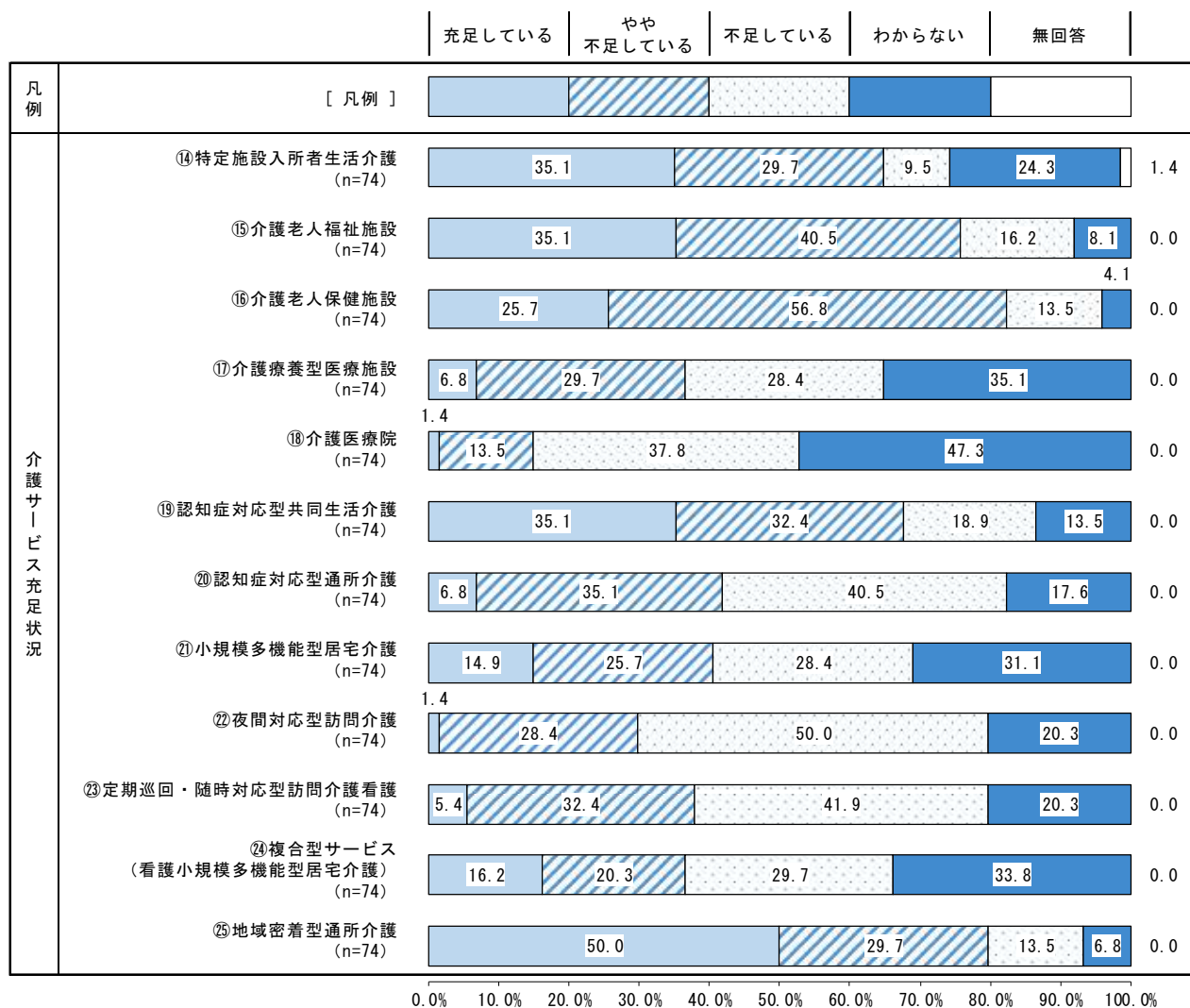
【全体】

○ 各サービスの充足状況について、「やや不足している」と「不足している」を合わせた“不足”が70.0%を超えているのは、②訪問介護（94.6%）、⑧通所リハビリテーション（70.2%）、⑯介護老人保健施設（70.3%）、⑳認知症対応型通所介護（75.6%）、㉑夜間対応型訪問介護（78.4%）、㉒定期巡回・随時対応型訪問介護看護（74.3%）となっています。

【充足状況①～⑬】



【充足状況⑭～⑮】

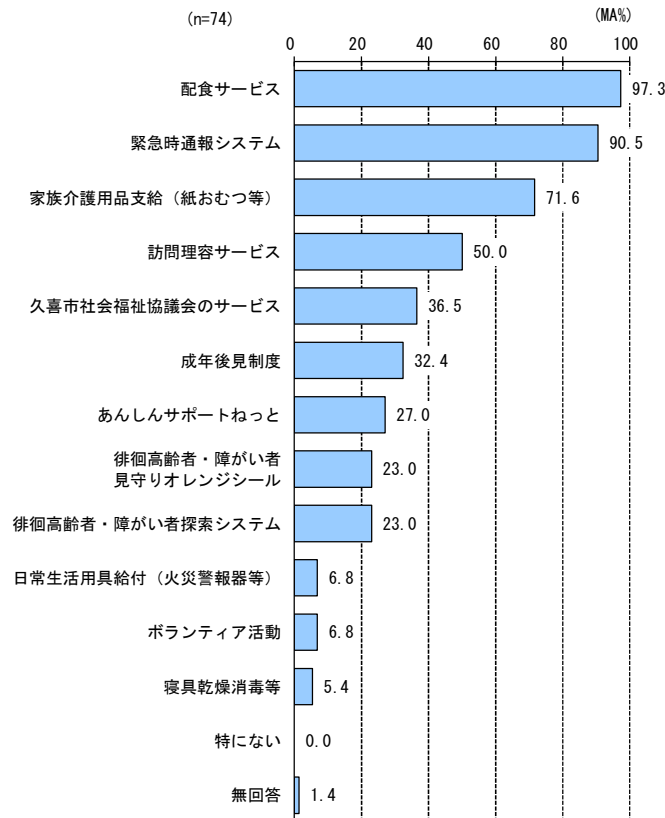


(4) 組み合わせたことがある介護保険以外のサービス

●問8 ケアプランを作成する際に、介護保険以外のサービスで組み合わせたことのあるサービスはどんなサービスですか。(いくつでも○)

【全体】
○ 組み合わせたことがある介護保険以外のサービスについて、「配食サービス」が 97.3%で最も多く、次いで「緊急時通報システム」が 90.5%、「家族介護用品支給（紙おむつ等）」が 71.6%となっています。

【組み合わせたことがある介護保険以外のサービス】



単位：%

	母数	組み合わせたことがある介護保険以外のサービス													
		配食サービス	家族介護用品支給 (紙おむつ等)	日常生活用具給付 (火災警報器等)	緊急時通報システム	寝具乾燥消毒等	訪問理容サービス	徘徊高齢者・障がい者探索システム	徘徊高齢者・障がい者見守りオレンジシール	徘徊高齢者・障がい者探索システム	成年後見制度	久喜市社会福祉協議会のサービス	ボランティア活動	特にない	無回答
全体	74	97.3	71.6	6.8	90.5	5.4	50.0	23.0	23.0	27.0	32.4	36.5	6.8	-	1.4
性別	男性	13	92.3	76.9	-	76.9	15.4	61.5	15.4	7.7	15.4	38.5	53.8	7.7	-
	女性	59	98.3	71.2	6.8	93.2	3.4	45.8	23.7	27.1	30.5	30.5	33.9	6.8	1.7
	無回答	2	100.0	50.0	50.0	100.0	-	100.0	50.0	-	-	50.0	-	-	-

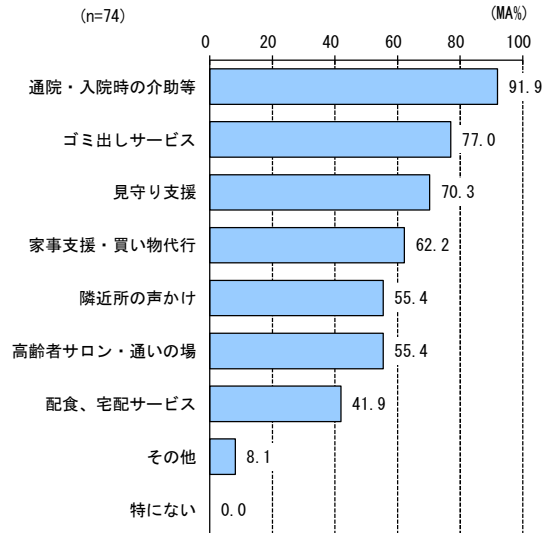
(5) 必要な介護保険以外のサービス

- 問9 上記の他に、介護保険以外の高齢者向けサービスで、どのようなサービスが必要だと思いますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 必要な介護保険以外のサービスについて、「通院・入院時の介助等」が 91.9%で最も多く、次いで「ゴミ出しサービス」が 77.0%、「見守り支援」が 70.3%となっています。

【必要な介護保険以外のサービス】



単位：%

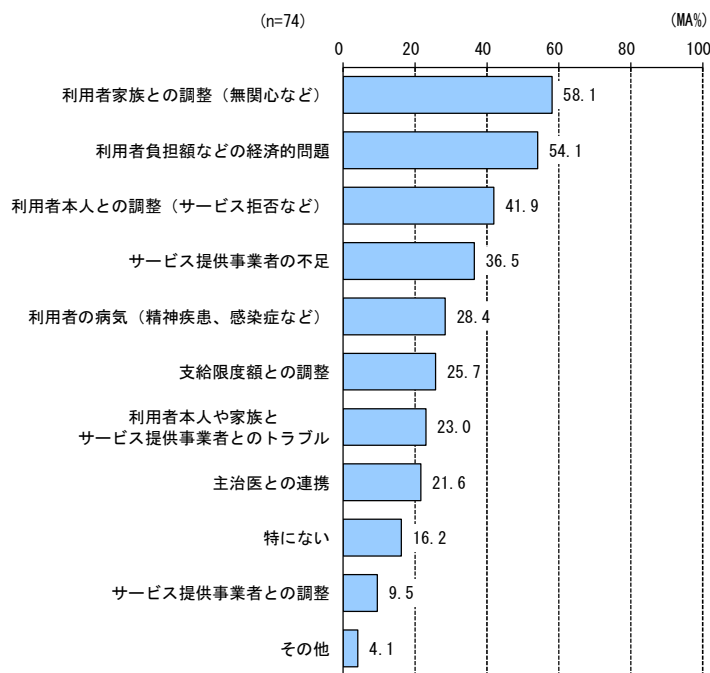
		母数	必要な介護保険以外のサービス								
			通院・入院時の介助等	家事支援・買い物代行	見守り支援	隣近所の声かけ	配食、宅配サービス	ゴミ出しサービス	高齢者サロン・通いの場	その他	特になし
全体		74	91.9	62.2	70.3	55.4	41.9	77.0	55.4	8.1	-
性別	男性	13	92.3	53.8	69.2	46.2	46.2	69.2	53.8	7.7	-
	女性	59	91.5	62.7	71.2	57.6	40.7	79.7	55.9	8.5	-
	無回答	2	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-

(6) ケアプラン作成における問題

●問10 あなたが担当する利用者について、ケアプラン作成などで何か問題が生じたことはありますか。それはどんなことですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- ケアプラン作成における問題について、「利用者家族との調整（無関心など）」が58.1%で最も多く、次いで「利用者負担額などの経済的問題」が54.1%、「利用者本人との調整（サービス拒否など）」が41.9%となっています。
 - 「特にない」は16.2%となっています。

【ケアプラン作成における問題】



単位：%

	母数	ケアプラン作成における問題										
		(利用者本人との調整)	(利用者家族との調整)	サービス提供事業者との調整	サービス提供事業者の不足	支給限度額との調整	利用者負担額などの経済的問題	利用者本人や家族とサービス提供者とのトラブル	(利用者の病気 精神疾患、感染症など)	主治医との連携	その他	特にない
全体	74	41.9	58.1	9.5	36.5	25.7	54.1	23.0	28.4	21.6	4.1	16.2
性別	男性	13	△ 53.8	53.8	△ 30.8	△ 53.8	23.1	46.2	30.8	▼ 15.4	△ 46.2	-
	女性	59	40.7	57.6	5.1	32.2	25.4	55.9	22.0	30.5	16.9	5.1
	無回答	2	-	△ 100.0	-	△ 50.0	△ 50.0	50.0	-	△ 50.0	-	-

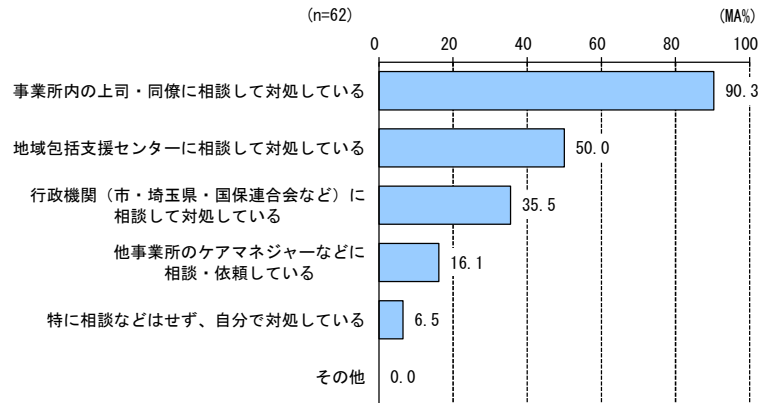
(7) 問題解決のための対処

●問10-1 問題解決のために、どのように対処していますか。(いくつでも○)

【全体】

- 問題解決のための対処について、「事業所内の上司・同僚に相談して対処している」が 90.3%で最も多く、次いで「地域包括支援センターに相談して対処している」が 50.0%、「行政機関（市・埼玉県・国保連合会など）に相談して対処している」が 35.5%となっています。

【問題解決のための対処】



単位：%

	母数	問題解決のための対処						
		事業所内の上司・同僚に相談している	他事業所のケアマネジャーなどに相談・依頼している	地域包括支援センターに相談して対処している	行政機関（市・埼玉県・国保連合会など）に相談して対処している	特に相談などはせず、自分で対処している	その他	
全体	62	90.3	16.1	50.0	35.5	6.5	-	
性別	男性	13	92.3	15.4	▼ 38.5	△ 46.2	7.7	-
	女性	47	89.4	17.0	53.2	31.9	6.4	-
	無回答	2	100.0	-	50.0	△ 50.0	-	-

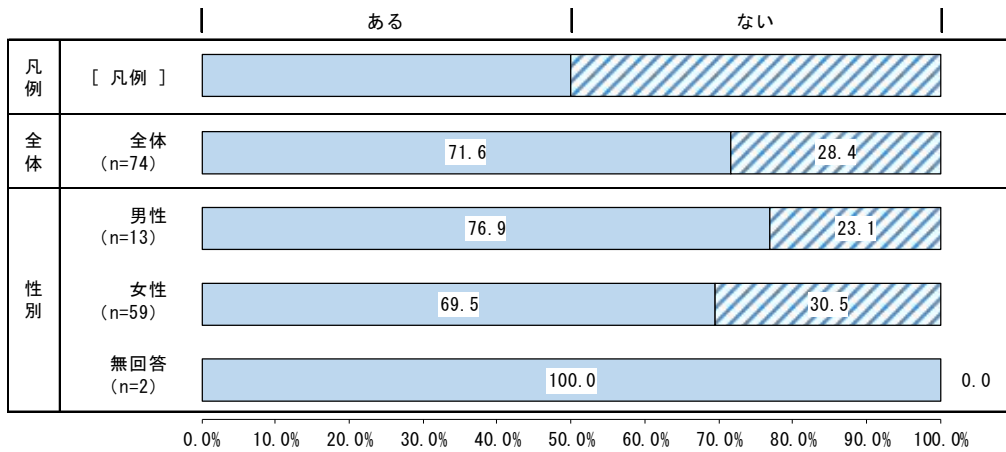
(8) 在宅生活が困難な事例の有無

- 問11 あなたが担当している利用者について、過去1年間に在宅での生活が困難と思われる事例はありますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 在宅生活が困難な事例の有無について、「ある」が71.6%、「ない」が28.4%となっています。

【在宅生活が困難な事例の有無】



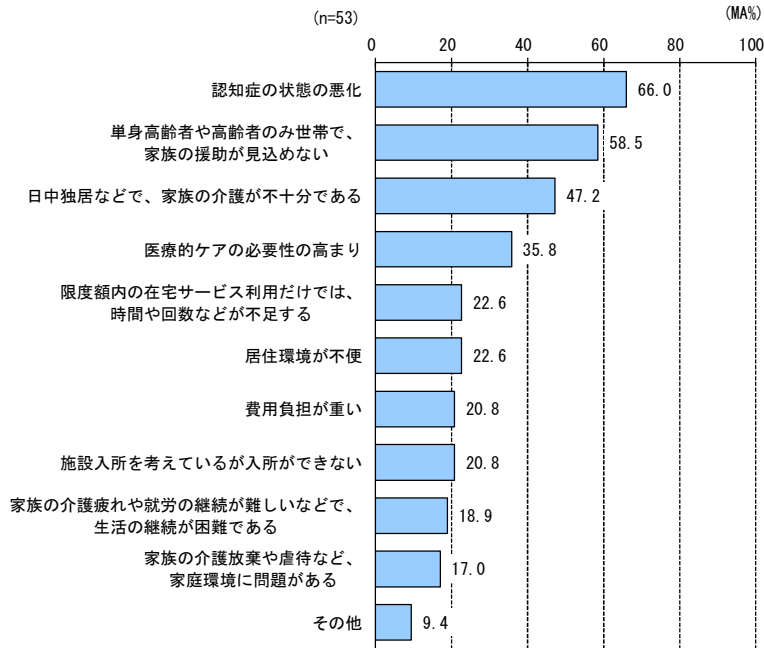
(9) 在宅生活が困難な理由

●問11-1 それは、具体的にどのような理由ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 在宅生活が困難な理由について、「認知症の状態の悪化」が 66.0%で最も多く、次いで「単身高齢者や高齢者のみ世帯で、家族の援助が見込めない」が 58.5%、「日中独居などで、家族の介護が不十分である」が 47.2%となっています。

【在宅生活が困難な理由】



単位：%

	母数	在宅生活が困難な理由										
		限度額内の在宅サービスが不十分	認知症の状態の悪化	医療的ケアの必要性の高まり	費用負担が重い	居住環境が不便	日中独居などで、家族の介護が不十分である	単身高齢者や高齢者のみ世帯で、家族の援助が見込めない	家庭環境に問題がある	困難である	家族の介護疲れや就労の継続が難しいなどで、生活の継続が困難である	施設入所を考えているが入所できない
全体	53	22.6	66.0	35.8	20.8	22.6	47.2	58.5	17.0	18.9	20.8	9.4
性別												
男性	10	30.0	▼ 50.0	▼ 20.0	20.0	▼ 10.0	50.0	50.0	10.0	10.0	▼ 10.0	20.0
女性	41	22.0	68.3	39.0	19.5	24.4	46.3	58.5	19.5	22.0	22.0	7.3
無回答	2	-	△ 100.0	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	50.0	△ 100.0	-	-	△ 50.0	-

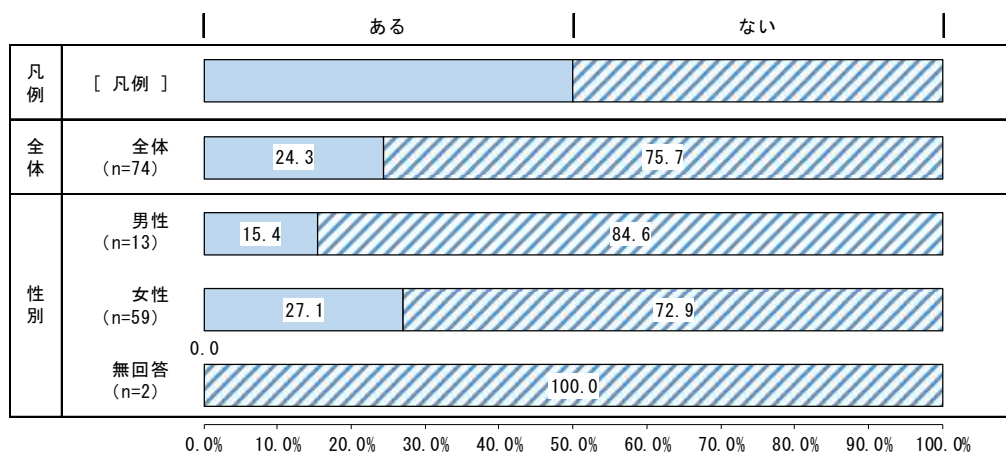
(10) 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無

- 問12 あなたが担当している（した）利用者の中で、過去1年間に虐待が疑われるような事例を経験したことはありますか。（ひとつだけ○）

【全体】

○ 過去1年における虐待の可能性のある事案の有無について、「ある」が24.3%、「ない」が75.7%となっています。

【過去1年における虐待の可能性のある事案の有無】



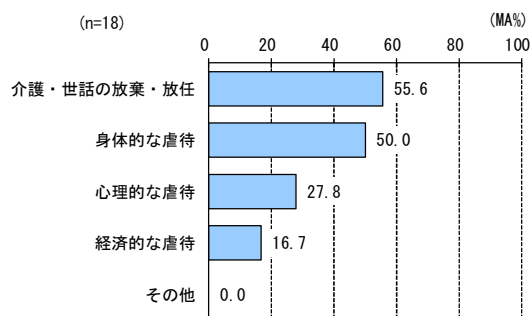
(11) 虐待の種類

●問12-1 それはどのような内容ですか。(いくつでも○)

【全体】

○ 虐待の種類について、「介護・世話の放棄・放任」が 55.6%で最も多く、次いで「身体的な虐待」が 50.0%、「心理的な虐待」が 27.8%となっています。

【虐待の種類】



単位：%

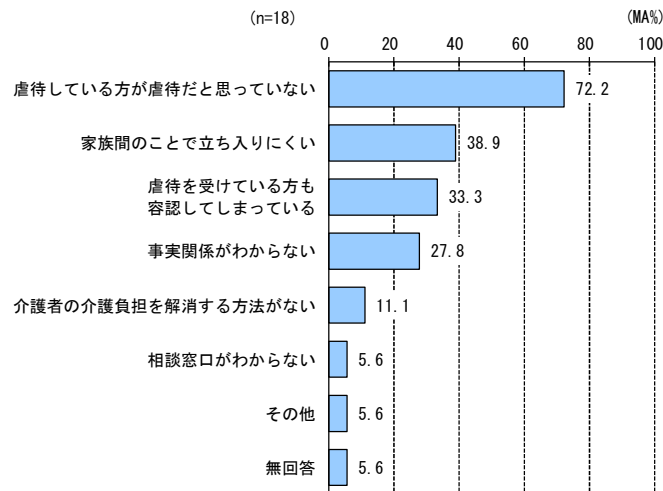
	母数	虐待の種類				
		身体的な虐待	心理的な虐待	経済的な虐待	介護・世話の放棄・放任	その他
全体	18	50.0	27.8	16.7	55.6	-
性別	男性	△100.0	-	-	50.0	-
	女性	16	43.8	31.3	18.8	56.3
	無回答	-	-	-	-	-

(12) 虐待事案への対応の問題点

- 問12-2 高齢者への虐待の対応にあたり、どのような問題がありますか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 虐待事案への対応の問題点について、「虐待している方が虐待だと思っていない」が 72.2%で最も多く、次いで「家族間のことで立ち入りにくい」が 38.9%、「虐待を受けている方も容認してしまっている」が 33.3%となっています。

【虐待事案への対応の問題点】



単位：%

	母数	虐待事案への対応の問題点							
		相談窓口がわからない	事実関係がわからない	虐待だと思っている方がいない	立ち入りにくい	家族間のことで	介護者の介護負担を解消する方法がない	虐待を受けている方も容認してしまっている	その他
全体	18	5.6	27.8	72.2	38.9	11.1	33.3	5.6	5.6
性別									
男性	2	-	-	▼ 50.0	△ 50.0	-	-	50.0	50.0
女性	16	6.3	31.3	75.0	37.5	12.5	37.5	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-

3 業務連携の状況について

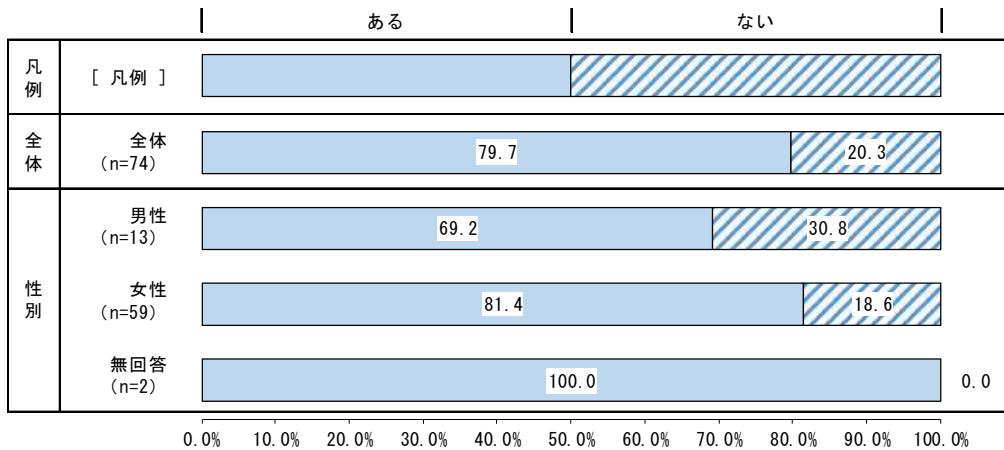
(1) 認知症について相談できる医療機関の有無

- 問13 あなたには、認知症に関して相談のできる医療機関がありますか。
(ひとつだけ○)

【全体】

○ 認知症について相談できる医療機関の有無について、「ある」が 79.7%、「ない」が 20.3%となっています。

【認知症について相談できる医療機関の有無】



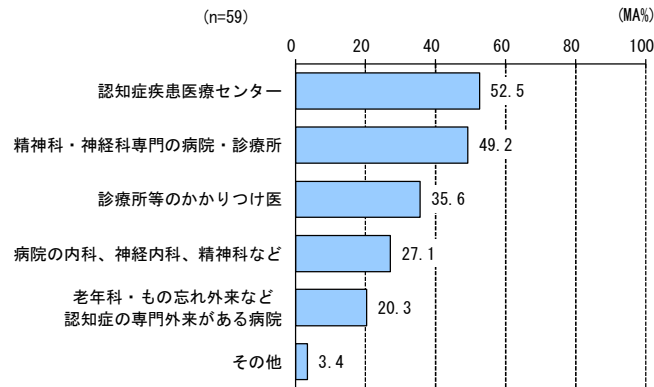
(2) 認知症に関する相談先

●問13-1 相談している医療機関は、次のうちどれですか。(いくつでも○)

【全体】

- 認知症に関する相談先について、「認知症疾患医療センター」が 52.5%で最も多く、次いで「精神科・神経科専門の病院・診療所」が 49.2%、「診療所等のかかりつけ医」が 35.6%となっています。

【認知症に関する相談先】



単位：%

	母数	認知症に関する相談先						
		診療所等のかかりつけ医	病院の内科、神経内科、精神科など	老年科・もの忘れ外来がある病院	精神科・神経科専門の病院・診療所	認知症疾患医療センター	その他	
全体	59	35.6	27.1	20.3	49.2	52.5	3.4	
性別	男性	9	△ 77.8	22.2	22.2	55.6	55.6	11.1
	女性	48	27.1	29.2	20.8	47.9	50.0	2.1
	無回答	2	△ 50.0	-	-	50.0	△ 100.0	-

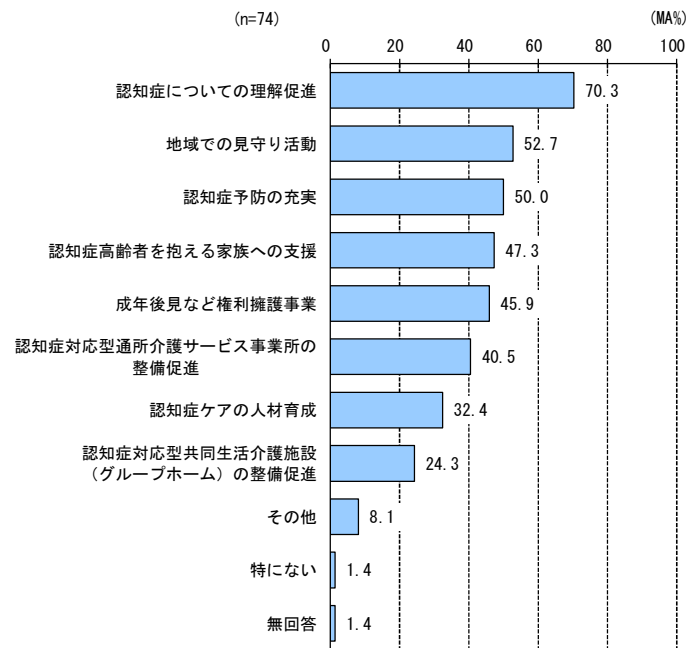
(3) 認知症高齢者の介護に必要な取り組み

●問14 認知症高齢者の介護に関して、今後どのようなことを進める必要があると思いますか。(いくつでも○)

【全体】

○ 認知症高齢者の介護に必要な取り組みについて、「認知症についての理解促進」が70.3%で最も多く、次いで「地域での見守り活動」が52.7%、「認知症予防の充実」が50.0%となっています。

【認知症高齢者の介護に必要な取り組み】



単位：%

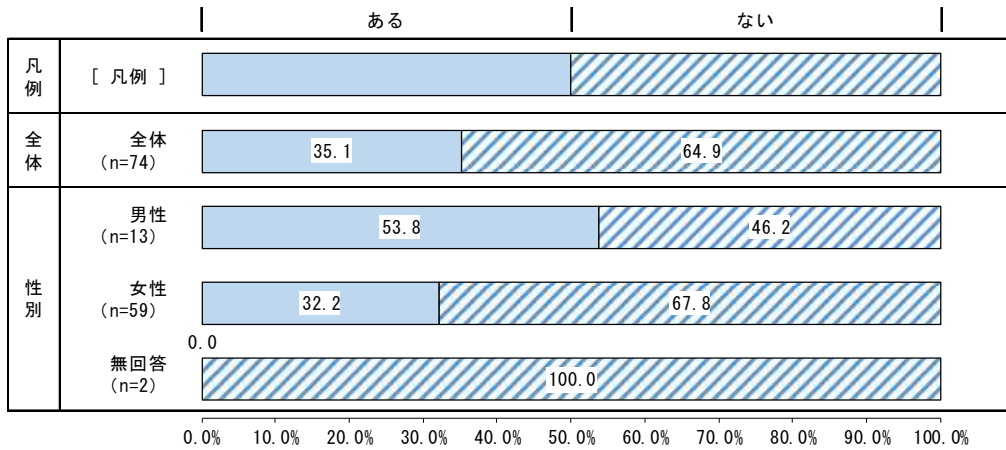
		母数	認知症高齢者の介護に必要な取り組み										
			認知症についての理解促進	認知症予防の充実	家族への支援	認知症高齢者を抱える	認知症ケアの人材育成	成年後見など権利擁護事業	地域での見守り活動	事業所の整備促進	認知症対応型通所介護サービス	(グループホーム)の整備促進	その他
全体		74	70.3	50.0	47.3	32.4	45.9	52.7	40.5	24.3	8.1	1.4	1.4
性別	男性	13	△ 84.6	53.8	38.5	23.1	53.8	46.2	30.8	23.1	-	-	7.7
	女性	59	67.8	49.2	49.2	33.9	44.1	54.2	42.4	25.4	10.2	-	-
	無回答	2	▼ 50.0	50.0	50.0	△ 50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	△ 50.0	-

(4) 成年後見人の選任に至ったケースの有無

- 問15 高齢者や高齢者の家族から相談を受け、成年後見人の選任に至ったケースがありますか。(ひとつだけ○)

<p>【全体】 ○ 成年後見人の選任に至ったケースの有無について、「ある」が 35.1%、「ない」が 64.9%となっています。</p> <p>【性別】 ○ 男性では、「ある」が 53.8%、「ない」が 46.2%となっています。</p>

【成年後見人の選任に至ったケースの有無】



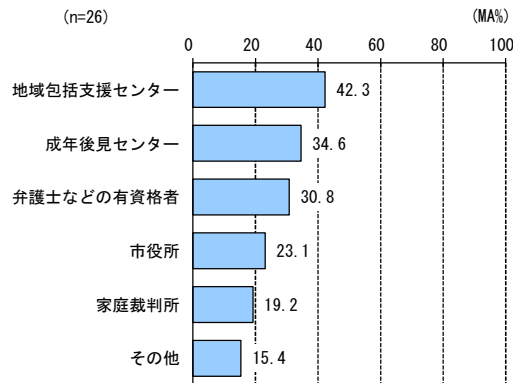
(5) 成年後見人の選任のために連絡した機関

- 問15-1 成年後見人の選任に向けて、どのような機関に連絡をとりましたか。
(いくつでも○)

【全体】

○ 成年後見人の選任のために連絡した機関について、「地域包括支援センター」が 42.3%で最も多く、次いで「成年後見センター」が 34.6%、「弁護士などの有資格者」が 30.8%となっています。

【成年後見人の選任のために連絡した機関】



単位：%

	母数	成年後見人の選任のために連絡した機関						
		家庭裁判所	地域包括支援センター	成年後見センター	弁護士などの有資格者	市役所	その他	
全体	26	19.2	42.3	34.6	30.8	23.1	15.4	
性別	男性	7	△ 42.9	△ 71.4	▼ 14.3	△ 57.1	△ 57.1	-
	女性	19	10.5	▼ 31.6	42.1	21.1	▼ 10.5	21.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-

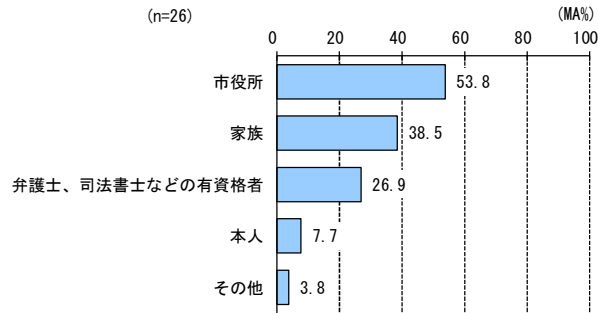
(6) 成年後見人の選任申立てをした人

●問15-2 成年後見人の選任申立ては誰が行いましたか。(いくつでも○)

【全体】

○ 成年後見人の選任申立てをした人について、「市役所」が 53.8%で最も多く、次いで「家族」が 38.5%、「弁護士、司法書士などの有資格者」が 26.9%となっています。

【成年後見人の選任申立てをした人】



単位：%

		成年後見人の選任申立てをした人					
		本人	家族	有資格者、 司法書士などの	市役所	その他	
全体		26	7.7	38.5	26.9	53.8	3.8
性別	男性	7	-	28.6	▼ 14.3	△ 100.0	-
	女性	19	10.5	42.1	31.6	▼ 36.8	5.3
	無回答	-	-	-	-	-	-

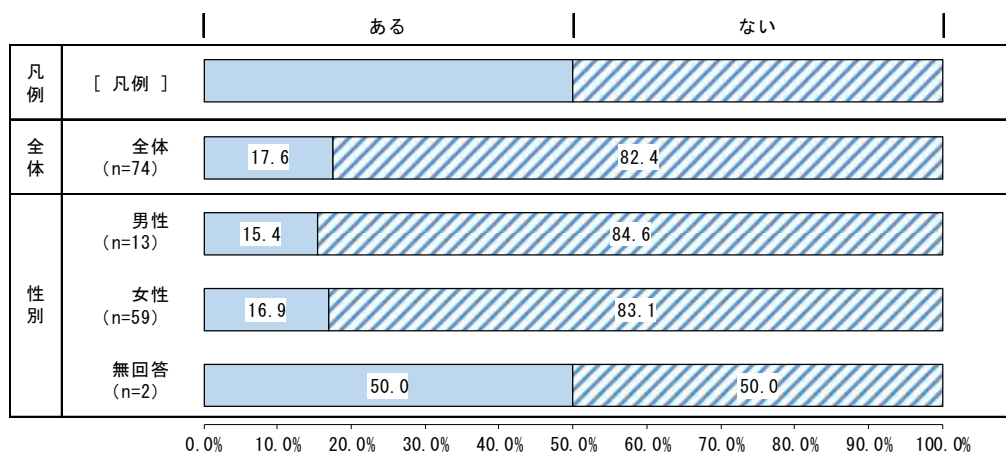
(7) 申立てに至らなかったケースの有無

- 問16 高齢者や高齢者の家族から相談を受け、成年後見人の選任申立てをすべきだと考えたが、結局申立てに至らなかったケースがありますか。(ひとつだけ○)

【全体】

- 申立てに至らなかったケースの有無について、「ある」が 17.6%、「ない」が 82.4%となっています。

【申立てに至らなかったケースの有無】



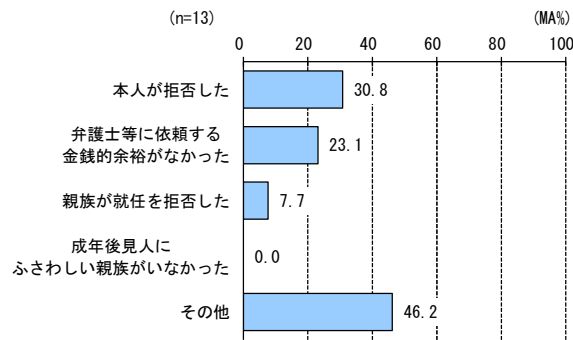
(8) 申立てに至らなかった理由

- 問16-1 成年後見人の申立てに至らなかった理由はどのようなものですか。
(いくつでも○)

【全体】

- 申立てに至らなかった理由について、「本人が拒否した」が 30.8%で最も多く、次いで「弁護士等に依頼する金銭的余裕がなかった」が 23.1%、「親族が就任を拒否した」が 7.7%となっています。

【申立てに至らなかった理由】



単位：%

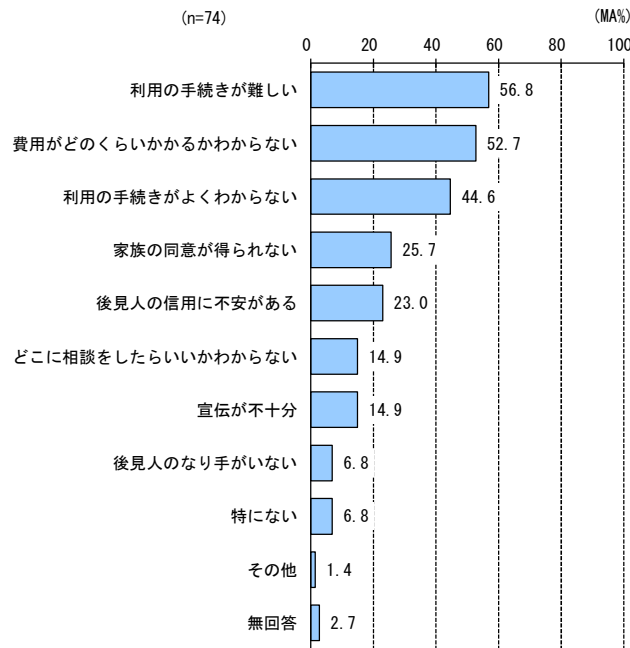
		母数	申立てに至らなかった理由				
			本人が拒否した	親族が就任を拒否した	親成年後見人にふさわしい	金銭的余裕に依頼できなかった	その他
全体		13	30.8	7.7	-	23.1	46.2
性別	男性	2	△ 50.0	-	-	-	50.0
	女性	10	30.0	10.0	-	30.0	40.0
	無回答	1	-	-	-	-	100.0

(9) 成年後見制度が利用しにくい点

●問17 成年後見制度が利用しにくいと思うのはどんな点ですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 成年後見制度が利用しにくい点について、「利用の手続きが難しい」が 56.8%で最も多く、次いで「費用がどのくらいかかるかわからない」が 52.7%、「利用の手続きがよくわからない」が 44.6%となっています。
- 【性別】
- 男性では、「利用の手続きがよくわからない」が 61.5%で最も多く全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。
 - 女性では、「費用がどのくらいかかるかわからない」が 54.2%と男性に比べて高くなっています。

【成年後見制度が利用しにくい点】



単位：%

		母数	成年後見制度が利用しにくい点										
			よく利用の 手続きが わかり ない	家族の 同意が 得られ ない	費用が どの くらい かかる か	宣伝が 不十分	利用の 手続き が 難しい	どこに 相談を したら いいか	後見 人の 信用に 不安が ある	後見 人の なり手 がない	その他	特にな い	無回 答
全体		74	44.6	25.7	52.7	14.9	56.8	14.9	23.0	6.8	1.4	6.8	2.7
性別	男性	13	△ 61.5	30.8	▼ 38.5	-	61.5	7.7	-	15.4	-	-	7.7
	女性	59	42.4	25.4	54.2	18.6	57.6	16.9	28.8	5.1	-	8.5	1.7
	無回答	2	-	-	△ 100.0	-	-	-	-	-	△ 50.0	-	-

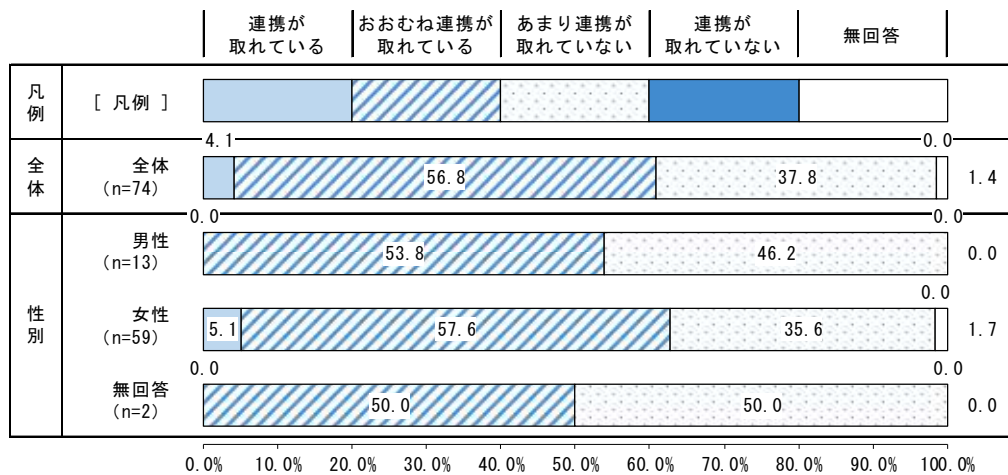
(10) 主治医との連携状況

●問18 主治医との連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 主治医との連携状況について、「おおむね連携が取れている」が 56.8%で最も多く、次いで「あまり連携が取れていない」が 37.8%、「連携が取れている」が 4.1%となっています。

【主治医との連携状況】

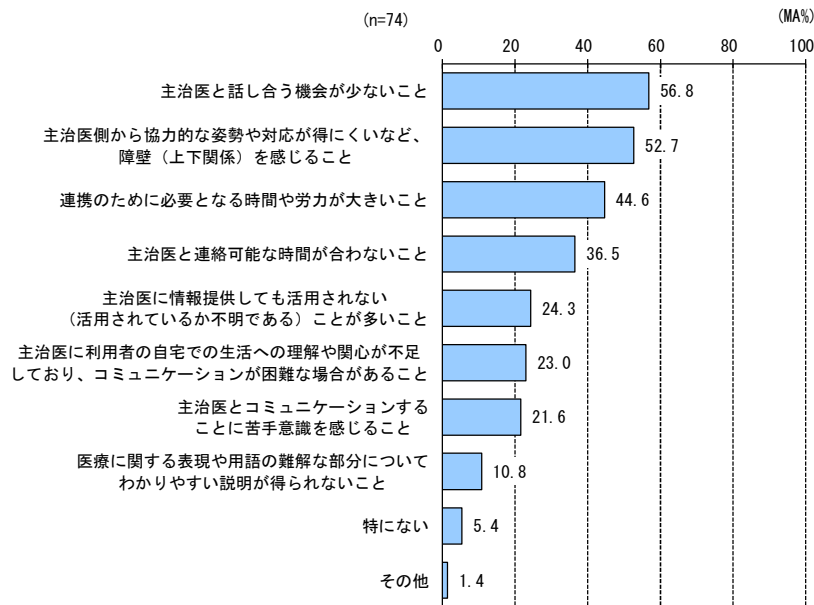


(11) 主治医との連携における課題

●問19 主治医との連携における課題は何だと思いますか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 主治医との連携における課題について、「主治医と話し合う機会が少ないこと」が 56.8%で最も多く、次いで「主治医側から協力的な姿勢や対応が得にくいなど、障壁（上下関係）を感じること」が 52.7%、「連携のために必要となる時間や労力が大きいこと」が 44.6%となっています。
- 【性別】
- 男性では、「連携のために必要となる時間や労力が大きいこと」が 69.2%で最も多く、全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。一方で、「主治医に情報提供しても活用されない（活用されているか不明である）ことが多いこと」が 7.7%と全体よりも 10 ポイント以上低くなっています。

【主治医との連携における課題】



単位：%

		主治医との連携における課題													
		母数	時間連携や労力が必要となること	得られないこと	医療に関する表現や用語の難解な	主治医とコミュニケーションすること	感じにくいこと	主治医側から協力的な姿勢や対応が得にくいこと	主治医に情報提供しても活用されないこと	主治医と話し合う機会が少ないこと	主治医と連絡可能な時間が合わないこと	理解や関心が不足していること	主治医に利用者の自宅での生活への	その他	特になし
全体		74	44.6	10.8	21.6	52.7	24.3	56.8	36.5	23.0	1.4	5.4			
性別	男性	13	△ 69.2	15.4	-	61.5	▼ 7.7	53.8	30.8	23.1	-	-			
	女性	59	40.7	8.5	27.1	50.8	28.8	57.6	37.3	23.7	1.7	6.8			
	無回答	2	-	△ 50.0	-	50.0	-	50.0	△ 50.0	-	-	-			

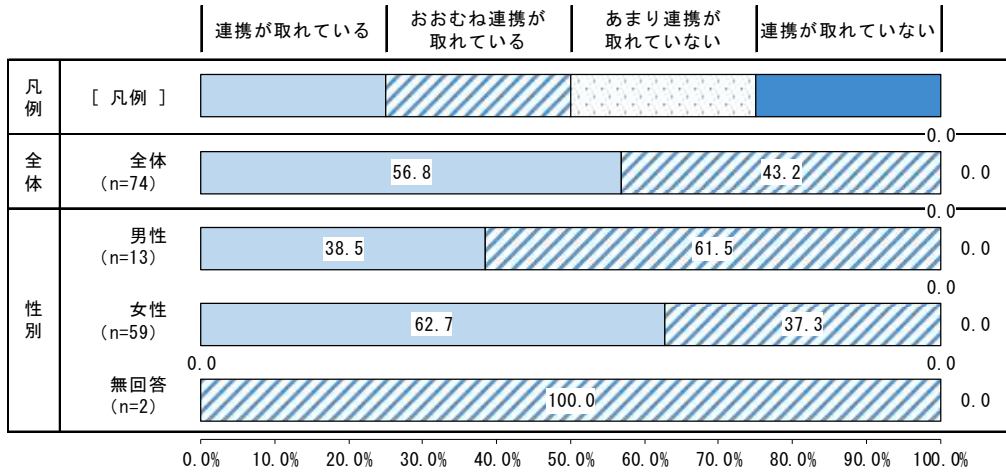
(12) 介護保険サービス事業所との連携

●問20 介護保険サービス提供事業所との連携は取れていますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 介護保険サービス事業所との連携について、「連携が取れている」が 56.8%で最も多く、次いで「おおむね連携が取れている」が 43.2%となっています。

【介護保険サービス事業所との連携】



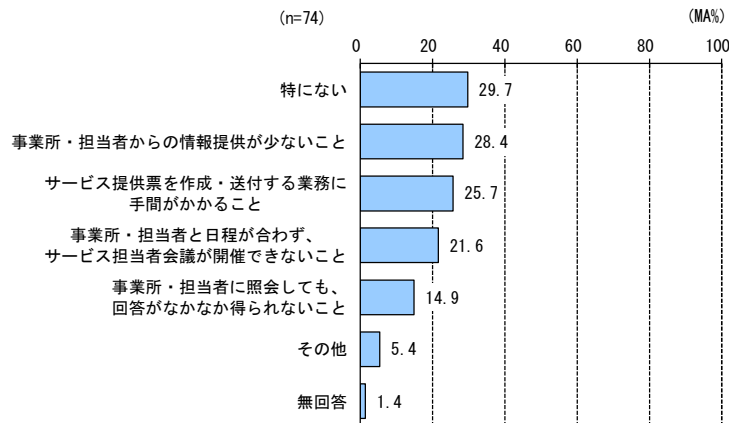
(13) 介護保険サービス事業所との連携における課題

- 問21 介護保険サービス事業所との連携における課題は何だと思いますか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 介護保険サービス事業所との連携における課題について、「特にない」が 29.7%で最も多く、次いで「事業所・担当者からの情報提供が少ないこと」が 28.4%、「サービス提供票を作成・送付する業務に手間がかかること」が 25.7%となっています。

【性別】
○ 男性では、「サービス提供票を作成・送付する業務に手間がかかること」が 38.5%で最も多く、全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。一方で、「事業所・担当者からの情報提供が少ないこと」が 15.4%と全体よりも 10 ポイント以上低くなっています。

【介護保険サービス事業所との連携における課題】



単位：%

	母数	介護保険サービス事業所との連携における課題						
		送付するサービス提供票に手間がかかること	事業所・担当者からの情報提供が少ないこと	事業所・担当者に照会しても、回答がなかなか得られないこと	事業所・担当者との日程が合わず、サービス担当者会議が開催できないこと	その他	特にない	無回答
全体	74	25.7	28.4	14.9	21.6	5.4	29.7	1.4
性別								
男性	13	△ 38.5	▼ 15.4	-	23.1	△ 15.4	23.1	-
女性	59	22.0	32.2	16.9	22.0	3.4	30.5	1.7
無回答	2	△ 50.0	-	△ 50.0	-	-	△ 50.0	-

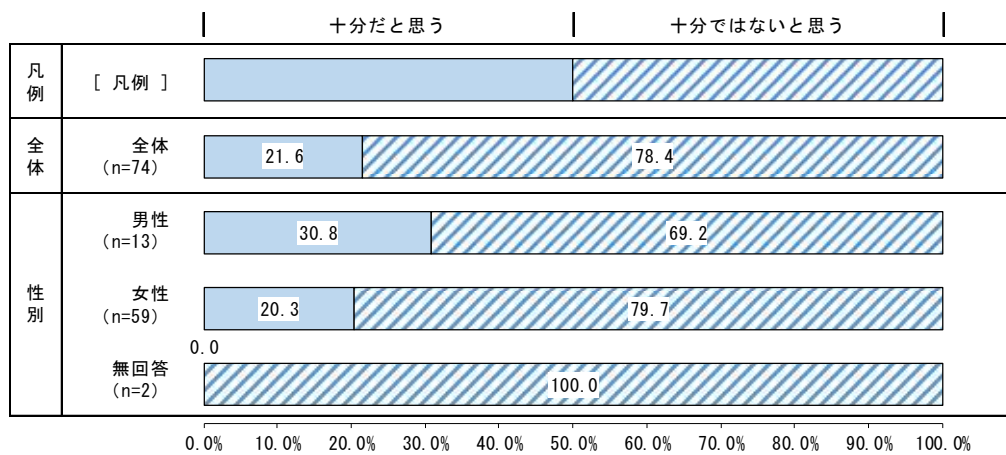
(14) 在宅医療・介護の連携は十分か

●問22 現状、在宅における医療と介護の連携は十分だと思いますか。(ひとつだけ○)

【全体】

○ 在宅医療・介護の連携は十分かについて、「十分だと思う」が21.6%、「十分ではないと思う」が78.4%となっています。

【在宅医療・介護の連携は十分か】



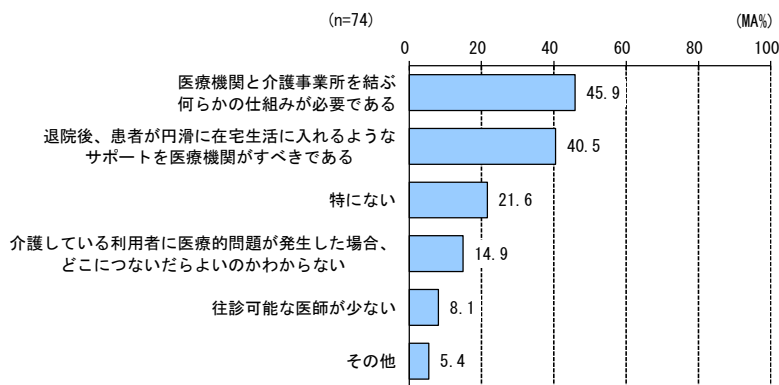
(15) 在宅医療・介護の連携における課題

- 問23 在宅における医療と介護の連携について、課題だと思えることは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 在宅医療・介護の連携における課題について、「医療機関と介護事業所を結ぶ何らかの仕組みが必要である」が45.9%で最も多く、次いで「退院後、患者が円滑に在宅生活に入れるようなサポートを医療機関がすべきである」が40.5%、「特にない」が21.6%となっています。

【性別】
○ 男性では、「退院後、患者が円滑に在宅生活に入れるようなサポートを医療機関がすべきである」が61.5%で最も多く、全体よりも10ポイント以上高くなっています。

【在宅医療・介護の連携における課題】



単位：%

		在宅医療・介護の連携における課題						
		母数	医療機関が円滑に在宅生活に入るべきサポートを	往診可能な医師が少ない	介護の仕方がわからない利用者に対するサポート	介護の仕方がわからない利用者に対するサポート	医療機関と介護事業所を結ぶ	その他
全体		74	40.5	8.1	14.9	45.9	5.4	21.6
性別	男性	13	△ 61.5	15.4	15.4	53.8	-	15.4
	女性	59	37.3	6.8	13.6	45.8	6.8	22.0
	無回答	2	-	-	△ 50.0	-	-	△ 50.0

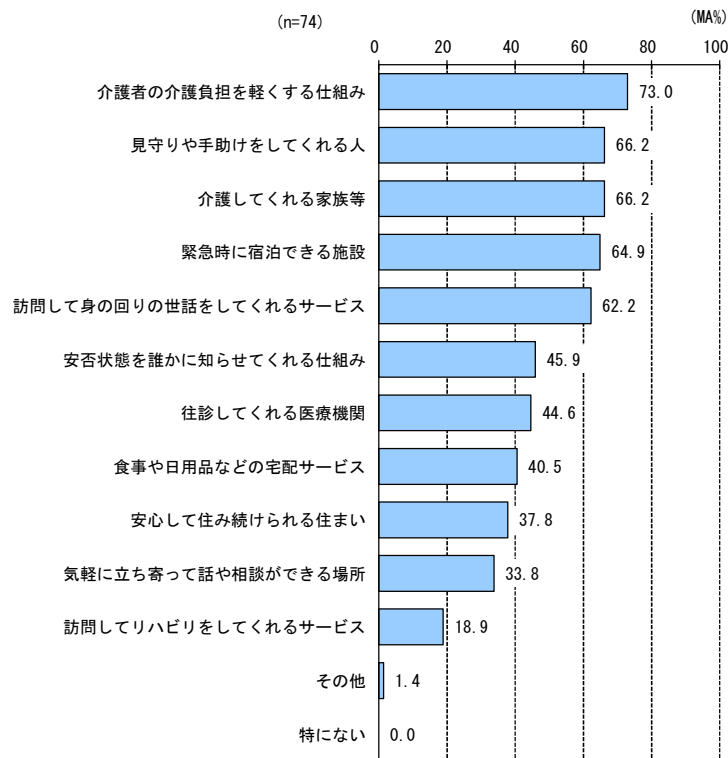
(16) 在宅生活を継続する上で重要なこと

●問24 要介護者等が在宅で暮らし続けるために、特に重要だと思うものは何ですか。
(いくつでも○)

【全体】
○ 在宅生活を継続する上で重要なことについて、「介護者の介護負担を軽くする仕組み」が 73.0%で最も多く、次いで「介護してくれる家族等」「見守りや手助けをしてくれる人」が 66.2%、「緊急時に宿泊できる施設」が 64.9%となっています。

【性別】
○ 男性では、「介護してくれる家族等」が 76.9%で最も多く、全体よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【在宅生活を継続する上で重要なこと】



単位：%

	母数	在宅生活を継続する上で重要なこと												
		介護してくれる家族等	安心して住み続けられる住まい	往診してくれる医療機関	世話をしてくれる身の回りのサービス	訪問して身の回りの世話をしてくれるサービス	緊急時に宿泊できる施設	訪問してリハビリをしてくれるサービス	気軽に立ち寄って話や相談ができる場所	見守りや手助けをしてくれる人	食事や日用品などの宅配サービス	安否状態を誰かに知らせてくれる仕組み	介護者の介護負担を軽くする仕組み	その他
全体	74	66.2	37.8	44.6	62.2	64.9	18.9	33.8	66.2	40.5	45.9	73.0	1.4	-
性別														
男性	13	△ 76.9	30.8	46.2	61.5	▼ 53.8	15.4	▼ 23.1	▼ 53.8	▼ 23.1	38.5	69.2	-	-
女性	59	64.4	39.0	44.1	61.0	67.8	18.6	35.6	69.5	44.1	47.5	74.6	1.7	-
無回答	2	▼ 50.0	△ 50.0	50.0	△ 100.0	▼ 50.0	△ 50.0	△ 50.0	▼ 50.0	50.0	50.0	▼ 50.0	-	-

4 自由意見

- 問25 最後に、介護保険制度や高齢者福祉について、本市へのご意見やご要望などがございましたら、ご記入ください。

報告書への掲載にあたり、一部を抜粋・要約しています。

カテゴリ	地域連携	件数	5件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・久喜市は包括支援センターと居宅介護支援事業所との連携が不十分だ。 ・当事業所が困難になった際の相談場所が分からない。現在進行中の困難事例に苦慮している。 ・在宅での定期受診時、独居等の医師とケアマネ連携は電話やメールでは難しい。 		
カテゴリ	生活支援	件数	9件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあいゴミ収集の対象者は身体障害者のみで、認知症でゴミ捨て困難な人は非該当となっている。認知症の方の在宅生活には必須サービスなので、要件の再検討をお願いしたい。 ・訪問介護事業者が減少している。介護保険外の生活支援サービスを新設してほしい。 ・オムツ支給が非課税者のみの利用では不公平に感じる。 		
カテゴリ	業務負荷	件数	6件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の緊急対応が多く調整や訪問が大変だが、書類重視のため業務が終わらない。 ・ケアマネの負担が増加している。 ・書類作成に多大な時間を要する。 ・高齢者世帯が増え、家族介入が難しい事例も多い。 ・訪問、相談、サービス調整、書類など業務量が多い。 		
カテゴリ	人材・処遇	件数	3件
内容（一部抜粋・要約）	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ希望者が少なく、現職員の高齢化で事業所継続が困難になる懸念がある。 ・現場が良いと、ケアマネへのキャリアアップを望まない職員が多い。 		

令和7年度 久喜市高齢者実態調査報告書

発行年月 令和8年3月

発行 久喜市

編集 久喜市介護保険課

〒346-8501

埼玉県久喜市下早見 85-3

TEL : 0480-22-1111